

大田区政に関する世論調査

令和7年5月実施

大 田 区



大田区シンボルマーク

今後の区政運営のために

区は、「大田区基本構想」を令和6年3月に新たに策定し、その目指すべき将来像として「心やすらぎ 未来にはばたく 笑顔のまち おおた」をお示しいたしました。また、令和7年3月に基本構想を実現するための施策をまとめた基本計画では、「未来を創り出すこどもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち」「文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち」「豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち」「安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち」の4つを基本目標として、基本構想の実現のための施策を進めているところです。

「大田区政に関する世論調査」は、広聴事業のひとつとして実施しており、今回で41回目となります。今回の調査にあたりましては、区民の皆様の意識変化を把握するため、区政全般に関することで比較的長期にわたり継続的に調査する項目を設定いたしました。また、「こどもの権利について知っているか」「身近な場所で生き物の豊かさに満足しているか」など新たに作成しました基本計画に関する設問についても調査いたしました。

調査の結果につきましては、今後の区政運営のための基礎資料として活用してまいります。

「大田区政に関する世論調査」にご協力くださいました区民の皆様に、改めて厚くお礼申し上げます。

令和7年11月

大田区長 **鈴木晶雅**

I 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査項目	3
3. 調査の設計	3
4. 回収の結果	3
5. 報告書の見方	4
6. 標本誤差について	4
7. 調査対象者の抽出	6

II 調査結果の概要

1. 回答者の属性	11
2. 質問と回答	13

III 調査結果の分析

1. 定住性	31
(1) 居住年数	31
(2) 定住意向	34
(3) ずっと住み続けたい理由	39
(4) 当分は住み続けたい期間	42
(5) 区外へ移りたい理由	46
(6) 住んでいるまちが魅力的か	48
2. 暮らしやすさ	51
(1) 住んでいるまちの暮らしやすさ	51
(2) 生活環境の満足度	54
(3) 住んでいるまちにどのようなになってほしいか	60
3. 基本目標 1 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち	63
(1) こどもの権利（または「児童の権利に関する条約」）の認知度	63
4. 基本目標 2 文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち	66
(1) 区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境、気軽にスポーツ、健康づくりに 取り組めたり、自由に学びを深められる環境への満足度	66
(2) 区内の環境に満足している理由	69
(3) 区内の環境に満足していない理由	72
(4) 男女の地位平等	75
(5) 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか	83
(6) 障がいの有無にかかわらず理解しあう環境があると感じているか	86
(7) 地域活動への参加意向	89
(8) 地域活動に参加した、かかわった経験	92
(9) 日常生活のなかで充実感や張り合いを感じる時	95

目 次

5. 基本目標 3 豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち	98
(1) 区に取り組んでほしいこと	98
(2) 生き物の豊かさへの満足度	101
(3) 家庭で実施している環境配慮行動	104
6. 基本目標 4 安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち	108
(1) 災害情報の入手手段	108
(2) 防災に対する意識	110
(3) 住んでいるまちの治安の変化	113
7. 区政への関心と要望	116
(1) 大田区等の制度・施策・施設の認知度	116
(2) 施策要望	119
(3) 区内施設の利用目的	123
(4) 区の媒体の利用頻度	126
(5) 必要な区政情報がわかりやすく届いていると感じているか	135
(6) オンライン化により行政手続は便利になったと感じているか	137
(7) 区の職員の窓口や電話対応への印象	139
(8) 区政への参加意向	141
(9) 区政に参加したいと思わない理由	143
8. 自由意見	145
基本目標 1 未来を創り出すこどもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち	145
基本目標 2 文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち	149
基本目標 3 豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち	155
基本目標 4 安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち	158

Ⅳ 調査結果の概観

1. 生活環境の満足度	185
-------------	-----

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

大田区の各行政分野における区民の意向・要望・生活実態を把握するとともに、今後の区政運営や施策立案の基礎資料とする。

2. 調査項目

- (1) 定住性
- (2) 暮らしやすさ
- (3) 基本目標 1 未来を創り出すこどもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち
- (4) 基本目標 2 文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち
- (5) 基本目標 3 豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち
- (6) 基本目標 4 安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち
- (7) 区政への関心と要望

3. 調査の設計

- (1) 調査地域 大田区全域
- (2) 調査対象 大田区内に在住する満 18 歳以上の男女個人（外国人を含む）
- (3) 標本数 4,000 人
- (4) 抽出方法 層化無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送調査。ただし、回収方法は郵送回収に加え、スマートフォンおよびパソコンを利用した電子申請からの回答も実施
- (6) 調査期間 令和 7 年 5 月 28 日（水）～ 6 月 16 日（月）
- (7) 調査機関 株式会社エスピー研

4. 回収の結果

- (1) 回収数 1,718 人（電子申請 543 件含む）（回収率 43.0%）
- (2) 有効回収数 1,716 人（有効回収率 42.9%）

5. 報告書の見方

- (1) 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても100%にならず、1%の範囲で増減することがある。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数nとして算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) クロス集計の図表では、分析軸となる質問(性別、性/年齢別等)に無回答だった人については掲載していない。そのため、各層のnの合計が総数とは一致しない場合がある。
- (4) 回答者数が30に満たないものについては、図示するに留め、この報告書の中では特に取りあげていない場合がある。
- (5) グラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。

6. 標本誤差について

この調査の基本誤差(サンプル誤差)はおおよそ下記の表のとおりである。基本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基数(n)、及び②回答の比率(P)によって異なる。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

b = 標本誤差
N = 母集団数(大田区の満18歳以上の男女個人)
n = 比率算出の基数(サンプル数)
P = 回答の比率(%)

※後にかかげる表は $\frac{N - n}{N - 1} \div 1$ として算出した。本調査は層化を行っているので誤差はこの表よりやや小さくなる。

たとえば、回答者総数(1,716人)を100%とする比率について、ある質問の回答率が50%で

あった場合の標本誤差を計算すると、 $b = \pm 2 \sqrt{\frac{0.5 \times (1 - 0.5)}{1,716}} = \pm 2.4\%$ となる。

つまり、回答者総数(1,716人)を100%とする比率について、ある質問の回答率が50%の時、大田区民(満18歳以上の男女)の真の値は47.6%~52.4%の間にあると考えられる。ただし、信頼度は95%であるので、95%の確率で間違いないと判断できるという意味である。

nとPを上記の式に代入すれば、必要な標本誤差はすべて計算できる。

標本誤差早見表は下記の図のとおりである。

図 1 標本誤差早見表（信頼度 95%）

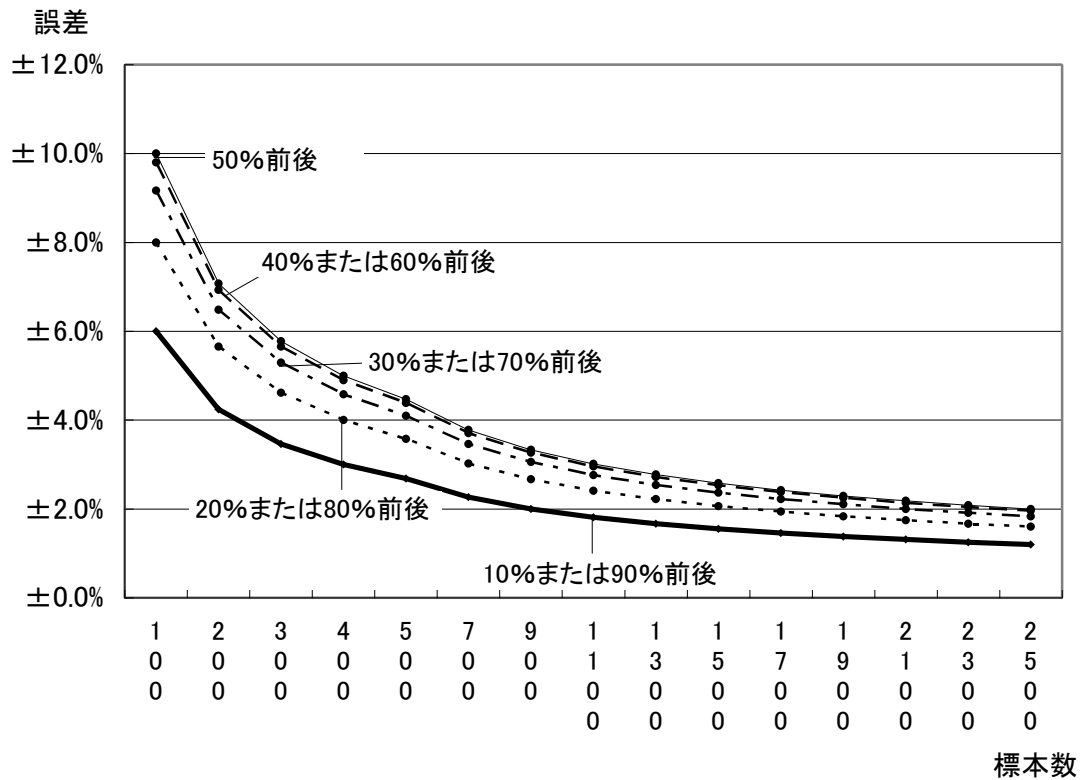


図 2 本調査における標本誤差一覧（信頼度 95%）

回答の比率(P)			10%または90%前後	20%または80%前後	30%または70%前後	40%または60%前後	50%前後
基数 (n)							
全 体		1,716	± 1.4%	± 1.9%	± 2.2%	± 2.4%	± 2.4%
地域別	大森地域	545	± 2.6%	± 3.4%	± 3.9%	± 4.2%	± 4.3%
	調布地域	436	± 2.9%	± 3.8%	± 4.4%	± 4.7%	± 4.8%
	蒲田地域	436	± 2.9%	± 3.8%	± 4.4%	± 4.7%	± 4.8%
	糀谷・羽田地域	140	± 5.1%	± 6.8%	± 7.7%	± 8.3%	± 8.5%
性別	男 性	689	± 2.3%	± 3.0%	± 3.5%	± 3.7%	± 3.8%
	女 性	872	± 2.0%	± 2.7%	± 3.1%	± 3.3%	± 3.4%
性／年代別	男性10・20代	71	± 7.1%	± 9.5%	±10.9%	±11.6%	±11.9%
	男性30代	92	± 6.3%	± 8.3%	± 9.6%	±10.2%	±10.4%
	男性40代	106	± 5.8%	± 7.8%	± 8.9%	± 9.5%	± 9.7%
	男性50代	142	± 5.0%	± 6.7%	± 7.7%	± 8.2%	± 8.4%
	男性60代	121	± 5.5%	± 7.3%	± 8.3%	± 8.9%	± 9.1%
	男性70歳以上	154	± 4.8%	± 6.4%	± 7.4%	± 7.9%	± 8.1%
	女性10・20代	92	± 6.3%	± 8.3%	± 9.6%	±10.2%	±10.4%
	女性30代	140	± 5.1%	± 6.8%	± 7.7%	± 8.3%	± 8.5%
	女性40代	140	± 5.1%	± 6.8%	± 7.7%	± 8.3%	± 8.5%
	女性50代	171	± 4.6%	± 6.1%	± 7.0%	± 7.5%	± 7.6%
	女性60代	132	± 5.2%	± 7.0%	± 8.0%	± 8.5%	± 8.7%
	女性70歳以上	192	± 4.3%	± 5.8%	± 6.6%	± 7.1%	± 7.2%

7. 調査対象者の抽出

- (1) 母集団 大田区内に在住する満 18 歳以上の男女個人（外国人を含む）
(令和 7 年 4 月 1 日時点)
- (2) 抽出台帳 大田区住民基本台帳
- (3) 標本数 4,000 人
- (4) 抽出法 層化無作為抽出法
- (5) 地域区分 区内を、4 地域（大森、調布、蒲田、糀谷・羽田）に分類し、それぞれを層とした。

地域名	所管区域
大森地域	大森東特別出張所管内、大森西特別出張所管内、入新井特別出張所管内、馬込特別出張所管内、池上特別出張所管内、新井宿特別出張所管内
調布地域	嶺町特別出張所管内、田園調布特別出張所管内、鶴の木特別出張所管内、久が原特別出張所管内、雪谷特別出張所管内、千束特別出張所管内
蒲田地域	六郷特別出張所管内、矢口特別出張所管内、蒲田西特別出張所管内、蒲田東特別出張所管内
糀谷・羽田地域	糀谷特別出張所管内、羽田特別出張所管内

図 3 地域図



- (6) 標本数の配分 各地域における 18 歳以上の人口（令和 7 年 4 月 1 日現在）に応じて標本数を比例配分した。
- (7) 対象者抽出 1 地域ごとに、「(6)」で設定した標本数を無作為抽出した。

以上の結果、地域別の標本数及び有効回収数は次のとおりである。

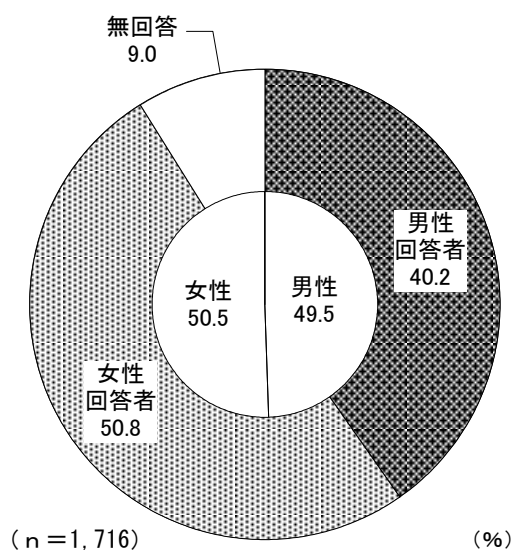
地 域 名	18 歳以上人口 (構成比)	標本数	有効回収数 (率)
大 森 地 域	218, 592 (33. 5%)	1, 339	545 (40. 7%)
調 布 地 域	165, 565 (25. 3%)	1, 014	436 (43. 0%)
蒲 田 地 域	198, 270 (30. 4%)	1, 214	436 (35. 9%)
梶谷・羽田地域	70, 725 (10. 8%)	433	140 (32. 3%)
無 回 答			159
合 計	653, 152 (100. 0%)	4, 000	1, 716 (42. 9%)

Ⅱ 調査結果の概要

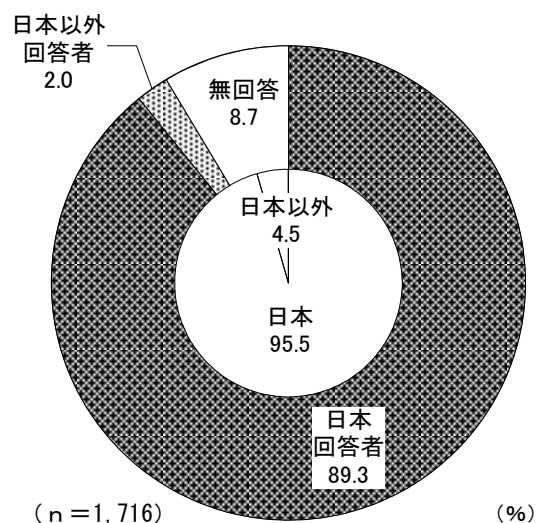
Ⅱ 調査結果の概要

1. 回答者の属性

(1) 性別

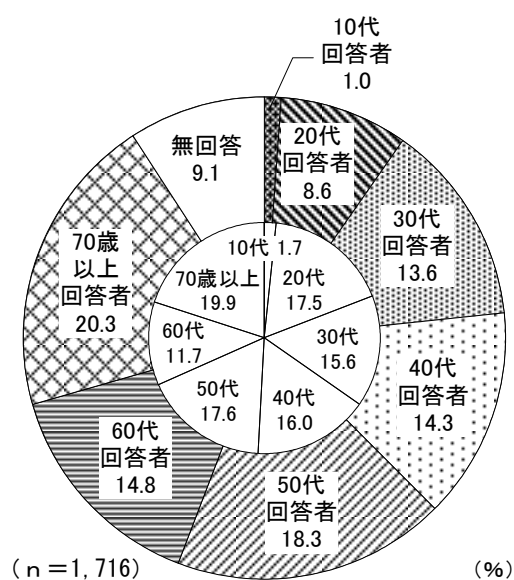


(2) 国籍

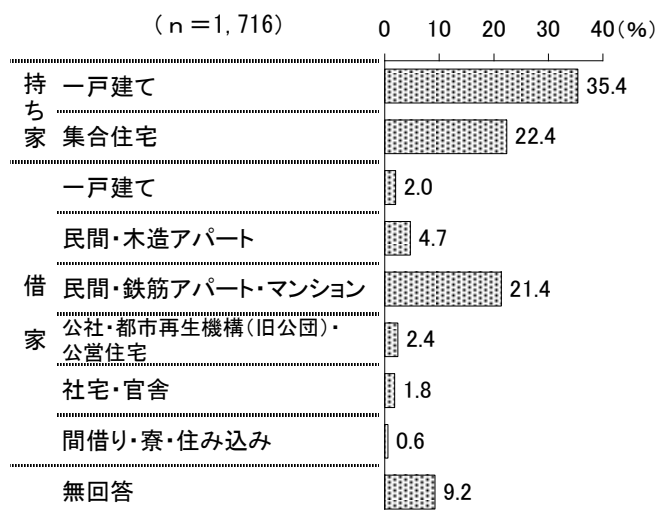


※内円は母集団の、外円は調査回答者の構成比を表している

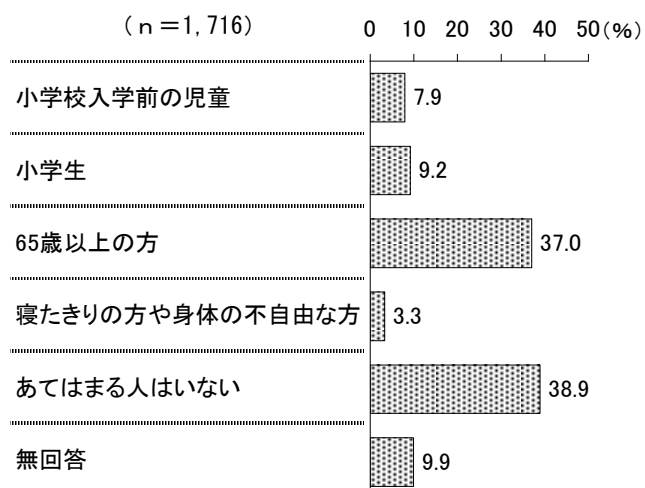
(3) 年齢



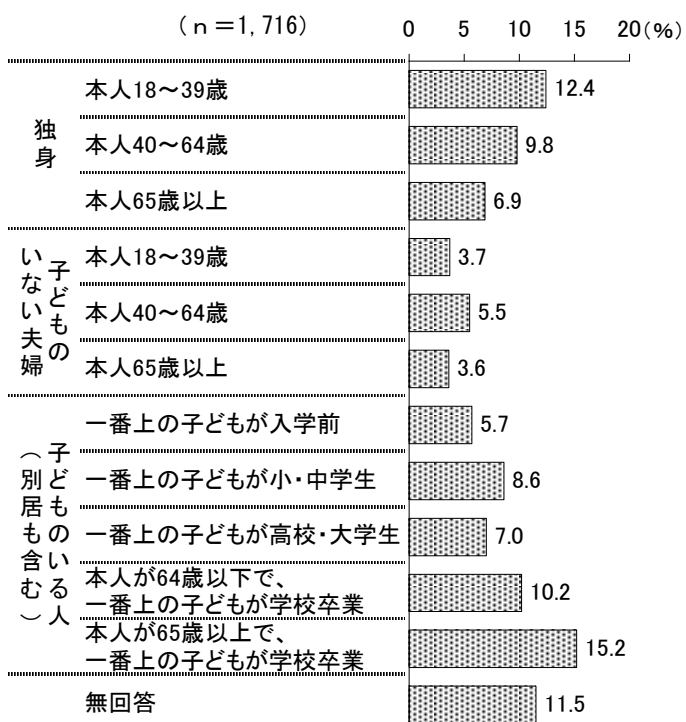
(4) 住居形態



(5) 同居家族



(6) ライフステージ



2. 質問と回答

<定住性>

居住開始時期

問1 あなたは、大田区にお住まいになって何年ですか。(○は1つだけ)

n=1,716

1	2年未満	7.2%	4	10年以上15年未満	7.8%	7	30年以上40年未満	10.4%
2	2年以上5年未満	8.5%	5	15年以上20年未満	7.7%	8	40年以上60年未満	19.9%
3	5年以上10年未満	9.4%	6	20年以上30年未満	16.0%	9	60年以上	12.8%
							無回答	0.3%

定住意向

問2 あなたは、これからも大田区に住みたいと思いますか。(○は1つだけ)

n=1,716

1	ずっと住み続けたい	53.4%	3	できれば大田区外へ移りたい	4.5%
2	当分は住み続けたい	32.6%	4	大田区外へ移りたい	1.7%
			5	わからない ⇒ 問3へ	7.3%
				無回答	0.3%

(問2で、「1」と回答した方に)

→ 問2-1 「ずっと住み続けたい」理由は何ですか。(○はいくつでも)

n=917

1	自分又は配偶者の出身地だから	36.6%	5	子育てしやすいから	6.8%
2	仕事、通勤に都合が良いから	34.2%	6	住環境が良いから	41.1%
3	土地、建物を持っているから	56.3%	7	その他(具体的に)	6.9%
4	都心よりも家賃が安いから	3.4%	8	特にな	2.9%
				無回答	0.1%

(問2で、「2」と回答した方に)

→ 問2-2 「当分は住み続けたい」とはどのくらいの期間で理由は何ですか。(○は1つだけ) n=560

1	1年未満 (理由)	3.6%
2	3年未満 (理由)	13.8%
3	5年未満 (理由)	21.8%
4	10年未満 (理由)	25.5%
5	10年以上 (理由)	34.1%
	無回答	1.3%

(問2で、「3」または「4」と回答した方に)

→ 問2-3 「大田区外へ移りたい」理由は何ですか。(○はいくつでも)

n=107

1	就職、転職、結婚、進学などライフ ステージの変化	27.1%	4	治安	33.6%
2	家賃、不動産価格	20.6%	5	その他(具体的に)	33.6%
3	子育て環境	15.0%		無回答	2.8%

問3 あなたは、住んでいるまちが魅力的であると感じていますか。(○は1つだけ) n=1,716

1 感じている	32.2%	3 あまり感じていない	11.0%	5 どちらともいえない	14.7%
2 やや感じている	37.5%	4 感じていない	2.9%	無回答	1.7%

暮らしやすさ

問4 現在住んでいるまちの暮らしやすさを、どのように感じていますか。(○は1つだけ) n=1,716

1 とても暮らしやすいと感じている	20.9%	4 暮らしにくいと感じている	2.0%
2 暮らしやすいと感じている	59.7%	5 どちらともいえない	9.7%
3 あまり暮らしやすいと感じない	6.0%	無回答	1.6%

問5 住んでいるまちの生活環境について、どの程度満足していますか。(○はそれぞれ1つ)

n=1,716

	満足している	ほぼ満足している	少し不満である	不満である	わからない	無回答
回答例 ⇒	1	2	3	4	5	
(1) 緑の多さ	19.7%	47.4%	18.6%	7.9%	3.1%	3.2%
(2) 道路の整備	16.6%	49.9%	20.3%	8.3%	1.7%	3.1%
(3) 公園や子どもの遊び場	17.0%	42.4%	17.9%	8.1%	11.7%	2.9%
(4) 交通の便	39.0%	40.2%	13.2%	4.9%	0.4%	2.3%
(5) 買い物の便	33.3%	42.1%	16.3%	6.1%	0.3%	1.9%
(6) 町並み・景観	14.7%	48.1%	22.8%	8.1%	3.4%	2.9%
(7) 交通の安全性	15.4%	46.3%	23.3%	10.4%	2.4%	2.3%
(8) 災害時の安全性	7.5%	35.0%	26.0%	9.3%	19.4%	2.9%
(9) 治安のよさ	15.1%	47.9%	22.6%	9.0%	3.3%	2.2%
(10) 病院や診療所の便	25.3%	52.1%	14.2%	4.0%	2.0%	2.5%
(11) スポーツ・レクリエーション施設の数	7.7%	33.9%	24.0%	10.4%	21.4%	2.6%
(12) 図書館・文化施設の数	14.3%	45.7%	19.1%	5.6%	12.6%	2.7%
(13) あなたご自身の住宅事情	22.1%	49.6%	19.0%	6.4%	1.2%	1.8%
(14) 近所付き合い	13.0%	50.9%	12.0%	3.6%	18.3%	2.2%
(15) バリアフリー	7.3%	33.2%	24.1%	8.5%	24.5%	2.4%

問6 あなたは、現在住んでいるまちに対して、今後、どのようなまちになってほしいとお考えですか。
(1位から3位まで1つずつ選んで、下の回答欄に番号を記入してください) n=1,716

	累計	1位	2位	3位
1 治安の良いまち	61.7%	39.5%	12.9%	9.3%
2 災害に強いまち	40.4%	12.0%	19.6%	8.8%
3 健康に暮らせるまち	26.7%	7.1%	9.0%	10.7%
4 高齢者が活躍するまち	5.1%	1.3%	1.8%	2.0%
5 福祉の充実したまち	19.2%	4.7%	7.5%	7.0%
6 こどもたちが健やかに育つまち	30.1%	11.4%	11.5%	7.2%
7 産業が活発なまち	5.8%	0.6%	2.8%	2.4%
8 便利に暮らせるまち	38.0%	11.8%	13.2%	13.0%
9 緑の多いまち	15.1%	2.6%	5.5%	7.0%
10 環境にやさしいまち	7.3%	1.0%	2.2%	4.1%
11 区民が支えあうまち	3.6%	0.3%	0.9%	2.3%
12 景観の良いまち	9.8%	1.6%	3.0%	5.3%
13 文化あふれるまち	4.6%	0.6%	1.1%	2.9%
14 国際的な交流の輪が広がるまち	1.8%	0.1%	0.6%	1.1%
15 行政が身近なまち	6.2%	0.8%	1.5%	3.8%
16 区民の個性が生きるまち	0.7%	—	0.1%	0.6%
17 性別や障がいの有無や国籍などに関わらず誰もが暮らしやすいまち	8.9%	1.9%	1.7%	5.3%
18 人や物の移動がしやすいまち	8.9%	1.0%	3.3%	4.5%
19 多くの来訪者でにぎわうまち	0.5%	0.2%	0.1%	0.2%
無回答	1.5%	1.5%	1.7%	2.4%

〈回答欄〉

1 位		2 位		3 位	
--------	--	--------	--	--------	--

《基本目標1 未来を創り出すこどもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち》

問7 こどもの権利（または「児童の権利に関する条約」）について知っていますか。（○は1つだけ）
n=1,716

※日本を含む世界196の国・地域が締結している「児童の権利に関する条約」では、18歳未満の児童（こども）を権利を持つ主体と位置づけ、大人と同様、ひとりの人間としての人権を認めるとともに、成長の過程で特別な保護や配慮が必要なこどもならではの権利も定めています。4つの大切な考え方として、①差別の禁止、②こどもの最善の利益、③命を守られ成長できること、④こどもの意見の尊重、があります。

1 内容も含めてよく知っている	5.8%	4 まったく知らない	30.7%
2 少しは知っている	24.0%	無回答	1.0%
3 聞いたことはあるが内容はあまり知らない	38.6%		

《基本目標２ 文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち》

問８ あなたは、区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境、気軽にスポーツや健康づくりに取り組めたり、自由に学びを深められたりできる環境に満足していますか。（○は１つだけ） n=1,716

1 満足している	50.8%	2 満足していない	44.7%	無回答	4.5%
----------	-------	-----------	-------	-----	------

（問８で、「１」と回答した方に）

→ 問８-１ 「満足している」理由は何ですか。（○はいくつでも） n=872

1 図書館が多いから	49.2%
2 文化施設がたくさんあるから	33.4%
3 生涯にわたる学習に関する情報や環境があるから	11.4%
4 スポーツをできる場所が多いから	32.7%
5 公園に健康遊具が設置されているから	18.3%
6 気軽に健康づくりに参加できる仕組みがあるから	15.6%
7 その他（具体的に)	4.8%
無回答	1.0%

（問８で、「２」と回答した方に）

→ 問８-２ 「満足していない」理由は何ですか。（○はいくつでも） n=767

1 勉強できる場所が少ないから	22.0%
2 文化施設が少ないから	32.5%
3 生涯学習に対する情報・環境がないから	30.4%
4 スポーツをできる場所が少ないから	35.3%
5 スポーツ施設が地域的に偏在しているから	29.5%
6 公園などの施設に健康器具が少ないから	20.5%
7 気軽に健康づくりに参加できる仕組みがないから	38.9%
8 その他（具体的に)	12.9%
無回答	0.3%

問9 あなたは、以下の分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。

(○はそれぞれ1つ) n=1,716

	女性が優遇 されている	やや女性が優遇 されている	平等になっ ている	やや男性が優遇 されている	男性が優遇 されている	無回答
回答例 ⇒	1	2	③	4	5	
(1) 家庭生活	3.3%	7.5%	44.8%	29.8%	8.0%	6.6%
(2) 職場	2.4%	6.4%	36.0%	35.5%	11.5%	8.2%
(3) 教育の場	1.0%	4.1%	67.4%	16.2%	3.0%	8.3%
(4) 政治の場	0.9%	1.8%	17.5%	38.1%	34.4%	7.3%
(5) 法律や制度	2.2%	5.4%	35.9%	34.8%	14.3%	7.5%
(6) 社会通念や慣習	1.6%	5.4%	25.8%	41.9%	17.7%	7.5%
(7) 地域活動の場 (自治会やNPOなど)	1.1%	5.2%	52.3%	27.0%	6.5%	7.9%

問10 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じていますか。(○は1つだけ)

※多文化共生とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。

n=1,716

1 感じている	8.6%	3 あまり感じていない	27.0%	5 どちらともいえない	27.3%
2 やや感じている	25.2%	4 感じていない	9.6%	無回答	2.2%

問11 障がいの有無にかかわらず、人々がお互いにその人らしさを理解しあう環境があると感じていますか。(○は1つだけ)

n=1,716

1 感じている	7.2%	3 あまり感じていない	29.1%	5 どちらともいえない	30.0%
2 やや感じている	23.0%	4 感じていない	8.8%	無回答	1.9%

問12 あなたは、現在住んでいるまちで何らかの地域活動に参加したいと思いますか。(○は1つだけ)

n=1,716

1 現在参加している	6.8%
2 ぜひ参加したい	2.0%
3 きっかけや条件が整えば参加してみたい	39.9%
4 参加してみたいが都合により参加できない	15.9%
5 関心がない	19.0%
6 わからない	14.5%
無回答	1.9%

問 13 過去 1 年以内で、地域活動に参加した、かかわった経験はありますか。

(○はより重点を置いている活動を 3 つまで) n=1,716

1 自治会・町会などの自治組織に所属した地域活動	12.1%	6 防犯や交通安全活動	1.7%
2 趣味の活動を通じたボランティア・社会奉仕などの活動	4.4%	7 子育て支援などの活動	2.4%
3 お祭り等の地域おこし活動	8.3%	8 福祉活動	1.3%
4 環境ボランティア活動	1.2%	9 国際交流活動	0.9%
5 災害ボランティア活動	0.9%	10 その他（具体的に）	1.6%
		11 特に活動はしていない	73.8%
		無回答	1.7%

問 14 日常生活のなかで、充実感や張り合いを感じるのはどのような時ですか。

(1 位から 3 位まで 1 つずつ選んで、下の回答欄に番号を記入してください) n=1,716

	累計	1 位	2 位	3 位
1 仕事に打ち込んでいる時	33.0%	15.8%	7.1%	10.1%
2 社会参加をしている時 (PTA 活動、地域行事、ボランティア活動など)	5.7%	2.0%	2.0%	1.6%
3 教養や自己啓発に身を入れている時 (学習、読書、習い事など)	21.1%	7.1%	7.8%	6.3%
4 趣味・娯楽に熱中している時 (趣味活動、鑑賞、旅行、コンサート、スポーツ観戦など)	55.1%	23.0%	19.5%	12.5%
5 スポーツに取り組んでいる時 (体操、運動、各種スポーツなど自分で行うもの)	16.4%	5.5%	6.6%	4.3%
6 ゆったりと休養している時	38.9%	9.4%	14.4%	15.1%
7 家族団らんの時	44.2%	19.3%	14.0%	10.9%
8 友人や知人と会合、雑談をしている時	39.1%	6.1%	16.7%	16.3%
9 健康であると感じる時	35.4%	8.9%	8.7%	17.8%
10 その他（具体的に）	2.1%	0.7%	0.3%	1.0%
無回答	2.3%	2.3%	2.8%	4.0%

〈回答欄〉

1 位		2 位		3 位	
-----	--	-----	--	-----	--

《基本目標3 豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち》

問15 今後、区に取り組んでほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

n=1,716

1	区施設等の感染防止策の徹底	13.7%
2	キャッシュレス決済の拡充	19.1%
3	電子申請の拡充	27.8%
4	オンライン相談・面談、A Iによる自動応答等、相談機能の向上	11.8%
5	イベント配信等オンラインサービスの拡充	11.9%
6	自転車走行などの環境整備	57.1%
7	公園等の憩いの場の整備	45.2%
8	特になし	8.2%
	無回答	2.5%

問16 身近な場所で生き物の豊かさに満足していますか。(〇は1つだけ)

n=1,716

※例) 野鳥を見かけたり、季節を感じる虫の声を聞いたり等

1	満足している	14.6%	4	満足していない	12.2%
2	やや満足している	29.5%	5	どちらともいえない	21.6%
3	やや満足していない	12.4%	6	わからない、関心がない	8.7%
				無回答	0.9%

問17 あなたのご家庭で実施している環境配慮行動を教えてください。(〇はいくつでも) n=1,716

1	買い物の際にはエコバッグを利用する	86.2%
2	外出時にはマイボトルを持ち歩く	42.5%
3	使わないときは電気便座のふたを閉める	55.8%
4	食品は、事前に冷蔵庫内を確認し、必要なものだけを購入する	52.9%
5	外食の際は食べきれる量を注文する	66.0%
6	家電はECOモードなどを活用する	27.6%
7	シャワーはこまめに止める	45.4%
8	エアコンのフィルターはこまめに掃除する	33.2%
9	買い物の際にはエコマークなど環境ラベルの付いた商品を選択する	6.9%
10	ごみは適切に分別して、資源ごみはリサイクルに回している	81.3%
11	その他(具体的に)	3.1%
12	何もしていない	0.8%
	無回答	0.5%

《基本目標 4 安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち》

問 18 あなたは、災害時における災害情報をどの手段で入手しますか。(○はいくつでも) n=1,716

1	区ホームページ	30.4%
2	区公式 SNS (X、LINE など)	15.0%
3	防災アプリ・防災ポータルサイト	27.3%
4	防災行政無線	13.9%
5	区民安全・安心メール	8.0%
6	広報車	7.9%
7	家族・友人・知人・近所	37.2%
8	緊急速報メール (エリアメールなど)	47.9%
9	インターネット (区以外のホームページなど)	46.6%
10	テレビ (ケーブルテレビ)	51.7%
11	ラジオ	16.3%
12	その他 (具体的に)	1.7%
	無回答	1.5%

問 19 あなたは、1 年前に比べて防災に対する意識が高まったと思いますか。(○は 1 つだけ)

n=1,716

1	高まった	10.9%	3	変わらない	52.2%	5	わからない	6.8%
2	やや高まった	27.7%	4	低くなった	1.2%		無回答	1.2%

問 20 あなたは、1 年前に比べて現在住んでいるまちの治安はどのように変化したと感じていますか。
(○は 1 つだけ) n=1,716

1	良くなった	1.5%	4	どちらかというが悪くなった	14.0%
2	どちらかというと良くなった	4.3%	5	わからない	9.7%
3	変わらない	67.0%	6	区内在住 1 年未満	2.3%
				無回答	1.1%

問21 以下の大田区等の制度、施策、施設のうち、あなたをご存知のものをすべて挙げてください。

(〇はいくつでも) n=1,716

- | | |
|---|-------|
| 1 「さぽーとぴあ（障がい者総合サポートセンター）」：障がいのある方の暮らしを総合的にサポートする施設であり、地域の方も参加できる余暇活動やイベントを実施 | 18.5% |
| 2 「ヘルプカード」：障がいのある方などが災害時や日常の外出先での緊急時に支援が必要な内容を記載して携帯して手助けを求めるためのカード | 34.7% |
| 3 「『おおむすび』の取組み」：区内障がい者施設が連携し、自主生産品の共同販売や区内企業等からのシール貼りなどの軽作業の共同受注等を促すことにより、作業等に携わる利用者の工賃（給与）向上や社会参加を図る取組み | 5.0% |
| 4 「自立訓練（機能訓練）施設」：脳出血、脳梗塞等の後遺症及び事故や病気などによる脳の損傷による高次脳機能障がいに対する機能回復の訓練をする施設（大田区立志茂田福祉センター（機能訓練室）、大田区立障がい者総合サポートセンター（居住支援部門）） | 8.1% |
| 5 「大田区 生活再建・就労サポートセンター JOBOTA（ジョボタ）」：さまざまな理由により経済的に困り、生活・しごと・住まいなどについてのお悩みを抱えている方の相談窓口 | 11.8% |
| 6 「在宅医療」：自宅等において医師の往診や治療、訪問看護などの医療サービスを受けながら療養生活を送ること | 39.0% |
| 7 「区民運動おたクールアクション」：一人ひとりが「省エネ・3R・環境にやさしい商品の購入」を実践し、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を削減する区民運動 | 2.2% |
| 8 「Unique0ta/ユニークおた」：区の多様な魅力や価値を区内外の方に伝えるシティプロモーションを展開するための「他にはない、大田区ならではのユニークな場所と出会えるまち」という意味が込められたブランドメッセージ | 2.6% |
| 9 「大田区若者サポートセンター「フラットおた」」：様々な困難を抱える概ね15～39歳の方に対する相談窓口と気軽に立ち寄れる居場所の提供 | 4.4% |
| 10 「大田区ひきこもり支援室SAPOTA（サポタ）」：ひきこもり状態にあるご本人やご家族が抱える悩みを、一緒に考え、サポートする無料の相談窓口 | 3.1% |
| 11 「Minto Ota（みんとおた）おた国際交流センター」：外国人区民などが多言語で生活相談できる窓口や、国際交流や多文化共生を推進する団体が活動する会議室、様々な国や地域の情報を掲示したコーナーを備えた施設 | 3.9% |
| 12 どれも知らない | 31.1% |
| 無回答 | 8.3% |

問 22 大田区の施策の中で、特に何に力を入れてほしいと思いますか。(〇はいくつでも) n=1,716

《基本目標1 未来を創り出す子どもたちが 夢と希望をもって健やかに育つまち》		《基本目標3 豊かな環境と産業の活力で 持続的に発展するまち》	
1	児童福祉（子育て支援・保育等） 51.6%	21	環境と産業の両立 35.8%
2	青少年の健全育成 29.7%	22	脱炭素化の推進 14.2%
3	母子保健（妊娠・出産支援） 30.8%	23	地球温暖化対策 39.5%
4	学校教育 43.5%	24	自然共生社会 23.1%
《基本目標2 文化を伝え育み誰もが笑顔で いきいき暮らすまち》		25	生物多様性の保全・再生 15.3%
5	高齢者福祉 44.1%	26	ごみ減量・リサイクルの推進 42.7%
6	権利擁護の支援 6.7%	27	産業振興 14.9%
7	男女共同参画の推進 11.4%	28	観光振興 12.3%
8	多様性の理解促進 12.8%	《基本目標4 安全・安心で活気とやすらぎの ある快適なまち》	
9	障がい者（児）福祉 20.7%	29	防災対策 67.7%
10	低所得世帯の援護 24.0%	30	防犯対策 68.4%
11	地域共生社会の推進 8.7%	31	消費生活相談・対策 13.6%
12	地域活動活性化の推進 10.5%	32	都市再開発の推進 9.4%
13	ユニバーサルデザインのまちづくり 11.5%	33	公共交通網の整備 26.5%
14	多文化共生の推進 6.8%	34	道路の整備 34.6%
15	国際交流の推進 10.1%	35	交通安全対策 33.9%
16	保険・健康（休日診療を含む） 45.7%	36	住宅対策 20.6%
17	食の安全・安心の確保 34.9%	37	生活環境対策 20.8%
18	スポーツの振興 20.3%	38	空港臨海部のまちづくり 7.3%
19	文化事業の推進 16.4%	39	公園・児童遊園の整備 29.7%
20	生涯学習の推進 23.1%	40	緑化推進 32.5%
	※生涯学習：生涯にわたって文化、スポーツ などをさまざまな学んでいく学習活動	41	その他の施策（具体的に ） 2.7%
		42	特にない 1.0%
			無回答 1.7%

問 23 あなたは、どんな目的で大田区の施設を利用することが多いですか。(○は3つまで) n = 1,716

1	生活や仕事を営むうえで必要な手続きなどのため	60.7%
2	個人的な困りごとについて相談し、助言を受けるため	7.9%
3	自分の生活をより豊かにするため(健康増進、生涯学習、芸術鑑賞など)	25.0%
4	区政を含む行政情報や、地域情報を積極的に収集するため	4.6%
5	区政に何らかの形で積極的に参加するため	0.9%
6	区民どうし又は地域、団体等との交流を図るため	3.5%
7	自分が(又は家族と一緒に)気軽にのんびり過ごすため	13.8%
8	その他(具体的に)	2.1%
9	区の施設をほとんど利用しないのでわからない	20.2%
	無回答	2.9%

問 24 あなたは区政に関する情報を知りたいとき、それぞれの媒体をどの程度利用して(見て)いますか。(○はそれぞれ1つ) n = 1,716

	よく利用している	たまに利用している	利用したことがある	利用したことがない	わからない	無回答
回答例 ⇒	1	2	3	4	5	
(1) おおた区報	23.0%	25.4%	23.0%	21.0%	4.3%	3.2%
(2) 大田区ホームページ	5.1%	29.1%	31.9%	22.6%	3.9%	7.5%
(3) 大田区公式 SNS (X、LINE など)	1.8%	5.0%	9.1%	67.1%	7.8%	9.3%
(4) 大田区公式チャンネル (YouTube)	0.1%	0.8%	4.2%	77.1%	8.4%	9.4%
(5) ケーブルテレビ番組 (「おおたシティニュース」)	0.5%	2.4%	5.1%	74.3%	8.6%	9.1%
(6) デジタルサイネージ (電子掲示板)	—	0.8%	4.5%	72.5%	12.1%	10.0%
(7) 冊子「くらしのガイド」	1.6%	6.0%	18.5%	54.8%	10.5%	8.5%
(8) おおたふれあい情報 (区施設や区の掲示板に掲示してある月替わりのポスター)	2.2%	8.4%	15.4%	54.0%	12.1%	7.9%

問 25 あなたは、必要な区政情報が区報や区のホームページなどを通じてわかりやすく届いていると感じていますか。(○は1つだけ) n=1,716

1	感じている	9.8%	3	あまり感じていない	27.6%	5	どちらともいえない	22.5%
2	やや感じている	25.5%	4	感じていない	12.4%		無回答	2.2%

問 26 行政手続のオンライン化により、大田区の行政手続は以前に比べて便利になったと感じていますか。(○は1つだけ) n=1,716

1	感じている	10.0%	3	あまり感じていない	23.3%	5	どちらともいえない	25.5%
2	やや感じている	27.3%	4	感じていない	11.1%		無回答	2.9%

問 27 あなたは、大田区の職員の窓口や電話での対応についてどのように感じていますか。(○は1つだけ) n=1,716

1	良い	22.3%	3	どちらかという悪い	5.6%	5	わからない	33.3%
2	どちらかという良い	34.2%	4	悪い	2.2%		無回答	2.4%

問 28 あなたは、何らかの機会や手段を通じて大田区政に参加したいと思いますか。(○は1つだけ) n=1,716

※ここでの「区政への参加」とは、大田区が実施する区民向けのワークショップや委員会、審議会などの公募委員、区民意見公募手続き（パブリックコメント）への参加のほか、窓口・電話・メールなどを通じた区への意見・要望、住民説明会・意見交換会・シンポジウム・フォーラムへの参加、アンケートへの回答など、区が関係する幅広い機会・手段を指すものとします。

1	そう思う	7.0%
2	どちらかといえばそう思う	24.4%
3	どちらかといえばそう思わない	18.4%
4	そう思わない	21.0%
5	わからない	26.5%
	無回答	2.7%

(問 28 で、「3」または「4」と回答した方に)

→ 問 28-1 そのように思った理由は何ですか。(○はいくつでも) n=677

1	区政に関心がないから	12.0%
2	区政のことはよくわからないから	28.7%
3	区民の意見が反映されとは思わないから	20.7%
4	どのように参加してよいかわからないから	19.4%
5	時間に余裕がなく参加できとは思わないから	46.2%
6	自分には参加するための知識や経験がないと思うから	36.5%
7	その他（具体的に)	3.5%
	無回答	0.4%

自由意見

大田区政についてのご意見・ご要望がありましたら、どのようなことでも結構ですので、ご記入ください。

フェイスシート

- これまでのお答えの内容を統計的に分類するために必要なことをおたずねします。
あなたご自身のことについて、さしさわりのない範囲でお答えください。

F 1 性別／戸籍上の性別に関係なく、ご自身の主観でお答えください。(○は1つだけ) n=1,716

1 男性	40.2%	2 女性	50.8%	無回答	9.0%
------	-------	------	-------	-----	------

F 2 国籍／あなたの国籍はどちらですか。(○は1つだけ) n=1,716

1 日本	89.3%	2 日本以外	2.0%	無回答	8.7%
------	-------	--------	------	-----	------

F 3 年齢／あなたの年齢は満でいくつですか。(○は1つだけ) n=1,716

1 18～19歳	1.0%	4 40～49歳	14.3%	7 60～64歳	7.5%	10 75歳以上	12.3%
2 20～29歳	8.6%	5 50～54歳	9.0%	8 65～69歳	7.3%	無回答	9.1%
3 30～39歳	13.6%	6 55～59歳	9.3%	9 70～74歳	8.0%		

F 4 住居形態／住宅の種類は、次のどれでしょうか。(○は1つだけ) n=1,716

持ち家	1 一戸建て	35.4%
	2 集合住宅	22.4%
借家	3 一戸建て	2.0%
	4 民間・木造アパート	4.7%
	5 民間・鉄筋アパート・マンション	21.4%
	6 公社・都市再生機構（旧公団）・公営住宅	2.4%
	7 社宅・官舎	1.8%
	8 間借り・寮・住み込み	0.6%
	無回答	9.2%

F 5 同居家族／現在一緒に暮らしているご家族の中で、あなたご自身を含めて、あてはまる方をすべて挙げてください。 n=1,716

1 小学校入学前の児童	7.9%	4 寝たきりの方や身体の不自由な方	3.3%
2 小学生	9.2%	5 あてはまる人はいない	38.9%
3 65歳以上の方	37.0%	無回答	9.9%

F 6 ライフステージ／人生にはさまざまな段階がありますが、現在のあなたご自身は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ) n=1,716

独 身	1 本人 18～39 歳	12.4%
	2 本人 40～64 歳	9.8%
	3 本人 65 歳以上	6.9%
子どものいない夫婦	4 本人 18～39 歳	3.7%
	5 本人 40～64 歳	5.5%
	6 本人 65 歳以上	3.6%
子どものいる人 (別居も含む)	7 一番上の子どもが入学前	5.7%
	8 一番上の子どもが小・中学生	8.6%
	9 一番上の子どもが高校・大学生	7.0%
	10 本人が 64 歳以下で、一番上の子どもが学校卒業	10.2%
	11 本人が 65 歳以上で、一番上の子どもが学校卒業	15.2%
	無回答	11.5%

F 7 あなたのお住まいの地域はどちらですか。各地域の()内は、管轄する特別出張所です。
(○は1つだけ) n=1,716

1 大森地域 (大森東、大森西、入新井、馬込、池上、新井宿)	31.8%
2 調布地域 (嶺町、田園調布、鷺の木、久が原、雪谷、千束)	25.4%
3 蒲田地域 (六郷、矢口、蒲田西、蒲田東)	25.4%
4 糀谷・羽田地域 (糀谷、羽田)	8.2%
無回答	9.3%

Ⅲ 調査結果の分析

Ⅲ 調査結果の分析

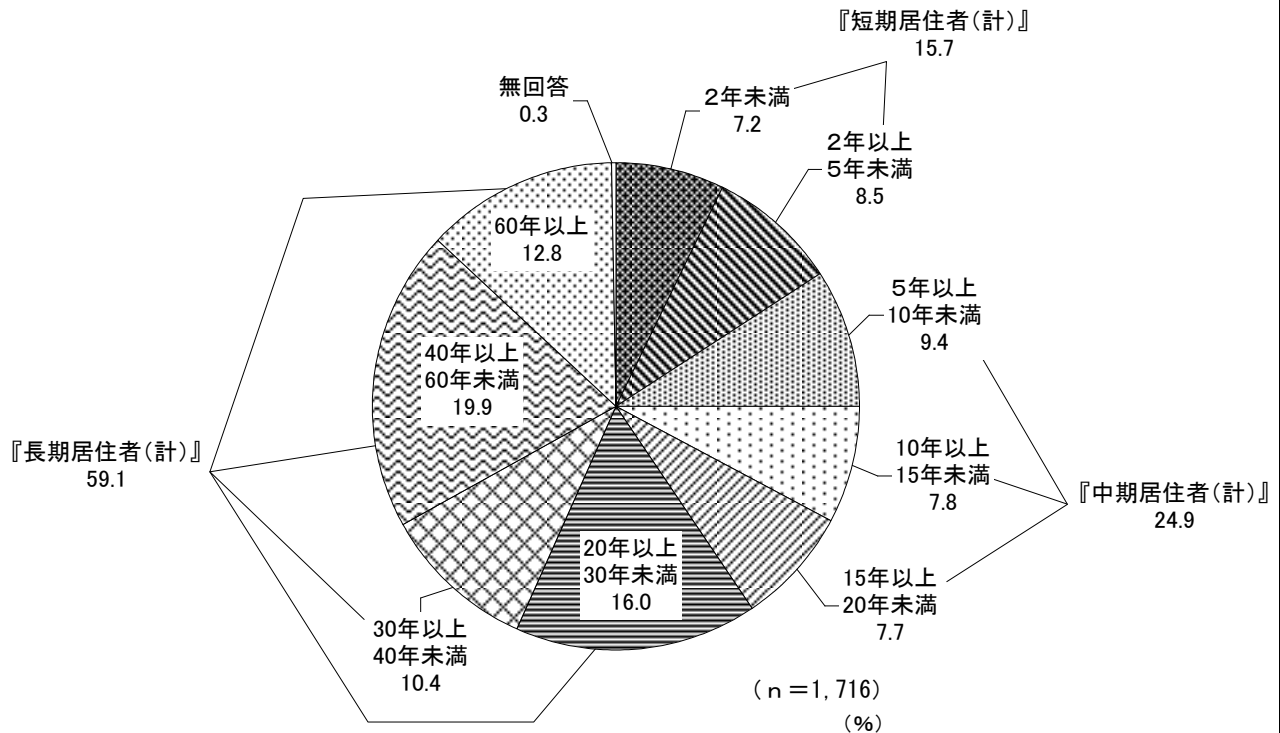
1. 定住性

(1) 居住年数

◇20年以上住んでいる方を表す『長期居住者（計）』は約6割

問1 あなたは、大田区にお住まいになって何年ですか。（○は1つだけ）

図1-1-1



※『長期居住者（計）』：居住年数20年以上

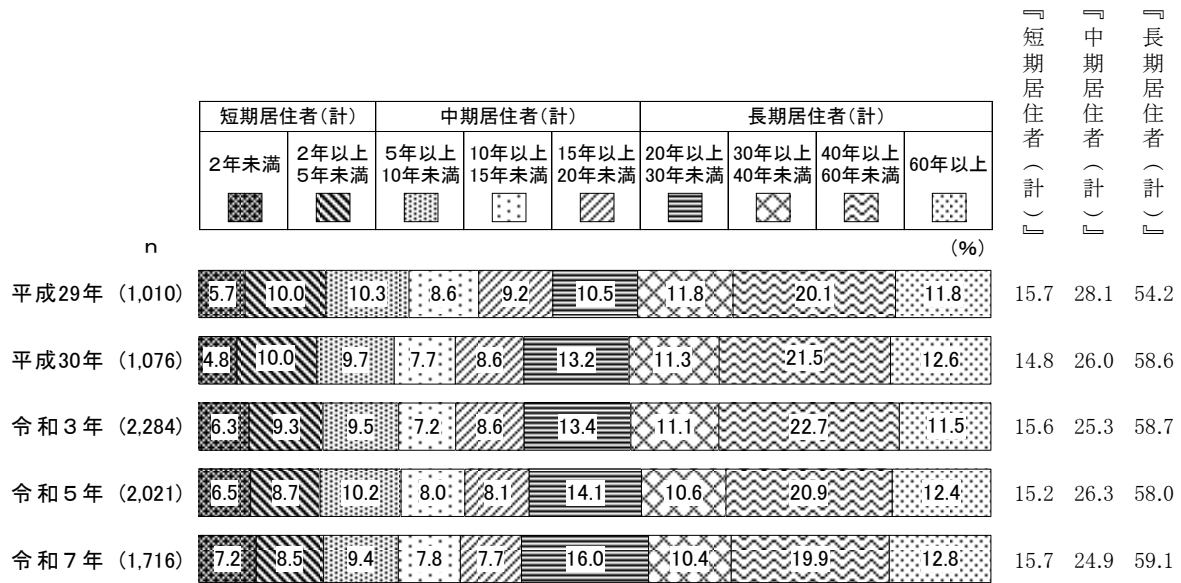
『中期居住者（計）』：居住年数5年以上20年未満

『短期居住者（計）』：居住年数5年未満

居住年数を聞いたところ、「40年以上60年未満」（19.9%）が2割で最も高く、これに「20年以上30年未満」（16.0%）、「30年以上40年未満」（10.4%）、「60年以上」（12.8%）を合わせた『長期居住者（計）（居住年数20年以上）』（59.1%）は約6割となっている。「5年以上10年未満」（9.4%）、「10年以上15年未満」（7.8%）、「15年以上20年未満」（7.7%）を合わせた『中期居住者（計）（居住年数5年以上20年未満）』（24.9%）は2割半ばで、「2年未満」（7.2%）と「2年以上5年未満」（8.5%）を合わせた『短期居住者（計）（居住年数5年未満）』（15.7%）は1割半ばとなっている。

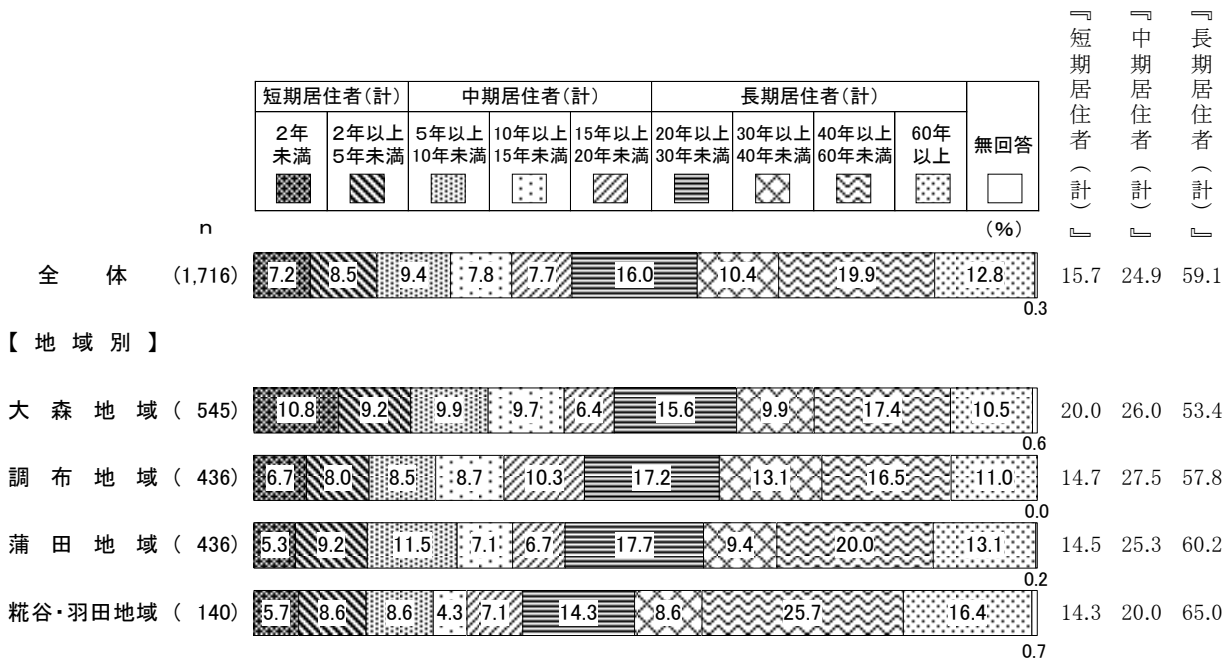
（図1-1-1）

図 1-1-2 居住年数一経年比較



経年比較をみると、前回調査から傾向の変化はみられない。(図 1-1-2)

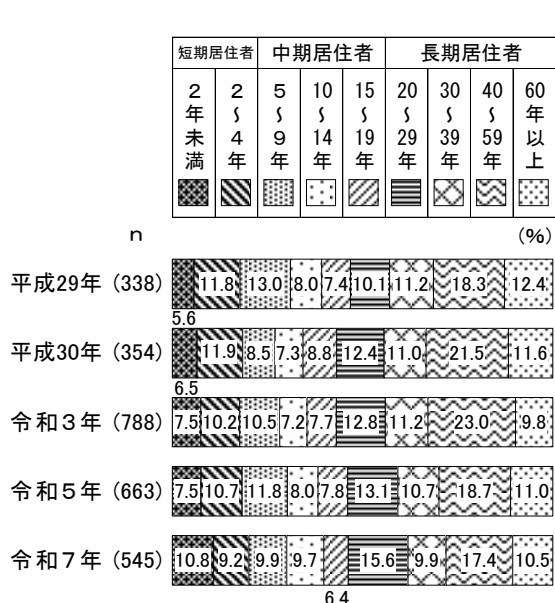
図 1-1-3 居住年数一地域別



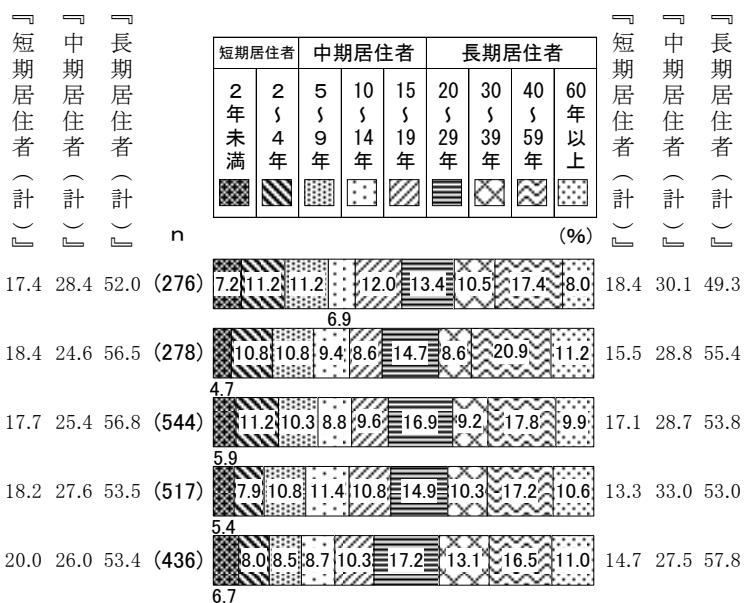
地域別でみると、『長期居住者(計)』は糀谷・羽田地域(65.0%)で6割半ばと高くなっている。『中期居住者(計)』は調布地域(27.5%)で3割近くと高くなっている。『短期居住者(計)』は大森地域(20.0%)で2割と高くなっている。(図 1-1-3)

図 1-1-4 居住年数—地域別（経年比較）

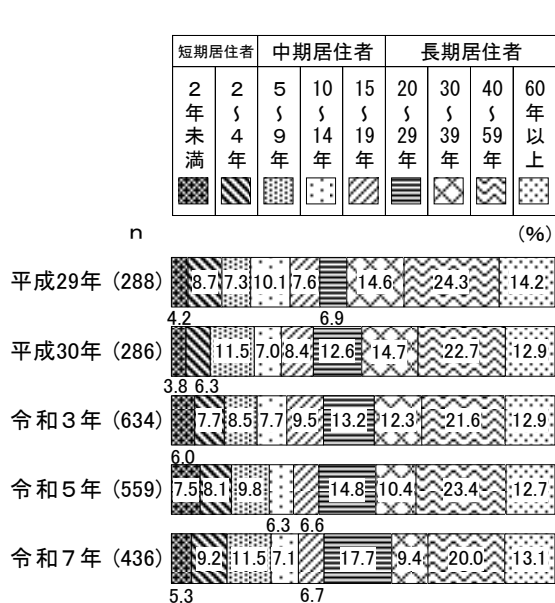
【大森地域】



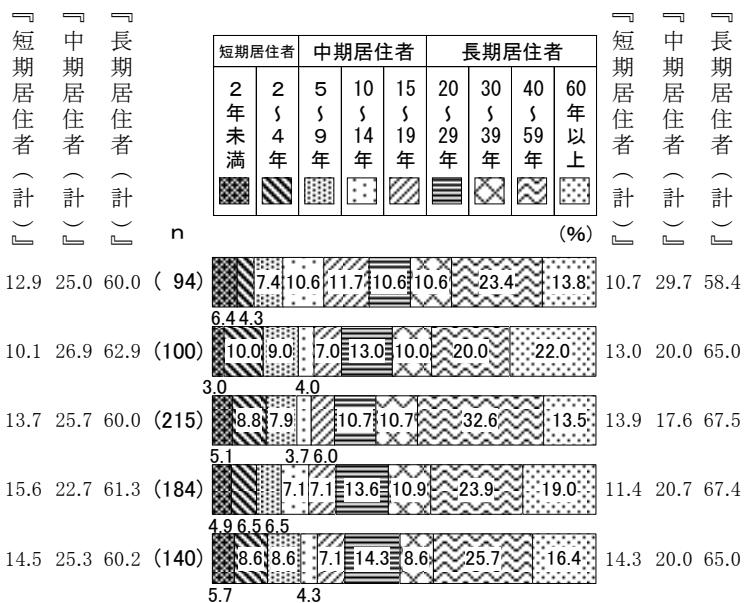
【調布地域】



【蒲田地域】



【糀谷・羽田地域】



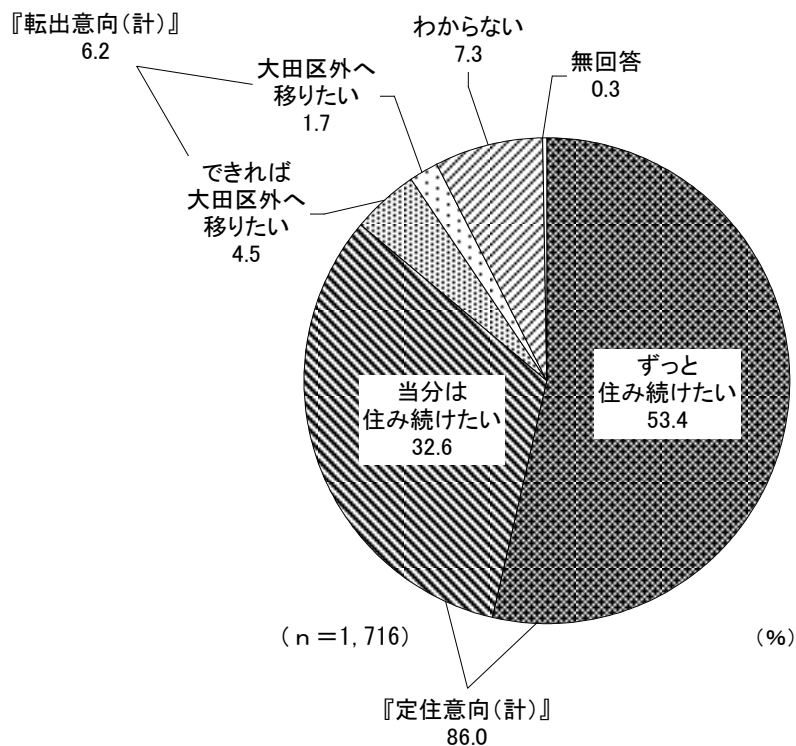
地域別で経年比較をみると、『長期居住者（計）』は調布地域で前回より4.8ポイント増加している。『中期居住者（計）』は調布地域で前回より5.5ポイント減少している。（図1-1-4）

(2) 定住意向

◇「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合わせた『定住意向（計）』は8割半ば

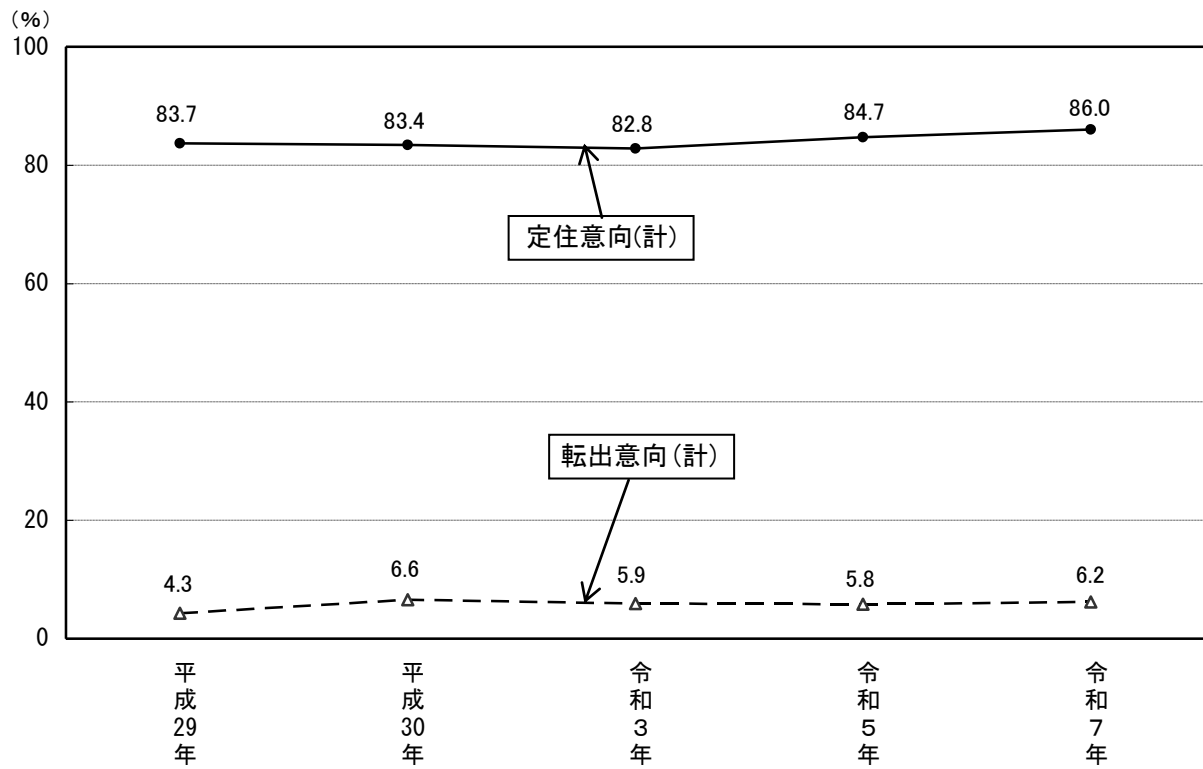
問2 あなたは、これからも大田区に住みたいと思いますか。(○は1つだけ)

図1-2-1



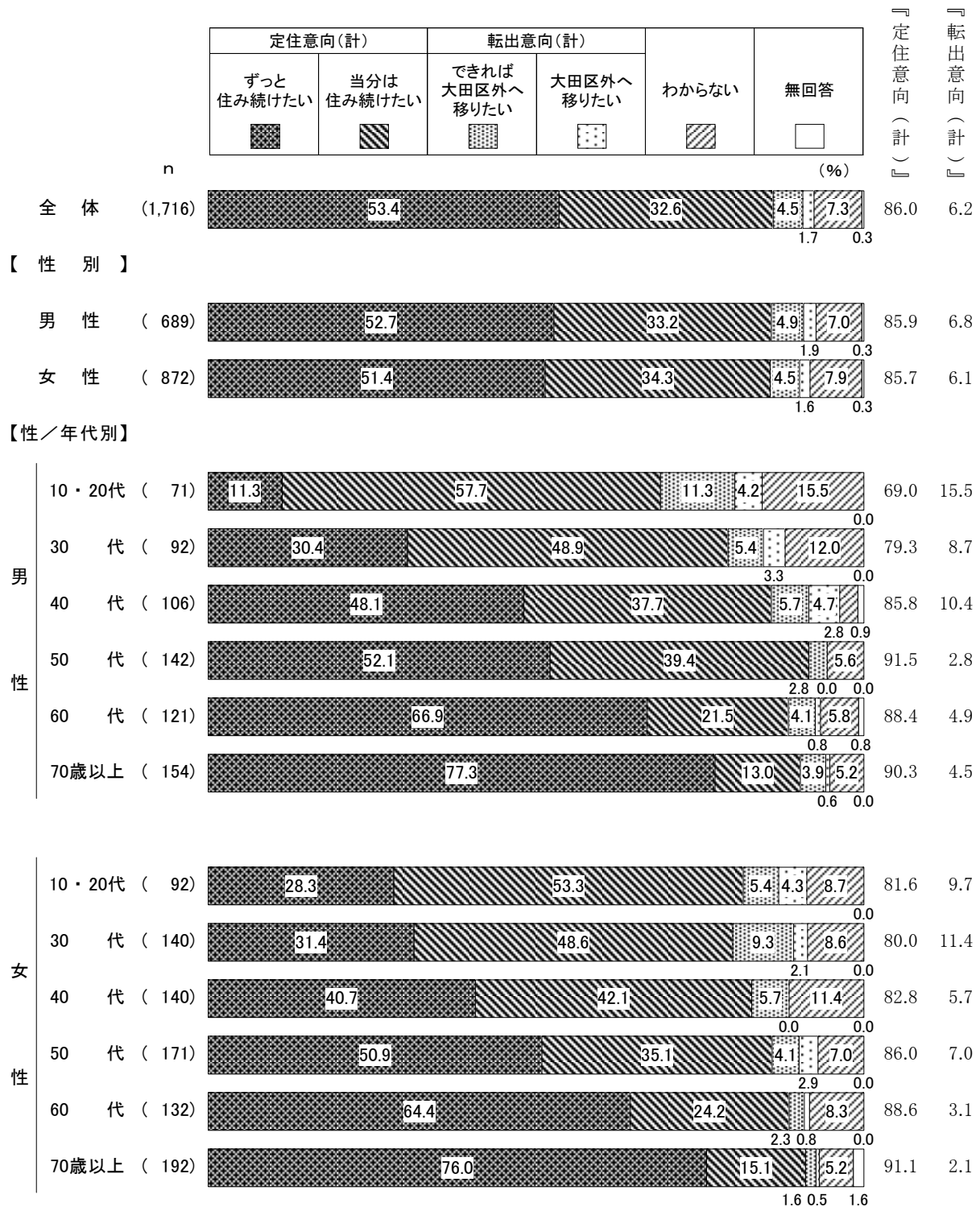
定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(53.4%)が5割を超えて最も高く、これに「当分は住み続けたい」(32.6%)を合わせた『定住意向（計）』(86.0%)は8割半ばとなっている。一方、「できれば大田区外へ移りたい」(4.5%)と「大田区外へ移りたい」(1.7%)を合わせた『転出意向（計）』(6.2%)は1割未満となっている。(図1-2-1)

図 1-2-2 定住意向－経年比較



経年比較をみると、『定住意向（計）』は平成29年以降8割台で推移している。（図1-2-2）

図 1-2-3 定住意向一性／年代別

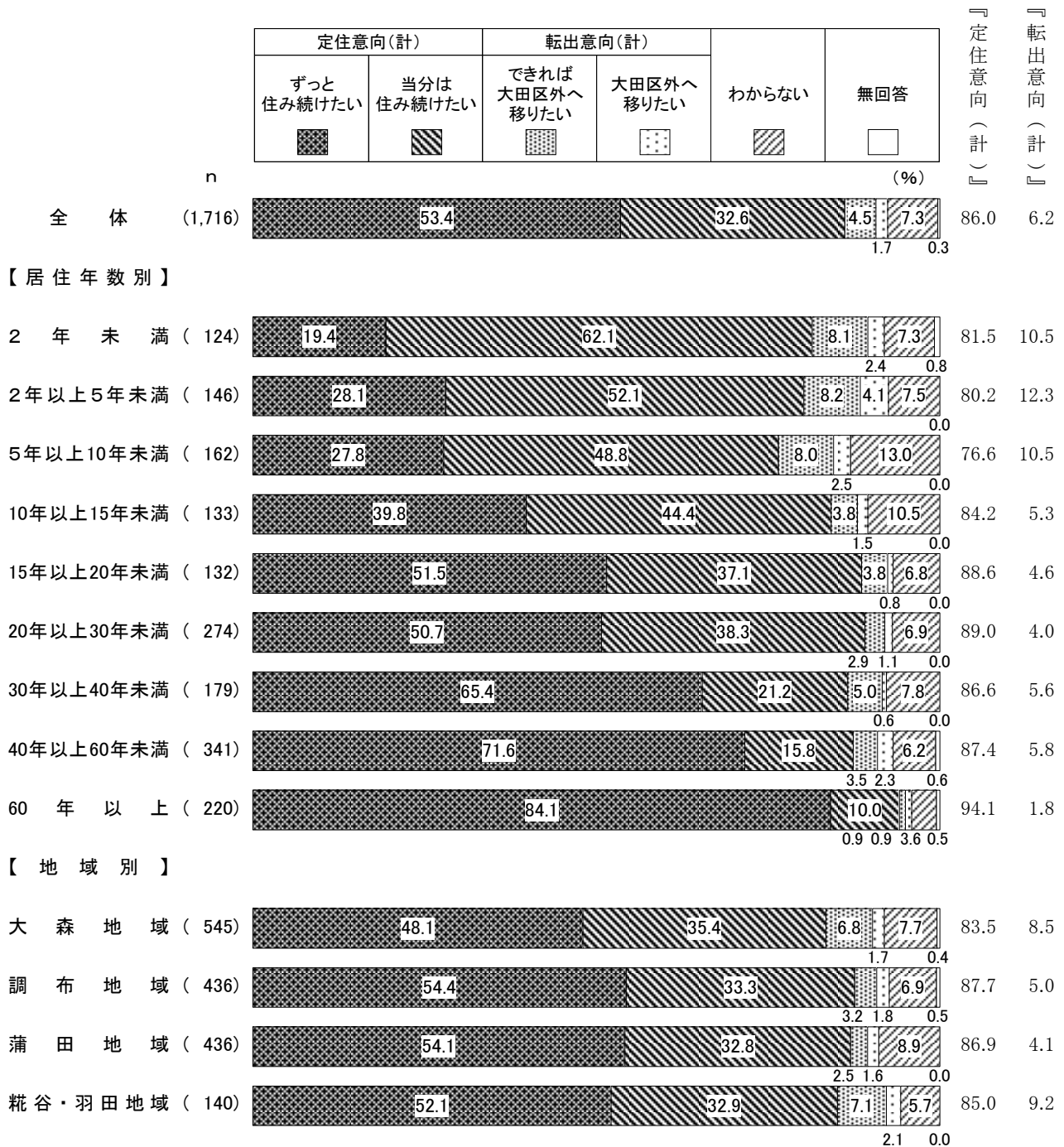


性別でみると、大きな違いはみられない。

性／年代別でみると、「ずっと住み続けたい」は男女ともに年代が高くなるほど割合が高く、男性70歳以上（77.3%）で8割近く、女性70歳以上（76.0%）で7割半ばとなっている。『定住意向（計）』は男性50代（91.5%）と女性70歳以上（91.1%）で9割を超えて高くなっている。

（図 1-2-3）

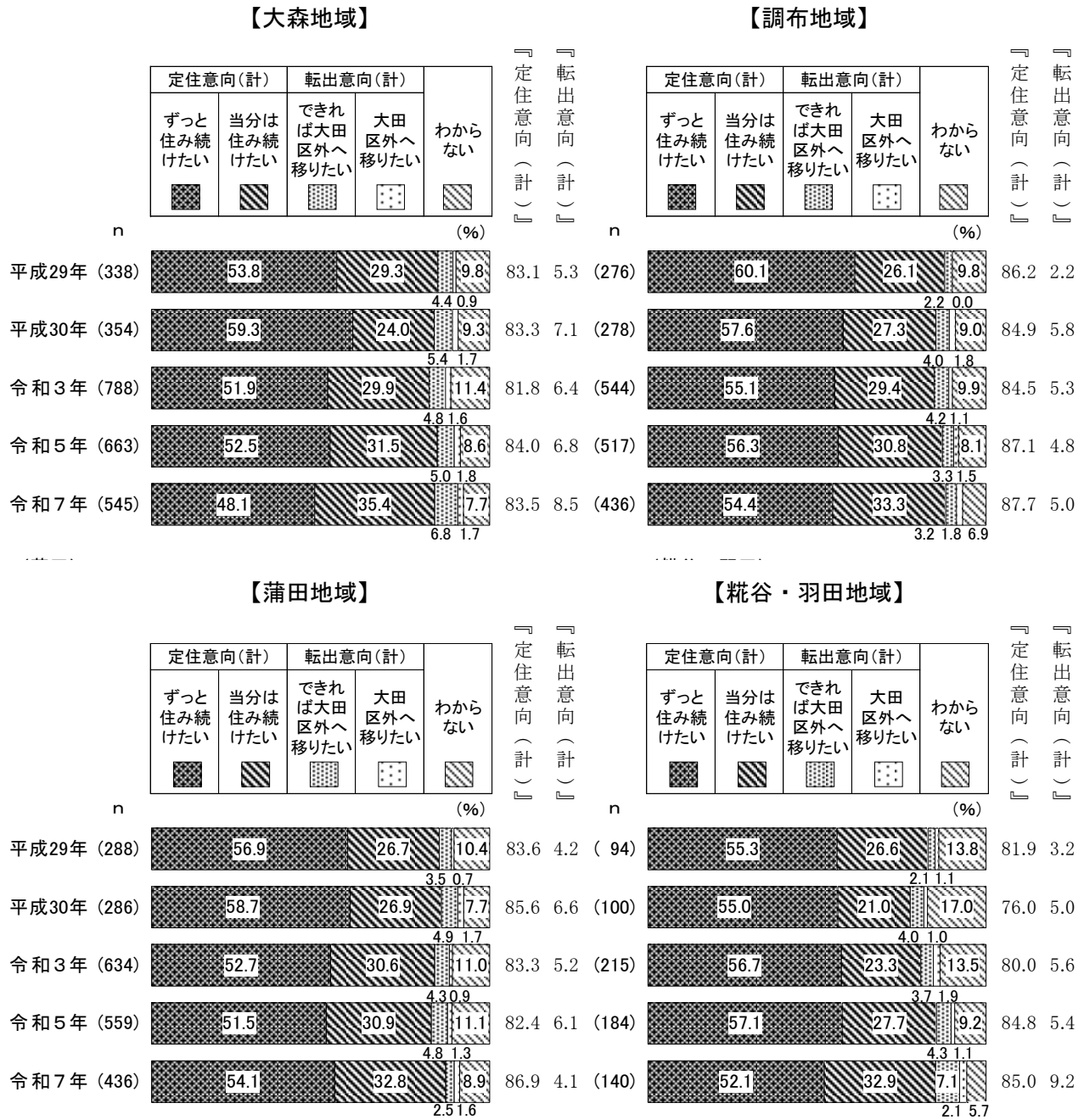
図 1-2-4 定住意向－居住年数別、地域別



居住年数別でみると、「ずっと住みたい」はおおむね居住年数が長くなるほど割合が高く、“居住年数60年以上”（84.1％）で8割半ばとなっている。『定住意向（計）』は“居住年数60年以上”（94.1％）で9割半ばと高くなっている。

地域別でみると、『定住意向（計）』は調布地域（87.7％）と蒲田地域（86.9％）で9割近くと高くなっている。（図1-2-4）

図 1-2-5 定住意向—地域別（経年比較）



地域別で経年比較をみると、『定住意向（計）』は蒲田地域で前回より4.5ポイント増加している。一方、『転出意向（計）』は糀谷・羽田地域で前回より3.8ポイント増加している。（図1-2-5）

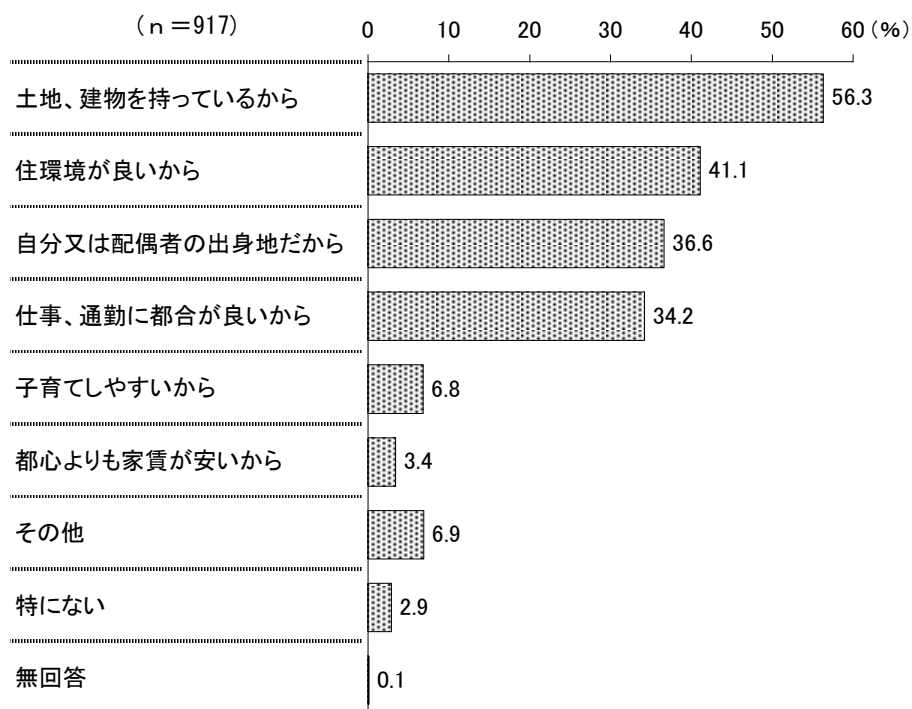
(3) ずっと住み続けたい理由

◇「土地、建物を持っているから」が5割半ば

(問2で、「ずっと住み続けたい」と回答した方に)

問2-1 「ずっと住み続けたい」理由は何ですか。(〇はいくつでも)

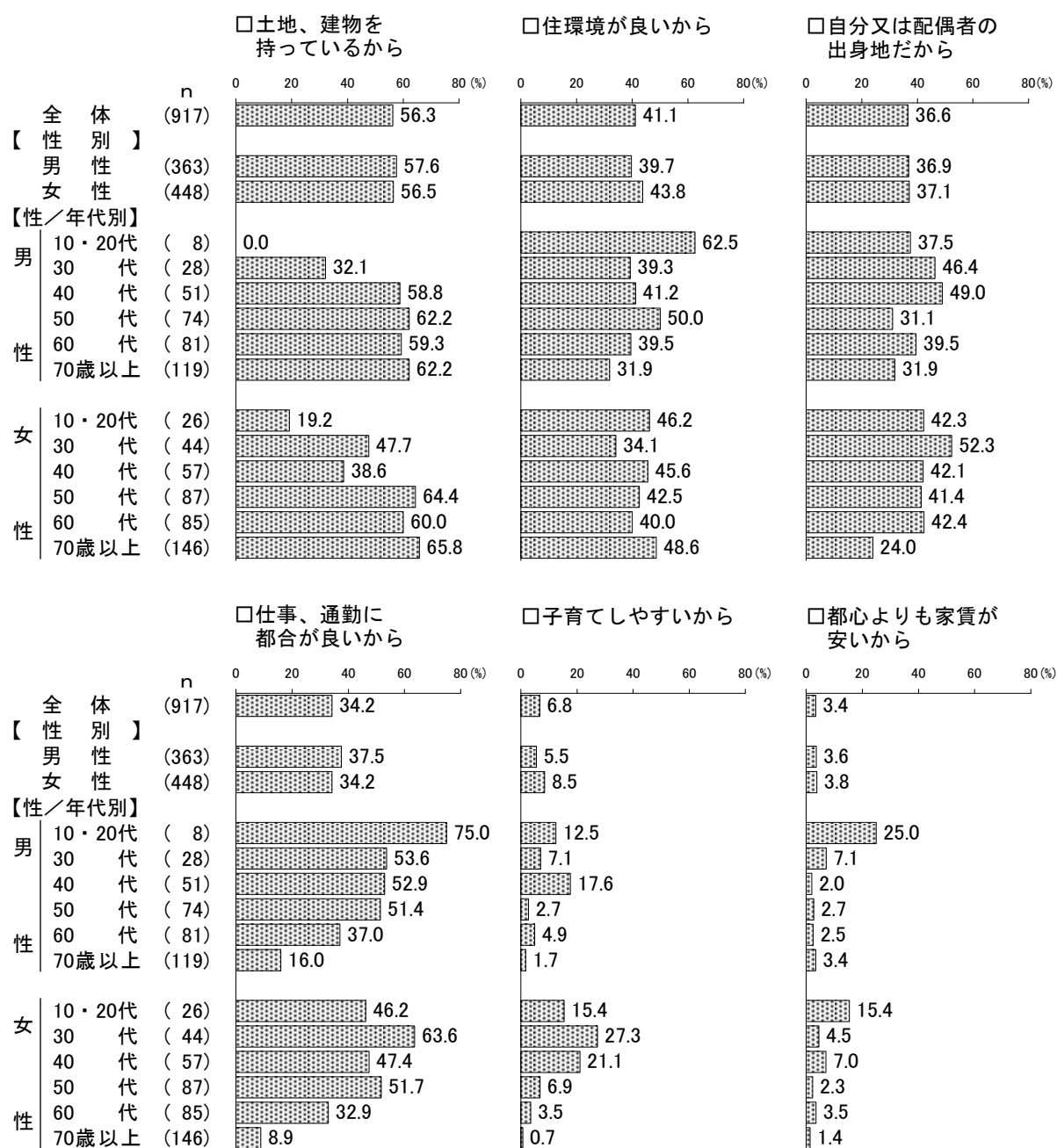
図1-3-1



これからも大田区に「ずっと住み続けたい」と答えた人(917人)に、その理由を聞いたところ、「土地、建物を持っているから」(56.3%)が5割半ばで最も高く、次いで「住環境が良いから」(41.1%)、「自分又は配偶者の出身地だから」(36.6%)、「仕事、通勤に都合が良いから」(34.2%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「交通の便が良い」、「生活するのに便利」、「家族や友人が住んでいる」などがあげられている。(図1-3-1)

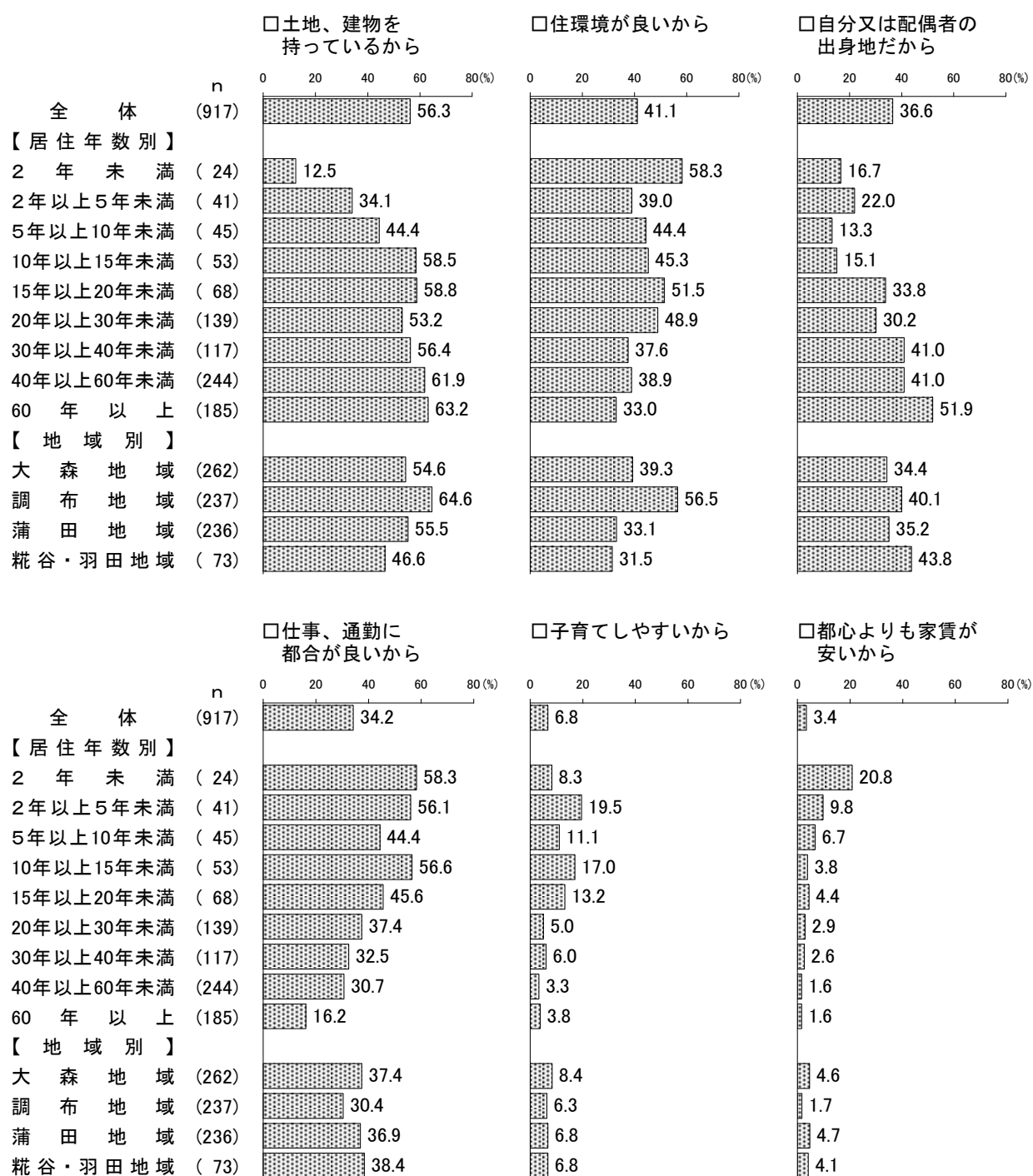
図 1-3-2 ずっと住み続けたい理由－性／年代別



性別でみると、「住環境が良いから」は女性（43.8％）が男性（39.7％）より4.1ポイント高くなっている。一方、「仕事、通勤に都合が良いから」は男性（37.5％）が女性（34.2％）より3.3ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「土地、建物を持っているから」は女性50代（64.4％）と女性70歳以上（65.8％）で6割半ばと高くなっている。「仕事、通勤に都合が良いから」は女性30代（63.6％）で6割を超えて高くなっている。（図1-3-2）

図 1-3-3 ずっと住みたい理由—居住年数別、地域別



居住年数別でみると、「土地、建物を持っているから」は“居住年数40年以上60年未満”（61.9%）と“居住年数60年以上”（63.2%）で6割を超えて高くなっている。「仕事、通勤に都合が良いから」は“居住年数10年以上15年未満”（56.6%）で6割近くと高くなっている。

地域別でみると、「土地、建物を持っているから」は調布地域（64.6%）で6割半ばと高くなっている。「住環境が良いから」は調布地域（56.5%）で6割近くと高くなっている。（図 1-3-3）

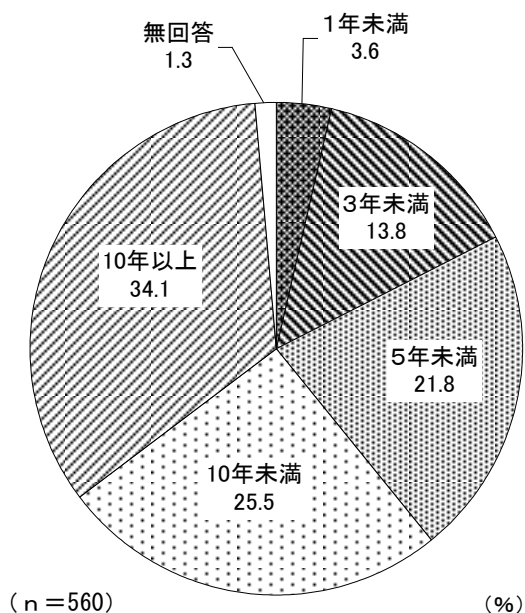
(4) 当分は住み続けたい期間

◇「10年以上」が3割半ば

(問2で、「当分は住み続けたい」と回答した方に)

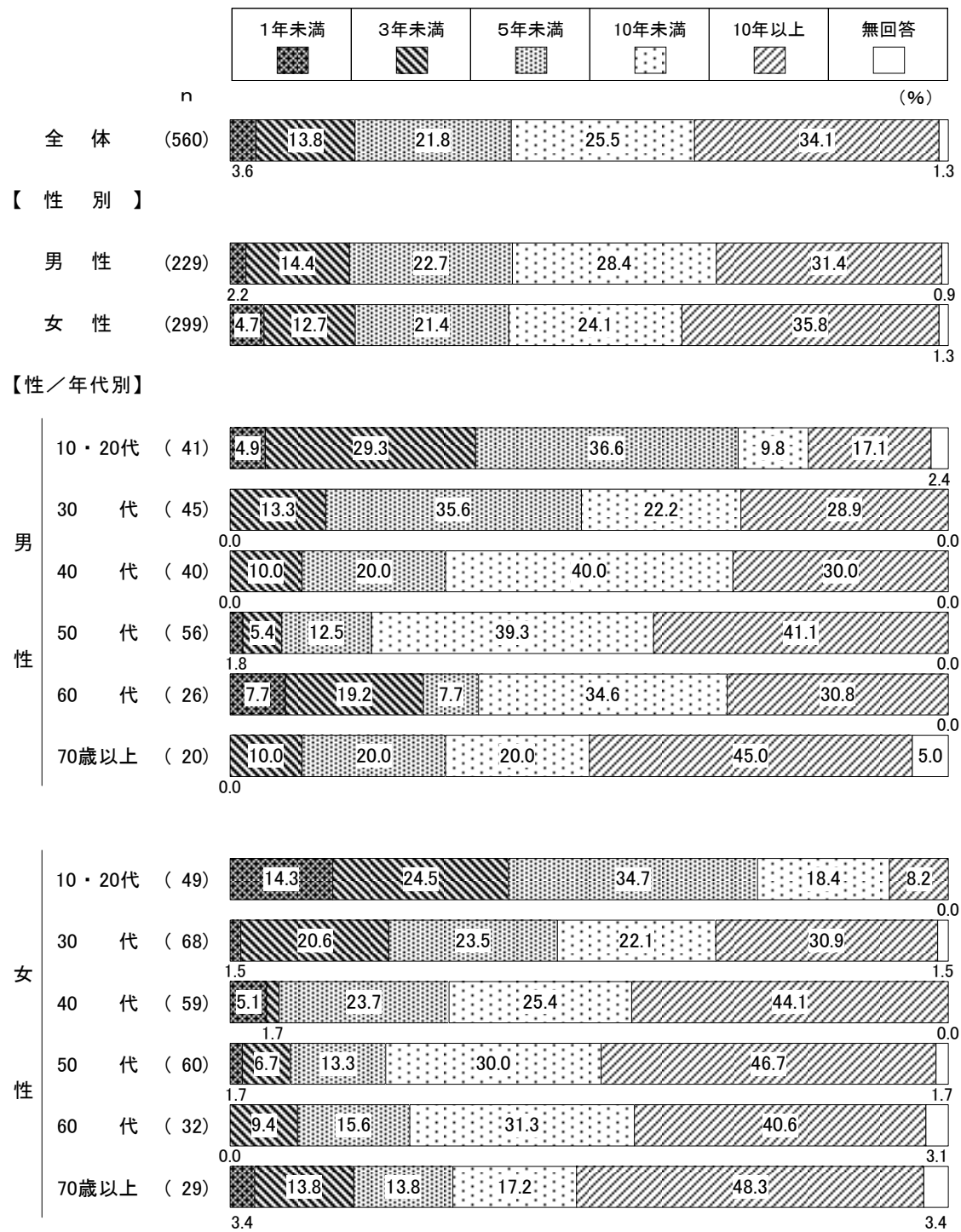
問2-2 「当分は住み続けたい」とはどのくらいの期間で理由は何ですか。(○は1つだけ)

図1-4-1



大田区に「当分は住み続けたい」と答えた人(560人)に、それはどのくらいの期間か聞いたところ、「10年以上」(34.1%)が3割半ばで最も高く、次いで「10年未満」(25.5%)、「5年未満」(21.8%)、「3年未満」(13.8%)などの順になっている。(図1-4-1)

図 1-4-2 当分は住み続けたい期間－性／年代別



性別でみると、「10年以上」は女性（35.8%）が男性（31.4%）より4.4ポイント高くなっている。一方、「10年未満」は男性（28.4%）が女性（24.1%）より4.3ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「5年未満」は男性10・20代（36.6%）で4割近くと高くなっている。「10年未満」は男性40代（40.0%）と男性50代（39.3%）で約4割と高くなっている。「10年以上」は女性50代（46.7%）と女性70歳以上（48.3%）で5割近くと高くなっている。（図1-4-2）

また、「当分は住み続けたい」と答えた理由については、437人から472件の回答があった。住み続けたい期間別に分類して整理した結果は以下のとおりである。

①「1年未満」と答えた理由（計17件）

- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 5件
- 実家や出身地に戻りたい、戻る予定があるから…………… 2
- 転居の予定や可能性のあるから…………… 2
- 転勤・転職の可能性のあるから…………… 2
- マンション等の更新の都合があるから…………… 2
- 結婚したら転居する可能性のあるから…………… 1
- その他…………… 3

②「3年未満」と答えた理由（計64件）

- 仕事や通勤・通学の都合…………… 15件
- 転居の予定や可能性のあるから…………… 9
- 住みやすい、住み慣れている、利便性が良いから…………… 6
- 特に引っ越す理由がないから…………… 6
- 家賃や住宅購入費が高いから…………… 5
- 子どもの成長や学校の都合に合わせたいから…………… 4
- 転勤・転職の可能性のあるから…………… 3
- 社宅だから…………… 2
- 他の場所に住んでみたい、居住環境を変えたいから…………… 2
- マンション等の更新の都合があるから…………… 2
- その他…………… 10

③「5年未満」と答えた理由（計110件）

- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 16件
- 住みやすい、住み慣れている、利便性が良いから…………… 14
- 交通の便が良いから…………… 10
- 子どもの成長や学校の都合に合わせたいから…………… 7
- 転勤・転職の可能性のあるから…………… 7
- 他の場所に住んでみたい、居住環境を変えたいから…………… 6
- 家賃や住宅購入費が高いから…………… 6
- 実家や出身地に戻りたい、戻る予定があるから…………… 4
- 土地、建物を持っているから…………… 3
- 退職するまでは住みたいから…………… 3
- 地方への移住を考えているから…………… 3
- 保育園に通っているから…………… 3
- 引っ越す理由や予定がないから…………… 3
- 家賃が安いから…………… 3
- 将来的にライフスタイルが変わると思うから…………… 2
- 進学・就職・独立するため…………… 2
- 賃貸物件だから…………… 2
- 治安が良いから…………… 2
- その他…………… 14

④「10年未満」と答えた理由（計117件）

- 子どもの成長や学校の都合に合わせたいから…………… 19件
- 住みやすい、住み慣れている、利便性が良いから…………… 18
- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 15
- 老後に転居する可能性があるから…………… 10
- 退職するまでは住みたいから…………… 6
- 親の介護の関係で…………… 5
- 交通の便が良いから…………… 5
- 実家や出身地に戻りたい、戻る予定があるから…………… 5
- 生まれ育った場所だから…………… 3
- 転居の予定や可能性があるから…………… 3
- 将来的にライフスタイルが変わると思うから…………… 3
- 家賃や住宅購入費が高いから…………… 2
- 結婚したら転居する可能性があるから…………… 2
- 自然環境が良くないから…………… 2
- その他…………… 19

⑤「10年以上」と答えた理由（計164件）

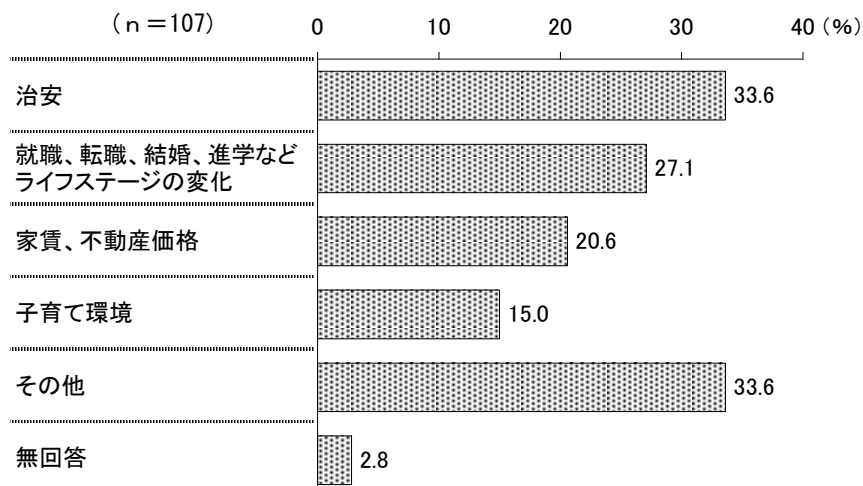
- 住みやすい、住み慣れている、利便性が良いから…………… 29件
- 子どもの成長や学校の都合に合わせたいから…………… 25
- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 21
- 交通の便が良いから…………… 15
- 家族・友人・親族がいるから…………… 9
- 土地、建物を持っているから…………… 9
- 年齢や健康状態によって転居する可能性があるから…………… 9
- 将来のことはわからないから…………… 7
- 実家や出身地に戻りたい、戻る予定があるから…………… 6
- 住環境が良いから…………… 6
- 退職するまでは住みたいから…………… 6
- 高齢だから…………… 4
- 他の場所に住んでみたいから…………… 3
- 不自由がなく、引っ越す理由が無いから…………… 2
- 家賃や住宅購入費が高いから…………… 2
- その他…………… 11

(5) 区外へ移りたい理由

◇「治安」が3割を超える

(問2で、「できれば大田区外へ移りたい」または「大田区外へ移りたい」と回答した方に)
問2-3 「大田区外へ移りたい」理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図1-5-1

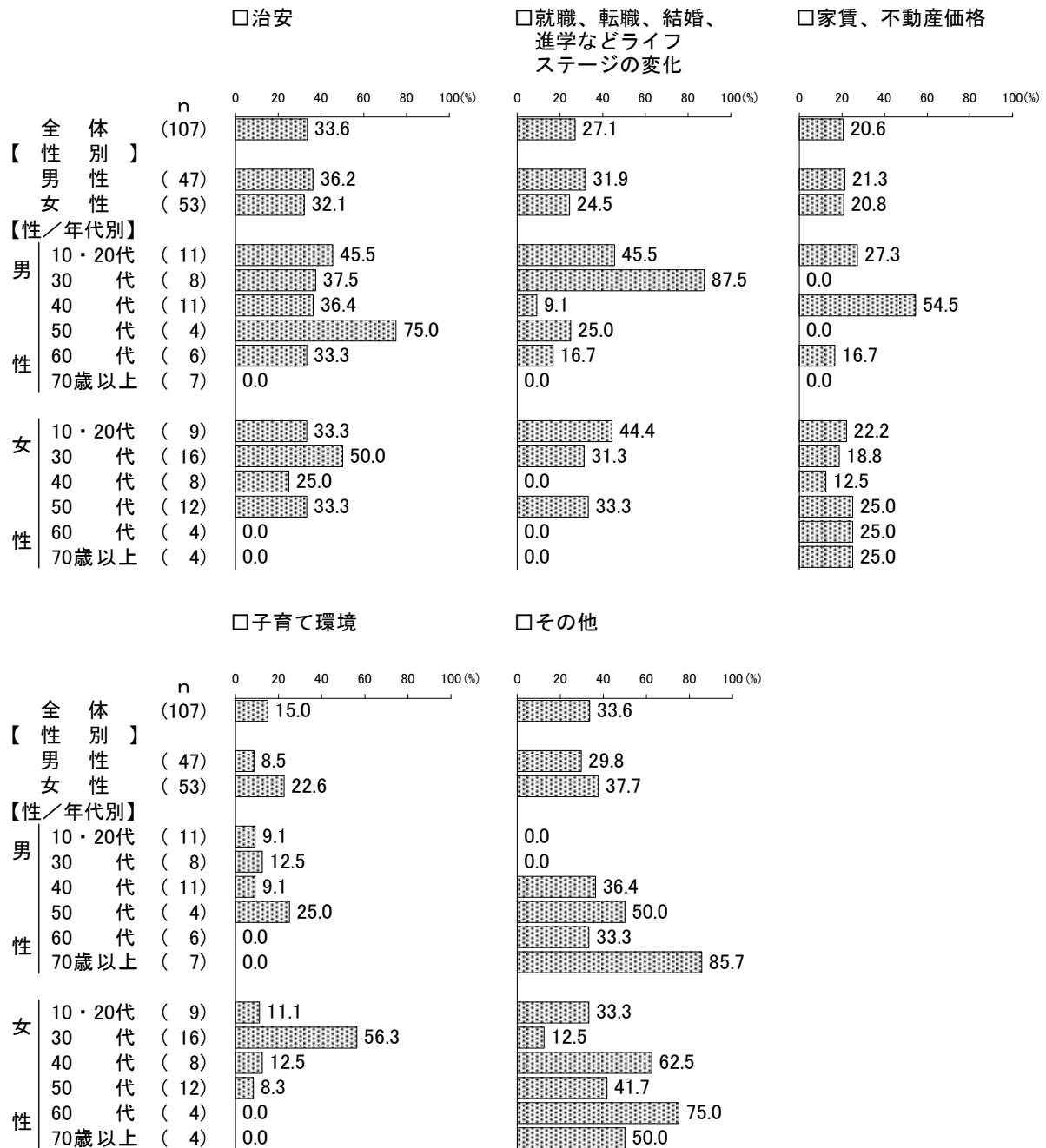


「できれば大田区外へ移りたい」または「大田区外へ移りたい」と答えた人(107人)に、その理由を聞いたところ、「治安」(33.6%)が3割を超えて最も高く、次いで「就職、転職、結婚、進学などライフステージの変化」(27.1%)、「家賃、不動産価格」(20.6%)、「子育て環境」(15.0%)の順になっている。

「その他」への回答として、「地方に住みたい」、「住みにくい」などがあげられている。

(図1-5-1)

図 1-5-2 区外へ移りたい理由－性／年代別



性別でみると、「子育て環境」は女性（22.6%）が男性（8.5%）より14.1ポイント高くなっている。一方、「就職、転職、結婚、進学などライフステージの変化」は男性（31.9%）が女性（24.5%）より7.4ポイント高くなっている。

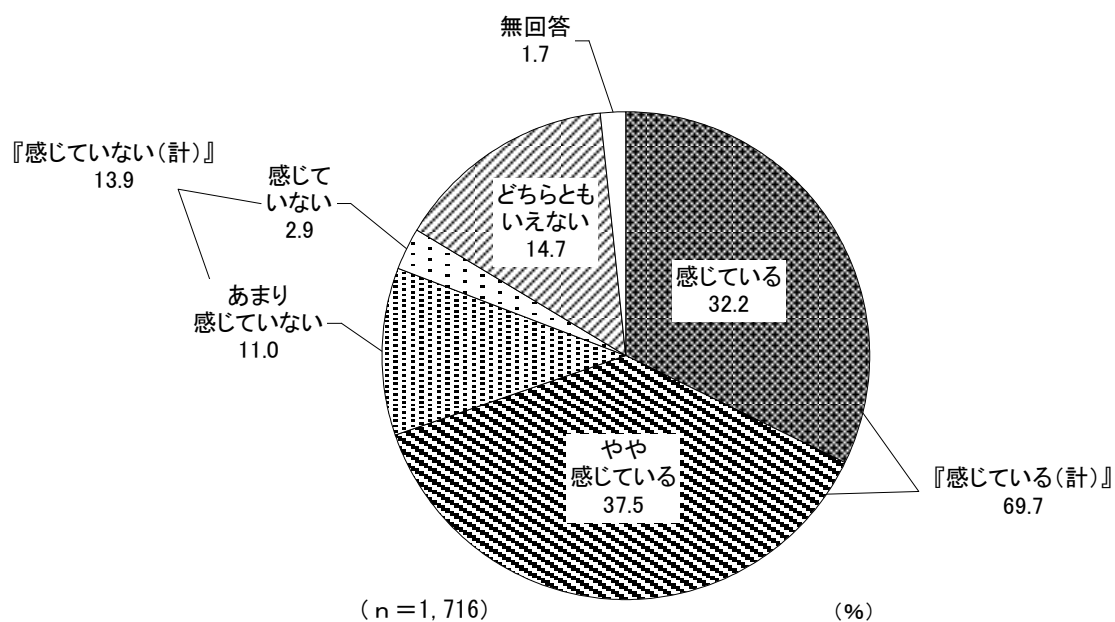
性／年代別は、基数が少ないため参考に図示する。（図 1-5-2）

(6) 住んでいるまちが魅力的か

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は7割

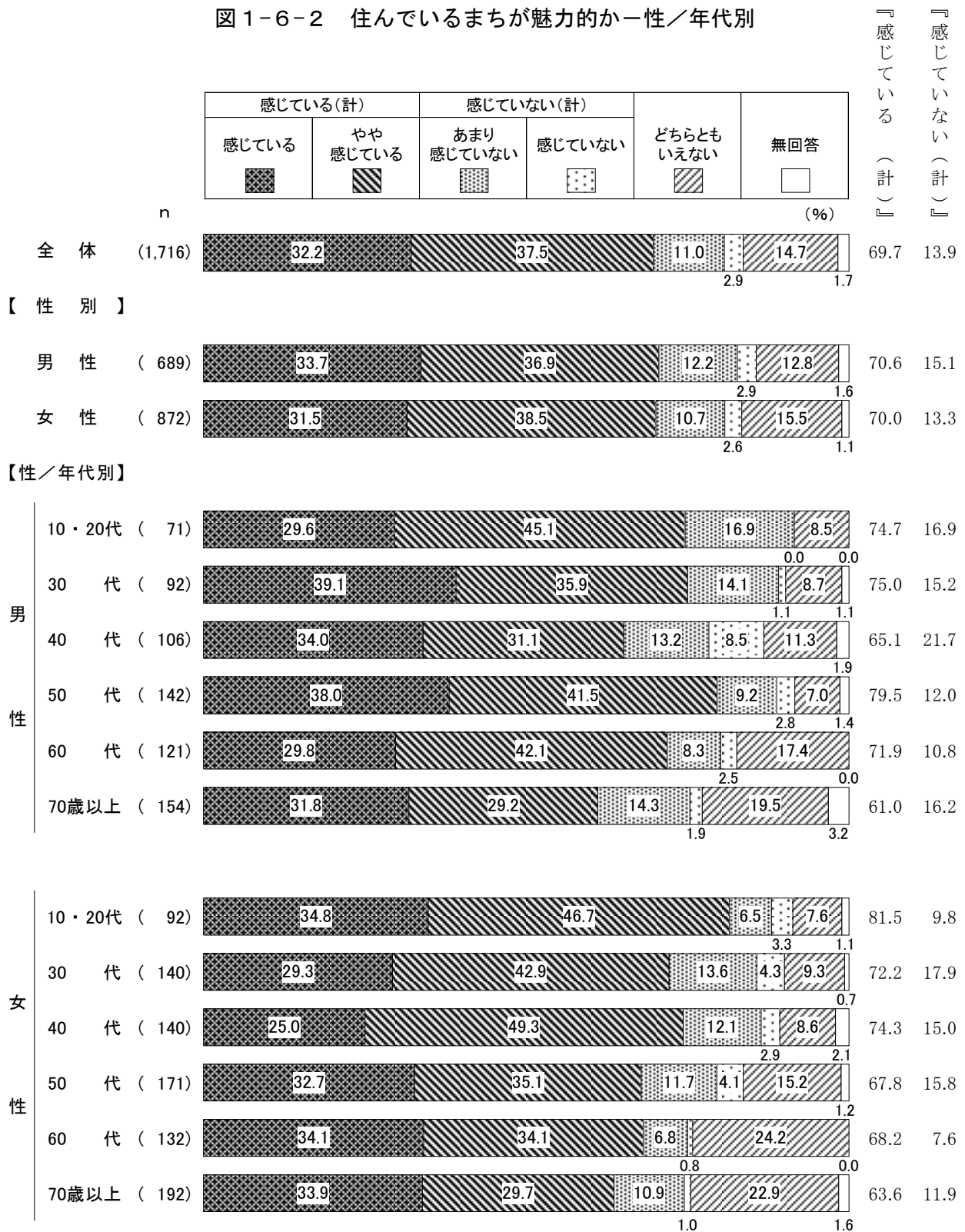
問3 あなたは、住んでいるまちが魅力的であると感じていますか。(○は1つだけ)

図1-6-1



住んでいるまちが魅力的であると感じているか聞いたところ、「感じている」(32.2%)と「やや感じている」(37.5%)を合わせた『感じている(計)』(69.7%)は7割となっている。一方、「あまり感じていない」(11.0%)と「感じていない」(2.9%)を合わせた『感じていない(計)』(13.9%)は1割を超えている。(図1-6-1)

図 1-6-2 住んでいるまちが魅力的か－性／年代別

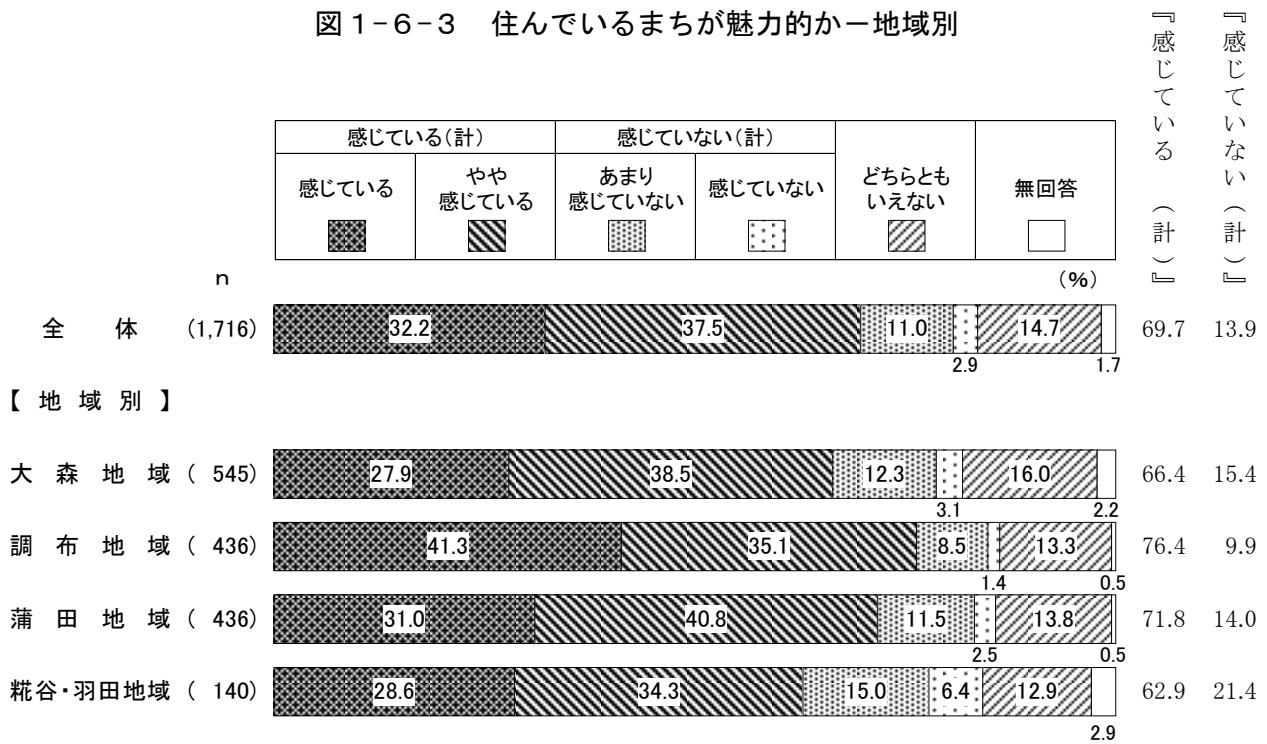


性別でみると、大きな違いはみられない。

性／年代別でみると、『感じている (計)』は女性10・20代 (81.5%) で8割を超えて高くなっている。一方、『感じていない (計)』は男性40代 (21.7%) で2割を超えて高くなっている。

(図 1-6-2)

図 1-6-3 住んでいるまちが魅力的かー地域別



地域別でみると、『感じている(計)』は調布地域(76.4%)で7割半ばと高くなっている。一方、『感じていない(計)』は糀谷・羽田地域(21.4%)で2割を超えて高くなっている。(図1-6-3)

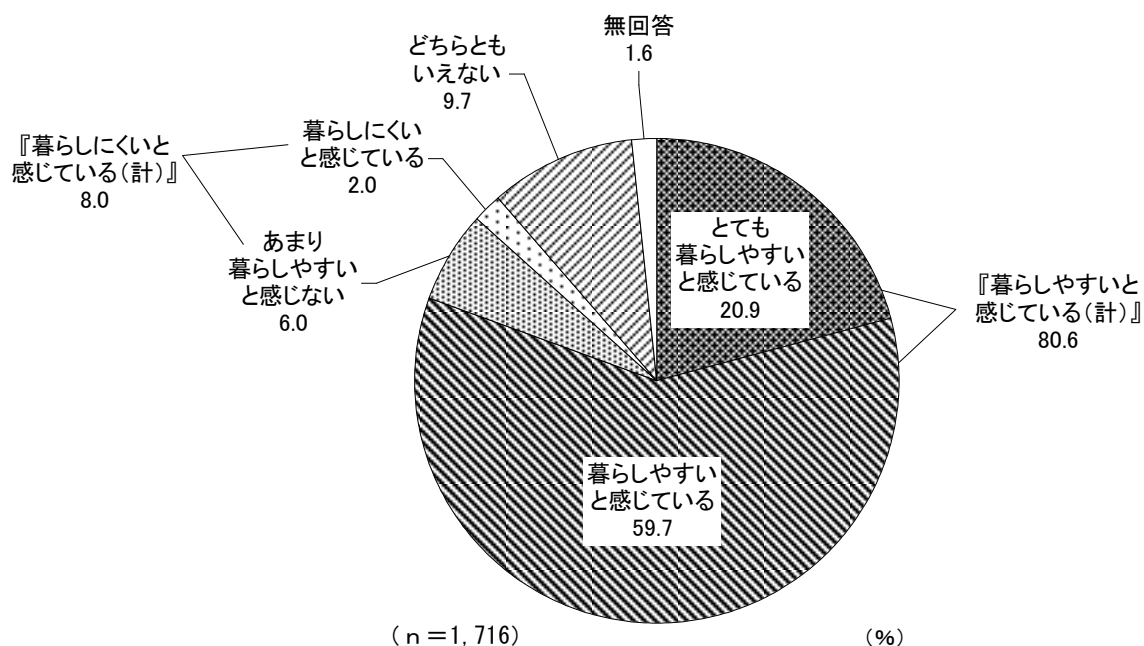
2. 暮らしやすさ

(1) 住んでいるまちの暮らしやすさ

◇「とても暮らしやすいと感じている」と「暮らしやすいと感じている」を合わせた『暮らしやすいと感じている（計）』は約8割

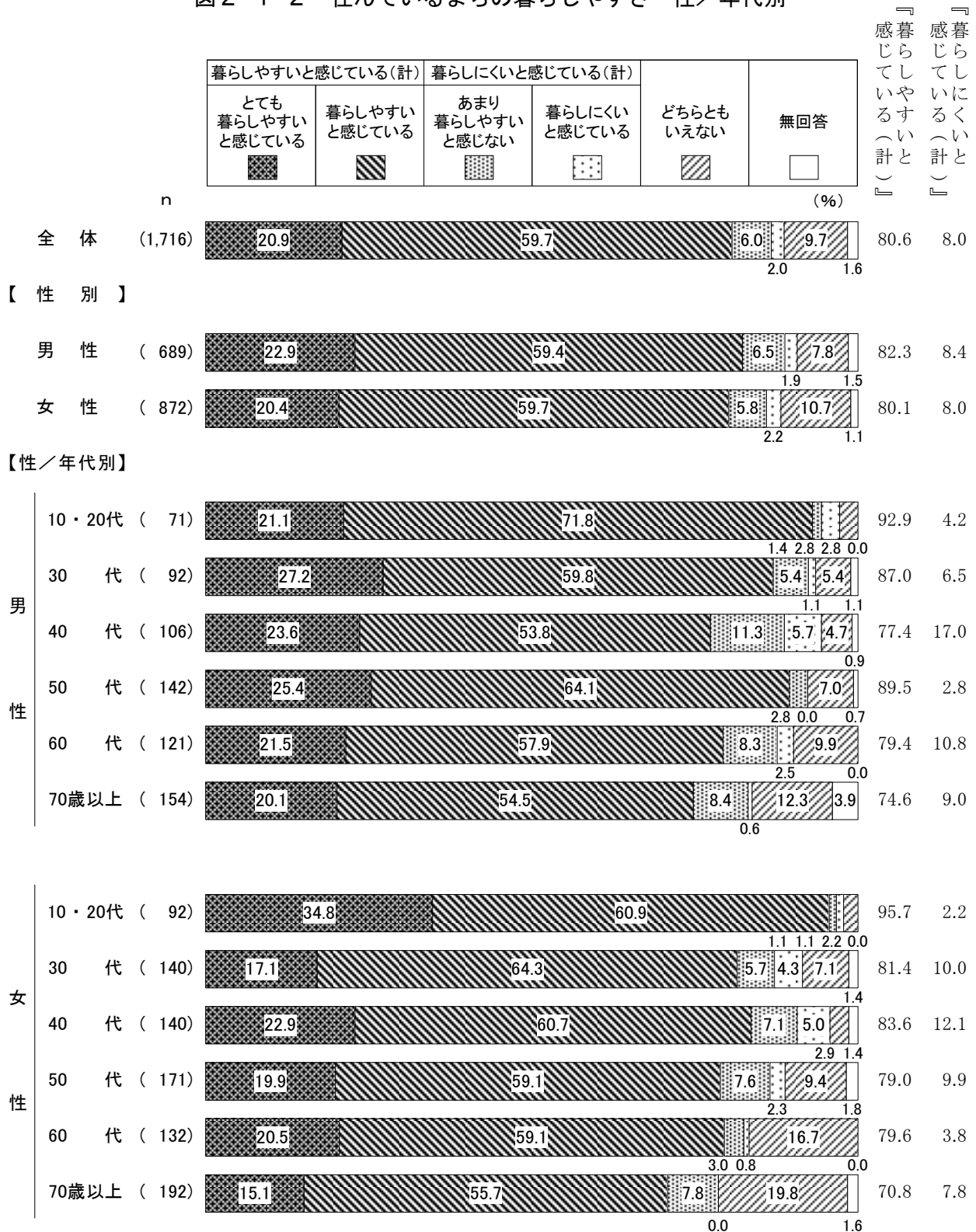
問4 現在住んでいるまちの暮らしやすさを、どのように感じていますか。（○は1つだけ）

図2-1-1



現在住んでいるまちの暮らしやすさについて聞いたところ、「暮らしやすいと感じている」（59.7%）が6割で最も高く、これに「とても暮らしやすいと感じている」（20.9%）を合わせた『暮らしやすいと感じている（計）』（80.6%）は約8割となっている。一方、「あまり暮らしやすいと感じない」（6.0%）と「暮らしにくいと感じている」（2.0%）を合わせた『暮らしにくいと感じている（計）』（8.0%）は1割未満となっている。（図2-1-1）

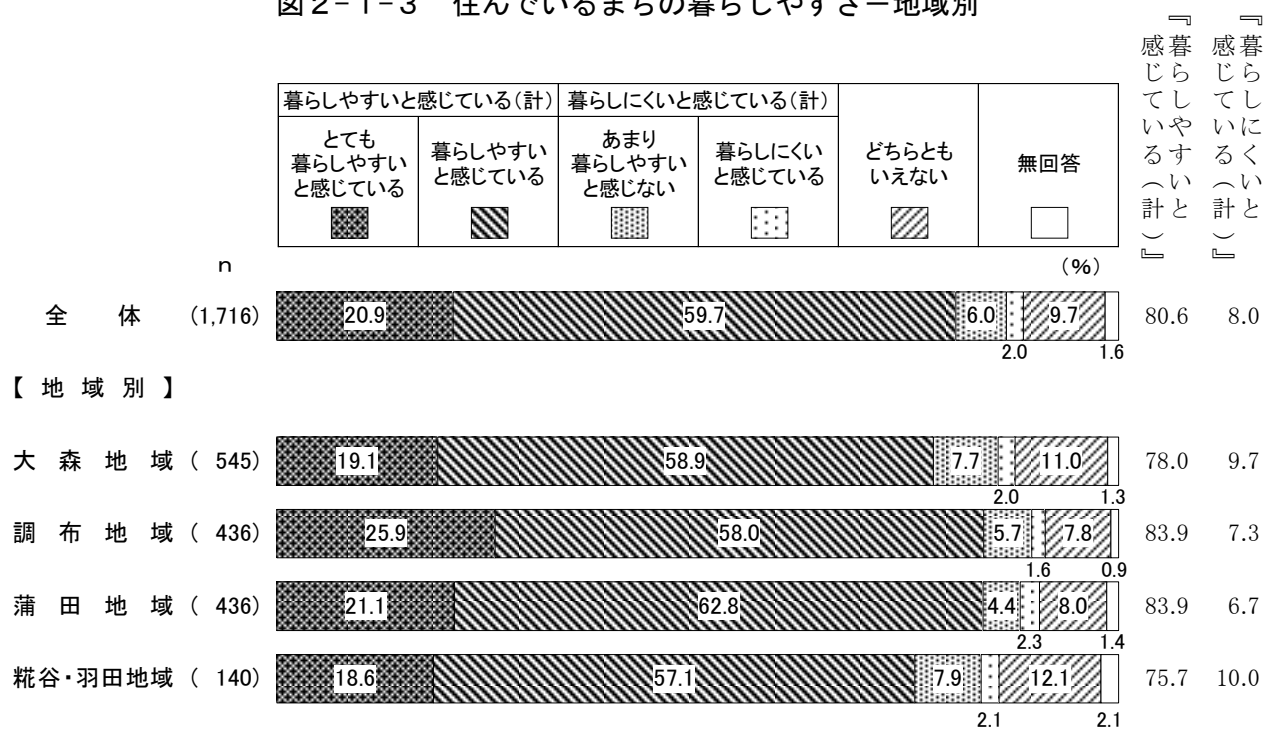
図2-1-2 住んでいるまちの暮らしやすさー性／年代別



性別でみると、大きな違いはみられない。

性／年代別でみると、『暮らしやすいと感じている(計)』は女性10・20代(95.7%)で9割半ばと高くなっている。(図2-1-2)

図 2-1-3 住んでいるまちの暮らしやすさ―地域別



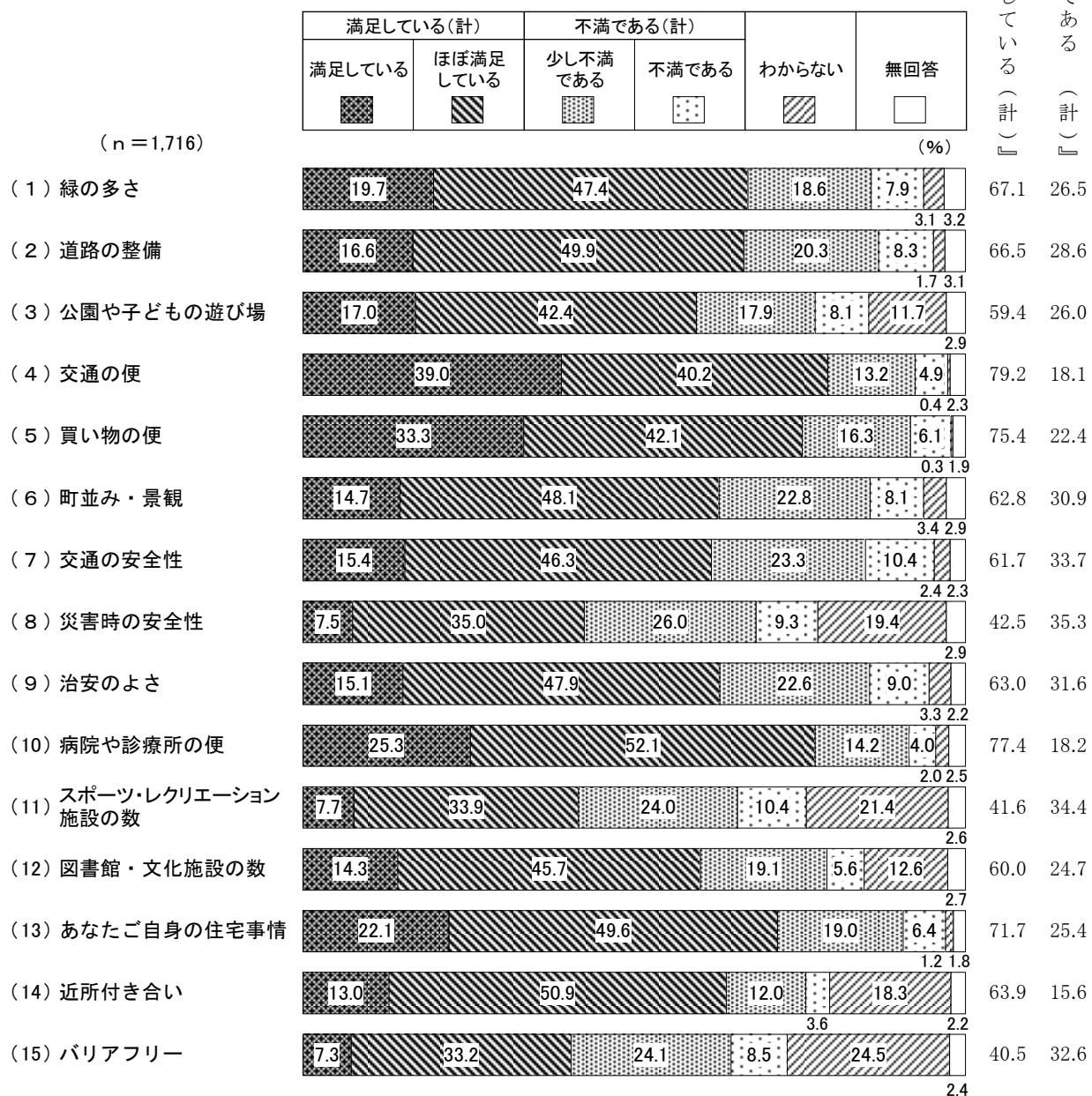
地域別でみると、『暮らしやすいと感じている (計)』は調布地域と蒲田地域（ともに83.9%）で8割を超えて高くなっている。（図 2-1-3）

(2) 生活環境の満足度

◇「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足している(計)』は「交通の便」で約8割

問5 住んでいるまちの生活環境について、どの程度満足していますか。(〇はそれぞれ1つ)

図 2-2-1



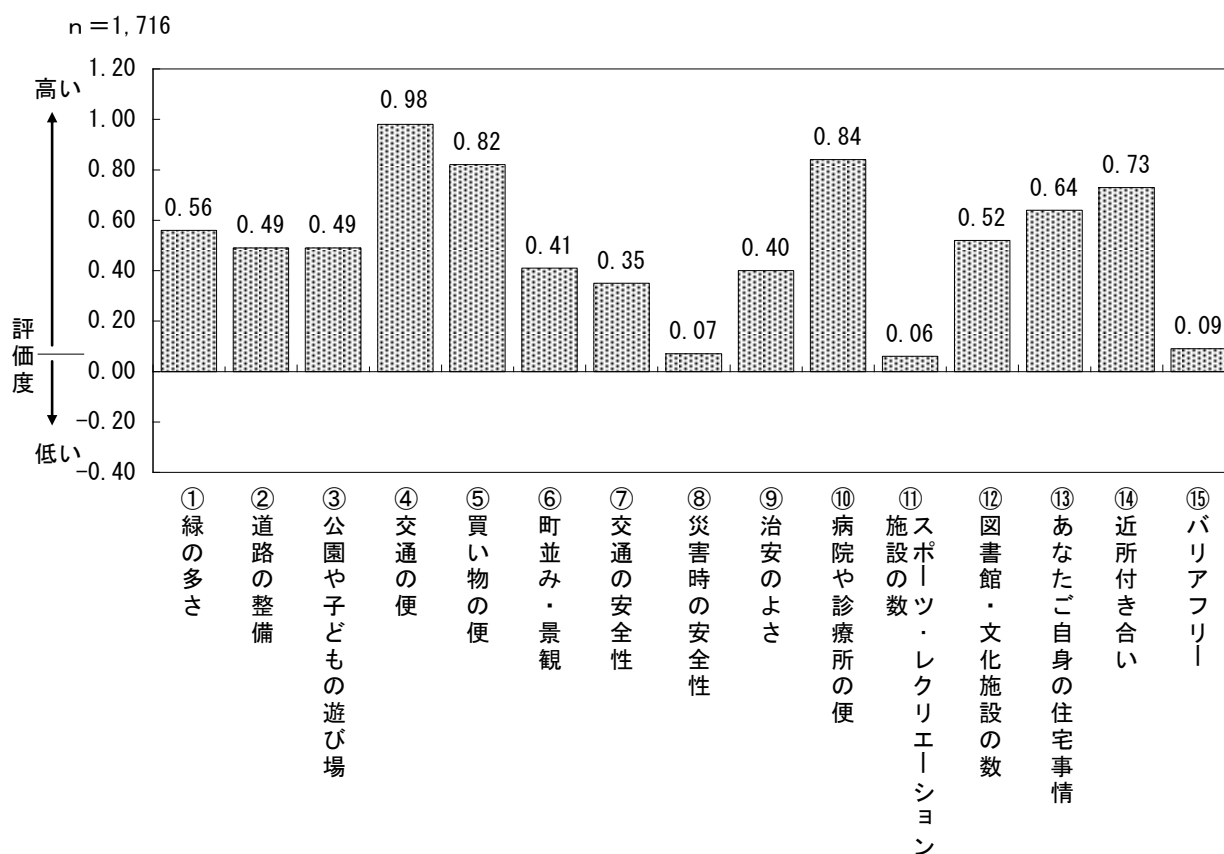
住んでいるまちの生活環境について聞いたところ、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足している(計)』は「交通の便」(79.2%)で約8割と最も高く、次いで「病院や診療所の便」(77.4%)、「買い物の便」(75.4%)などの順になっている。一方、「少し不満である」と「不満である」を合わせた『不満である(計)』は「災害時の安全性」(35.3%)と「スポーツ・レクリエーション施設の数」(34.4%)で3割半ばと高くなっている。(図2-2-1)

15項目にわたる生活環境の満足度の比較をしやすいするため、それぞれの回答を点数化し、下記の計算式で各項目の評価点を求めた。なお、「わからない」は計算から除外した。

$$\text{評価点} = \frac{\text{「満足している」} \times 2 + \text{「ほぼ満足している」} \times 1 + \text{「少し不満である」} \times (-1) + \text{「不満である」} \times (-2)}{\text{回答者数}}$$

15項目の生活環境の満足度を評価点でみると、評価が高いのは「交通の便」(0.98)、「病院や診療所の便」(0.84)、「買い物の便」(0.82)の順になっている。一方、評価が低いのは「スポーツ・レクリエーション施設の数」(0.06)、「災害時の安全性」(0.07)、「バリアフリー」(0.09)の順になっている。(図2-2-2)

図2-2-2 生活環境の満足度（評価点）



以下、生活環境の満足度の評価点を地域別でみる。地域ごとに、全体と比べて評価の高いベスト3の項目と、評価の低いワースト3の項目を表に掲げた。

【大森地域】

全体と比較すると、ベスト3では、「治安のよさ」と「図書館・文化施設の数」がともに0.05ポイント上回り1位、「病院や診療所の便」が0.03ポイント上回り3位となっている。

一方、ワースト3では、「交通の安全性」が1位、「交通の便」が2位、「買い物の便」と「あなたご自身の住宅事情」が3位となっている。（図2-2-3、表2-2-1）

図2-2-3 生活環境の満足度－【大森地域】（全体との評価点の比較）

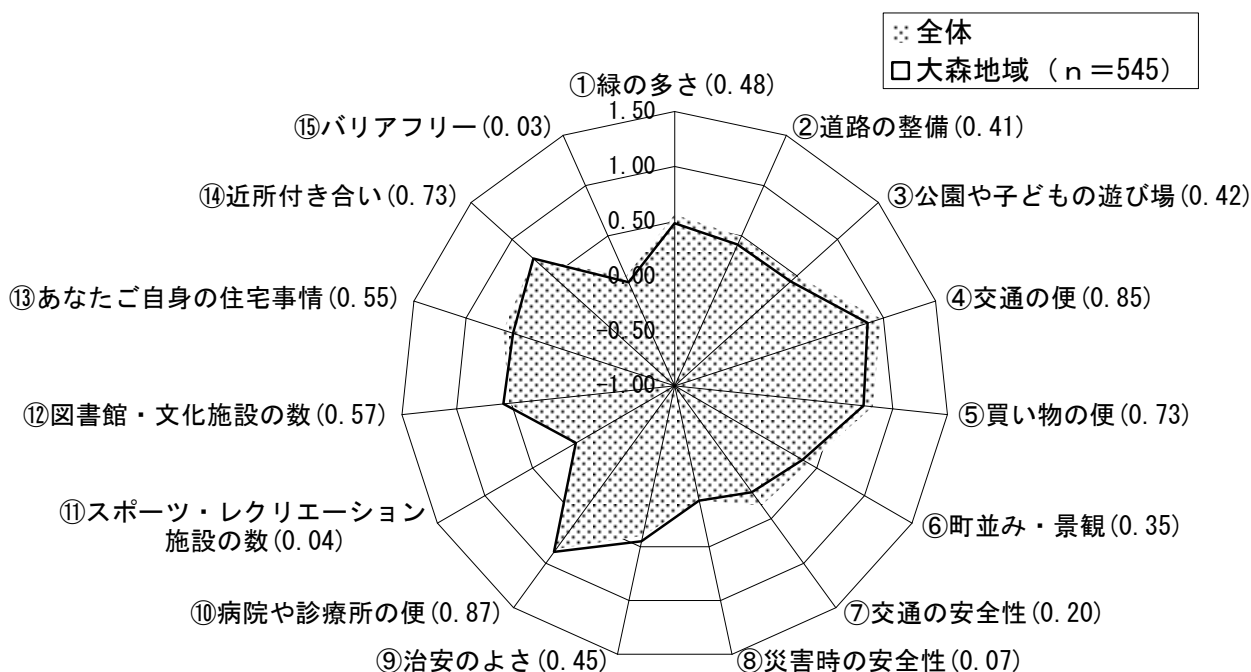


表2-2-1 生活環境の満足度－【大森地域】（全体との評価点の差ベスト3・ワースト3）

全体との差	1 位	2 位	3 位
ベスト3	⑨治安のよさ／⑫図書館・文化施設の数	0.05	⑩病院や診療所の便 0.03
ワースト3	⑦交通の安全性 -0.15	④交通の便 -0.13	⑤買い物の便／⑬あなたご自身の住宅事情 -0.09

【調布地域】

全体と比較すると、ベスト3では、「治安のよさ」が0.50ポイント上回り1位、「町並み・景観」が0.43ポイント上回り2位、「緑の多さ」が0.40ポイント上回り3位となっている。

一方、ワースト3では、「買い物の便」が1位、「スポーツ・レクリエーション施設の数」が2位、「交通の便」が3位となっている。(図2-2-4、表2-2-2)

図2-2-4 生活環境の満足度－【調布地域】(全体との評価点の比較)

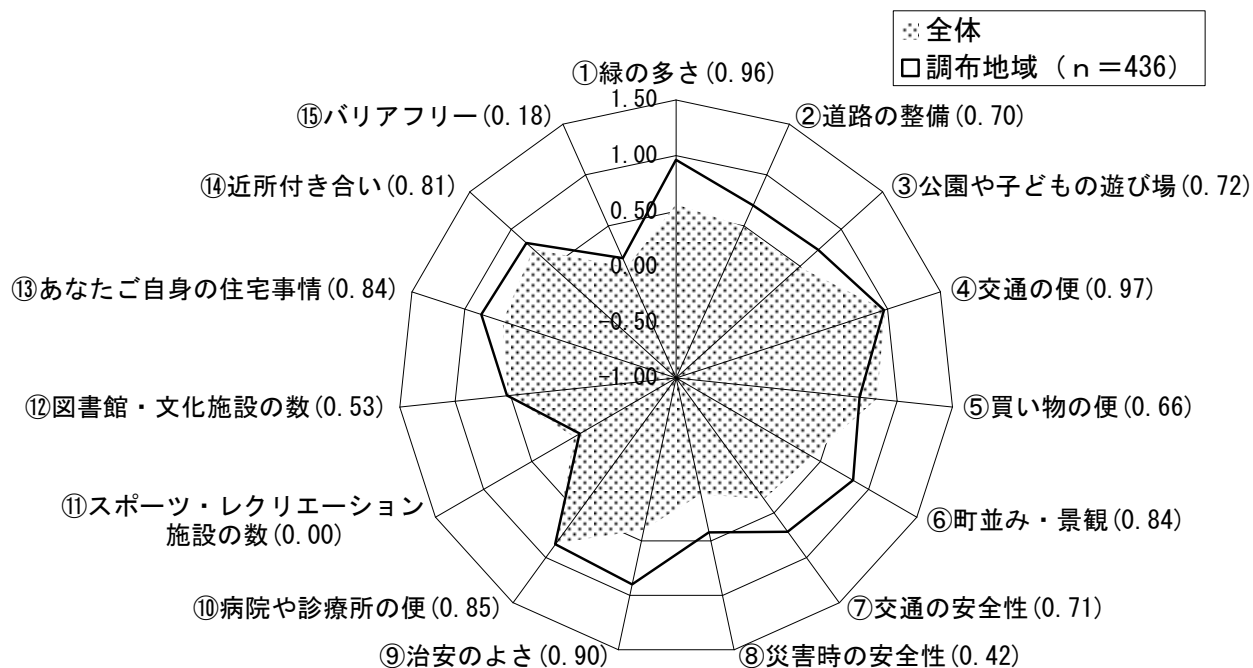


表2-2-2 生活環境の満足度－【調布地域】(全体との評価点の差ベスト3・ワースト3)

全体との差	1 位		2 位		3 位	
ベスト3	⑨治安のよさ	0.50	⑥町並み・景観	0.43	①緑の多さ	0.40
ワースト3	⑤買い物の便	-0.16	⑪スポーツ・レクリエーション施設の数	-0.06	④交通の便	-0.01

【蒲田地域】

全体と比較すると、ベスト3では、「交通の便」が0.27ポイント上回り1位、「買い物の便」が0.24ポイント上回り2位、「スポーツ・レクリエーション施設の数」が0.14ポイント上回り3位となっている。

一方、ワースト3では、「治安のよさ」が1位、「町並み・景観」が2位、「災害時の安全性」が3位となっている。(図2-2-5、表2-2-3)

図2-2-5 生活環境の満足度－【蒲田地域】(全体との評価点の比較)

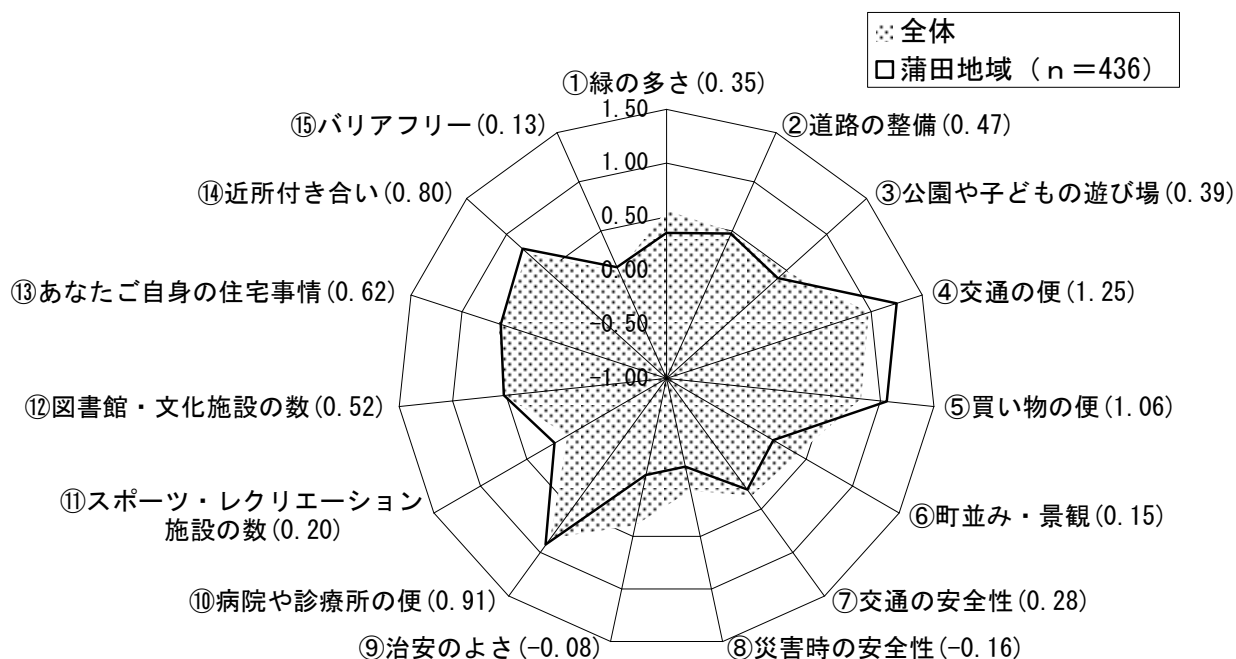


表2-2-3 生活環境の満足度－【蒲田地域】(全体との評価点の差ベスト3・ワースト3)

全体との差	1 位		2 位		3 位	
ベスト3	④交通の便	0.27	⑤買い物の便	0.24	⑪スポーツ・レクリエーション施設の数	0.14
ワースト3	⑨治安のよさ	-0.48	⑥町並み・景観	-0.26	⑧災害時の安全性	-0.23

【糞谷・羽田地域】

全体と比較すると、ベスト3では、「図書館・文化施設の数」が0.04ポイント上回り1位、「スポーツ・レクリエーション施設の数」が0.03ポイント上回り2位、「公園や子どもの遊び場」が0.01ポイント下回っているものの3位となっている。

一方、ワースト3では、「交通の便」、「町並み・景観」、「治安のよさ」が1位となっている。

(図2-2-6、表2-2-4)

図2-2-6 生活環境の満足度－【糞谷・羽田地域】（全体との評価点の比較）

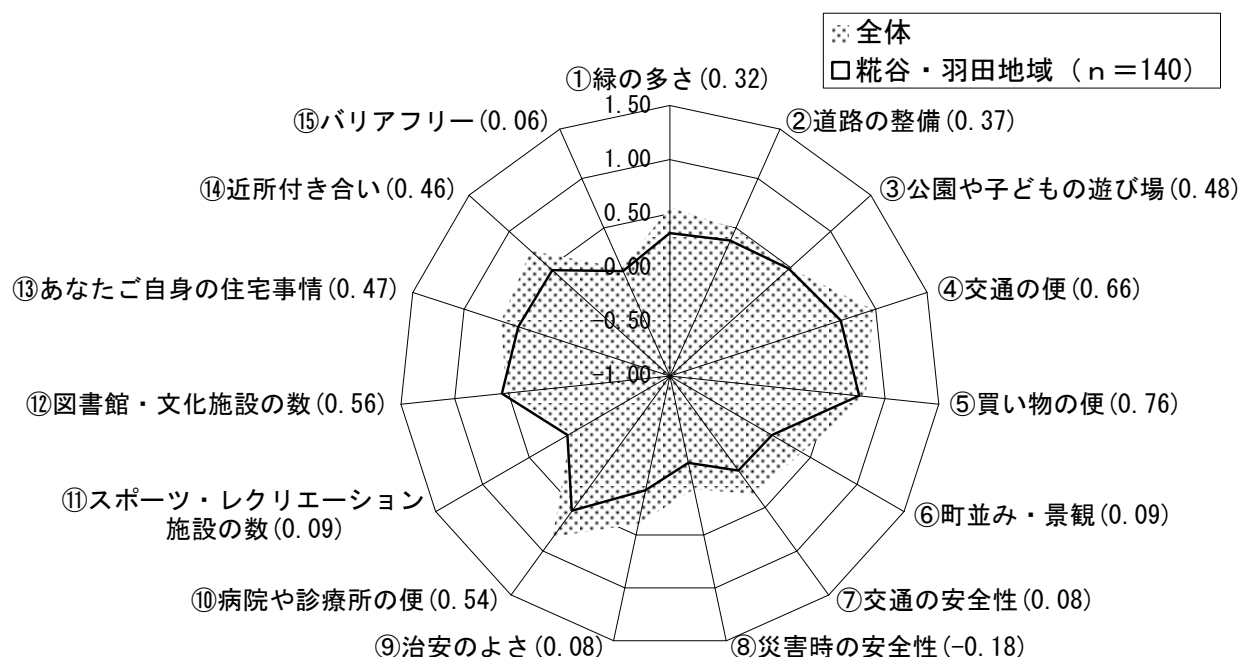


表2-2-4 生活環境の満足度－【糞谷・羽田地域】（全体との評価点の差ベスト3・ワースト3）

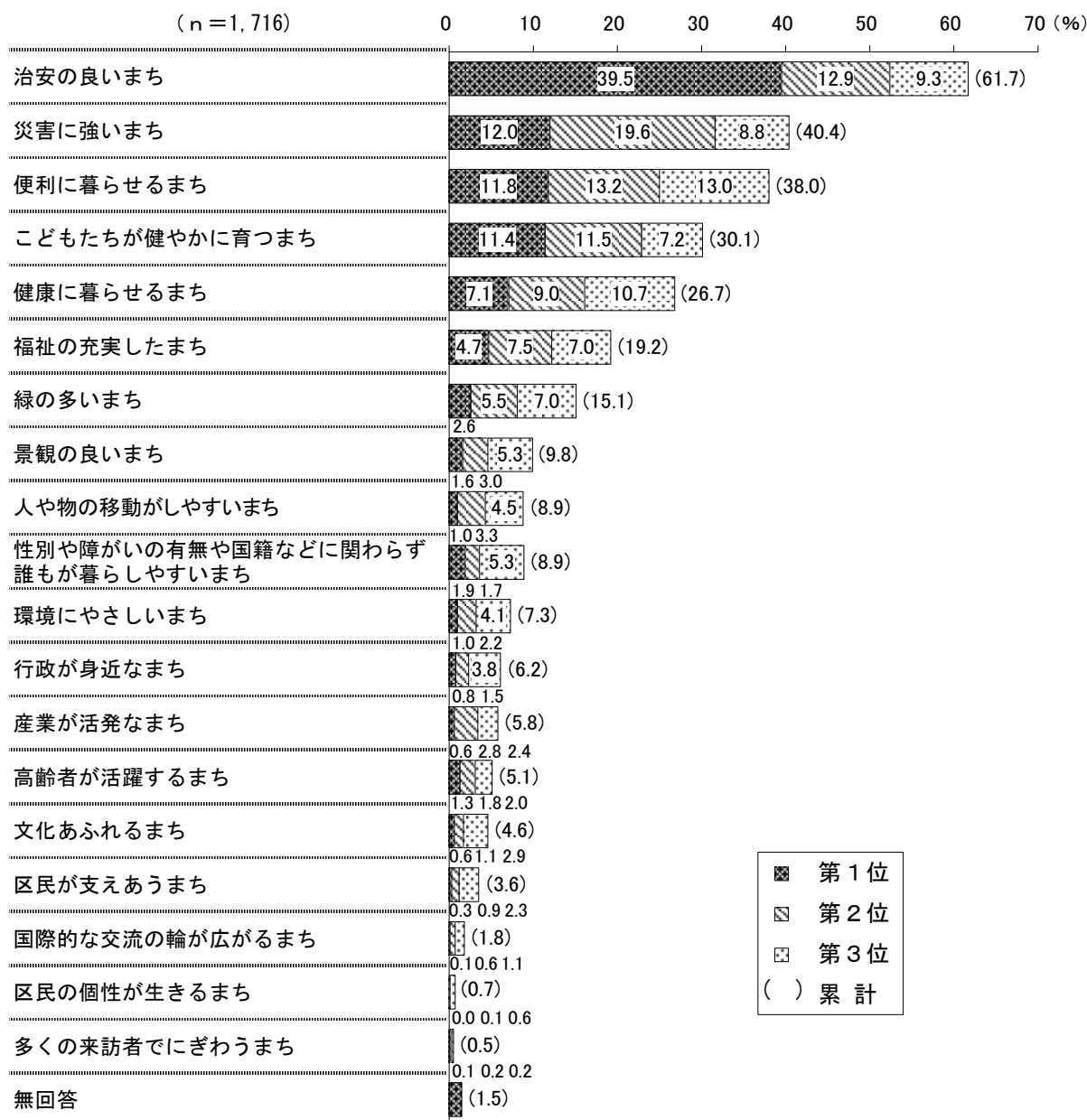
全体との差	1 位	2 位	3 位
ベスト3	⑫図書館・文化施設の数 0.04	⑪スポーツ・レクリエーション施設の数 0.03	③公園や子どもの遊び場 -0.01
ワースト3	④交通の便／⑥町並み・景観／⑨治安のよさ		
	-0.32		

(3) 住んでいるまちにどのようなようになってほしいか

◇第1位から第3位までを合わせた《累計》では「治安の良いまち」が6割を超える

問6 あなたは、現在住んでいるまちに対して、今後、どのようなまちになってほしいとお考えですか。(1位から3位まで1つずつ選んで、下の回答欄に番号を記入してください)

図2-3-1

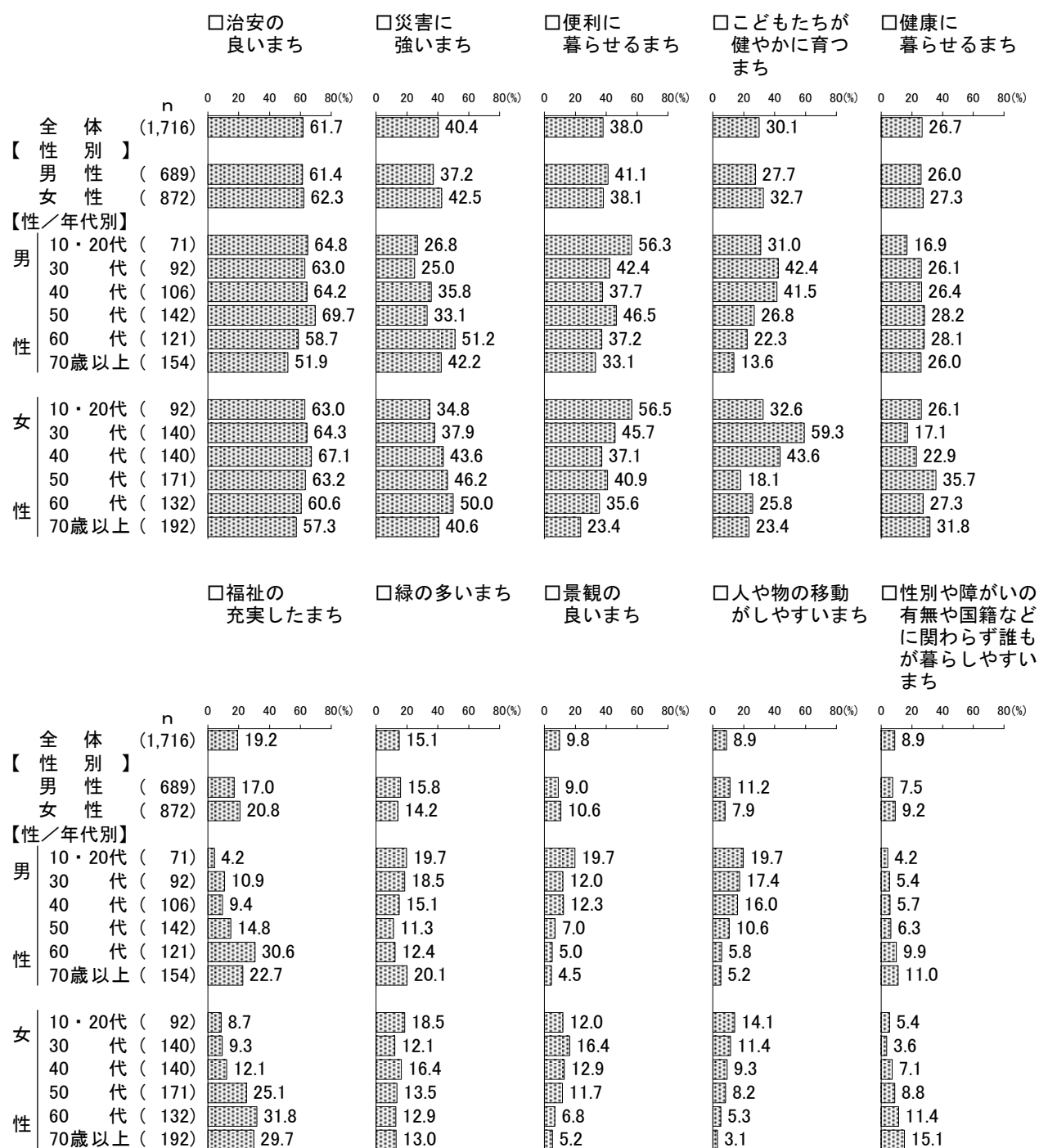


※累計の値は、第1位から第3位までのそれぞれの回答数を合計し、比率を再計算しているため、第1位から第3位までの値の単純な合計値とは、値が異なる場合がある。

住んでいるまちにどのようなようになってほしいか聞いたところ、第1位では「治安の良いまち」(39.5%)が4割で最も高く、次いで「災害に強いまち」(12.0%)などの順になっている。

また、第1位から第3位までを合わせた《累計》でみると、「治安の良いまち」(61.7%)が6割を超えて最も高く、次いで「災害に強いまち」(40.4%)、「便利に暮らせるまち」(38.0%)、「こどもたちが健やかに育つまち」(30.1%)などの順になっている。(図2-3-1)

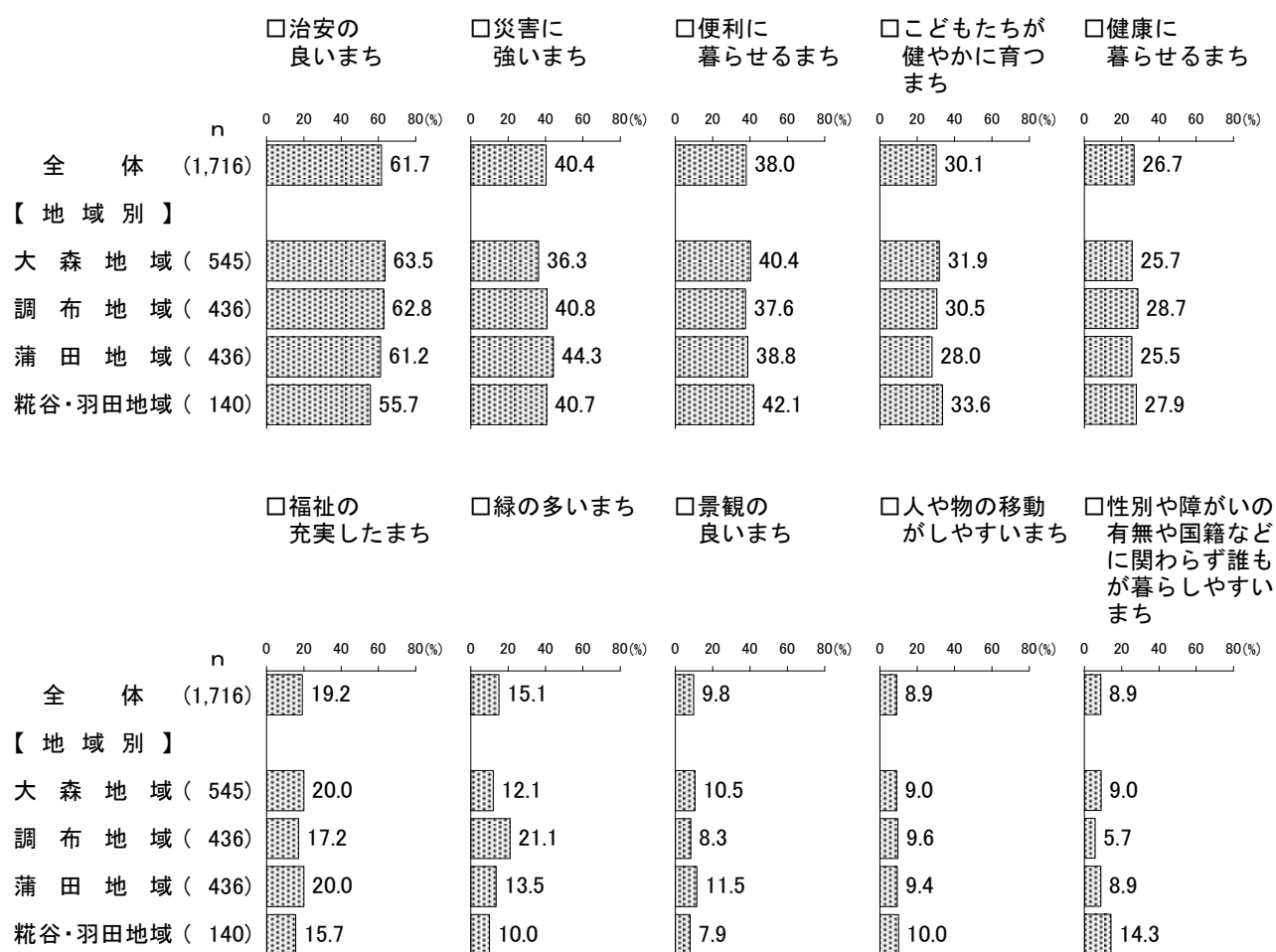
図2-3-2 住んでいるまちにどのようなになってほしいか－性／年代別（累計・上位10項目）



上位10項目を性別で見ると、「災害に強いまち」は女性（42.5%）が男性（37.2%）より5.3ポイント、「子どもたちが健やかに育つまち」は女性（32.7%）が男性（27.7%）より5.0ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「人や物の移動がしやすいまち」は男性（11.2%）が女性（7.9%）より3.3ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、「治安の良いまち」は男性50代（69.7%）で7割と高くなっている。「便利に暮らせるまち」は女性10・20代（56.5%）で6割近くと高くなっている。「子どもたちが健やかに育つまち」は女性30代（59.3%）で約6割と高くなっている。（図2-3-2）

図2-3-3 住んでいるまちにどのようなになってほしいかー地域別（累計・上位10項目）



上位10項目を地域別でみると、「災害に強いまち」は蒲田地域（44.3%）で4割半ばと高くなっている。「便利に暮らせるまち」は糎谷・羽田地域（42.1%）で4割を超えて高くなっている。「緑の多いまち」は調布地域（21.1%）で2割を超えて高くなっている。（図2-3-3）

3. 基本目標 1 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

(1) こどもの権利（または「児童の権利に関する条約」）の認知度

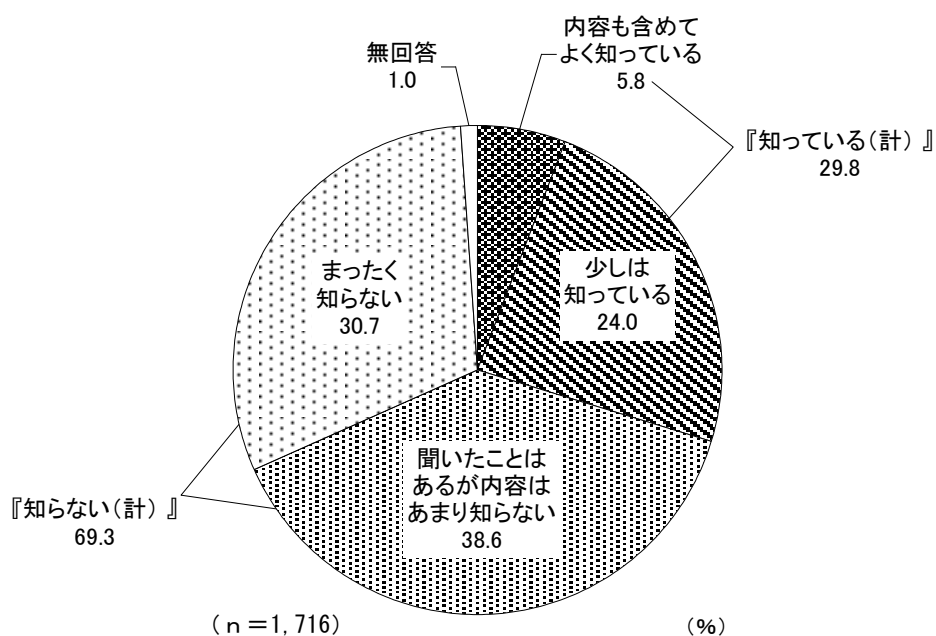
◇「内容も含めてよく知っている」と「少しは知っている」を合わせた『知っている（計）』は3割

問7 こどもの権利（または「児童の権利に関する条約」）について知っていますか。

（○は1つだけ）

※日本を含む世界 196 の国・地域が締結している「児童の権利に関する条約」では、18 歳未満の児童（子ども）を権利を持つ主体と位置づけ、大人と同様、ひとりの人間としての人権を認めるとともに、成長の過程で特別な保護や配慮が必要な子どもならではの権利も定めています。4 つの大切な考え方として、①差別の禁止、②こどもの最善の利益、③命を守られ成長できること、④こどもの意見の尊重、があります。

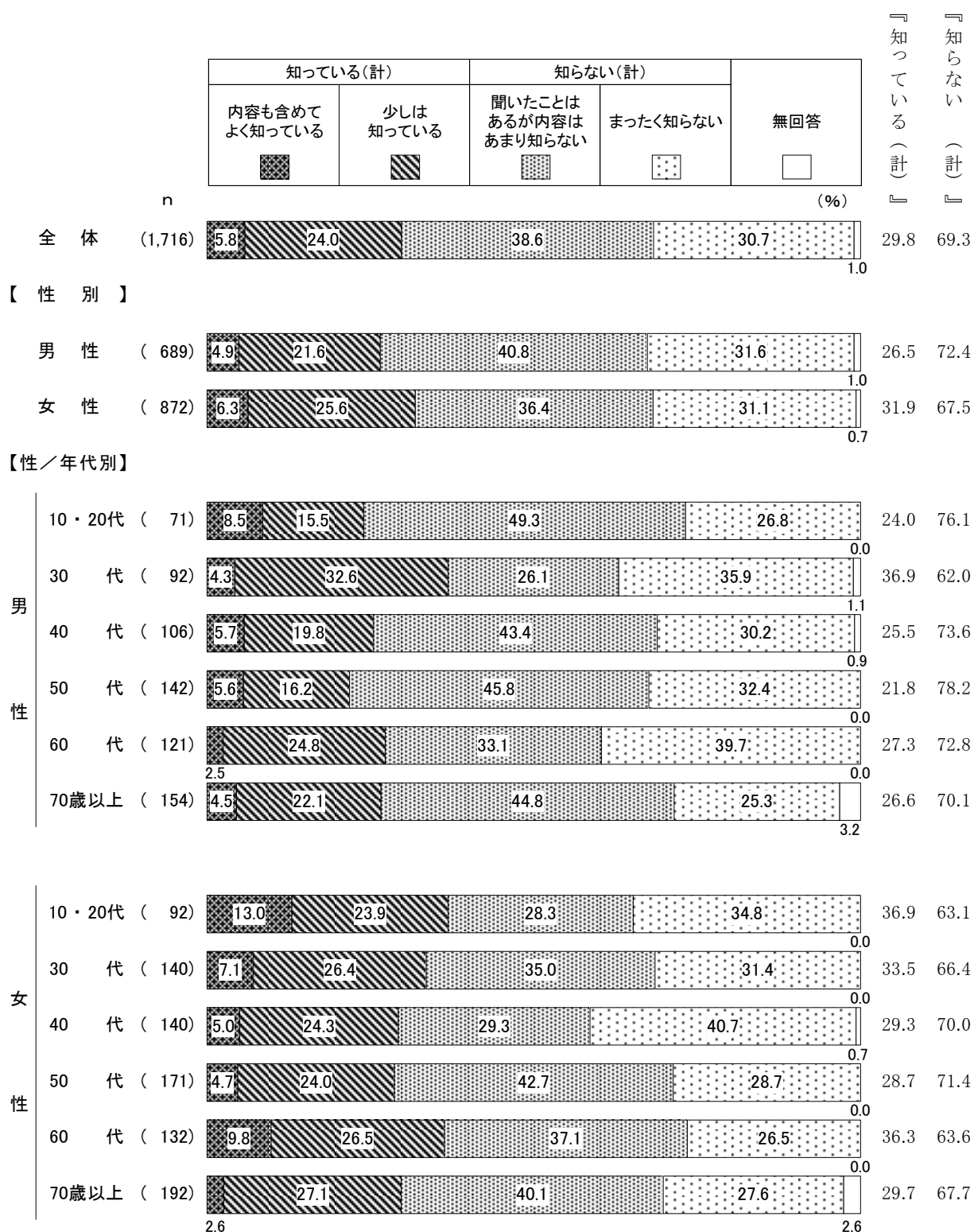
図 3-1-1



こどもの権利（または「児童の権利に関する条約」）について知っているか聞いたところ、「内容も含めてよく知っている」(5.8%)と「少しは知っている」(24.0%)を合わせた『知っている（計）』(29.8%)は3割となっている。一方、「聞いたことはあるが内容はあまり知らない」(38.6%)と「まったく知らない」(30.7%)を合わせた『知らない（計）』(69.3%)は約7割となっている。

(図 3-1-1)

図3-1-2 こどもの権利（または「児童の権利に関する条約」）の認知度－性／年代別

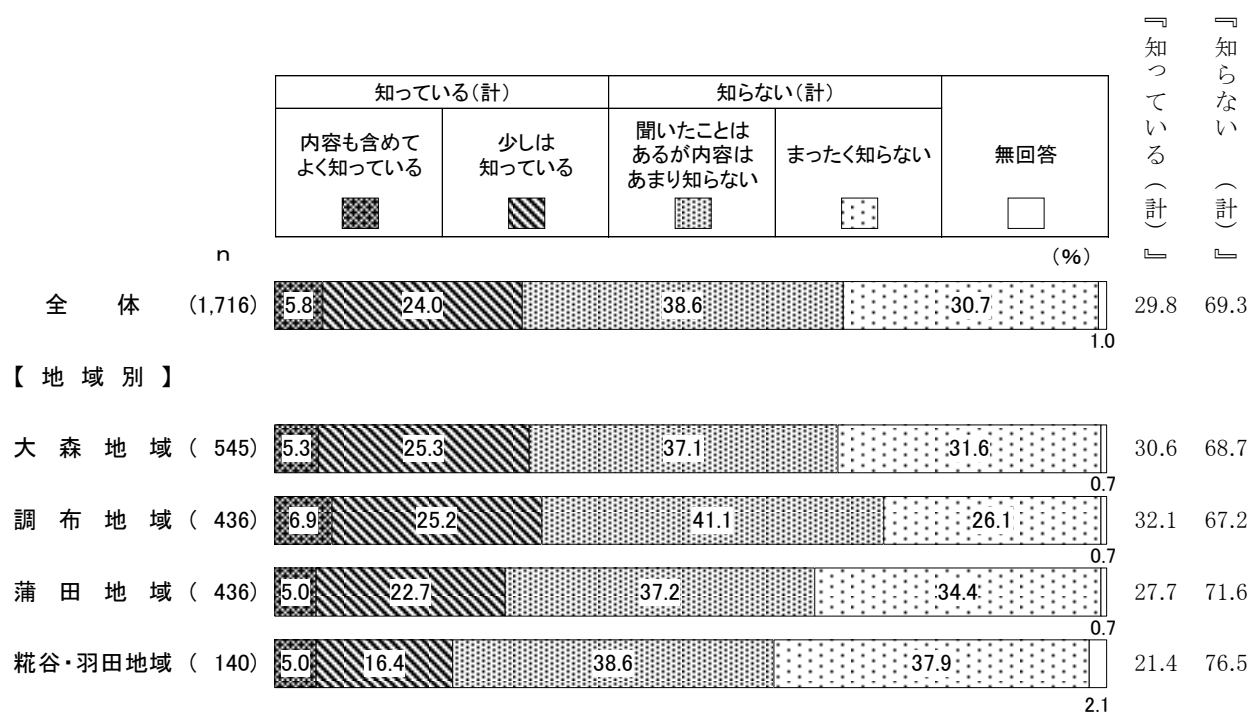


性別でみると、『知っている（計）』は女性（31.9%）が男性（26.5%）より5.4ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『知っている（計）』は男性30代と女性10・20代（ともに36.9%）で4割近くと高くなっている。一方、『知らない（計）』は男性50代（78.2%）で8割近くと高くなっている。

（図3-1-2）

図 3-1-3 こどもの権利（または「児童の権利に関する条約」）の認知度—地域別



地域別でみると、『知っている（計）』は調布地域（32.1%）で3割を超えて高くなっている。一方、『知らない（計）』は糀谷・羽田地域（76.5%）で8割近くと高くなっている。（図3-1-3）

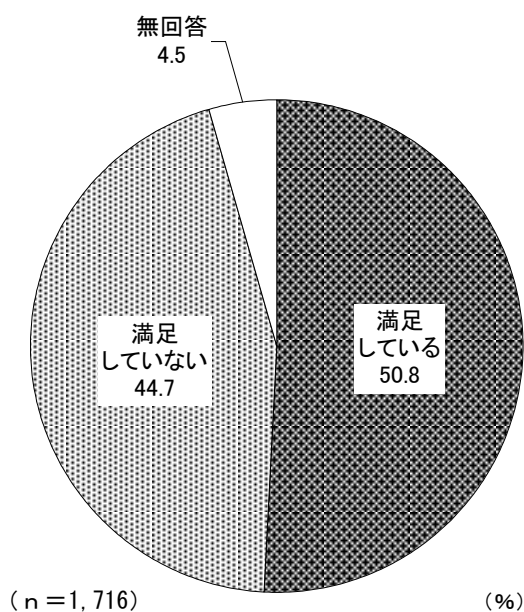
4. 基本目標2 文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち

(1) 区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境、気軽にスポーツ、健康づくりに取り組めたり、自由に学びを深められる環境への満足度

◇「満足している」は約5割

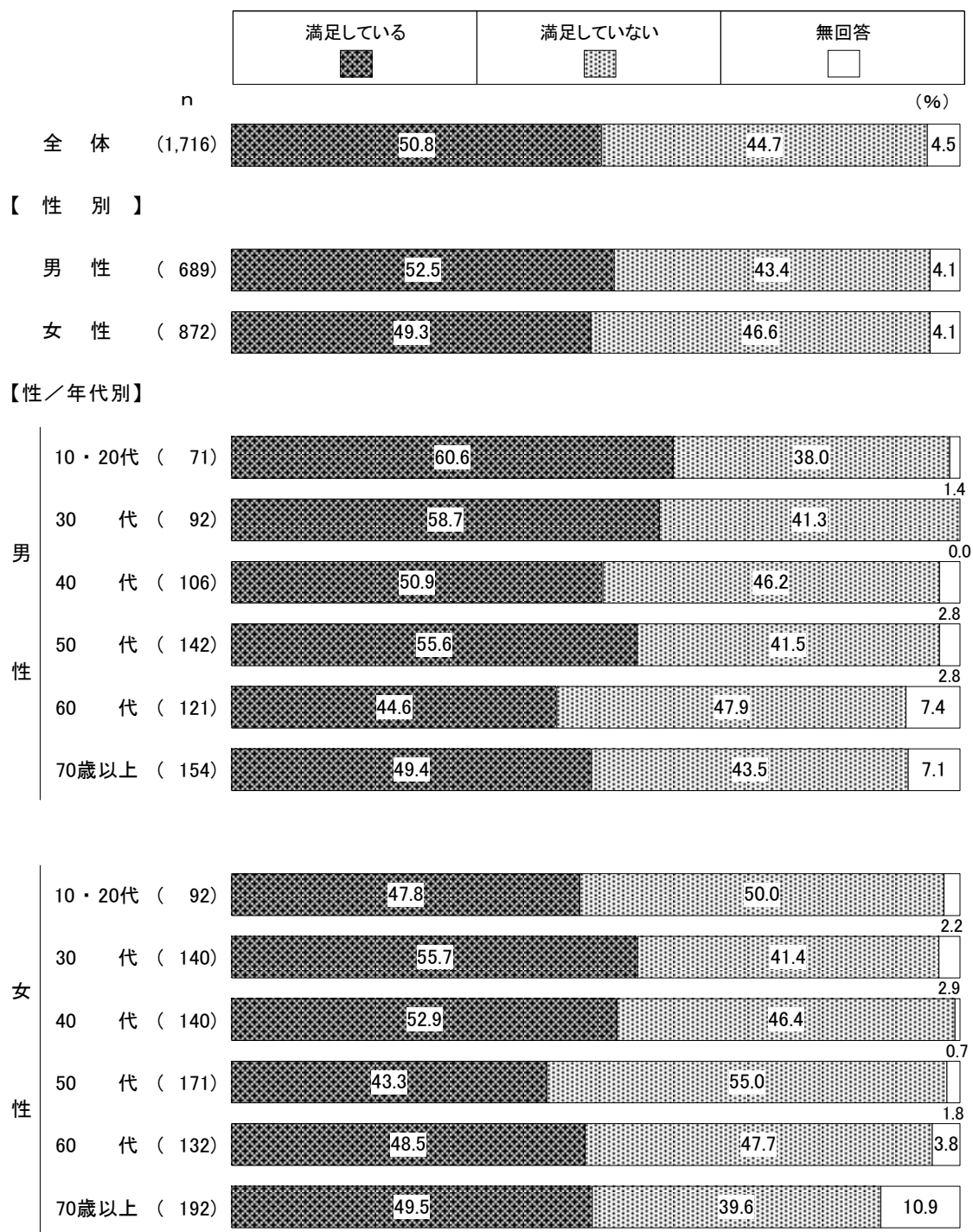
問8 あなたは、区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境、気軽にスポーツや健康づくりに取り組めたり、自由に学びを深められたりできる環境に満足していますか。(○は1つだけ)

図4-1-1



区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境、気軽にスポーツ、健康づくりに取り組めたり、自由に学びを深められる環境への満足度を聞いたところ、「満足している」(50.8%)が約5割、「満足していない」(44.7%)は4割半ばとなっている。(図4-1-1)

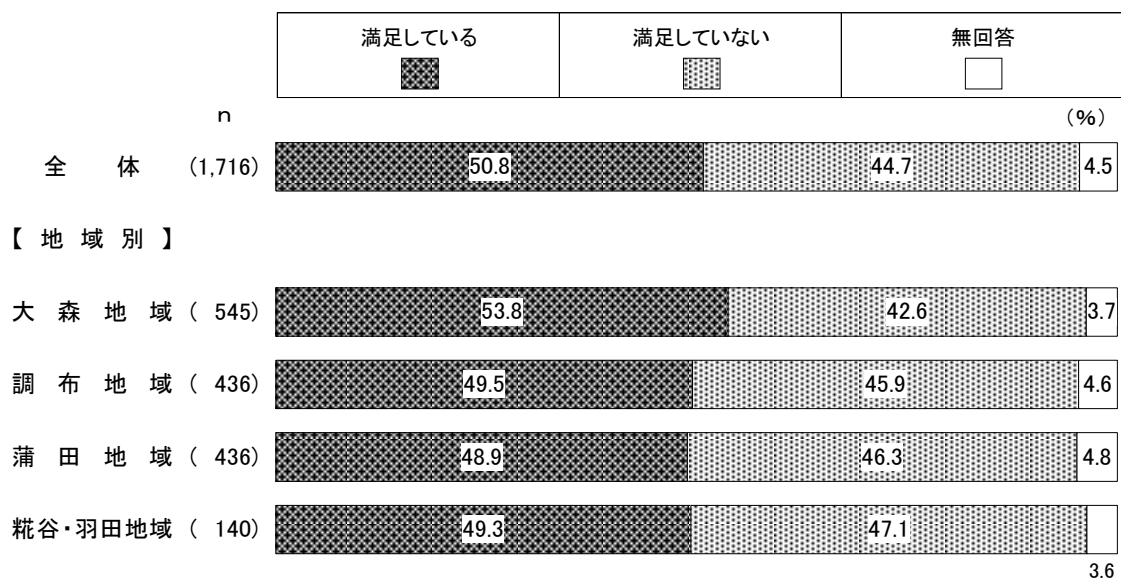
図 4-1-2 区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境、気軽にスポーツ、健康づくりに
取り組めたり、自由に学びを深められる環境への満足度－性／年代別



性別でみると、「満足している」は男性（52.5%）が女性（49.3%）より3.2ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「満足している」は男性10・20代（60.6%）で約6割と高くなっている。一方、「満足していない」は女性50代（55.0%）で5割半ばと高くなっている。（図4-1-2）

図 4-1-3 区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境、気軽にスポーツ、健康づくりに
取り組めたり、自由に学びを深められる環境への満足度―地域別



地域別でみると、「満足している」は大森地域（53.8%）で5割を超えて高くなっている。一方、「満足していない」は糀谷・羽田地域（47.1%）で5割近くと高くなっている。（図 4-1-3）

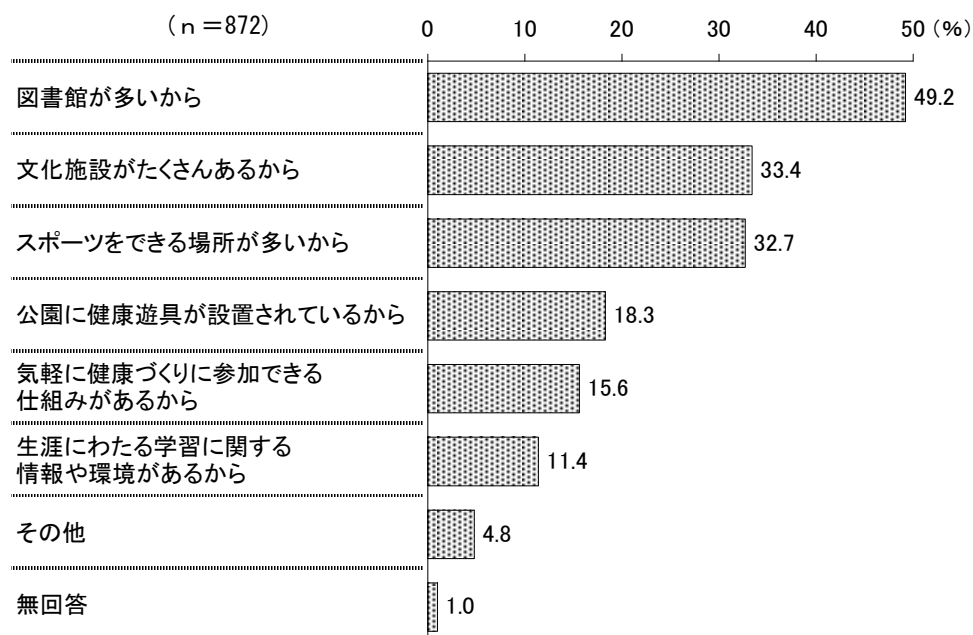
(2) 区内の環境に満足している理由

◇「図書館が多いから」が約5割

(問8で、「満足している」と回答した方に)

問8-1 「満足している」理由は何ですか。(〇はいくつでも)

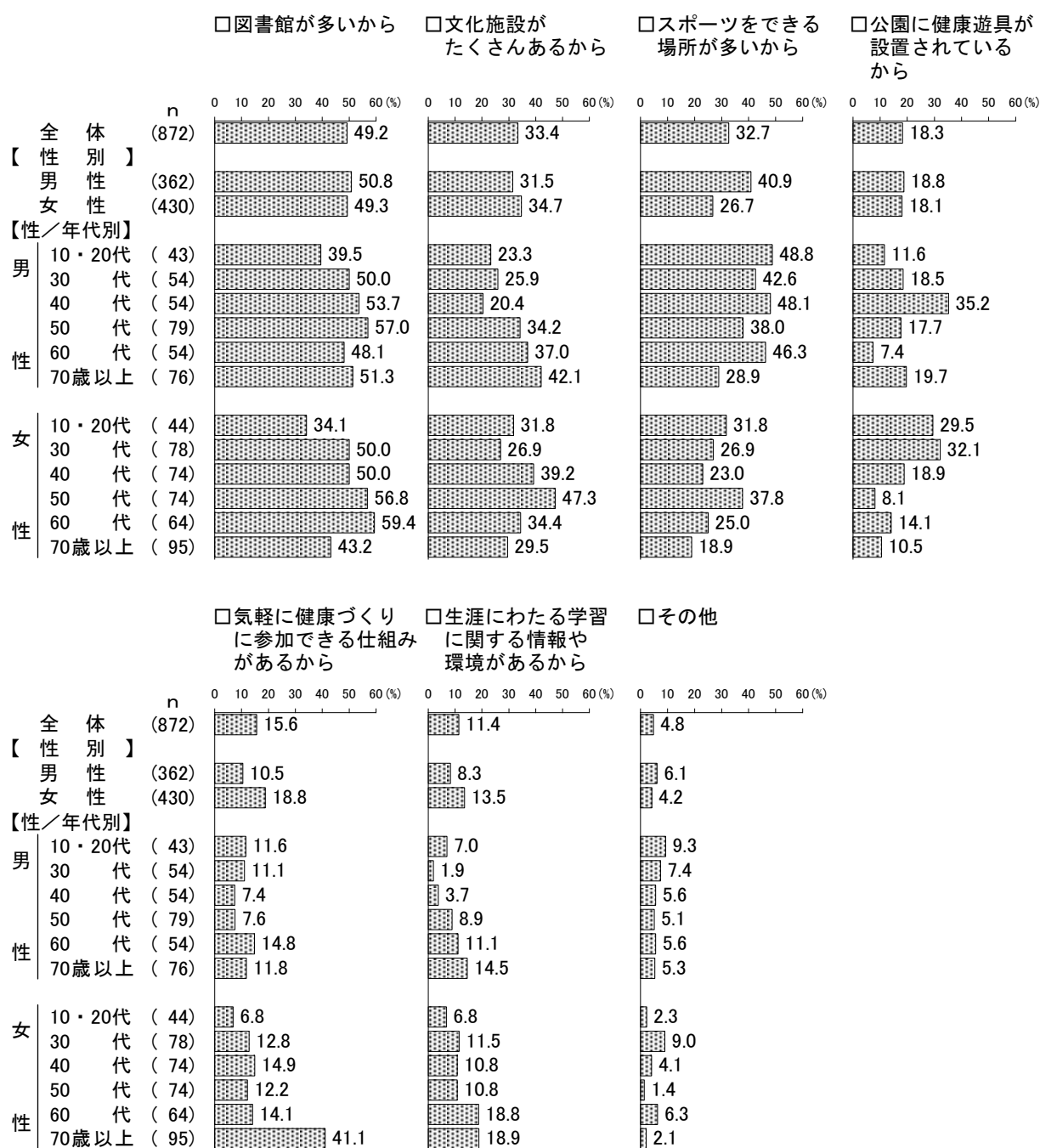
図4-2-1



区内の環境に「満足している」と答えた人(872人)に、その理由を聞いたところ、「図書館が多いから」(49.2%)が約5割で最も高く、次いで「文化施設がたくさんあるから」(33.4%)、「スポーツをできる場所が多いから」(32.7%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「大きな公園があるから」、「特に不満がないから」などがあげられている。(図4-2-1)

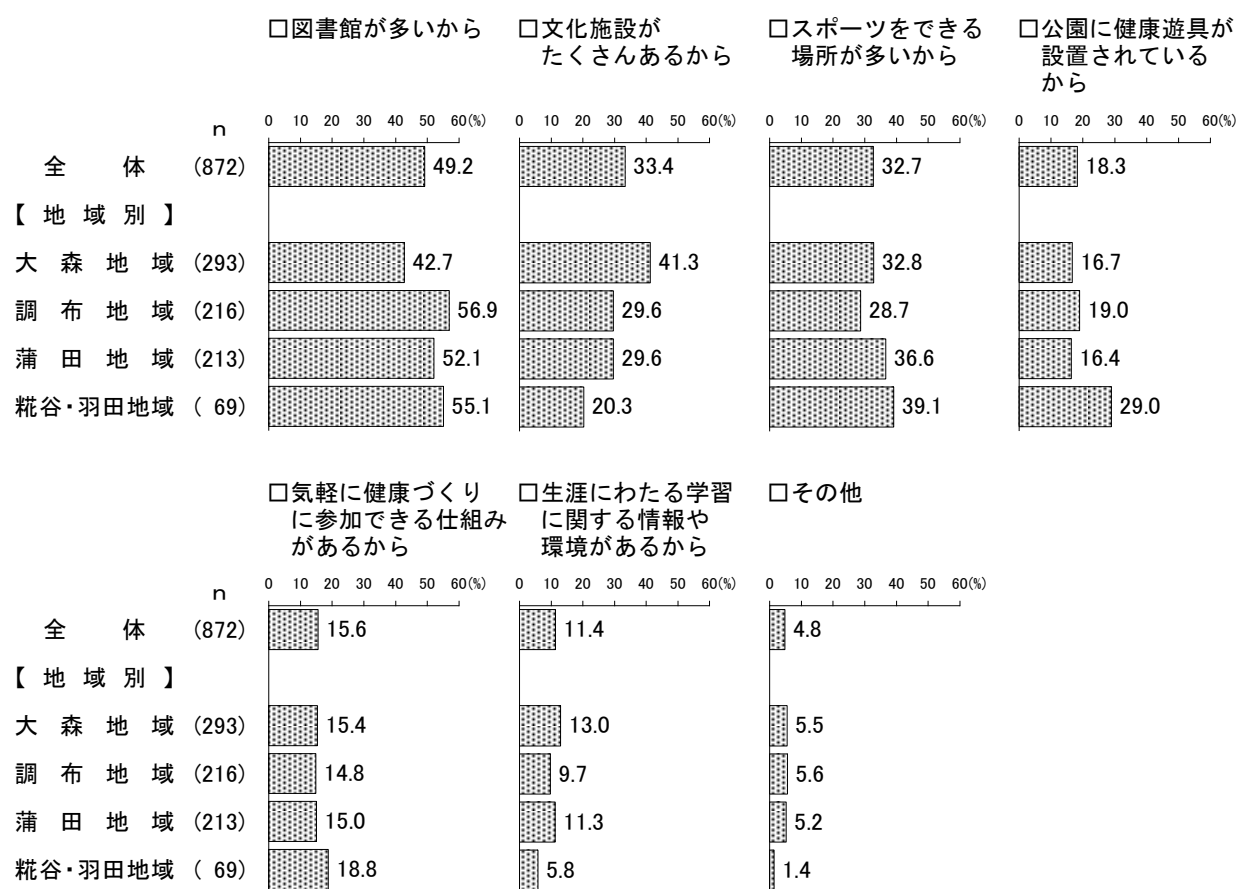
図 4-2-2 区内の環境に満足している理由－性／年代別



性別でみると、「スポーツをできる場所が多いから」は男性（40.9%）が女性（26.7%）より14.2ポイント高くなっている。一方、「気軽に健康づくりに参加できる仕組みがあるから」は女性（18.8%）が男性（10.5%）より8.3ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「図書館が多いから」は女性60代（59.4%）で約6割と高くなっている。「スポーツをできる場所が多いから」は男性10・20代（48.8%）と男性40代（48.1%）で5割近くと高くなっている。「気軽に健康づくりに参加できる仕組みがあるから」は女性70歳以上（41.1%）で4割を超えて高くなっている。（図 4-2-2）

図 4-2-3 区内の環境に満足している理由—地域別



地域別でみると、「図書館が多いから」は調布地域（56.9%）で6割近くと高くなっている。「文化施設がたくさんあるから」は大森地域（41.3%）で4割を超えて高くなっている。「スポーツをできる場所が多いから」は糀谷・羽田地域（39.1%）で約4割と高くなっている。（図4-2-3）

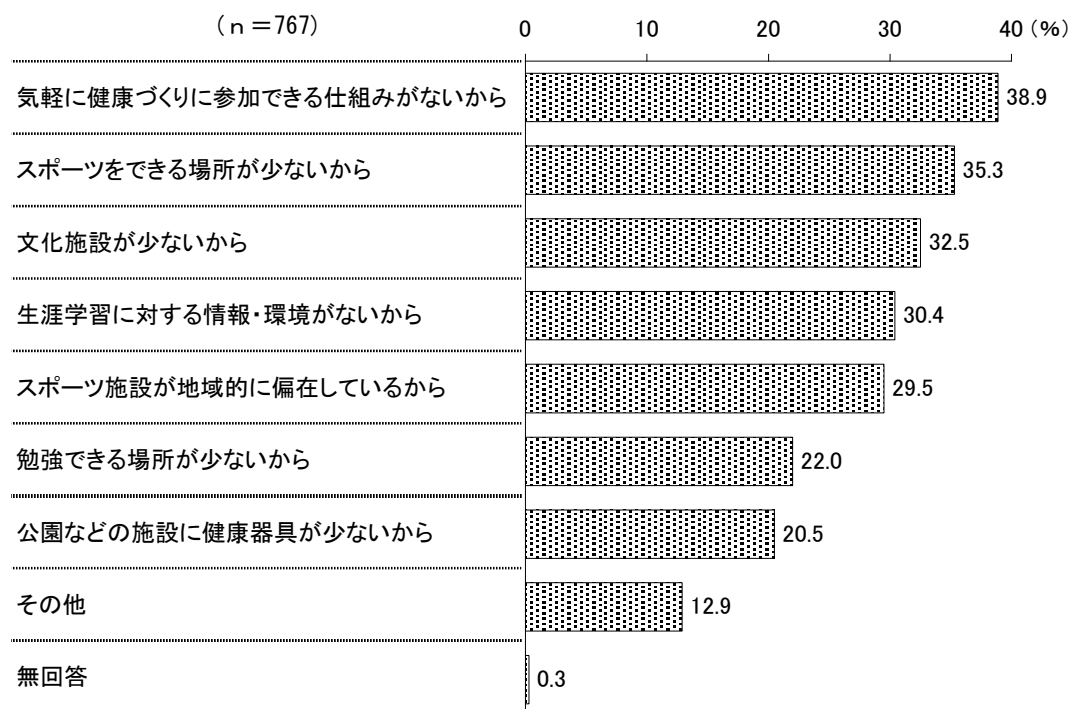
(3) 区内の環境に満足していない理由

◇「気軽に健康づくりに参加できる仕組みがないから」が4割近く

(問8で、「満足していない」と回答した方に)

問8-2 「満足していない」理由は何ですか。(〇はいくつでも)

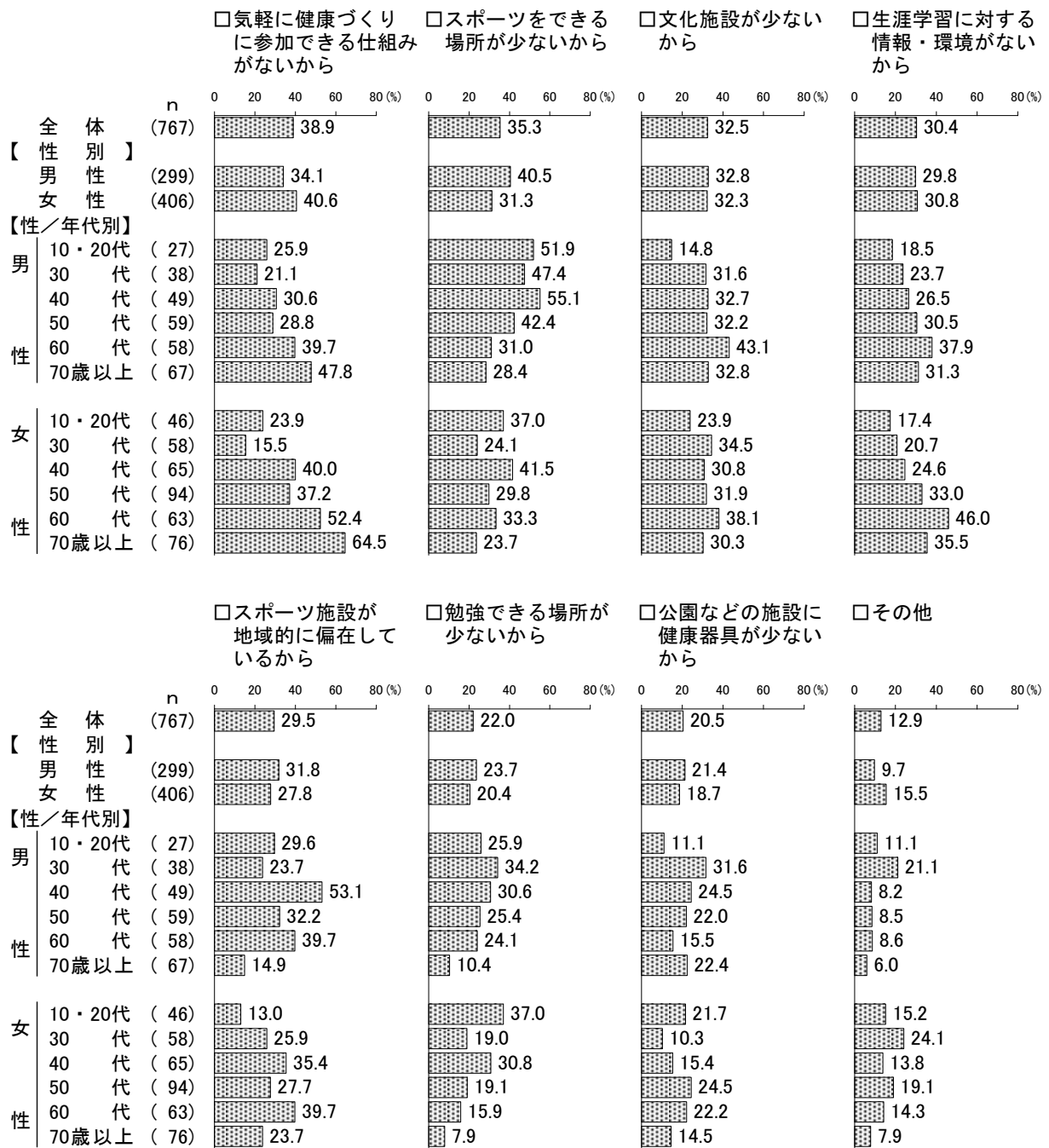
図4-3-1



区内の環境に「満足していない」と答えた人(767人)に、その理由を聞いたところ、「気軽に健康づくりに参加できる仕組みがないから」(38.9%)が4割近くで最も高く、次いで「スポーツをできる場所が少ないから」(35.3%)、「文化施設が少ないから」(32.5%)、「生涯学習に対する情報・環境がないから」(30.4%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「平日日中が多く参加できない」、「興味がない・わからない」などがあげられている。(図4-3-1)

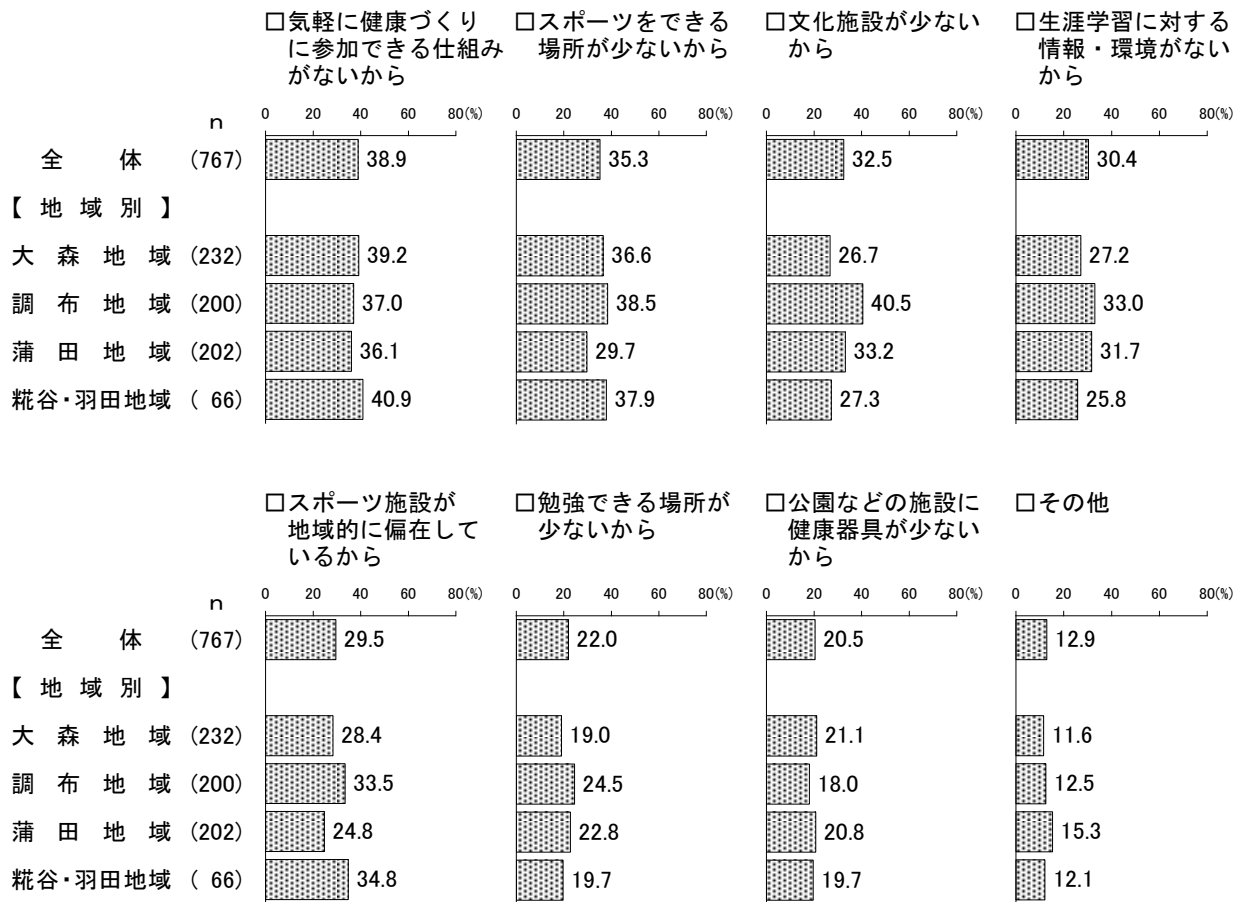
図 4-3-2 区内の環境に満足していない理由－性／年代別



性別でみると、「スポーツをできる場所が少ないから」は男性（40.5%）が女性（31.3%）より9.2ポイント高くなっている。一方、「気軽に健康づくりに参加できる仕組みがないから」は女性（40.6%）が男性（34.1%）より6.5ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「気軽に健康づくりに参加できる仕組みがないから」は女性70歳以上（64.5%）で6割半ばと高くなっている。「スポーツをできる場所が少ないから」は男性40代（55.1%）で5割半ばと高くなっている。「スポーツ施設が地域的に偏在しているから」は男性40代（53.1%）で5割を超えて高くなっている。（図4-3-2）

図 4-3-3 区内の環境に満足していない理由―地域別



地域別でみると、「気軽に健康づくりに参加できる仕組みがないから」は狹谷・羽田地域 (40.9%) と大森地域 (39.2%) で約 4 割と高くなっている。「文化施設が少ないから」は調布地域 (40.5%) で約 4 割と高くなっている。「スポーツ施設が地域的に偏在しているから」は狹谷・羽田地域 (34.8%) で 3 割半ばと高くなっている。(図 4-3-3)

(4) 男女の地位平等

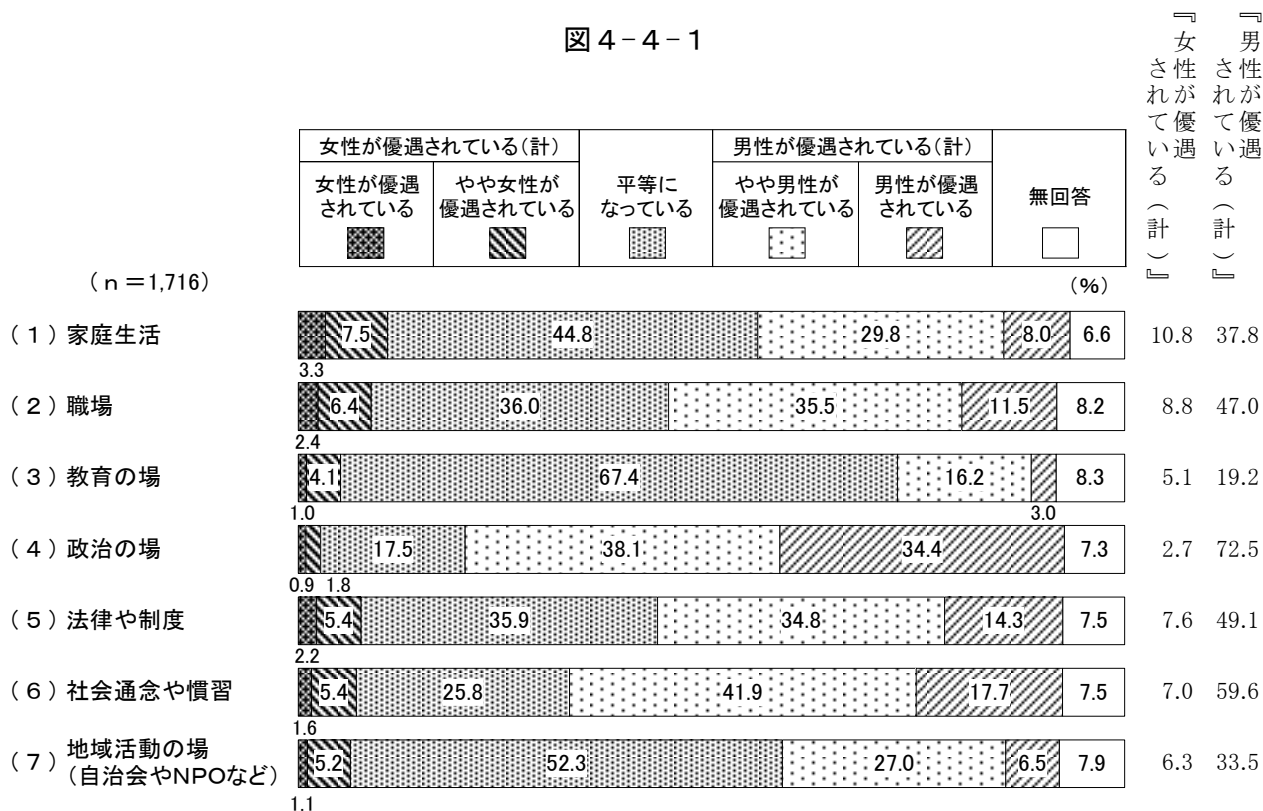
◇「平等になっている」は“教育の場”で7割近く

『男性が優遇されている(計)』は“政治の場”で7割を超える

問9 あなたは、以下の分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。

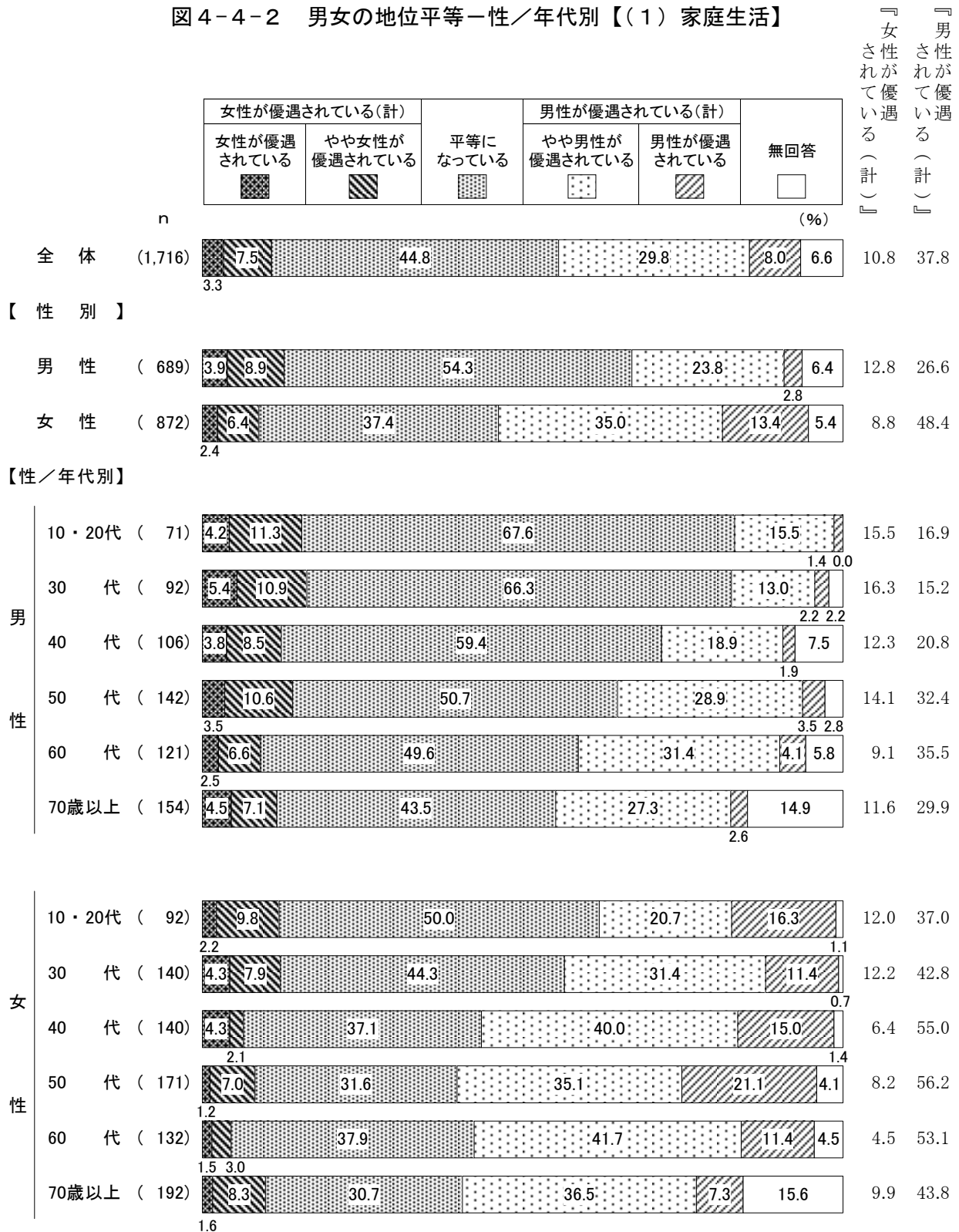
(○はそれぞれ1つ)

図4-4-1



男女の地位について聞いたところ、「女性が優遇されている」と「やや女性が優遇されている」を合わせた『女性が優遇されている(計)』は“家庭生活”(10.8%)で約1割となっている。一方、「やや男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている(計)』は“政治の場”(72.5%)で7割を超え、“社会通念や慣習”(59.6%)で6割と高くなっている。また、「平等になっている」は“教育の場”(67.4%)で7割近く、“地域活動の場(自治会やNPOなど)”(52.3%)で5割を超えて高くなっている。(図4-4-1)

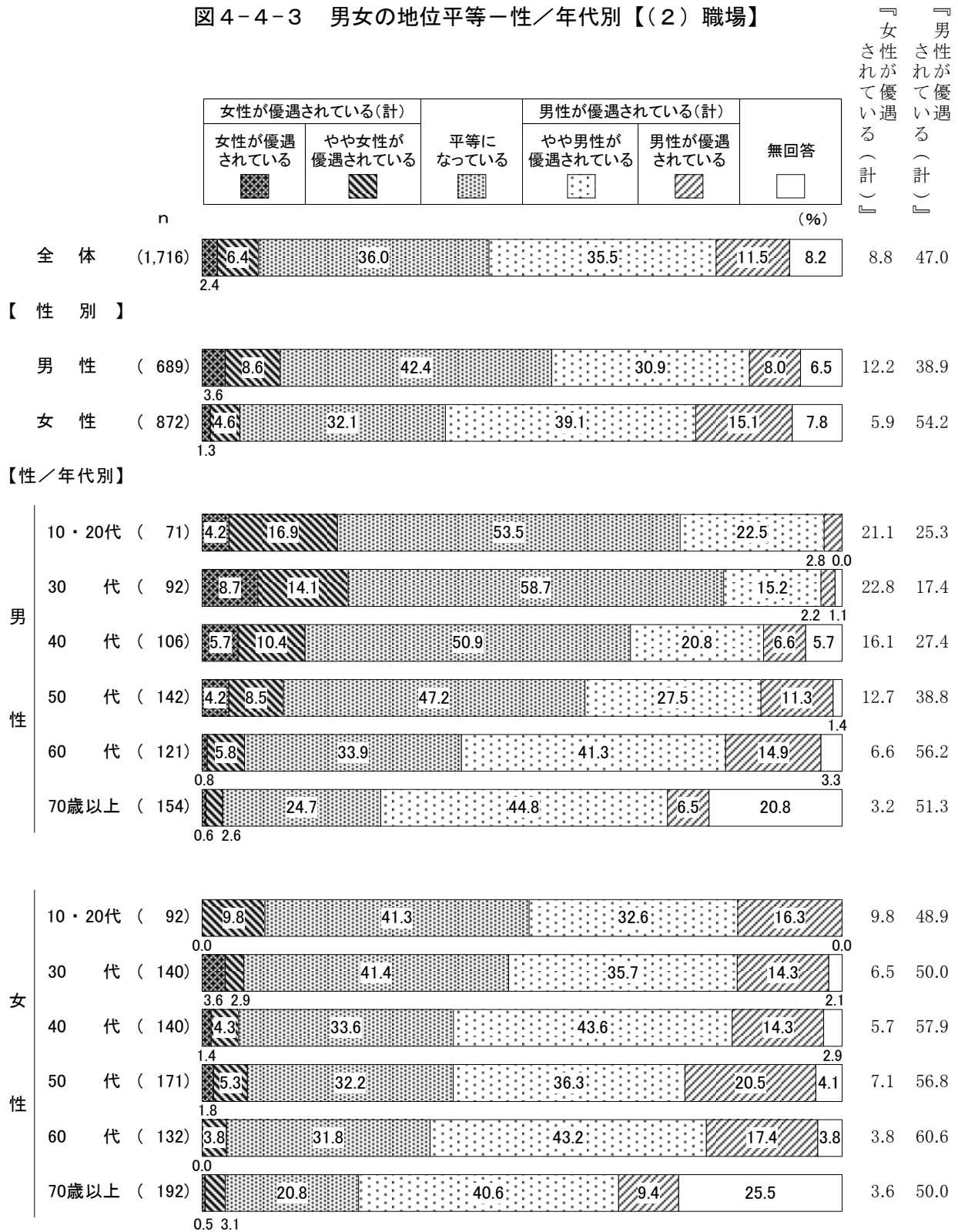
図 4-4-2 男女の地位平等－性／年代別【(1) 家庭生活】



“家庭生活”を性別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性(48.4%)が男性(26.6%)より21.8ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性40代(55.0%)と女性50代(56.2%)で5割半ばと高くなっている。「平等になっている」は男性10・20代(67.6%)で7割近くと高くなっている。(図4-4-2)

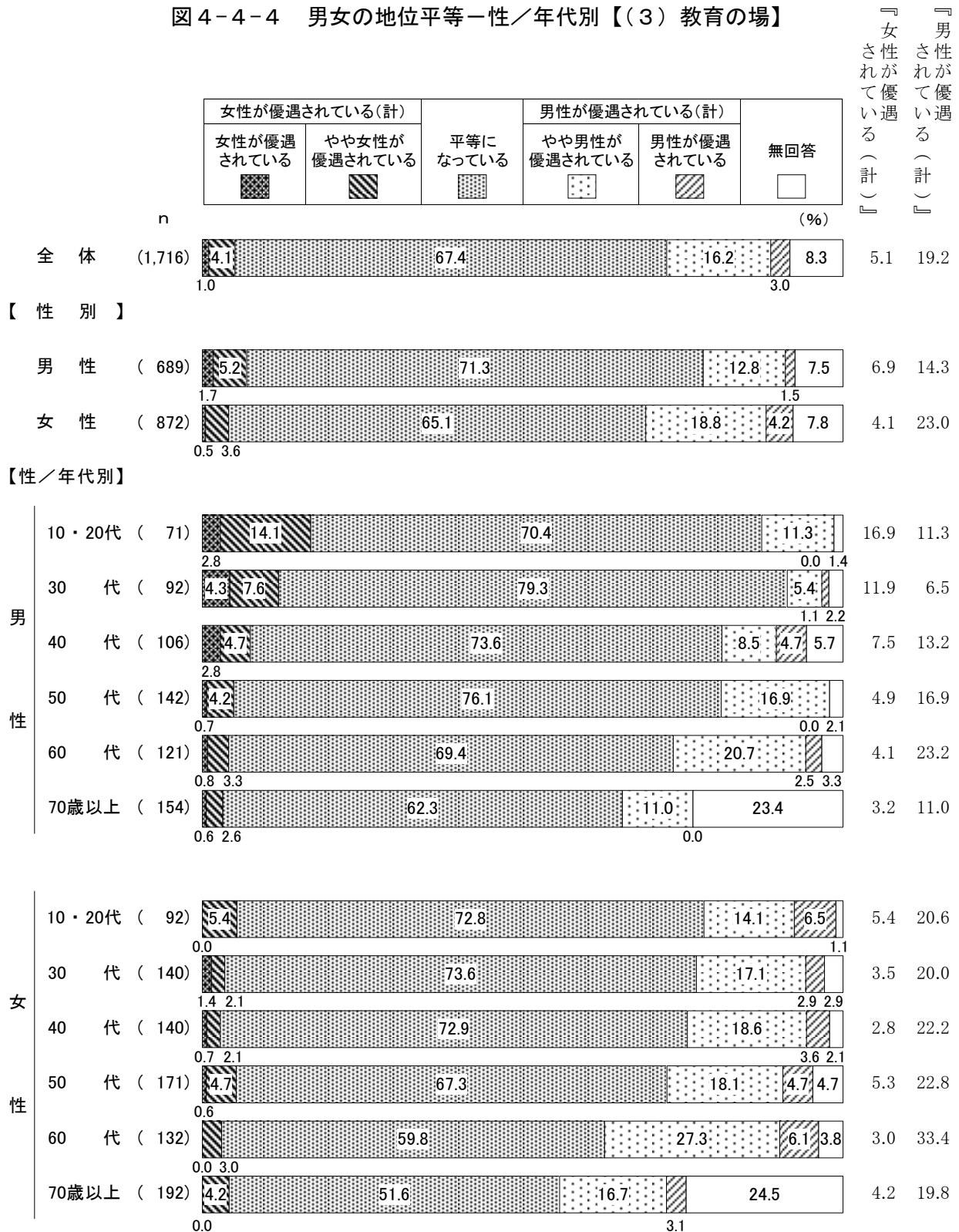
図 4-4-3 男女の地位平等－性／年代別【(2) 職場】



“職場”を性別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性(54.2%)が男性(38.9%)より15.3ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性60代(60.6%)で約6割と高くなっている。「平等になっている」は男性30代(58.7%)で6割近くと高くなっている。(図4-4-3)

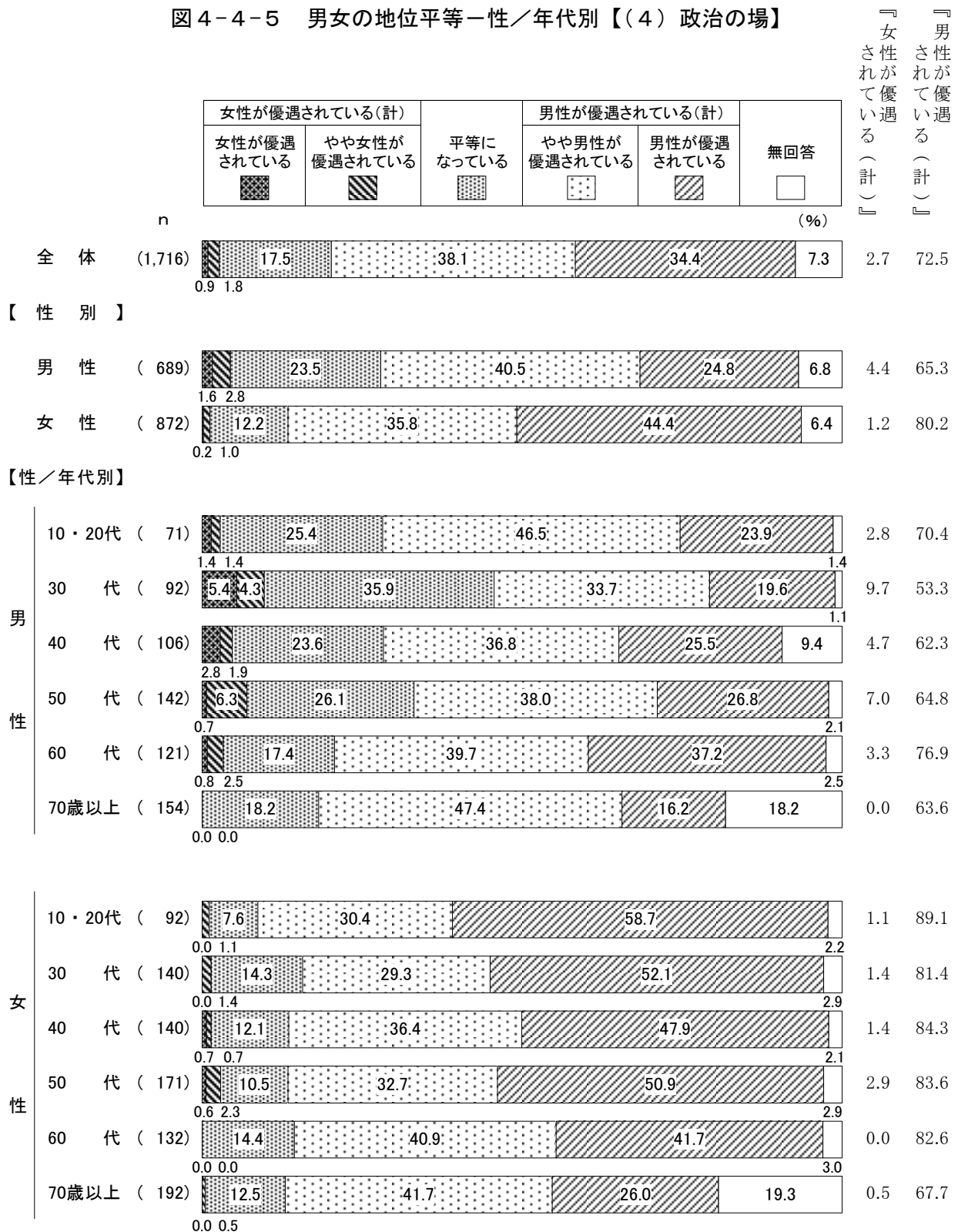
図 4-4-4 男女の地位平等－性／年代別【(3) 教育の場】



“教育の場”を性別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性(23.0%)が男性(14.3%)より8.7ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性60代(33.4%)で3割を超えて高くなっている。「平等になっている」は男性30代(79.3%)で約8割と高くなっている。(図4-4-4)

図 4-4-5 男女の地位平等－性／年代別【（４）政治の場】

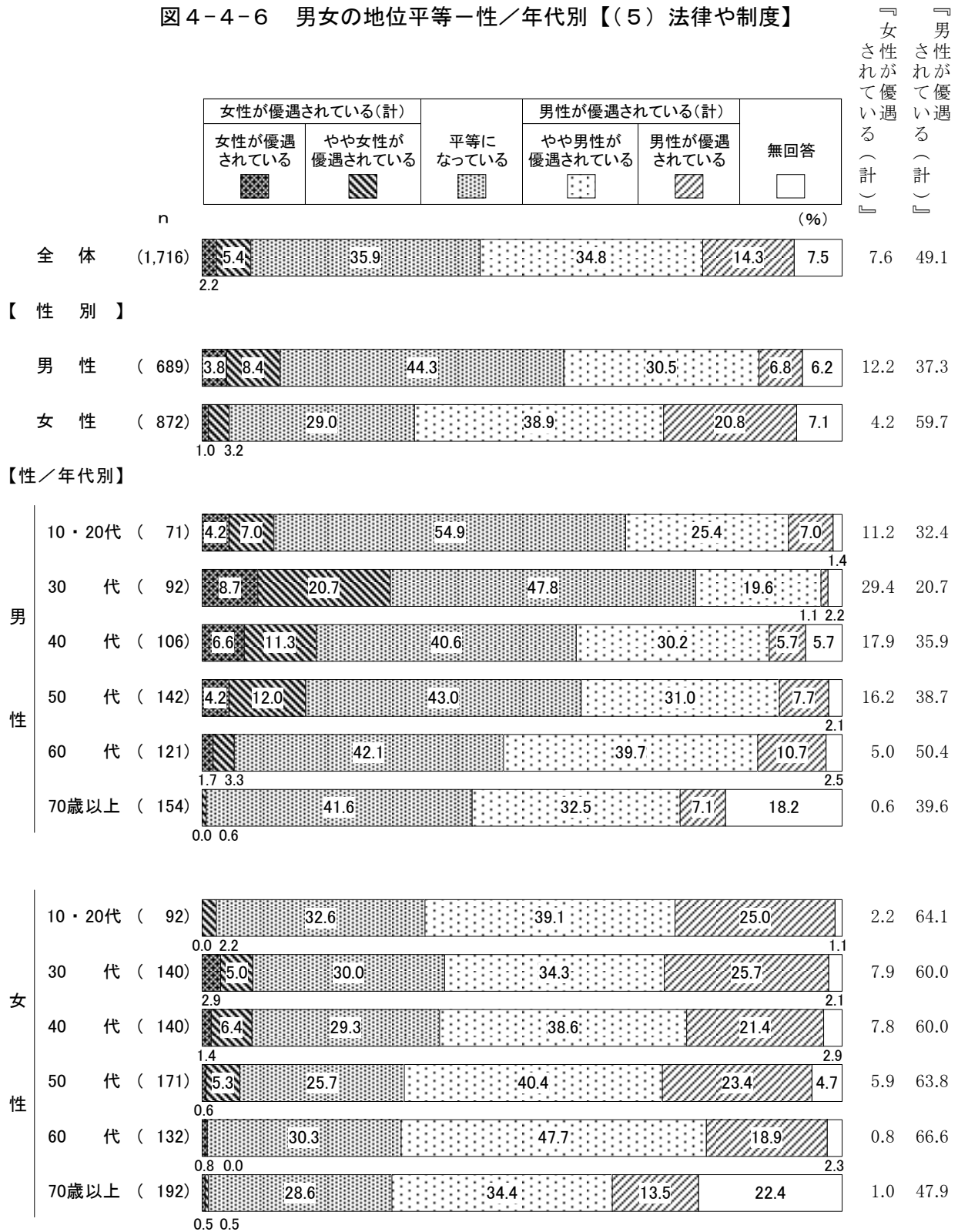


“政治の場”を性別でみると、『男性が優遇されている（計）』は女性（80.2％）が男性（65.3％）より14.9ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『男性が優遇されている（計）』は女性10・20代（89.1％）で約9割と高くなっている。「平等になっている」は男性30代（35.9％）で3割半ばと高くなっている。

（図 4-4-5）

図 4-4-6 男女の地位平等－性／年代別【(5) 法律や制度】

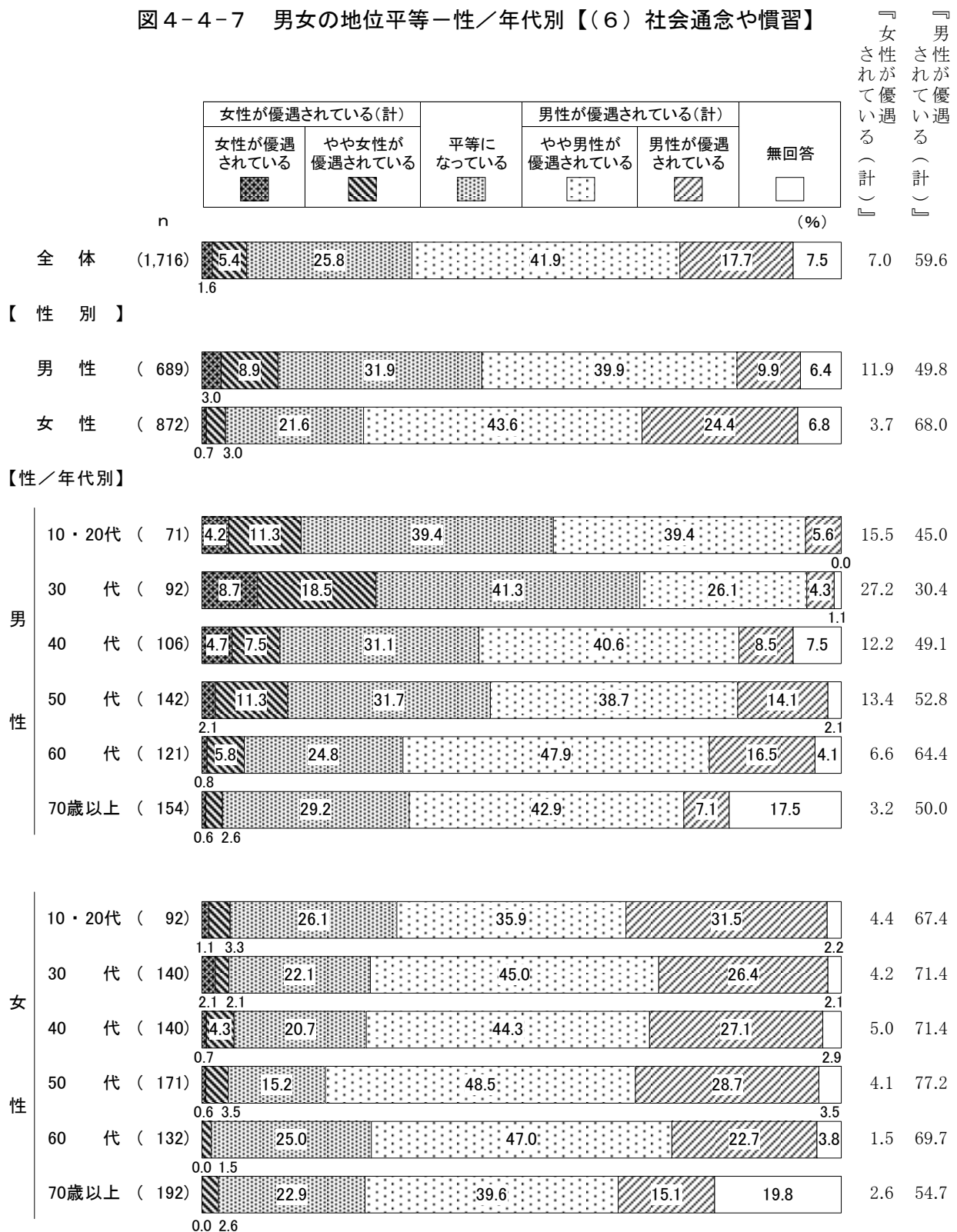


“法律や制度”を性別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性(59.7%)が男性(37.3%)より22.4ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性60代(66.6%)で7割近くと高くなっている。「平等になっている」は男性10・20代(54.9%)で5割半ばと高くなっている。

(図 4-4-6)

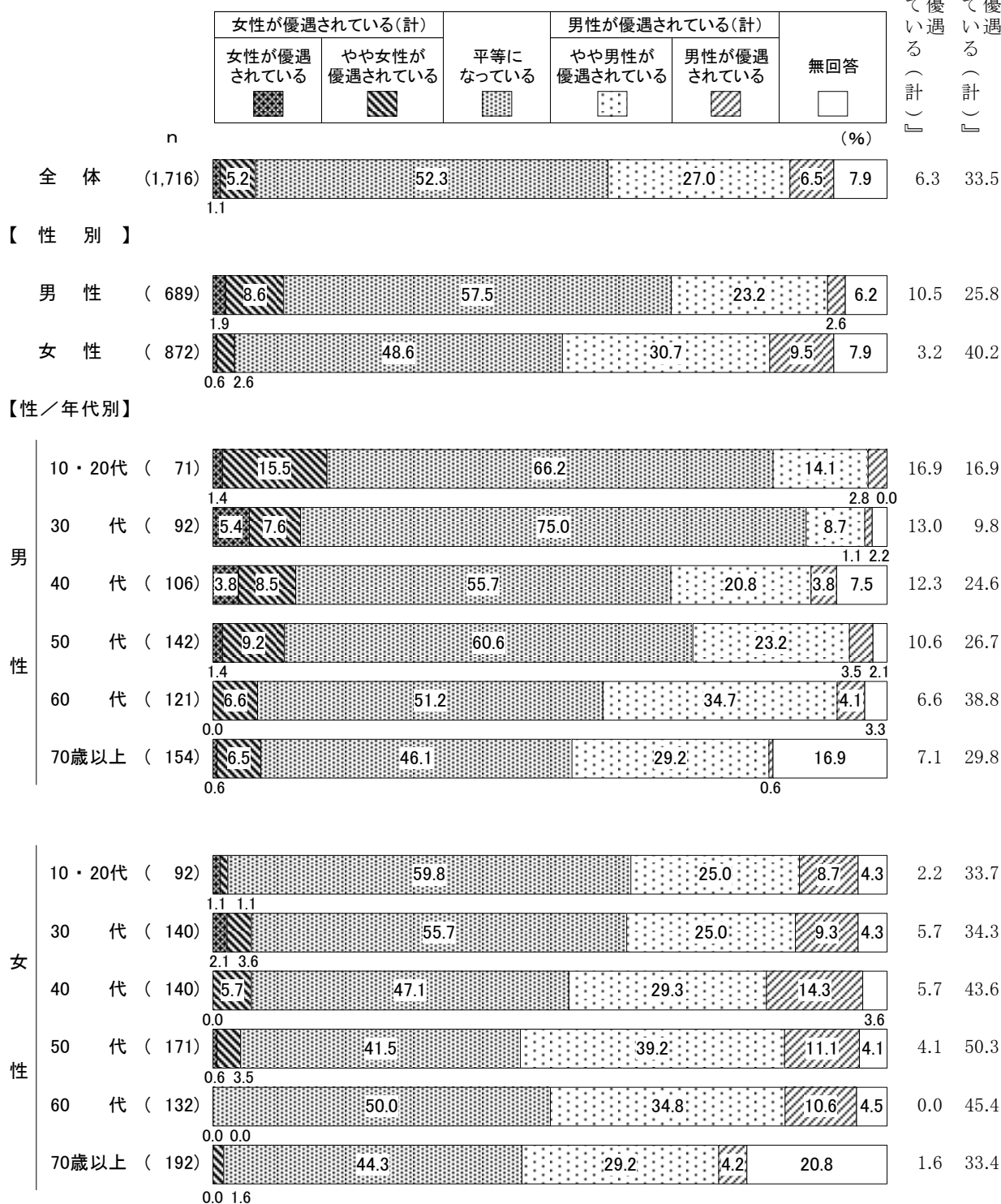
図 4-4-7 男女の地位平等－性／年代別【(6) 社会通念や慣習】



“社会通念や慣習”を性別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性(68.0%)が男性(49.8%)より18.2ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性50代(77.2%)で8割近くと高くなっている。「平等になっている」は男性30代(41.3%)で4割を超えて高くなっている。(図4-4-7)

図 4-4-8 男女の地位平等－性／年代別【(7)地域活動の場(自治会やNPOなど)】『女性
『男性
されが
優遇
ている
(計)
』
されが
優遇
ている
(計)
』



“地域活動の場（自治会やNPOなど）”を性別でみると、『男性が優遇されている（計）』は女性（40.2%）が男性（25.8%）より14.4ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『男性が優遇されている（計）』は女性50代（50.3%）で5割と高くなっている。「平等になっている」は男性30代（75.0%）で7割半ばと高くなっている。（図4-4-8）

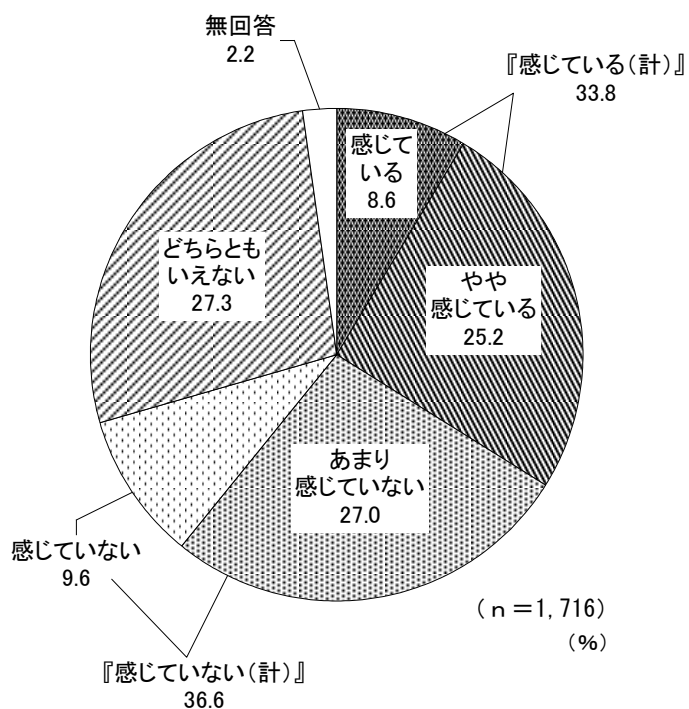
(5) 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は3割を超える

問10 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じていますか。(○は1つだけ)

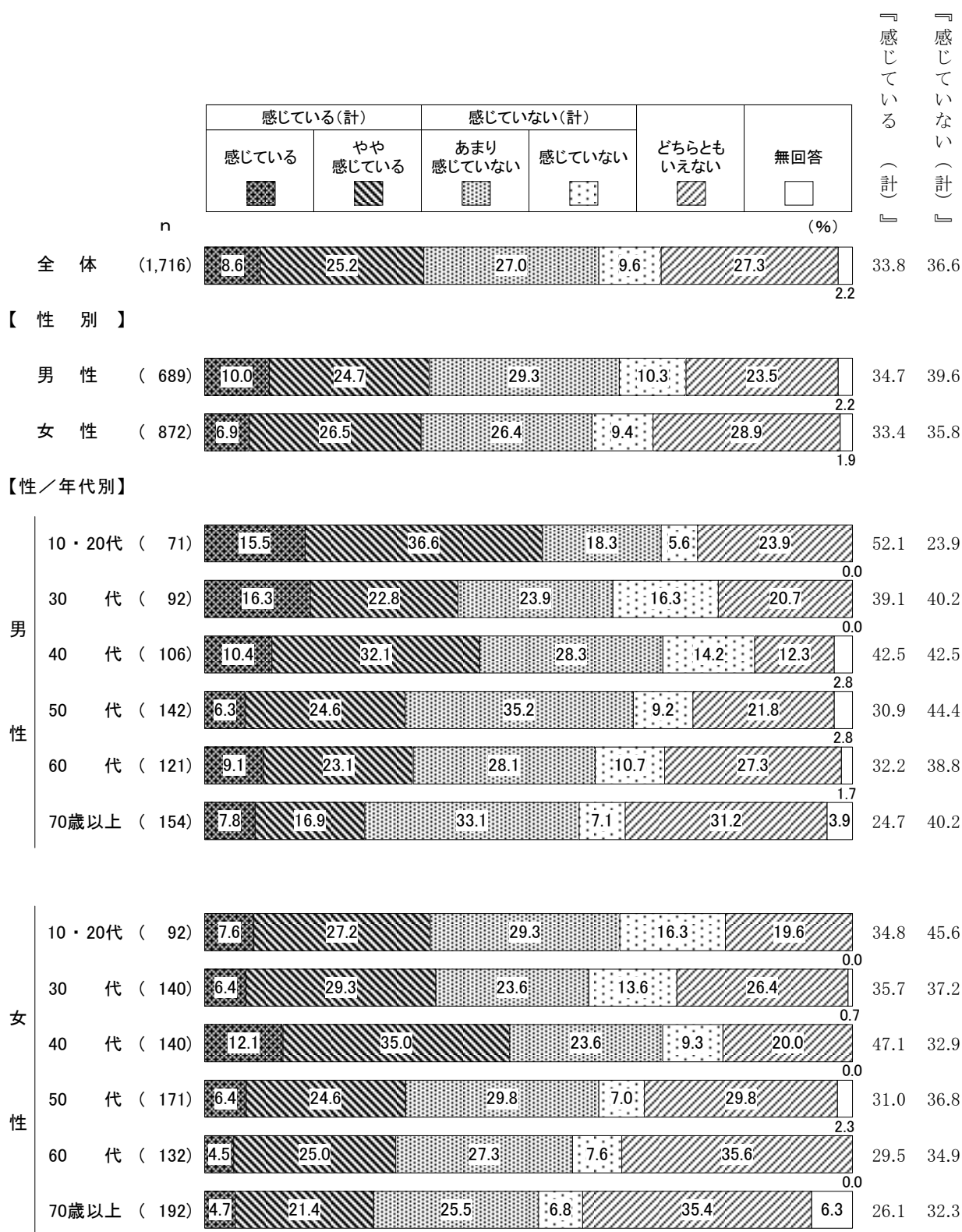
※多文化共生とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。

図 4-5-1



大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか聞いたところ、「感じている」(8.6%)と「やや感じている」(25.2%)を合わせた『感じている(計)』(33.8%)は3割を超えている。一方、「あまり感じていない」(27.0%)と「感じていない」(9.6%)を合わせた『感じていない(計)』(36.6%)は4割近くとなっている。(図4-5-1)

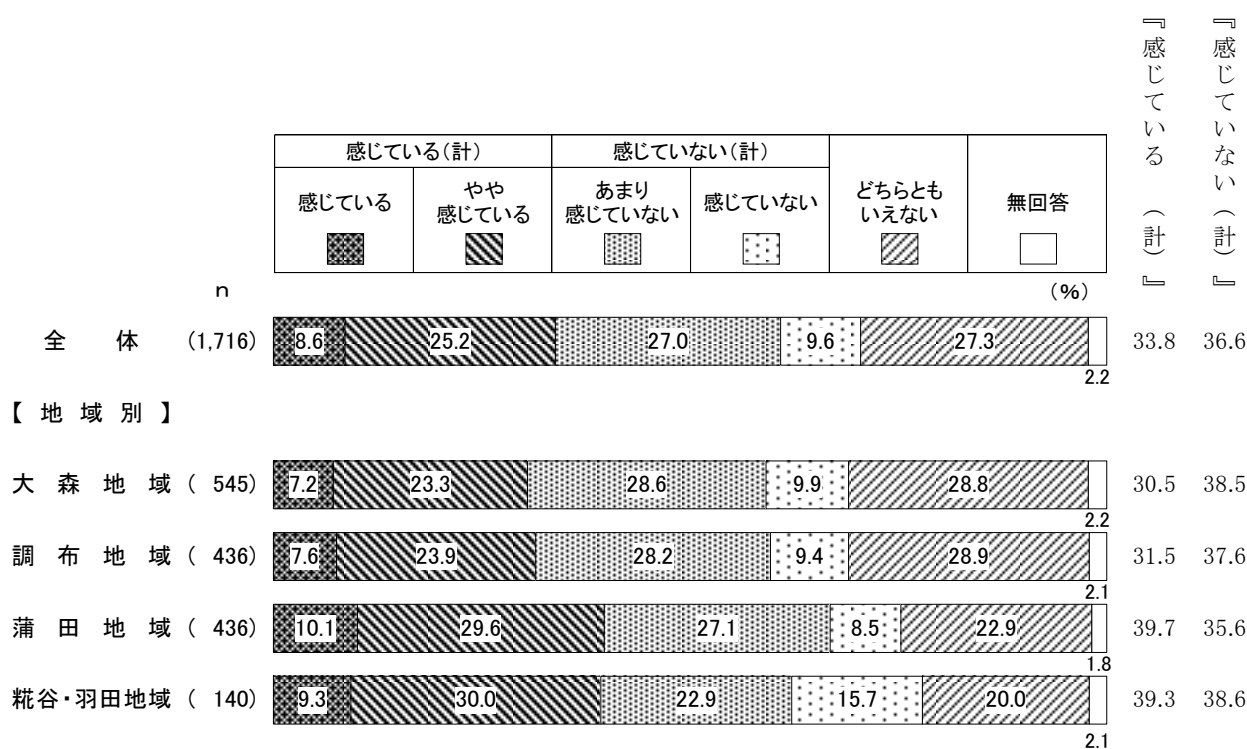
図 4-5-2 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているかー性／年代別



性別でみると、『感じていない (計)』は男性 (39.6%) が女性 (35.8%) より3.8ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『感じている (計)』は男性10・20代 (52.1%) で5割を超えて高くなっている。一方、『感じていない (計)』は女性10・20代 (45.6%) と男性50代 (44.4%) で4割半ばと高くなっている。(図 4-5-2)

図 4-5-3 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているかー地域別



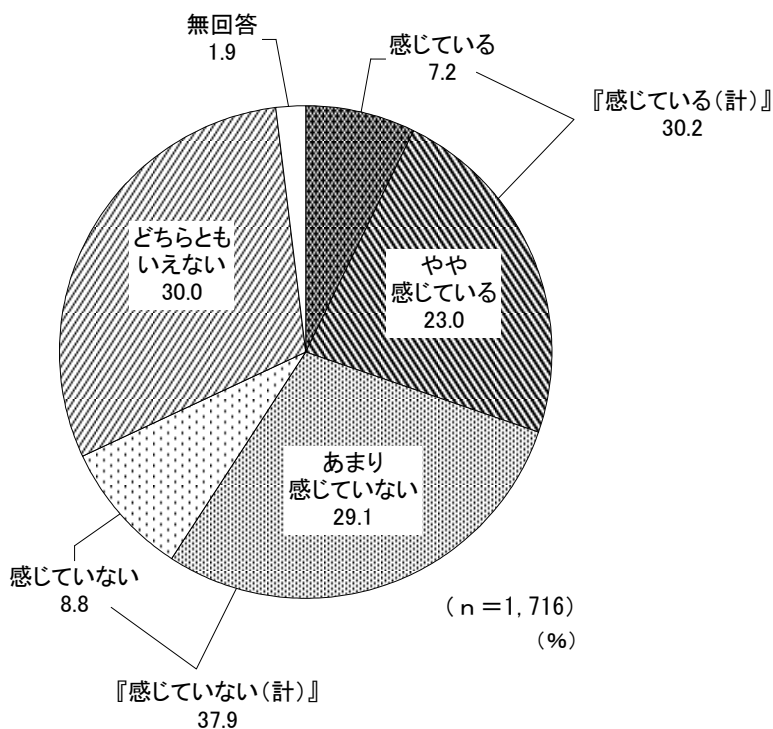
地域別でみると、『感じている (計)』は蒲田地域 (39.7%) と糀谷・羽田地域 (39.3%) で約 4 割と高くなっている。(図 4-5-3)

(6) 障がいの有無にかかわらず理解しあう環境があると感じているか

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は3割

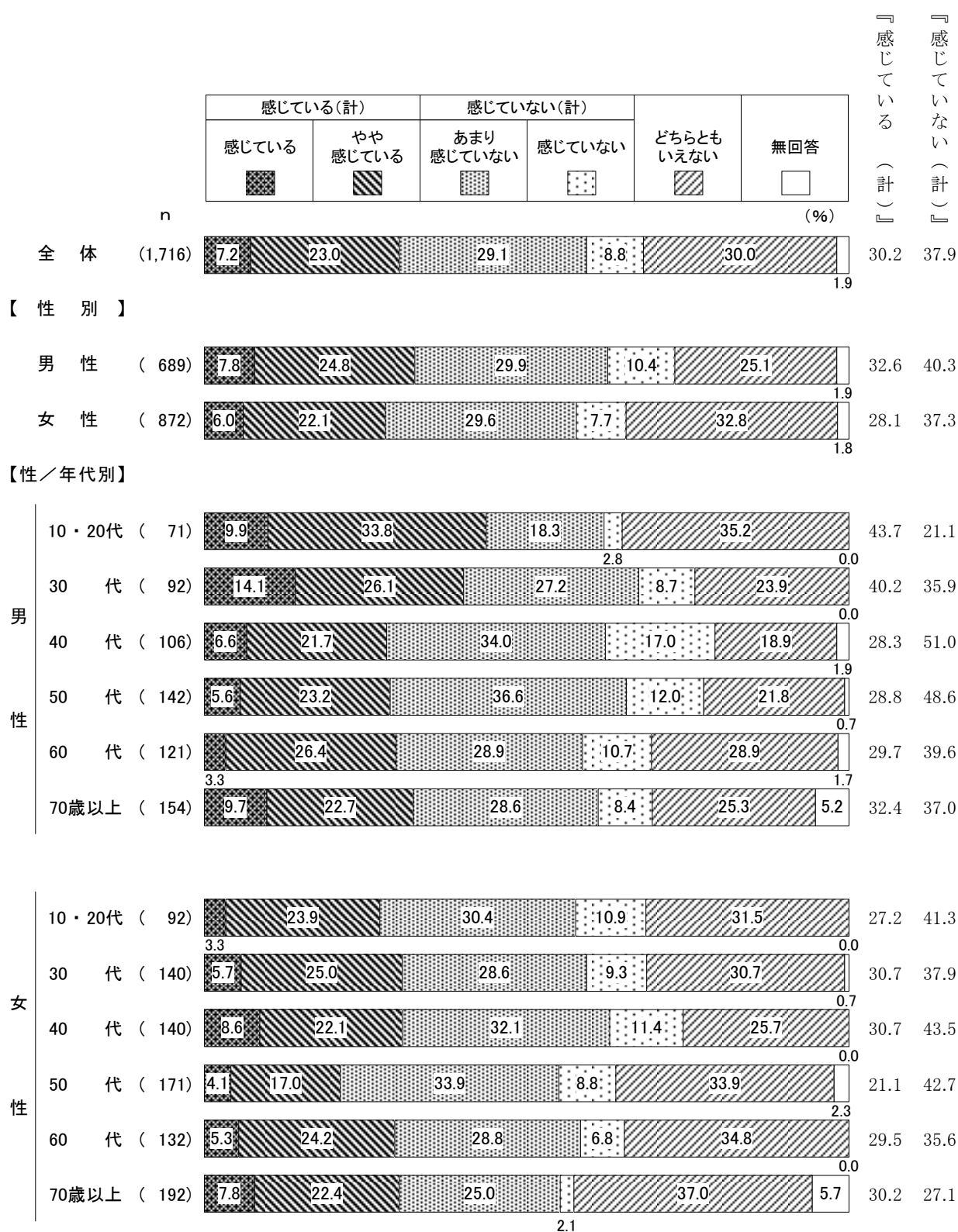
問11 障がいの有無にかかわらず、人々がお互いにその人らしさを理解しあう環境があると感じていますか。(○は1つだけ)

図4-6-1



障がいの有無にかかわらず理解しあう環境があると感じているか聞いたところ、「感じている」(7.2%)と「やや感じている」(23.0%)を合わせた『感じている(計)』(30.2%)は3割となっている。一方、「あまり感じていない」(29.1%)と「感じていない」(8.8%)を合わせた『感じていない(計)』(37.9%)は4割近くとなっている。(図4-6-1)

図 4-6-2 障がいの有無にかかわらず理解しあう環境があると感じているかー性／年代別

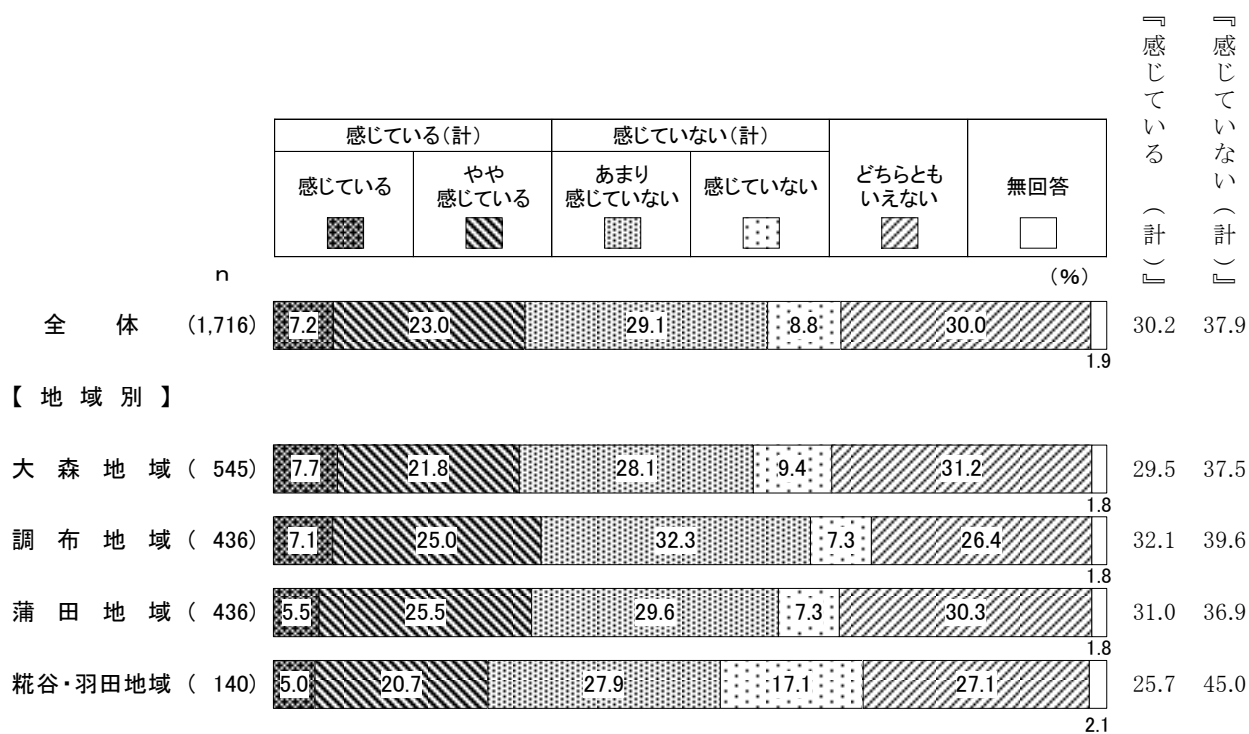


性別でみると、『感じている (計)』は男性 (32.6%) が女性 (28.1%) より4.5ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『感じている (計)』は男性10・20代 (43.7%) で4割を超えて高くなっている。一方、『感じていない (計)』は男性40代 (51.0%) で5割を超えて高くなっている。

(図 4-6-2)

図 4-6-3 障がいの有無にかかわらず理解しあう環境があると感じているかー地域別



地域別でみると、『感じている(計)』は調布地域(32.1%)と蒲田地域(31.0%)で3割を超えて高くなっている。一方、『感じていない(計)』は糀谷・羽田地域(45.0%)で4割半ばと高くなっている。(図4-6-3)

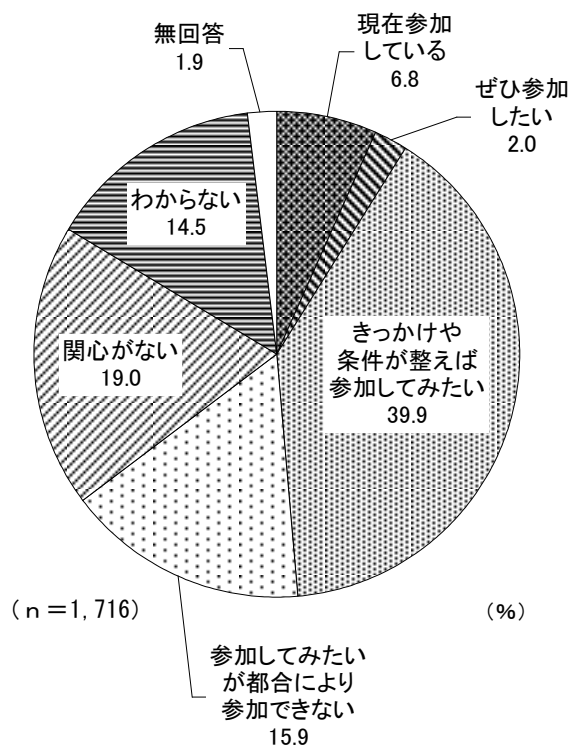
(7) 地域活動への参加意向

◇「きっかけや条件が整えば参加してみたい」が4割

問12 あなたは、現在住んでいるまちで何らかの地域活動に参加したいと思いますか。

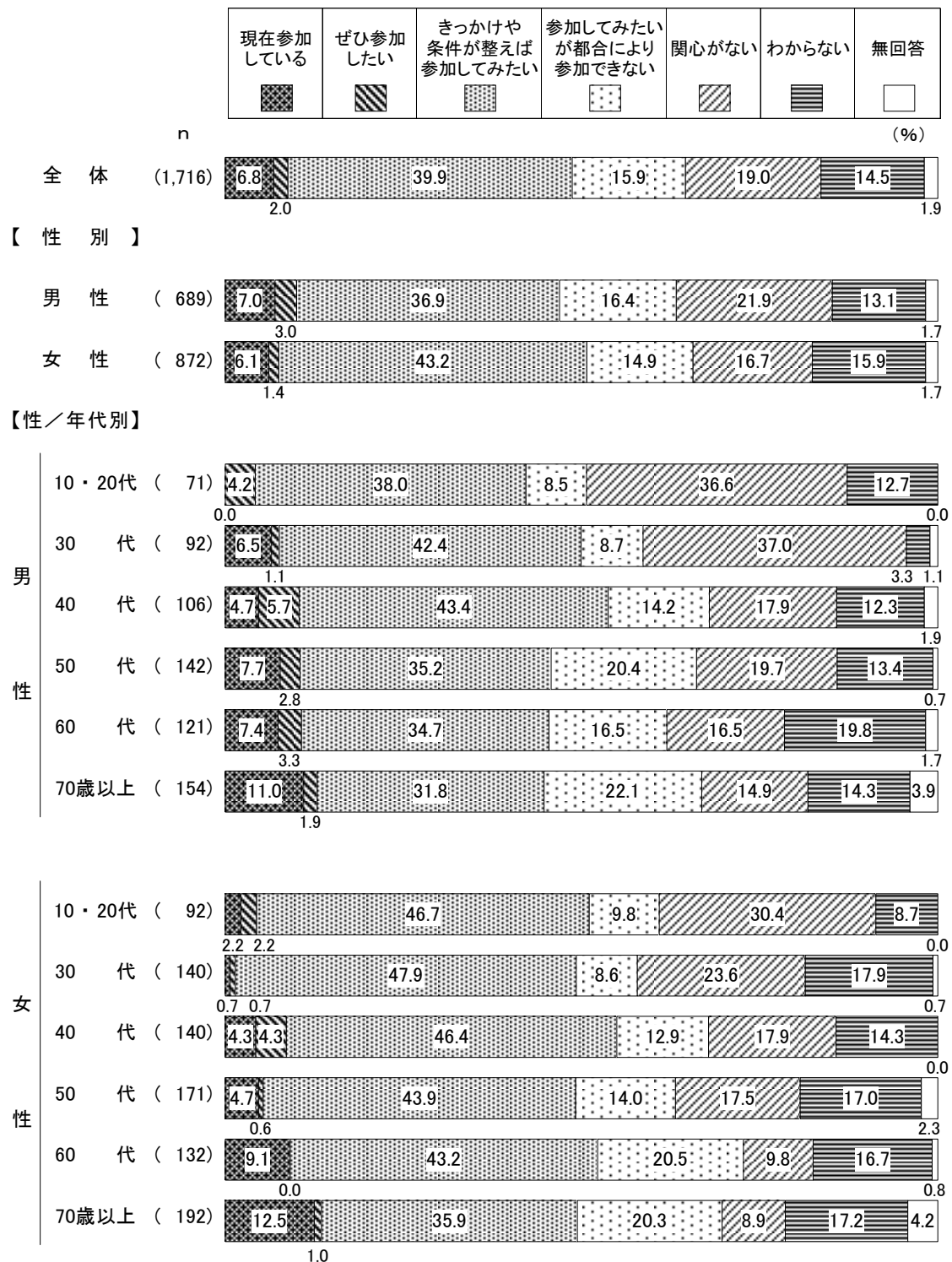
(○は1つだけ)

図4-7-1



現在住んでいるまちで何らかの地域活動に参加したいと思うか聞いたところ、「現在参加している」(6.8%)と「ぜひ参加したい」(2.0%)は1割未満、「きっかけや条件が整えば参加してみたい」(39.9%)が4割となっている。一方、「参加してみたいが都合により参加できない」(15.9%)は1割半ば、「興味がない」(19.0%)は約2割となっている。(図4-7-1)

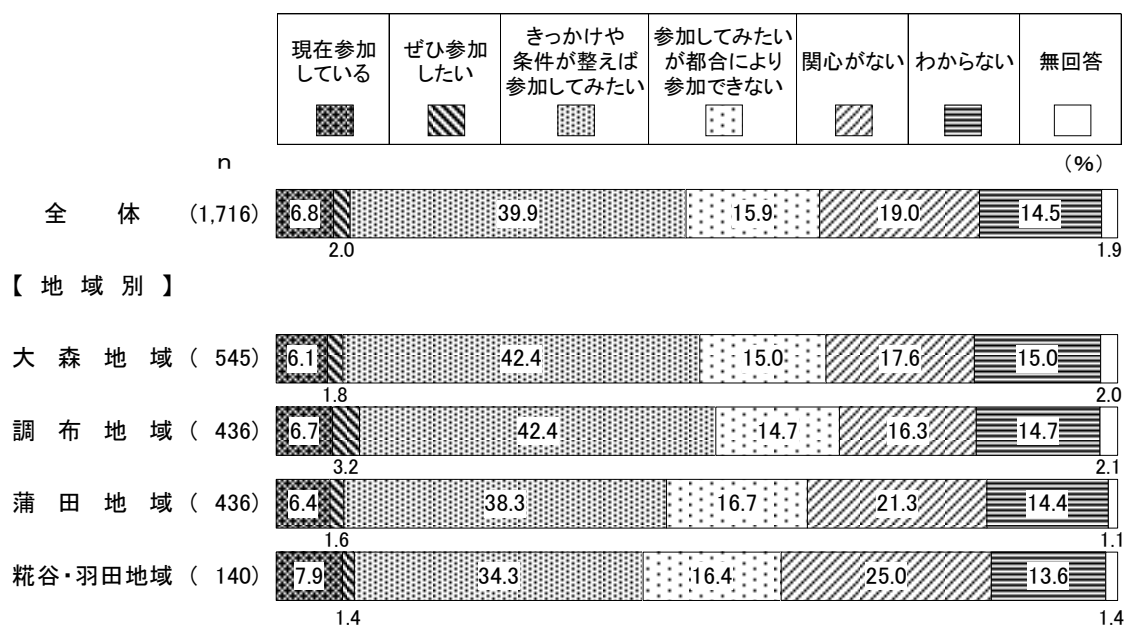
図 4-7-2 地域活動への参加意向一性／年代別



性別でみると、「きっかけや条件が整えば参加してみたい」は女性（43.2%）が男性（36.9%）より6.3ポイント高くなっている。一方、「関心がない」は男性（21.9%）が女性（16.7%）より5.2ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「きっかけや条件が整えば参加してみたい」は女性10・20代（46.7%）と女性30代（47.9%）で5割近くと高くなっている。「関心がない」は男性10・20代（36.6%）と男性30代（37.0%）で4割近くと高くなっている。（図4-7-2）

図 4-7-3 地域活動への参加意向－地域別



地域別でみると、「きっかけや条件が整えば参加してみたい」は大森地域と調布地域（ともに42.4%）で4割を超えて高くなっている。「関心がない」は糀谷・羽田地域（25.0%）で2割半ばと高くなっている。（図4-7-3）

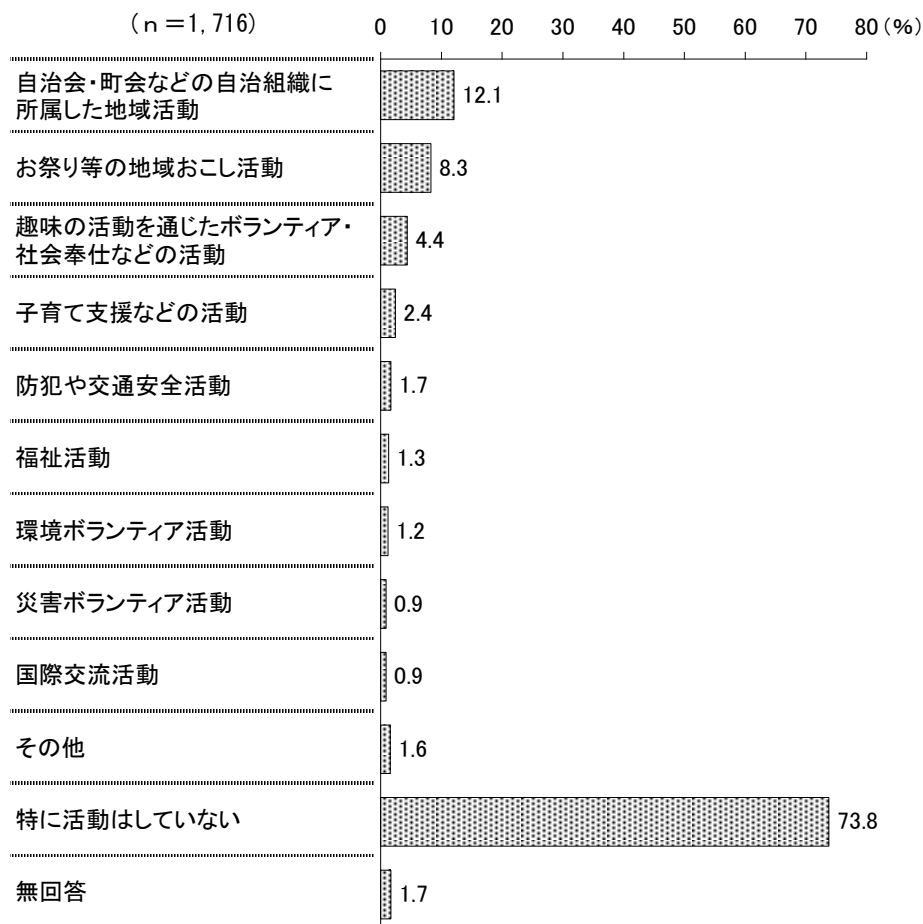
（８）地域活動に参加した、かかわった経験

◇「自治会・町会などの自治組織に所属した地域活動」が１割を超える

問13 過去１年以内で、地域活動に参加した、かかわった経験はありますか。

（○はより重点を置いている活動を３つまで）

図４－８－１

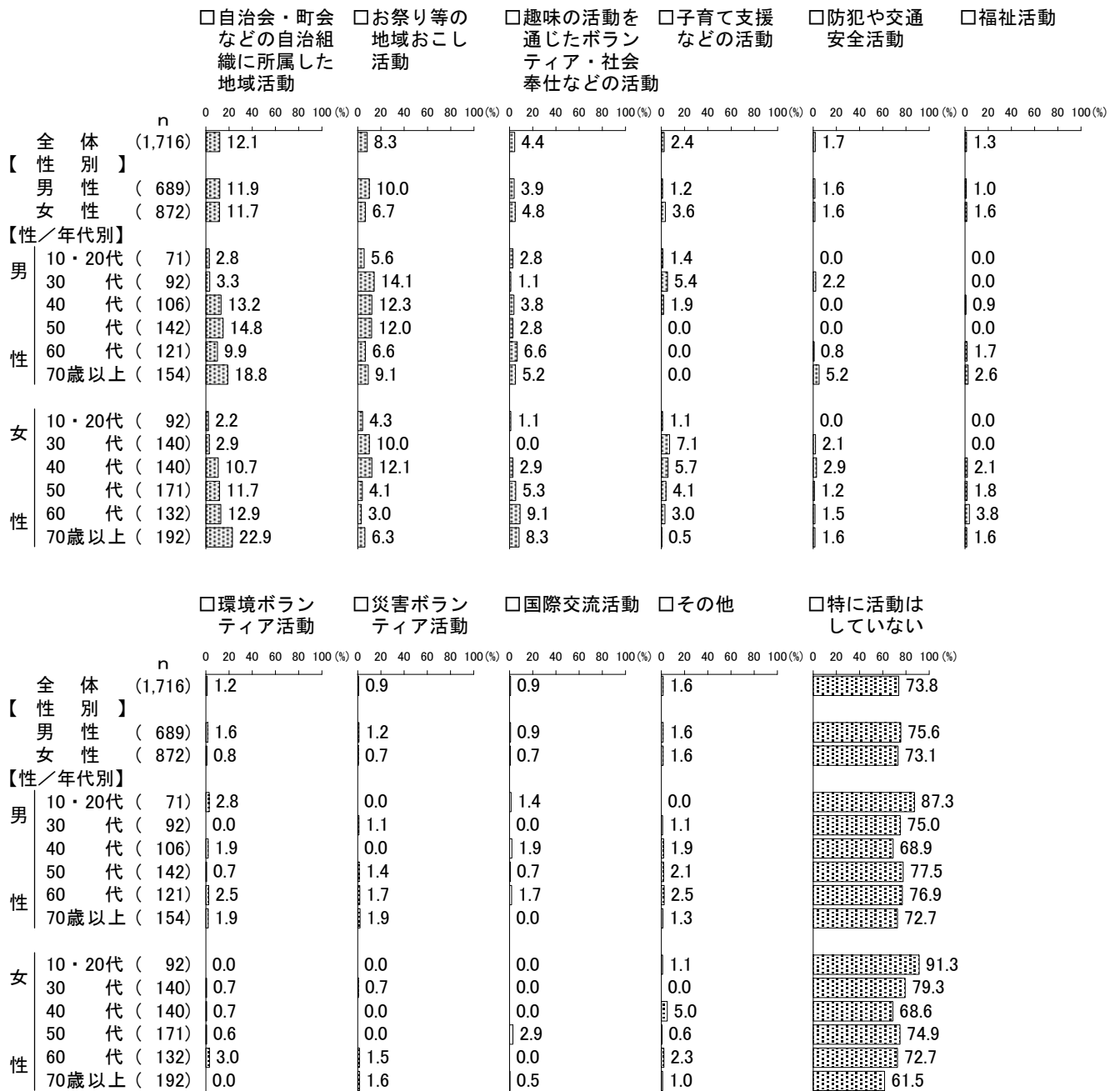


過去１年以内で、地域活動に参加した、かかわった経験を聞いたところ、「特に活動はしていない」（73.8%）が７割を超えている。一方、経験がある中では「自治会・町会などの自治組織に所属した地域活動」（12.1%）が１割を超えて最も高く、次いで「お祭り等の地域おこし活動」（8.3%）などの順になっている。

「その他」への回答として、「PTA活動」、「学校ボランティア」などがあげられている。

（図４－８－１）

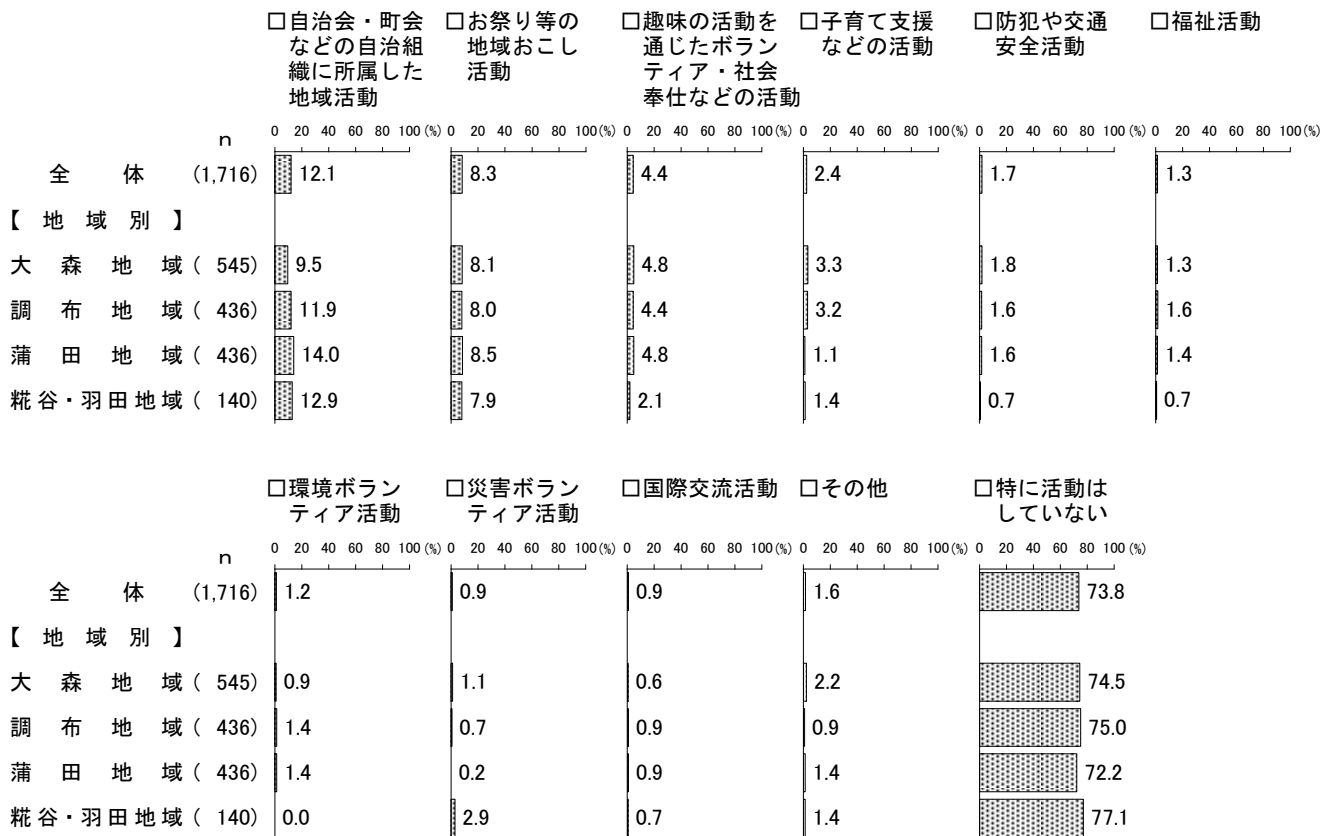
図4-8-2 地域活動に参加した、かかわった経験－性／年代別



性別でみると、「お祭り等の地域おこし活動」は男性（10.0%）が女性（6.7%）より3.3ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「自治会・町会などの自治組織に所属した地域活動」は女性70歳以上（22.9%）で2割を超えて高くなっている。「特に活動はしていない」は女性10・20代（91.3%）で9割を超えて高くなっている。（図4-8-2）

図 4-8-3 地域活動に参加した、かかわった経験—地域別



地域別でみると、「自治会・町会などの自治組織に所属した地域活動」は蒲田地域（14.0％）で1割半ばとなっている。「特に活動はしていない」は梶谷・羽田地域（77.1％）で8割近くと高くなっている。（図 4-8-3）

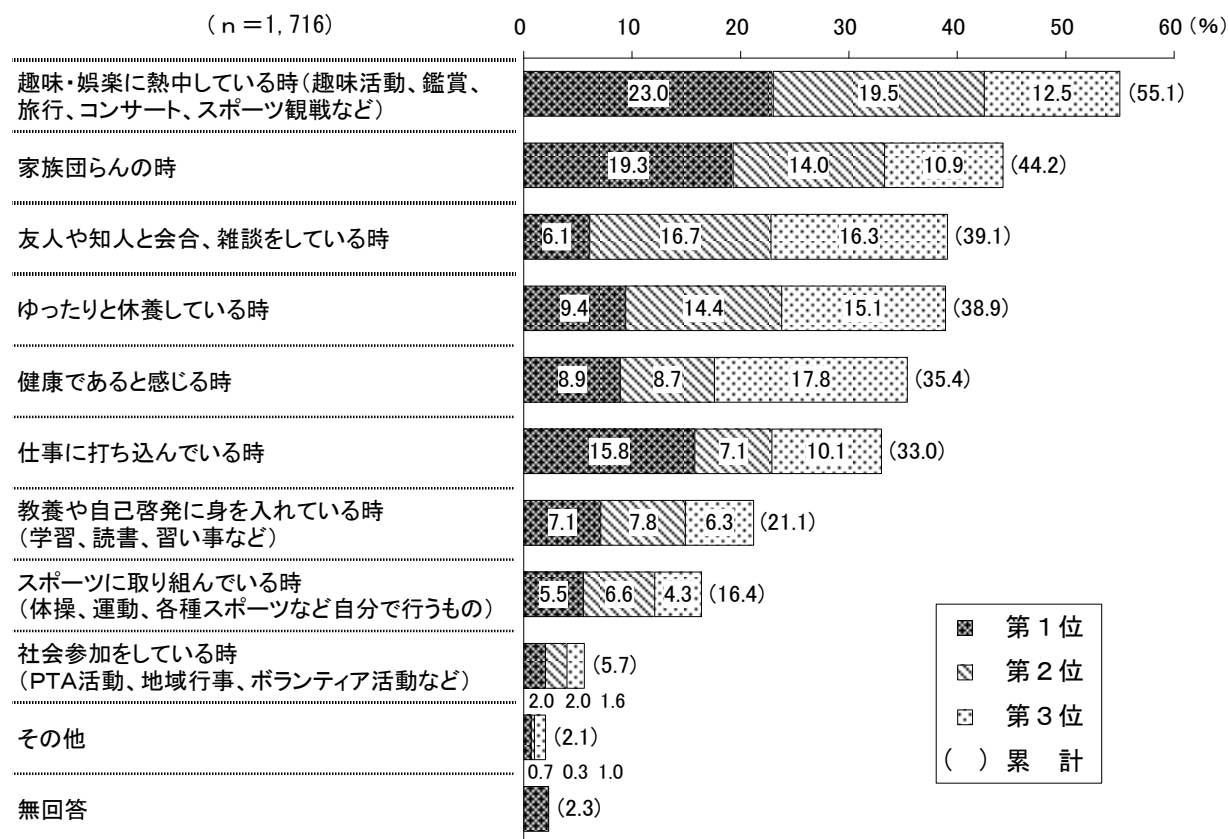
(9) 日常生活のなかで充実感や張り合いを感じる時

◇第1位から第3位までを合わせた《累計》では「趣味・娯楽に熱中している時」が5割半ば

問14 日常生活のなかで、充実感や張り合いを感じるのはどのような時ですか。

(1位から3位まで1つずつ選んで、下の回答欄に番号を記入してください)

図4-9-1



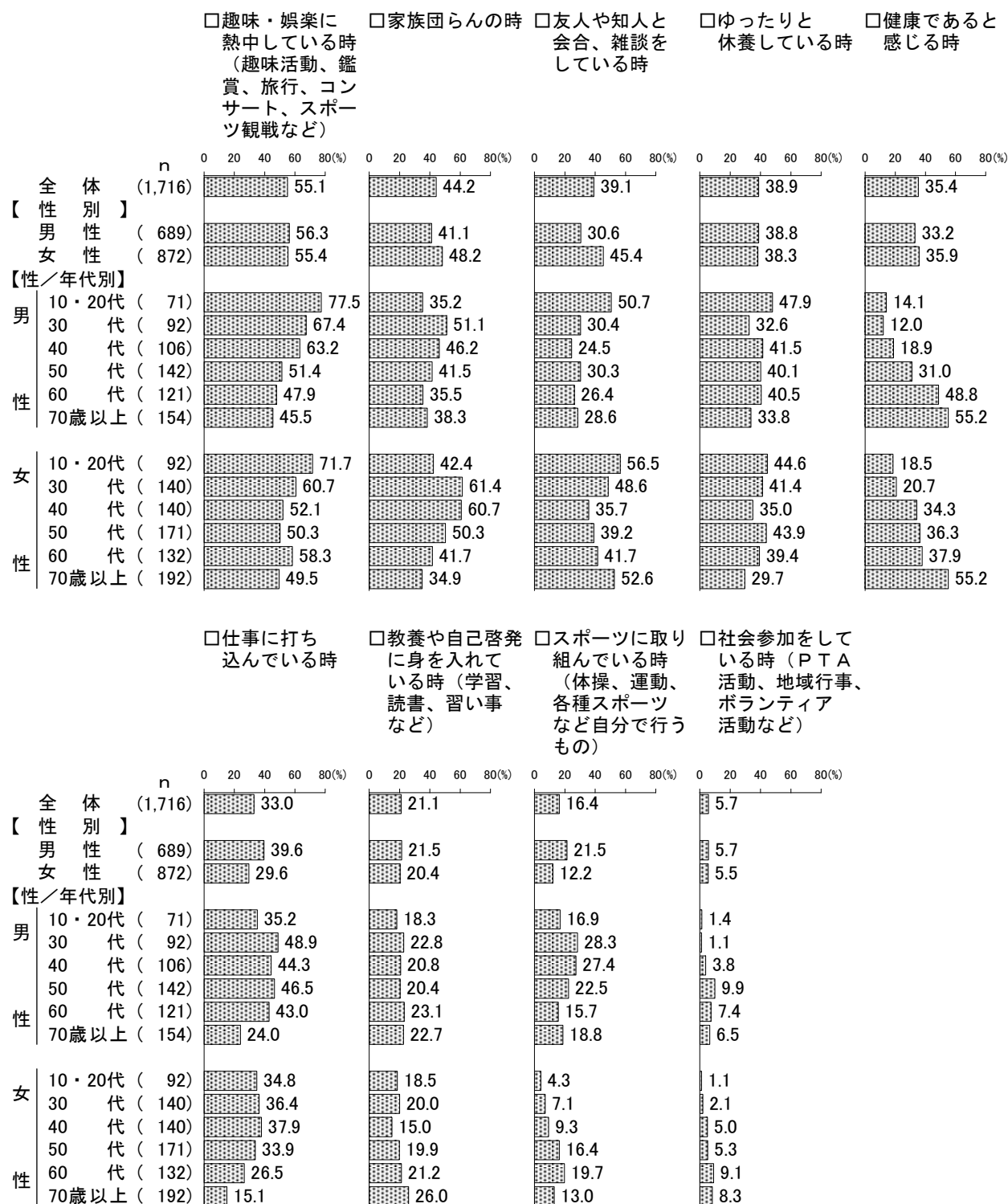
※累計の値は、第1位から第3位までのそれぞれの回答数を合計し、比率を再計算しているため、第1位から第3位までの値の単純な合計値とは、値が異なる場合がある。

日常生活のなかで、充実感や張り合いを感じるのはどのような時か聞いたところ、第1位では「趣味・娯楽に熱中している時(趣味活動、鑑賞、旅行、コンサート、スポーツ観戦など)」(23.0%)が2割を超えて最も高く、次いで「家族団らんの時」(19.3%)、「仕事に打ち込んでいる時」(15.8%)などの順になっている。

また、第1位から第3位までを合わせた《累計》でみると、「趣味・娯楽に熱中している時(趣味活動、鑑賞、旅行、コンサート、スポーツ観戦など)」(55.1%)が5割半ばで最も高く、次いで「家族団らんの時」(44.2%)、「友人や知人と会合、雑談をしている時」(39.1%)、「ゆったりと休養している時」(38.9%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「子育てをしている時」、「家事をしている時」、「ペットと過ごしている時」などがあげられている。(図4-9-1)

図4-9-2 日常生活のなかで充実感や張り合いを感じる時－性／年代別（累計）

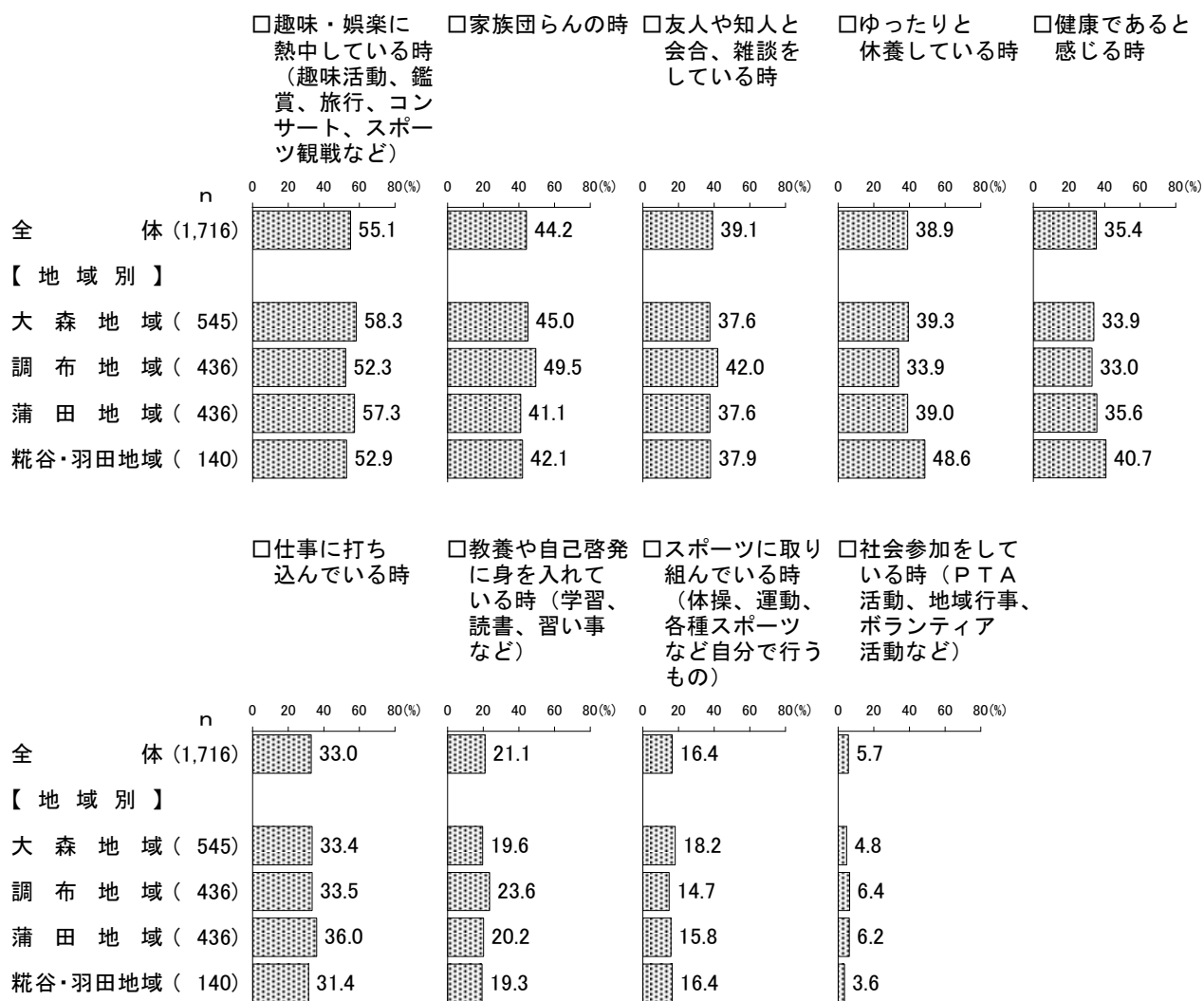


性別でみると、「友人や知人と会合、雑談をしている時」は女性（45.4%）が男性（30.6%）より14.8ポイント高くなっている。一方、「仕事に打ち込んでいる時」は男性（39.6%）が女性（29.6%）より10.0ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「趣味・娯楽に熱中している時」は男性10・20代（77.5%）で8割近くと高くなっている。「家族団らんの時」は女性30代（61.4%）で6割を超えて高くなっている。「友人や知人と会合、雑談をしている時」は女性10・20代（56.5%）で6割近くと高くなっている。

（図4-9-2）

図 4-9-3 日常生活のなかで充実感や張り合いを感じる時—地域別（累計）



地域別でみると、「趣味・娯楽に熱中している時」は大森地域（58.3%）と蒲田地域（57.3%）で6割近くと高くなっている。「家族団らんの時」は調布地域（49.5%）で5割と高くなっている。「ゆったりと休養している時」は糀谷・羽田地域（48.6%）で5割近くと高くなっている。

（図 4-9-3）

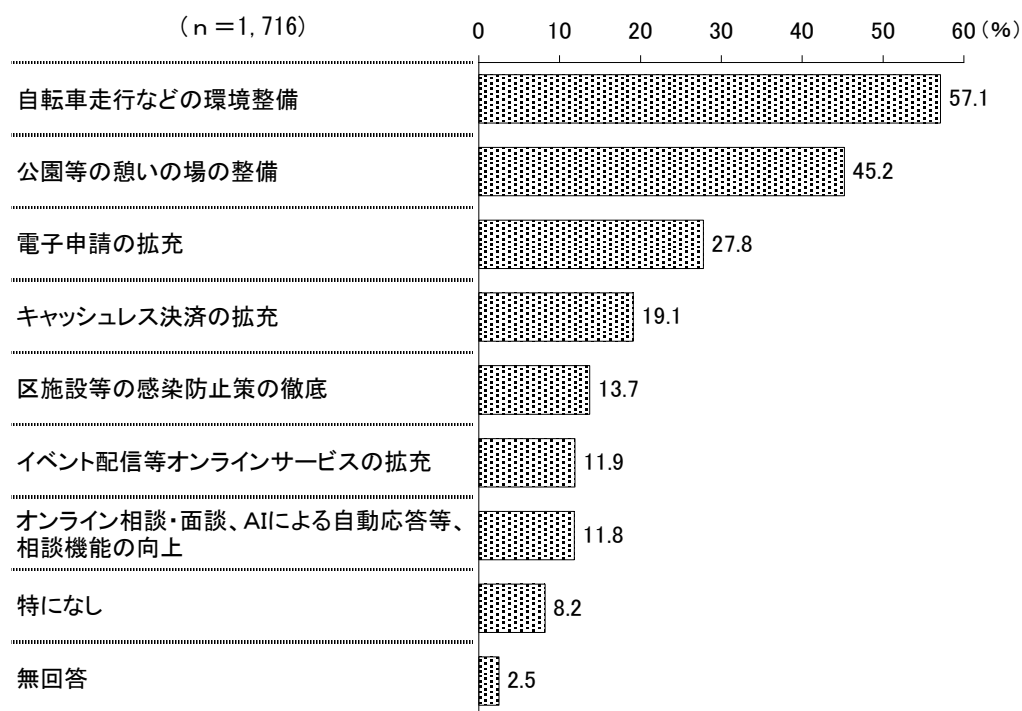
5. 基本目標3 豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち

(1) 区に取り組んでほしいこと

◇「自転車走行などの環境整備」が6割近く

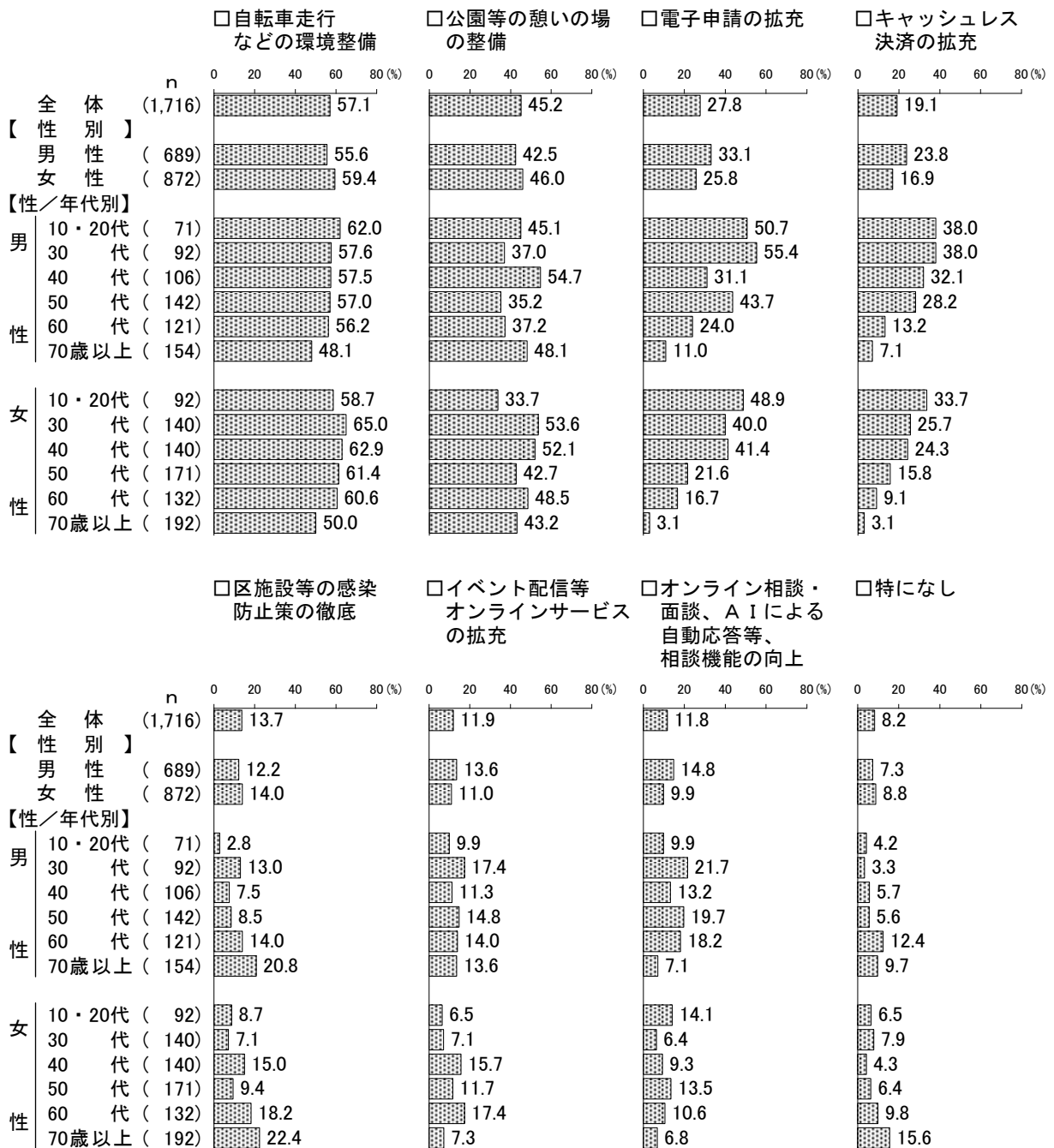
問15 今後、区に取り組んでほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

図5-1-1



区に取り組んでほしいことを聞いたところ、「自転車走行などの環境整備」(57.1%)が6割近くで最も高く、次いで「公園等の憩いの場の整備」(45.2%)、「電子申請の拡充」(27.8%)、「キャッシュレス決済の拡充」(19.1%)などの順になっている。(図5-1-1)

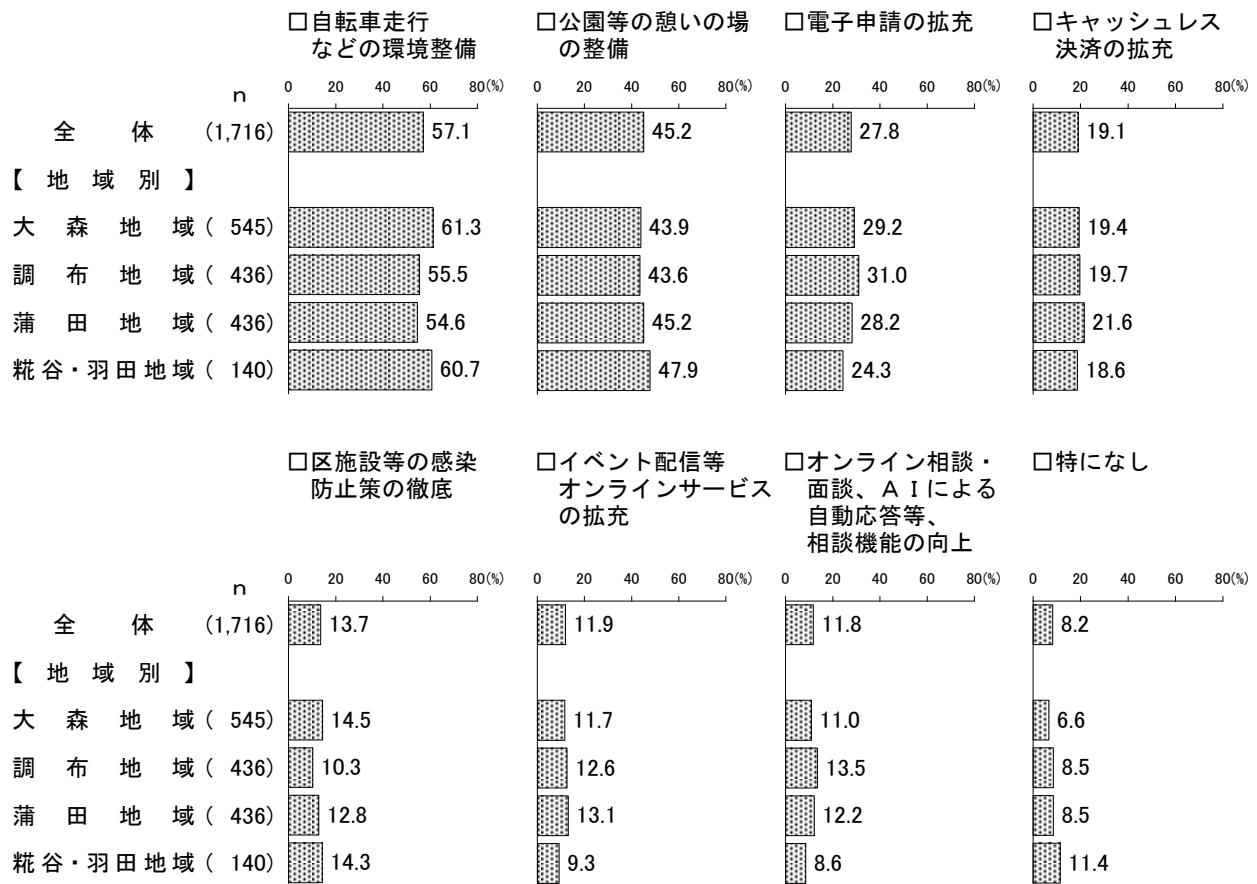
図 5-1-2 区に取り組んでほしいこと－性／年代別



性別でみると、「電子申請の拡充」は男性（33.1％）が女性（25.8％）より7.3ポイント、「キャッシュレス決済の拡充」は男性（23.8％）が女性（16.9％）より6.9ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「自転車走行などの環境整備」は女性（59.4％）が男性（55.6％）より3.8ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「自転車走行などの環境整備」は女性30代（65.0％）で6割半ばと高くなっている。「公園等の憩いの場の整備」は男性40代（54.7％）で5割半ばと高くなっている。「電子申請の拡充」は男性30代（55.4％）で5割半ばと高くなっている。（図5-1-2）

図 5-1-3 区に取り組んでほしいことー地域別



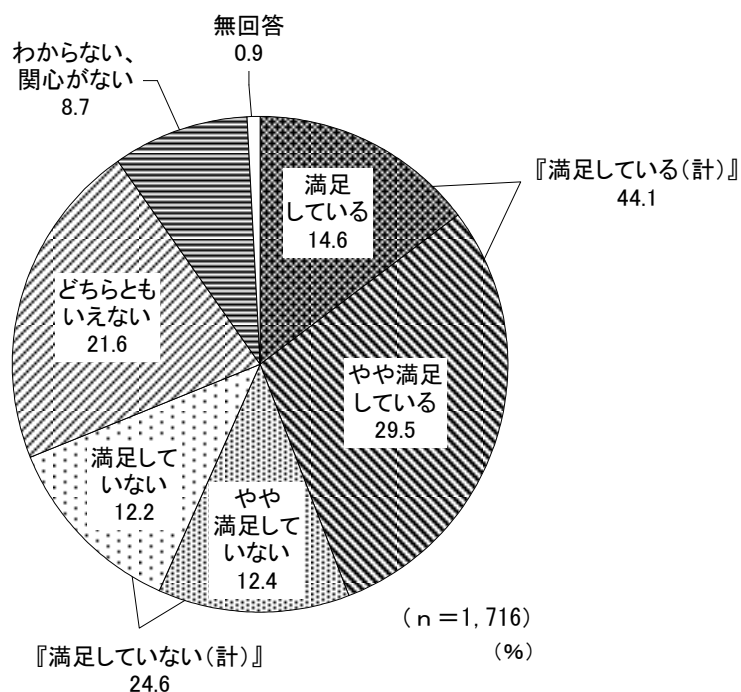
地域別でみると、「自転車走行などの環境整備」は大森地域（61.3%）で6割を超えて高くなっている。「公園等の憩いの場の整備」は糀谷・羽田地域（47.9%）で5割近くと高くなっている。「電子申請の拡充」は調布地域（31.0%）で3割を超えて高くなっている。（図 5-1-3）

(2) 生き物の豊かさへの満足度

◇「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している(計)』は4割半ば

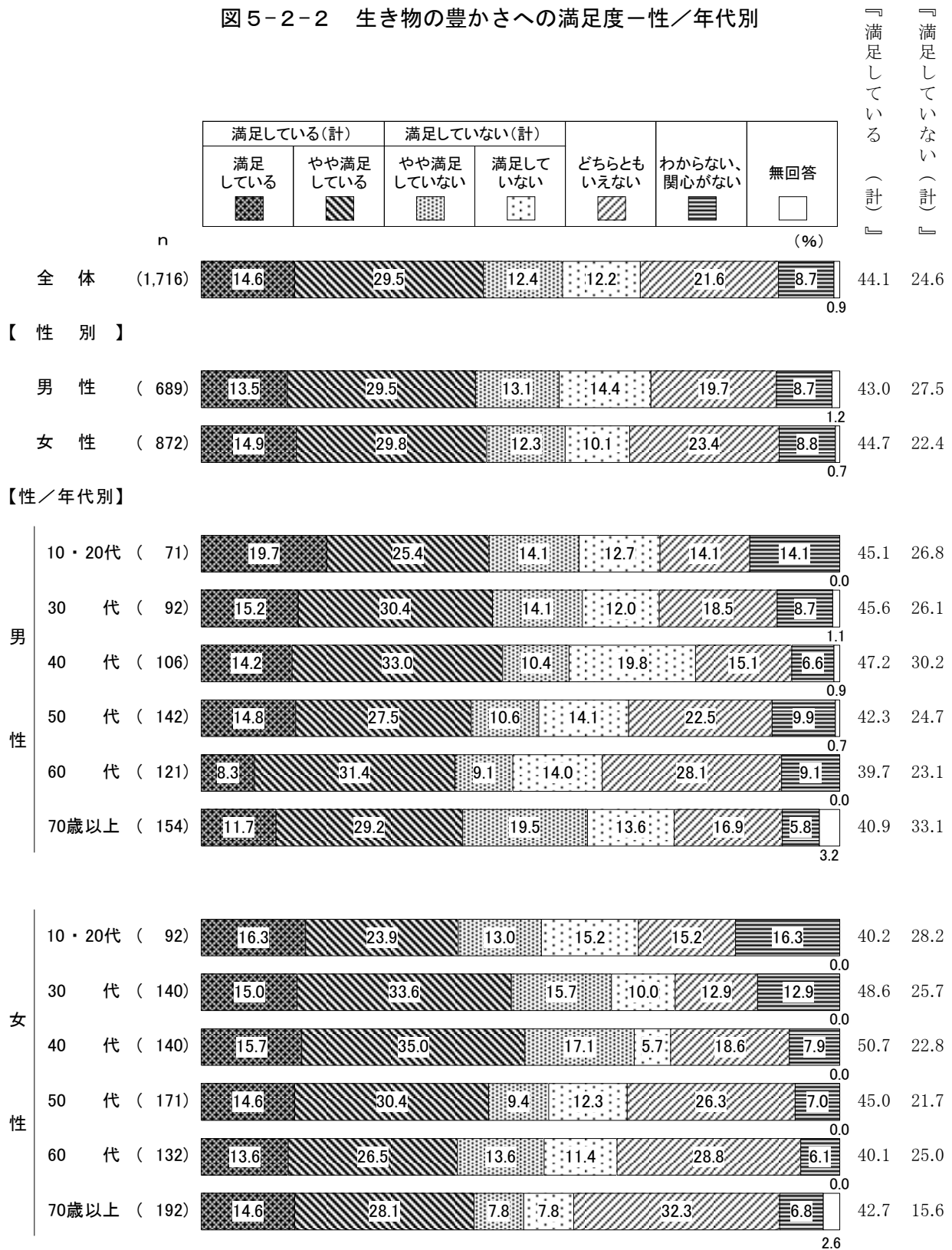
問16 身近な場所で生き物の豊かさに満足していますか。(○は1つだけ)

図5-2-1



身近な場所で生き物の豊かさに満足しているか聞いたところ、「満足している」(14.6%)と「やや満足している」(29.5%)を合わせた『満足している(計)』(44.1%)は4割半ばとなっている。一方、「やや満足していない」(12.4%)と「満足していない」(12.2%)を合わせた『満足していない(計)』(24.6%)は2割半ばとなっている。(図5-2-1)

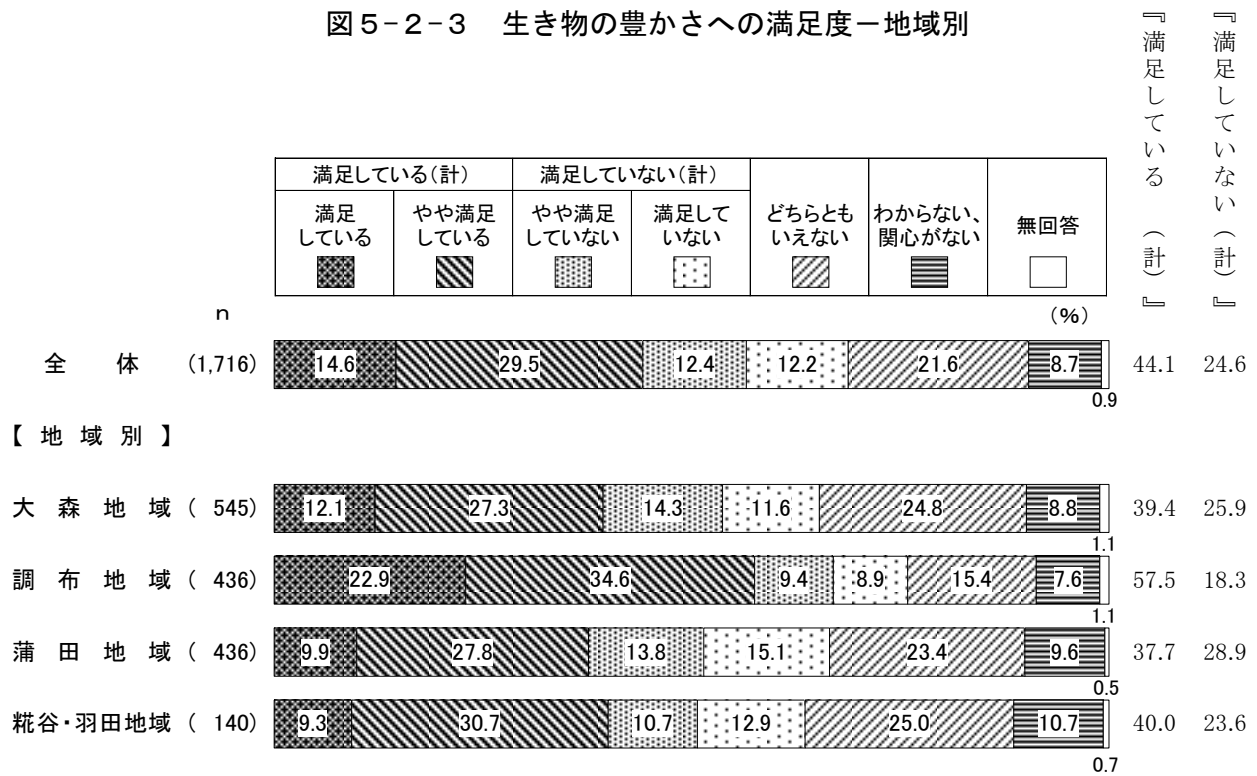
図 5-2-2 生き物の豊かさへの満足度－性／年代別



性別でみると、『満足していない(計)』は男性(27.5%)が女性(22.4%)より5.1ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『満足している(計)』は女性40代(50.7%)で約5割と高くなっている。一方、『満足していない(計)』は男性40代(30.2%)で3割と高くなっている。(図5-2-2)

図 5-2-3 生き物の豊かさへの満足度—地域別



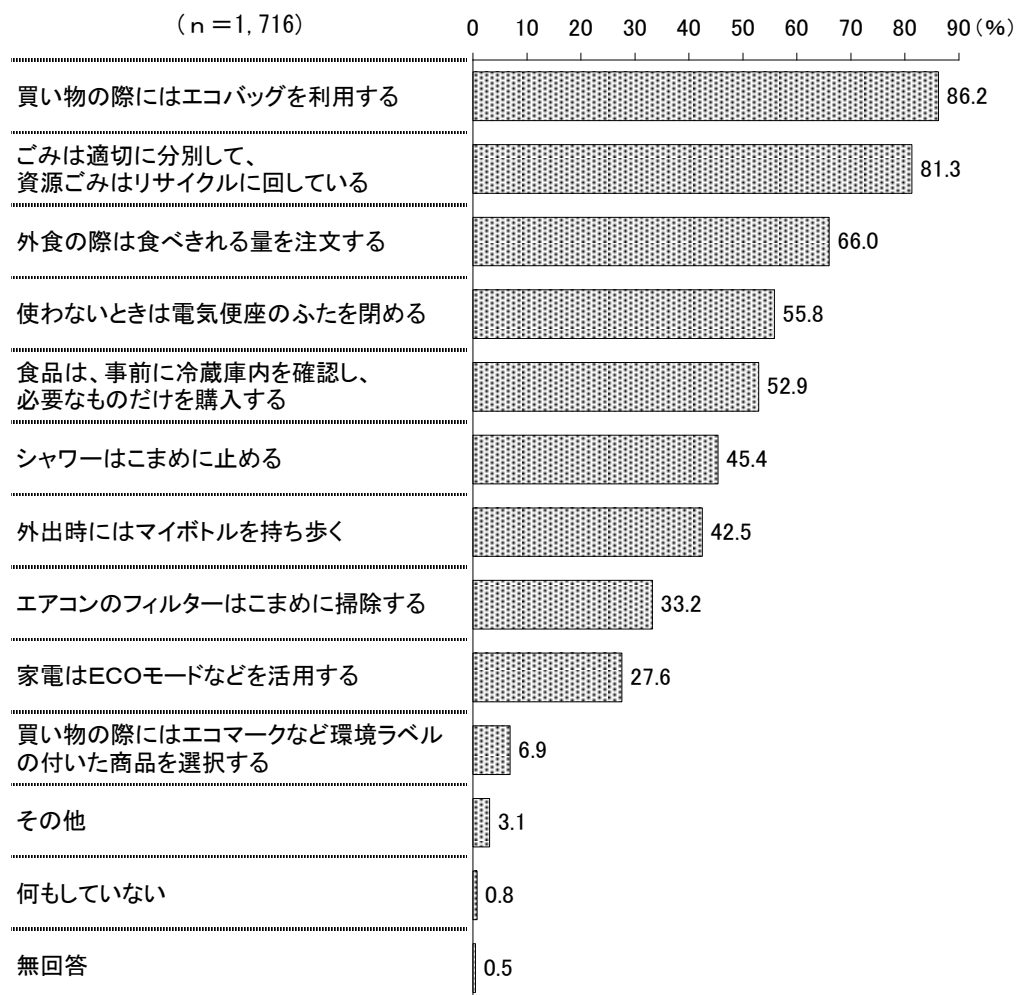
地域別でみると、『満足している (計)』は調布地域 (57.5%) で6割近くと高くなっている。一方、『満足していない (計)』は蒲田地域 (28.9%) で3割近くと高くなっている。(図 5-2-3)

(3) 家庭で実施している環境配慮行動

◇「買い物の際にはエコバッグを利用する」が8割半ば

問17 あなたのご家庭で実施している環境配慮行動を教えてください。(〇はいくつでも)

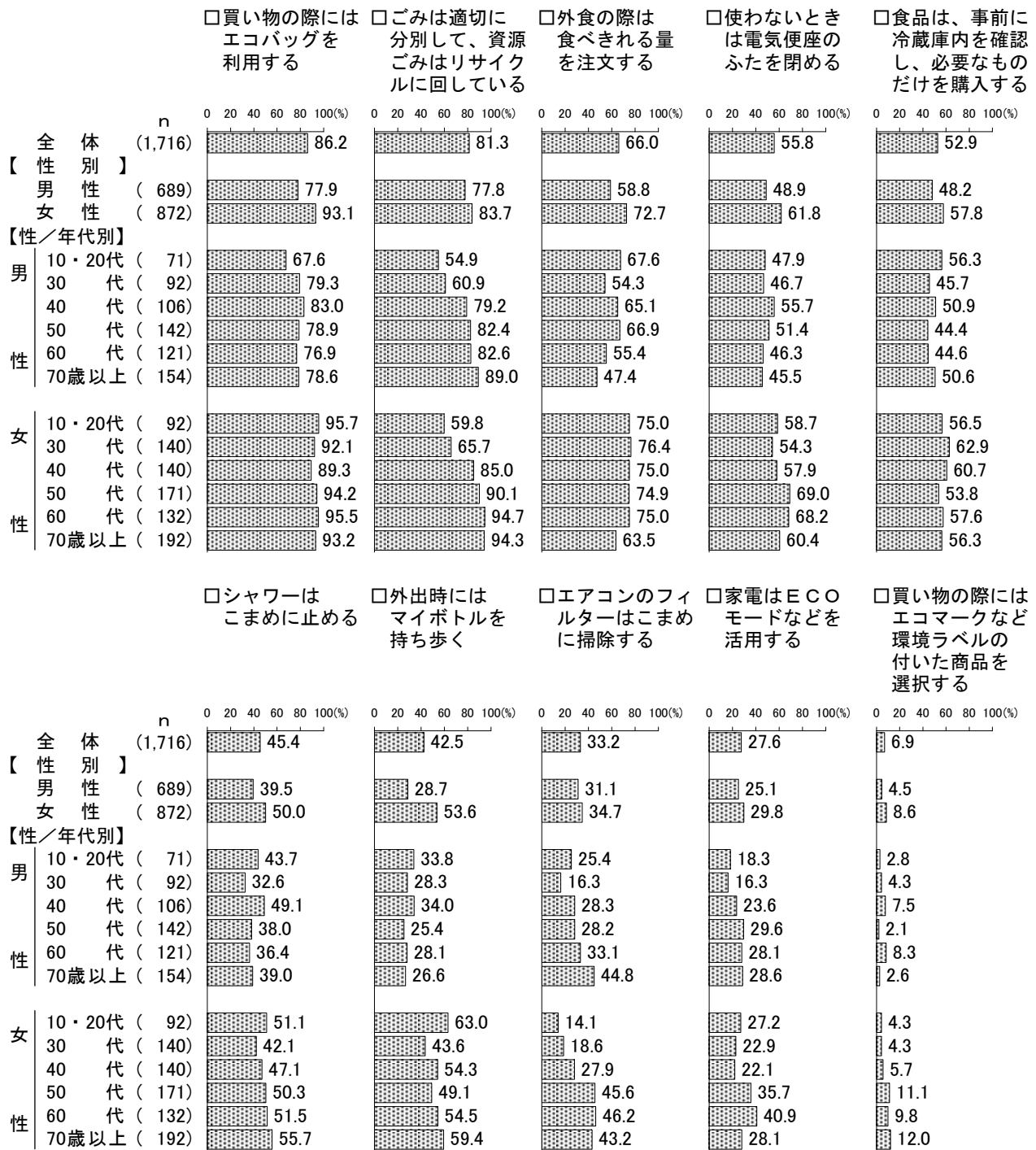
図5-3-1



家庭で実施している環境配慮行動を聞いたところ、「買い物の際にはエコバッグを利用する」(86.2%)が8割半ばで最も高く、次いで「ごみは適切に分別して、資源ごみはリサイクルに回している」(81.3%)、「外食の際は食べきれる量を注文する」(66.0%)、「使わないときは電気便座のふたを閉める」(55.8%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「太陽光発電を導入している」、「節水を心がけている」、「電気をこまめに消す」、「ごみを減らす」などがあげられている。(図5-3-1)

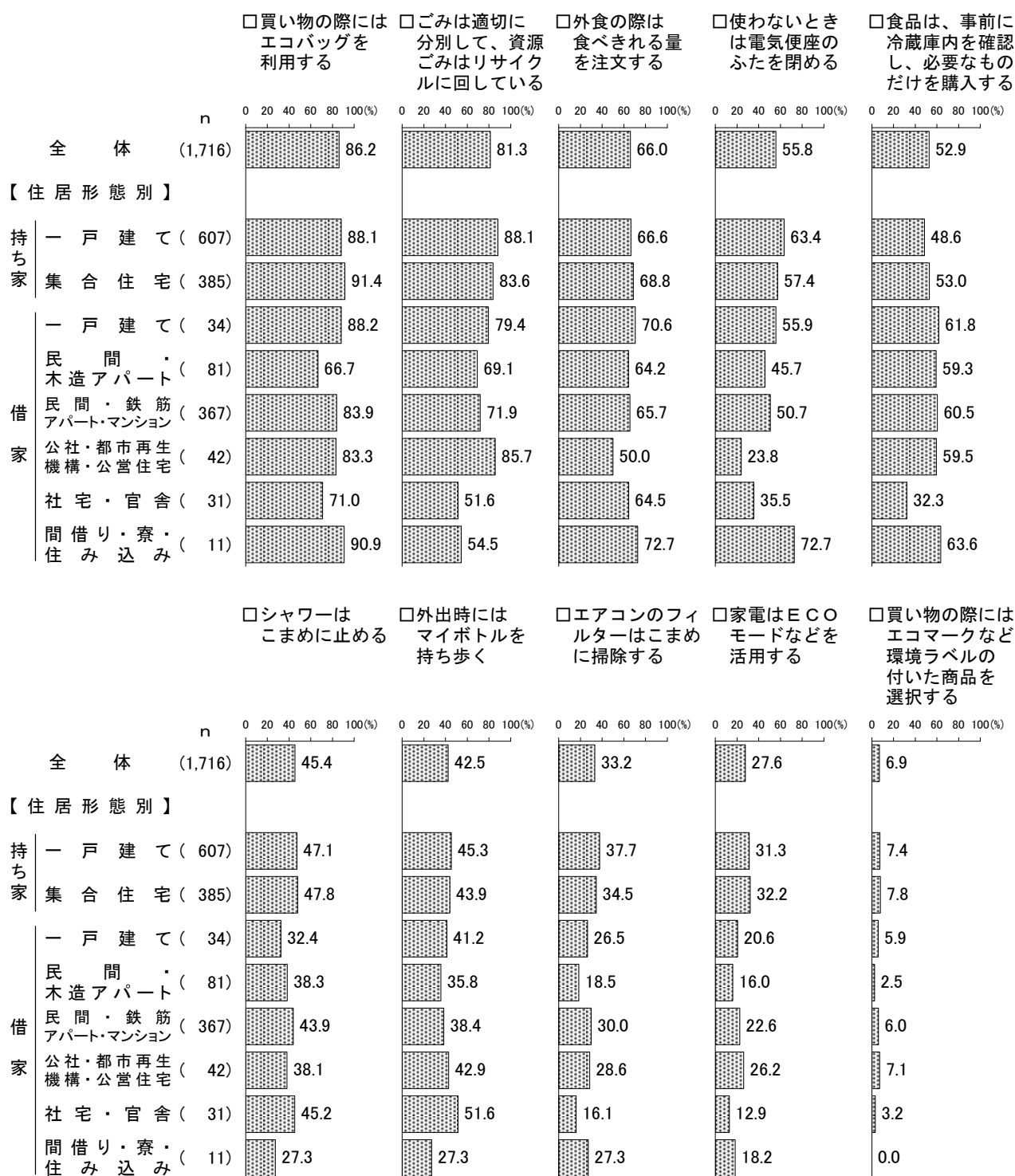
図 5-3-2 家庭で実施している環境配慮行動一性／年代別（上位10項目）



上位10項目を性別で見ると、全ての項目で女性が男性を上回っており、「外出時にはマイボトルを持ち歩く」は女性（53.6%）が男性（28.7%）より24.9ポイント、「買い物の際にはエコバッグを利用する」は女性（93.1%）が男性（77.9%）より15.2ポイント、それぞれ高くなっている。

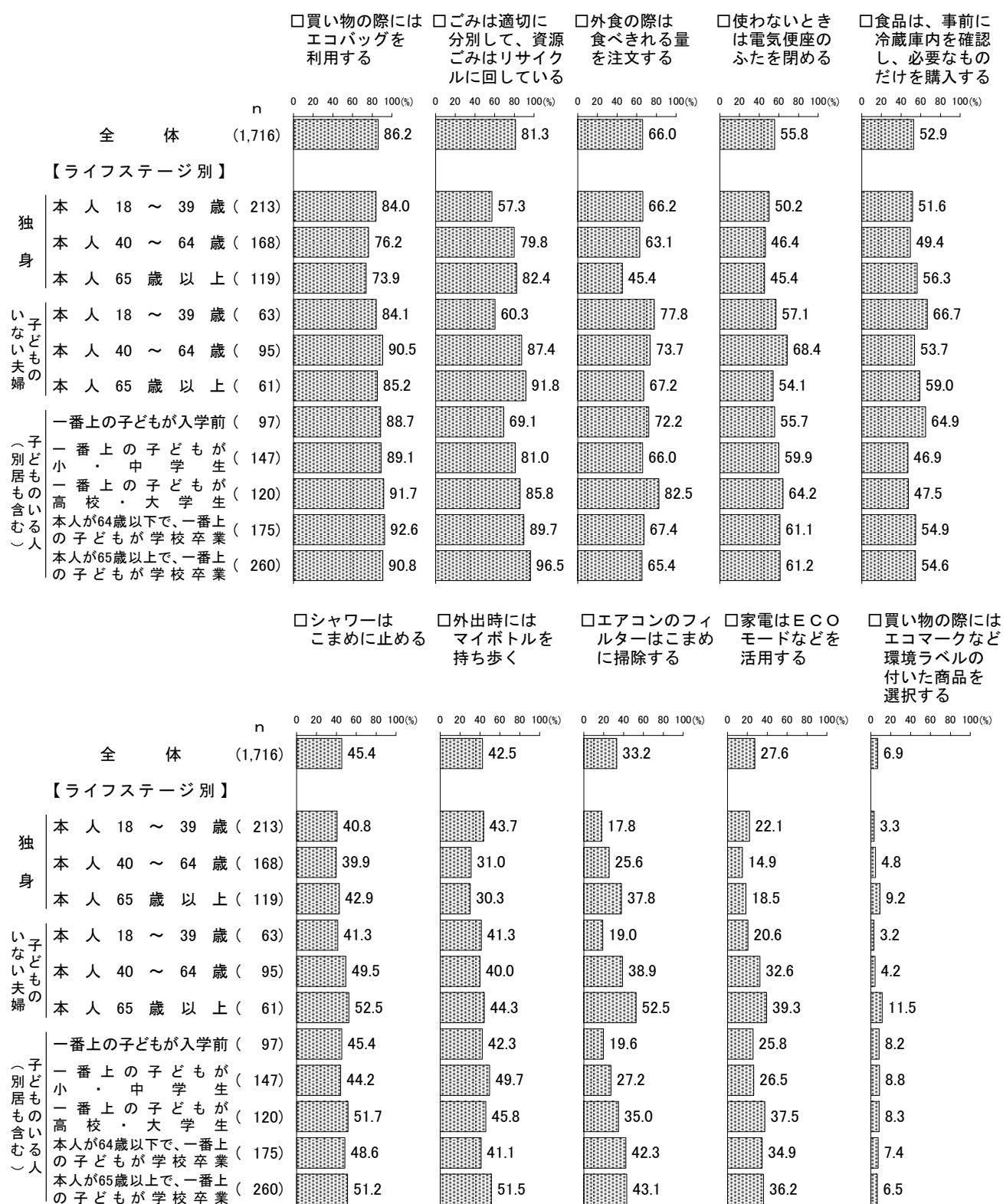
性／年代別で見ると、「ごみは適切に分別して、資源ごみはリサイクルに回している」は女性60代（94.7%）と女性70歳以上（94.3%）で9割半ばと高くなっている。「使わないときは電気便座のふたを閉める」は女性50代（69.0%）で約7割と高くなっている。（図 5-3-2）

図5-3-3 家庭で実施している環境配慮行動－住居形態別（上位10項目）



上位10項目を住居形態別でみると、「買い物の際にはエコバッグを利用する」は「持ち家、集合住宅」（91.4%）で9割を超えて高くなっている。「ごみは適切に分別して、資源ごみはリサイクルに回している」は「持ち家、一戸建て」（88.1%）で9割近くと高くなっている。「外食の際は食べきれる量を注文する」は「借家、一戸建て」（70.6%）で約7割と高くなっている。（図5-3-3）

図5-3-4 家庭で実施している環境配慮行動－ライフステージ別（上位10項目）



上位10項目をライフステージ別でみると、「買い物の際にはエコバッグを利用する」は“本人が64歳以下で、一番上の子どもが学校卒業”（92.6%）と“一番上の子どもが高校・大学生”（91.7%）で9割を超えて高くなっている。「ごみは適切に分別して、資源ごみはリサイクルに回している」は“本人が65歳以上で、一番上の子どもが学校卒業”（96.5%）で10割近くと高くなっている。

（図5-3-4）

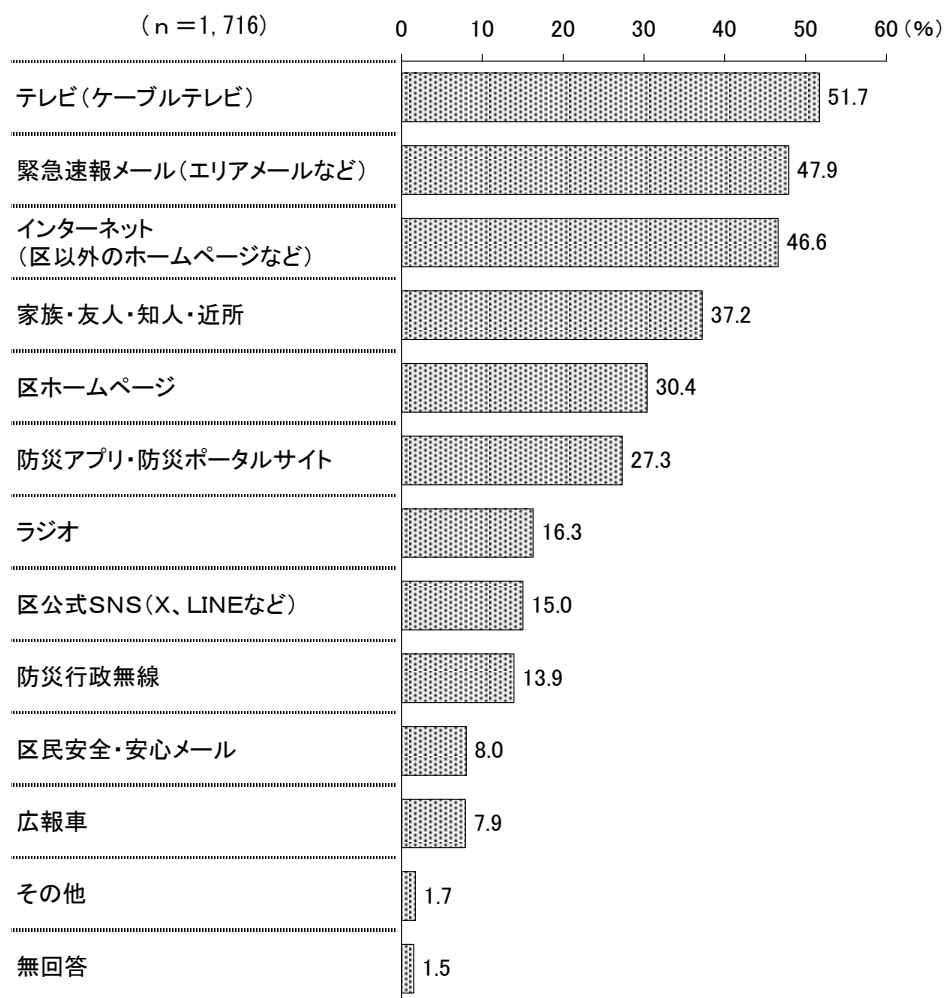
6. 基本目標4 安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち

(1) 災害情報の入手手段

◇「テレビ（ケーブルテレビ）」が5割を超える

問18 あなたは、災害時における災害情報をどの手段で入手しますか。（○はいくつでも）

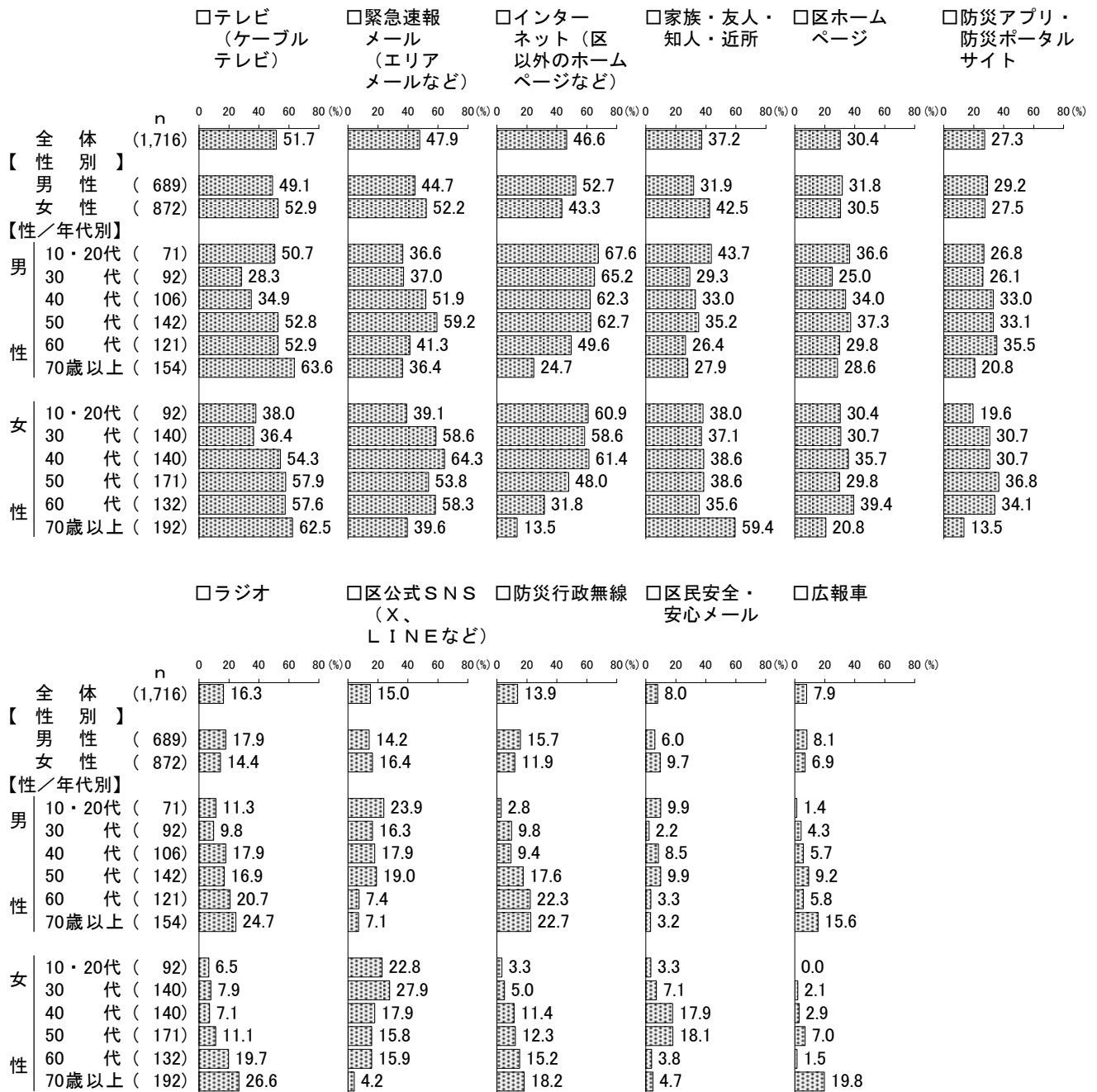
図6-1-1



災害情報の入手手段を聞いたところ、「テレビ（ケーブルテレビ）」（51.7%）が5割を超えて最も高く、次いで「緊急速報メール（エリアメールなど）」（47.9%）、「インターネット（区以外のホームページなど）」（46.6%）、「家族・友人・知人・近所」（37.2%）などの順になっている。

「その他」への回答として、「会社」、「SNS」などがあげられている。（図6-1-1）

図 6-1-2 災害情報の入手手段－性／年代別



性別でみると、「家族・友人・知人・近所」は女性（42.5％）が男性（31.9％）より10.6ポイント高くなっている。一方、「インターネット（区以外のホームページなど）」は男性（52.7％）が女性（43.3％）より9.4ポイント高くなっている。

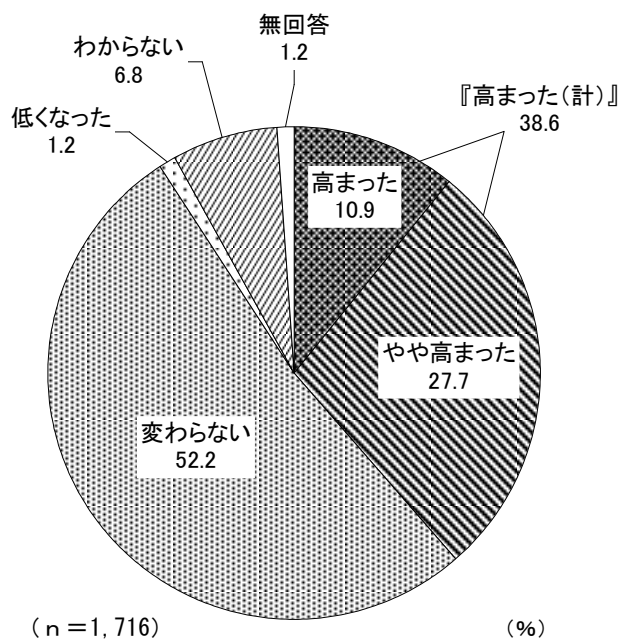
性／年代別でみると、「テレビ（ケーブルテレビ）」は男性70歳以上（63.6％）と女性70歳以上（62.5％）で6割を超えて高くなっている。「緊急速報メール（エリアメールなど）」は女性40代（64.3％）で6割半ばと高くなっている。「インターネット（区以外のホームページなど）」は男性10・20代（67.6％）で7割近くと高くなっている。（図 6-1-2）

(2) 防災に対する意識

◇「高まった」と「やや高まった」を合わせた『高まった(計)』は4割近く

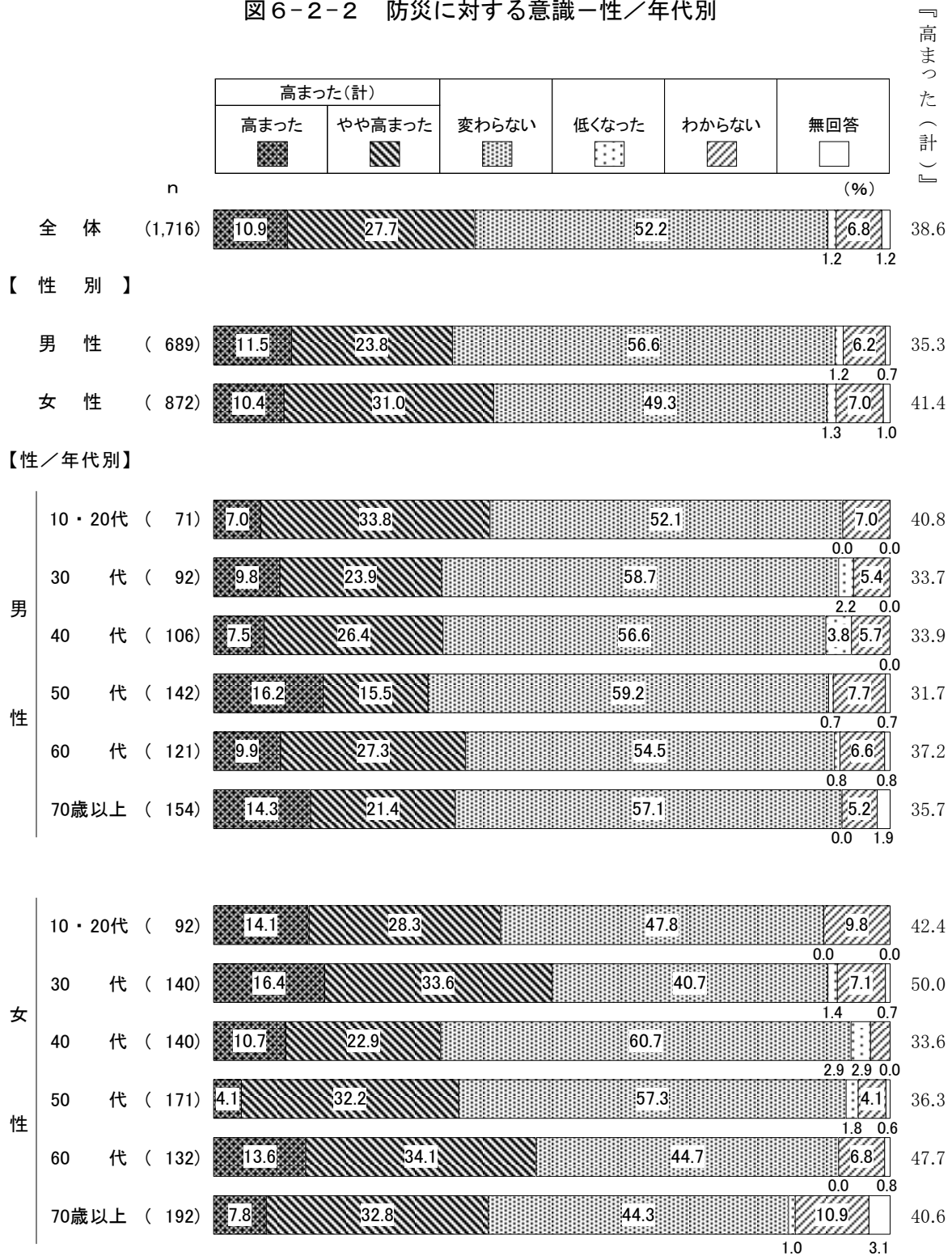
問19 あなたは、1年前に比べて防災に対する意識が高まったと思いますか。(○は1つだけ)

図6-2-1



1年前に比べて防災に対する意識が高まったと思うか聞いたところ、「高まった」(10.9%)と「やや高まった」(27.7%)を合わせた『高まった(計)』(38.6%)は4割近くとなっている。一方、「変わらない」(52.2%)は5割を超え、「低くなった」(1.2%)はわずかとなっている。(図6-2-1)

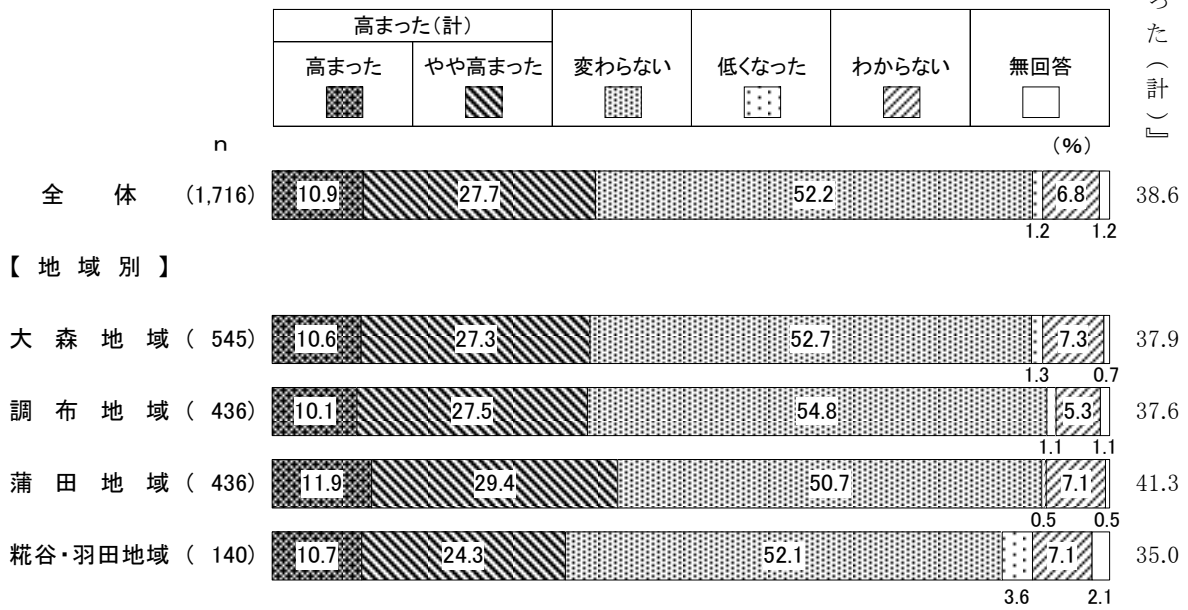
図 6-2-2 防災に対する意識－性／年代別



性別でみると、『高まった（計）』は女性（41.4％）が男性（35.3％）より6.1ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『高まった（計）』は女性30代（50.0％）で5割と高くなっている。「変わらない」は女性40代（60.7％）と男性50代（59.2％）で約6割と高くなっている。（図6-2-2）

図 6-2-3 防災に対する意識—地域別



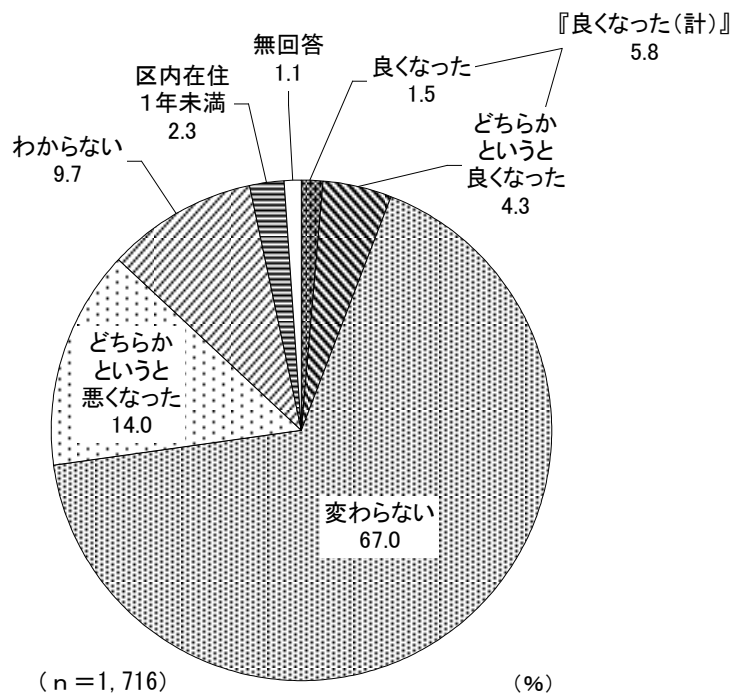
地域別でみると、『高まった(計)』は蒲田地域(41.3%)で4割を超えて高くなっている。「変わらない」は調布地域(54.8%)で5割半ばと高くなっている。(図6-2-3)

(3) 住んでいるまちの治安の変化

◇「変わらない」が7割近く

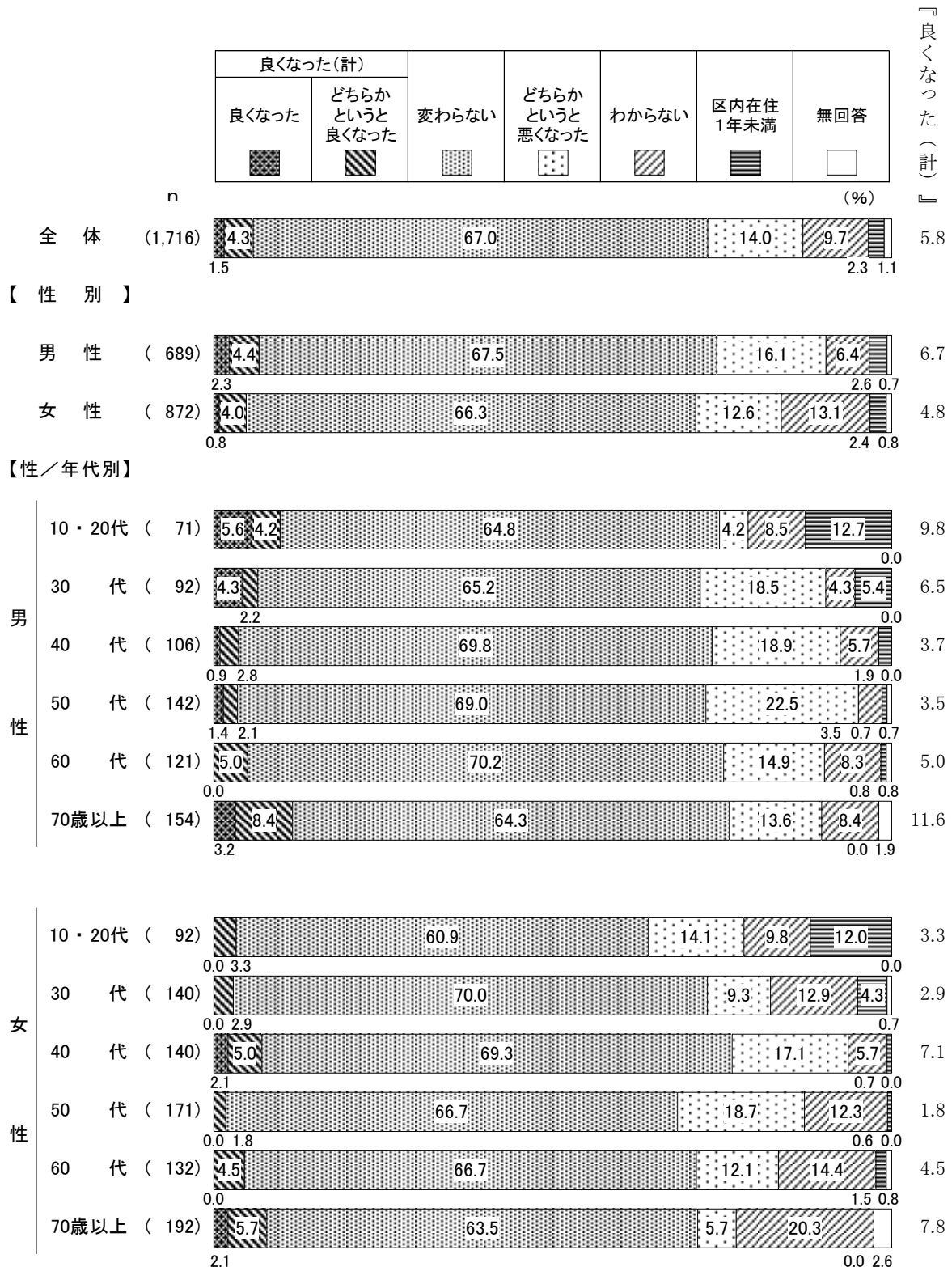
問20 あなたは、1年前に比べて現在住んでいるまちの治安はどのように変化したと感じていますか。(○は1つだけ)

図6-3-1



1年前に比べて現在住んでいるまちの治安はどのように変化したと感じているか聞いたところ、「良くなった」(1.5%)と「どちらかというと良くなった」(4.3%)を合わせた『良くなった(計)』(5.8%)は1割未満となっている。一方、「変わらない」(67.0%)は7割近く、「どちらかというと悪くなった」(14.0%)は1割半ばとなっている。(図6-3-1)

図6-3-2 住んでいるまちの治安の変化－性／年代別

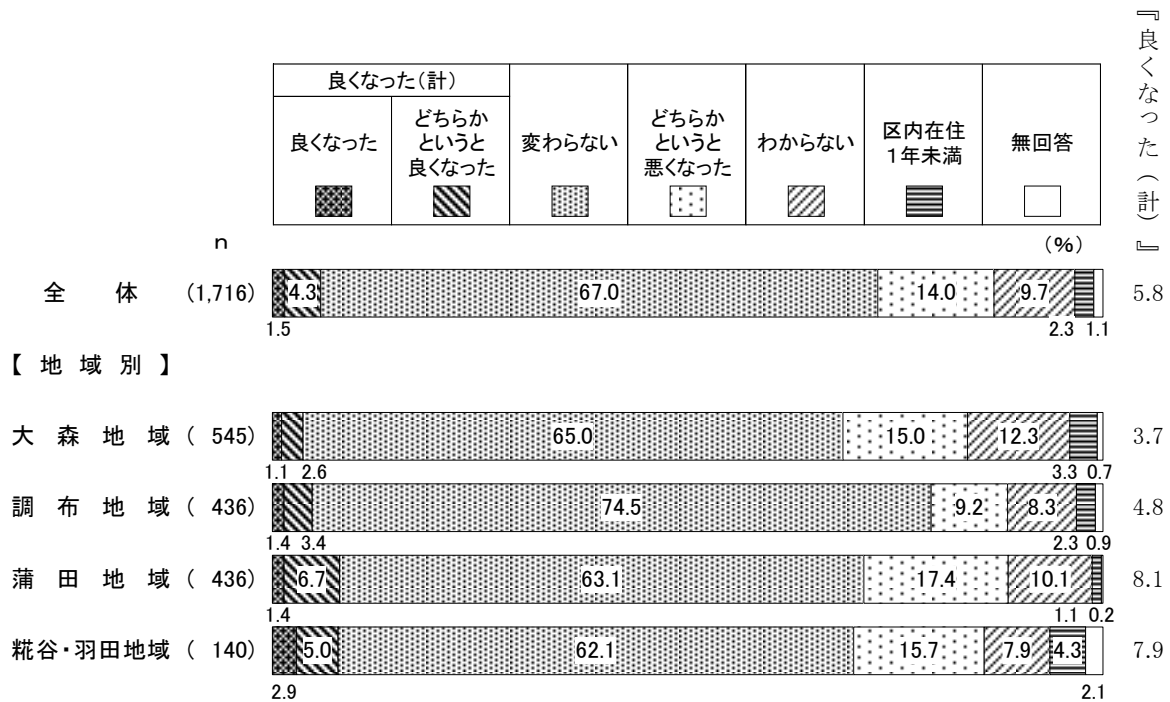


性別でみると、「どちらかというと悪くなった」は男性（16.1％）が女性（12.6％）より3.5ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『良くなった（計）』は男性70歳以上（11.6％）で1割を超えている。一方、「どちらかというと悪くなった」は男性50代（22.5％）で2割を超えて高くなっている。

（図6-3-2）

図 6-3-3 住んでいるまちの治安の変化―地域別



地域別でみると、「変わらない」は調布地域（74.5%）で7割半ばと高くなっている。「どちらか
というと悪くなった」は蒲田地域（17.4%）で2割近くとなっている。（図 6-3-3）

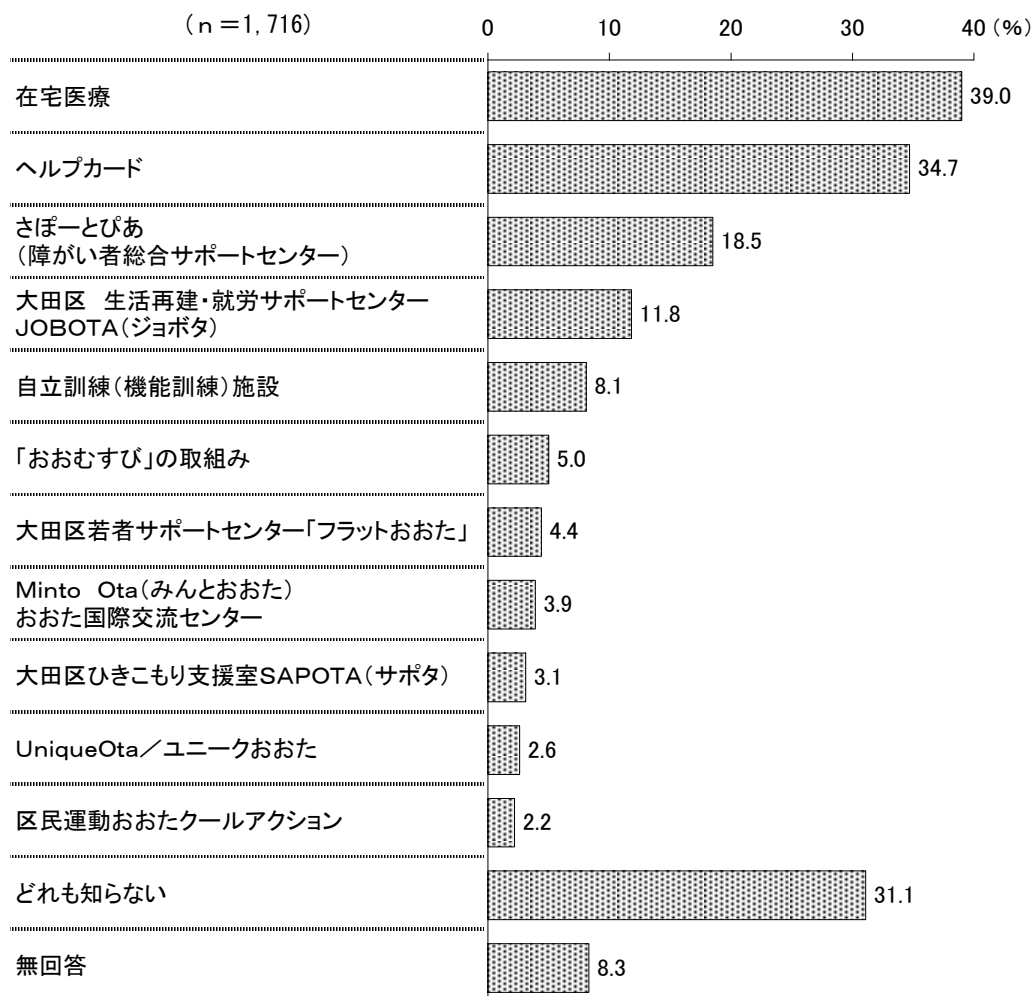
7. 区政への関心と要望

(1) 大田区等の制度・施策・施設の認知度

◇「在宅医療」が約4割

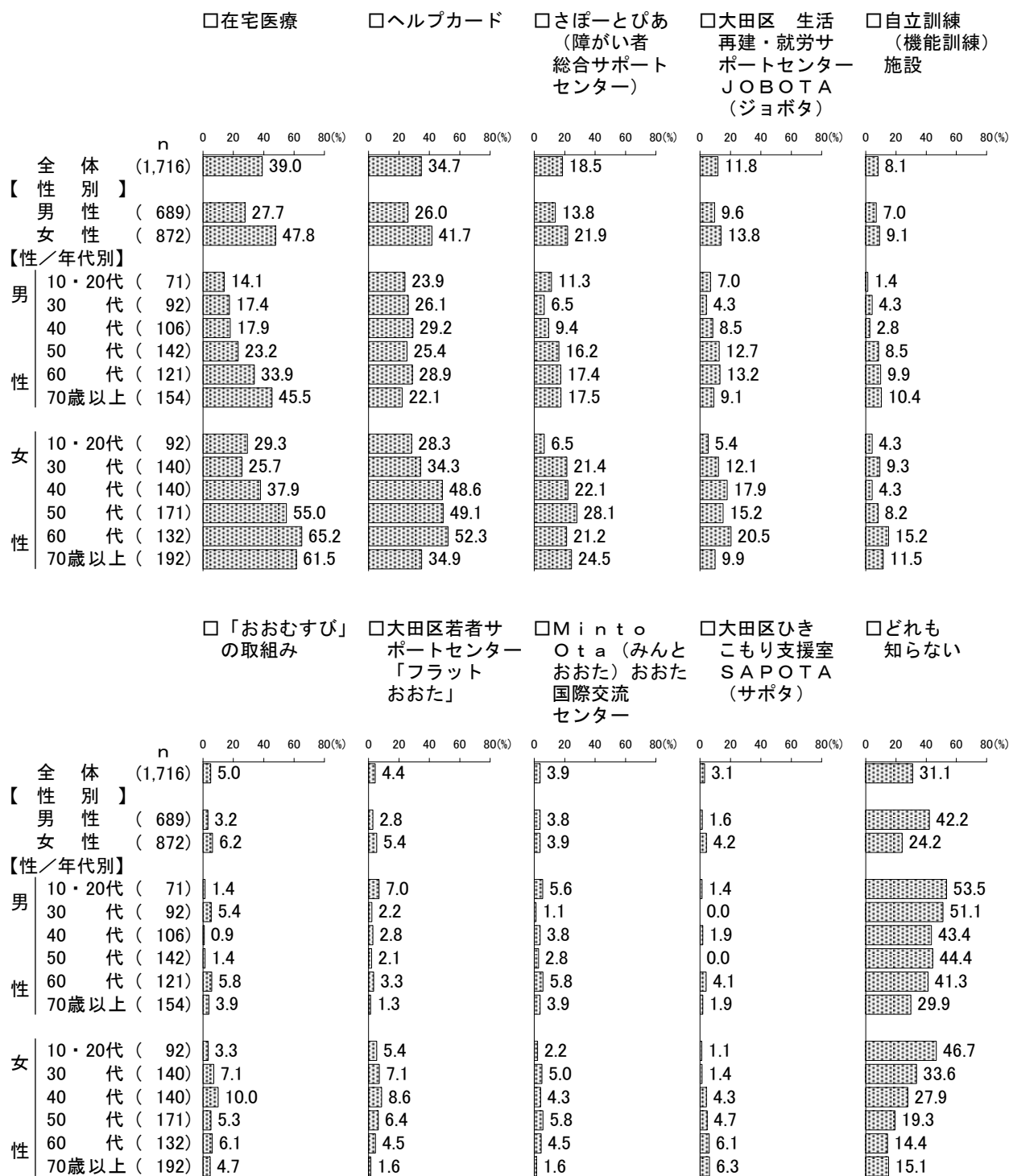
問21 以下の大田区等の制度、施策、施設のうち、あなたをご存知のものをすべて挙げてください。(〇はいくつでも)

図 7-1-1



区等の制度、施策、施設について知っているものを聞いたところ、「在宅医療」(39.0%)が約4割で最も高く、次いで「ヘルプカード」(34.7%)、「さぼーとぴあ(障がい者総合サポートセンター)」(18.5%)、「大田区 生活再建・就労サポートセンター JOBOTA(ジョボタ)」(11.8%)などの順になっている。一方、「どれも知らない」(31.1%)は3割を超えている。(図7-1-1)

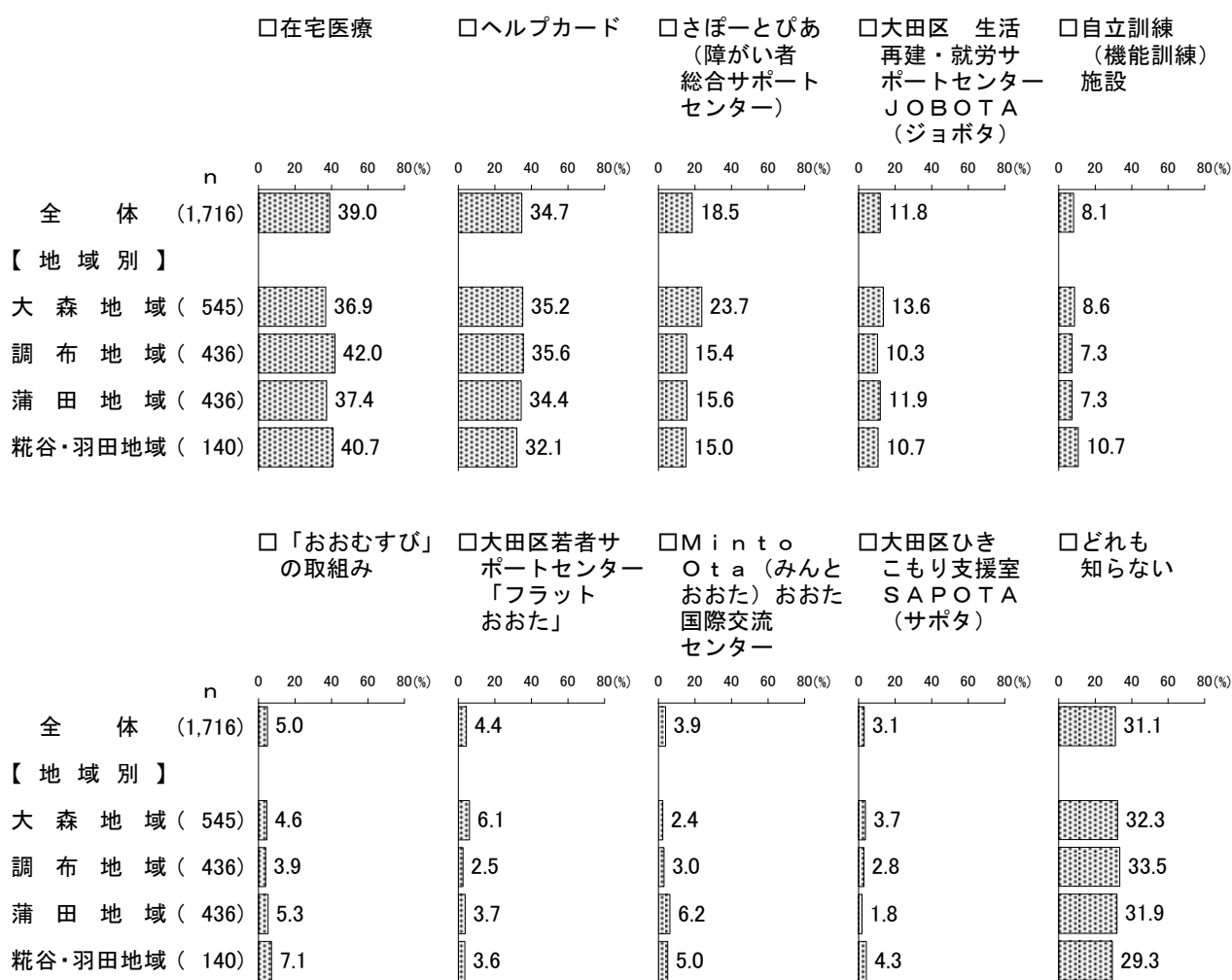
図 7-1-2 大田区等の制度・施策・施設の認知度－性／年代別（上位10項目）



上位10項目を性別でみると、全ての項目で女性が男性を上回っており、「在宅医療」は女性（47.8%）が男性（27.7%）より20.1ポイント、「ヘルプカード」は女性（41.7%）が男性（26.0%）より15.7ポイント、それぞれ高くなっている。

性／年代別でみると、「在宅医療」は女性60代（65.2%）で6割半ばと高くなっている。「ヘルプカード」は女性60代（52.3%）で5割を超えて高くなっている。「さぼーとぴあ（障がい者総合サポートセンター）」は女性50代（28.1%）で3割近くと高くなっている。（図 7-1-2）

図 7-1-3 大田区等の制度・施策・施設の認知度—地域別（上位10項目）



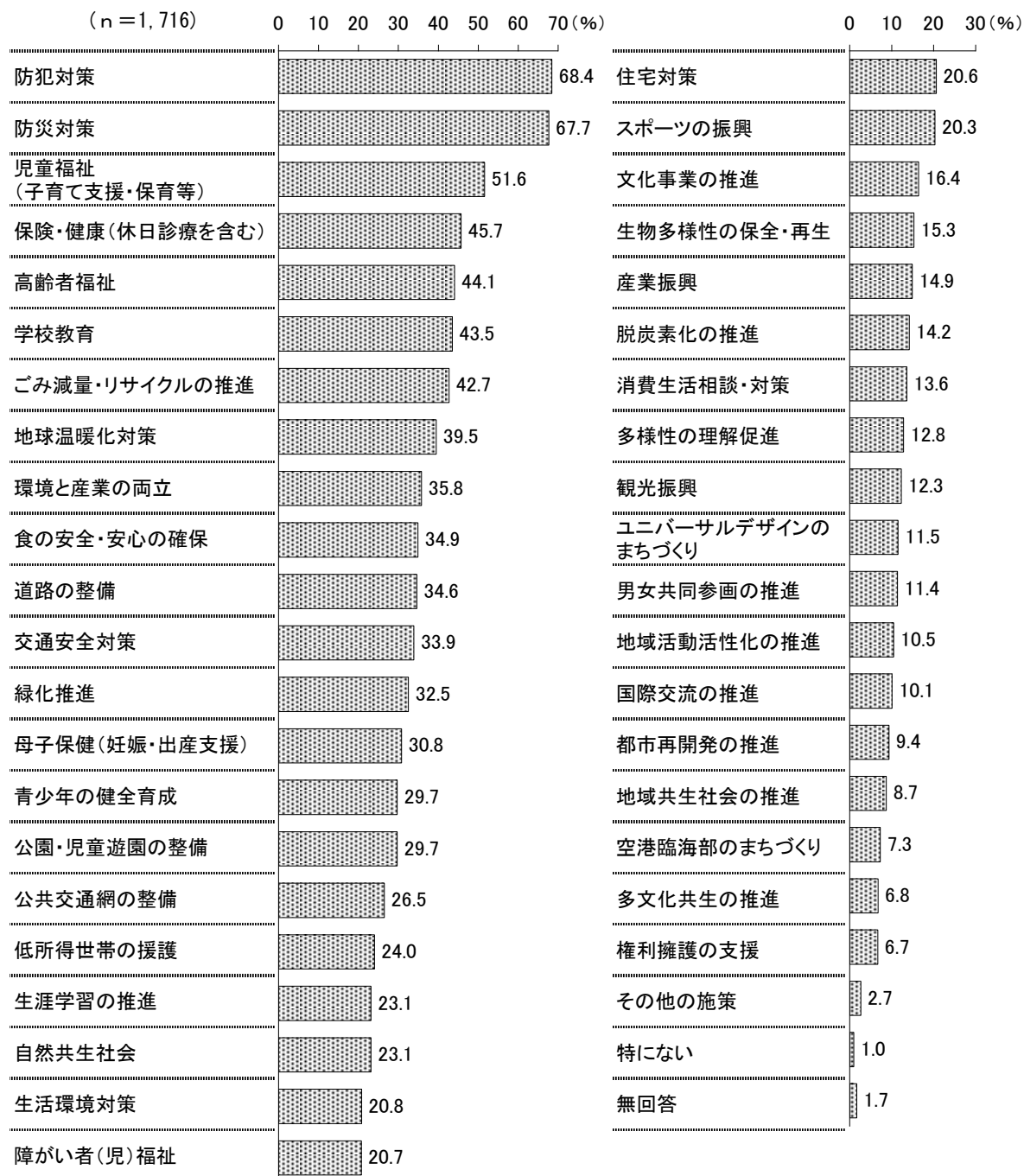
上位10項目を地域別でみると、「在宅医療」は調布地域（42.0%）で4割を超えて高くなっている。「さぼーとぴあ（障がい者総合サポートセンター）」は大森地域（23.7%）で2割を超えて高くなっている。（図 7-1-3）

(2) 施策要望

◇「防犯対策」と「防災対策」がともに7割近く

問22 大田区の施策の中で、特に何に力を入れてほしいと思いますか。(〇はいくつでも)

図 7-2-1



区の施策の中で、特に力を入れてほしいことを聞いたところ、「防犯対策」(68.4%)と「防災対策」(67.7%)がともに7割近くで高く、次いで「児童福祉(子育て支援・保育等)」(51.6%)、「保険・健康(休日診療を含む)」(45.7%)、「高齢者福祉」(44.1%)などの順になっている。

「その他の施策」への回答として、「無電柱化」、「動物保護」、「空き家対策」などがあげられている。(図 7-2-1)

表 7-2-1 施策要望一経年比較（上位10項目）

	令和7年	令和5年	令和3年	平成30年	平成29年
1位	防犯対策 (68.4)	防災対策 (57.5)	防災対策 (62.8)	防災対策 (53.5)	防犯対策 (51.9)
2位	防災対策 (67.7)	防犯対策 (55.0)	防犯対策 (52.6)	防犯対策 (49.7)	防災対策 (51.0)
3位	児童福祉(子育て支援・保育等) (51.6)	保健・健康(休日診療を含む) (41.5)	保健・健康(休日診療を含む) (41.0)	児童福祉(子育て支援・保育等) (38.6)	高齢者福祉 (37.9)
4位	保険・健康(休日診療を含む) (45.7)	児童福祉(子育て支援・保育等) (39.7)	児童福祉(子育て支援・保育等) (38.3)	高齢者福祉 (38.2)	児童福祉(子育て支援・保育等) (36.1)
5位	高齢者福祉 (44.1)	清掃・リサイクルの推進 (35.9)	高齢者福祉 (38.1)	緑化推進 (30.5)	保健・健康(休日診療を含む) (34.6)
6位	学校教育 (43.5)	高齢者福祉 (35.8)	交通安全対策 (37.5)	保健・健康(休日診療を含む) (30.4)	緑化推進 (31.7)
7位	ごみ減量・リサイクルの推進 (42.7)	交通安全対策 (35.4)	清掃・リサイクルの推進 (36.0)	学校教育 (29.1)	交通安全対策 (31.6)
8位	地球温暖化対策 (39.5)	公園・児童遊園の整備 (34.3)	道路の整備 (34.8)	交通安全対策 (28.4)	公園・児童遊園の整備 (28.4)
9位	環境と産業の両立 (35.8)	学校教育 (33.0)	緑化推進 (34.7)	公園・児童遊園の整備 (27.4)	道路の整備 (27.6)
10位	食の安全・安心の確保 (34.9)	緑化推進 (32.6)	学校教育 (34.1)	清掃・リサイクルの推進 (27.2)	清掃・リサイクルの推進 (27.5)

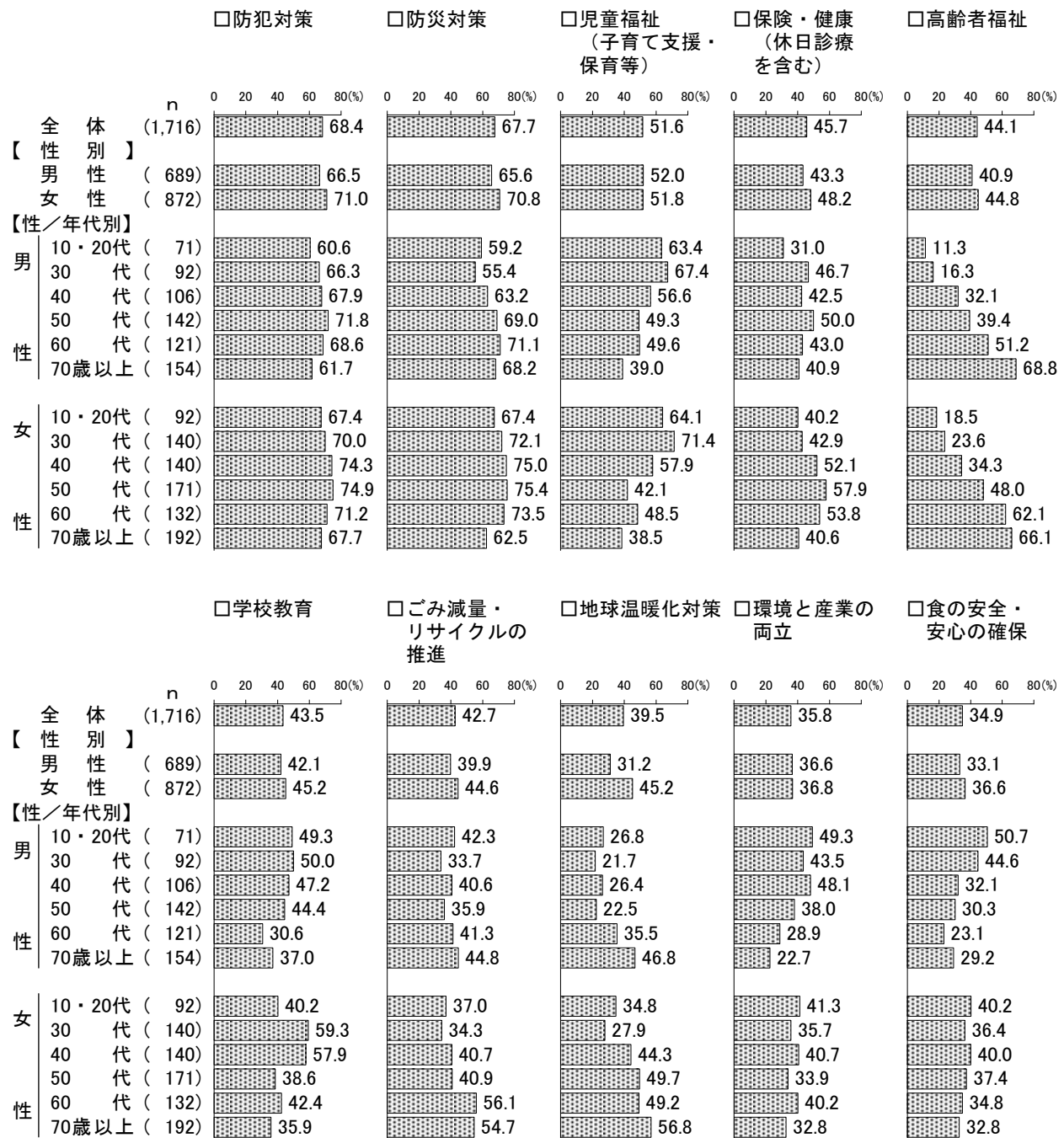
※同ポイントの項目は選択肢の順に記載している。

※「ごみ減量・リサイクルの推進」は、令和5年までは「清掃・リサイクルの推進」としていた。

※「地球温暖化対策」、「環境と産業の両立」は、令和7年から追加された選択肢。

上位10項目の経年比較をみると、前回調査では2位だった「防犯対策」が1位、前回調査では1位だった「防災対策」が2位となっている。また、前回調査では4位だった「児童福祉（子育て支援・保育等）」が3位、前回調査では3位だった「保健・健康（休日診療を含む）」が4位となっている。（表7-2-1）

図 7-2-2 施策要望一性／年代別（上位10項目）



上位10項目を性別で見ると、多くの項目で女性が男性を上回っており、「地球温暖化対策」は女性（45.2％）が男性（31.2％）より14.0ポイント、「防災対策」は女性（70.8％）が男性（65.6％）より5.2ポイント、それぞれ高くなっている。

性／年代別で見ると、「防犯対策」は女性40代（74.3％）と女性50代（74.9％）で7割半ばと高くなっている。「防災対策」は女性40代（75.0％）と女性50代（75.4％）で7割半ばと高くなっている。「児童福祉（子育て支援・保育等）」は女性30代（71.4％）で7割を超えて高くなっている。

（図 7-2-2）

表 7-2-2 施策要望―地域別（上位 5 項目）

(%)

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	1,716	防犯対策 (68.4)	防災対策 (67.7)	児童福祉(子育て支援・保育等) (51.6)	保険・健康(休日診療を含む) (45.7)	高齢者福祉 (44.1)
大 森 地 域	545	防犯対策 (66.8)	防災対策 (65.1)	児童福祉(子育て支援・保育等) (53.6)	保険・健康(休日診療を含む) (45.7)	高齢者福祉 (41.7)
調 布 地 域	436	防犯対策 (70.4)	防災対策 (69.0)	児童福祉(子育て支援・保育等) (50.5)	学校教育 (45.6)	高齢者福祉 (43.6)
蒲 田 地 域	436	防犯対策 (71.3)	防災対策 (70.4)	児童福祉(子育て支援・保育等) (50.7)	保険・健康(休日診療を含む) (46.6)	学校教育 (46.1)
糀谷・羽田地域	140	防災対策 (70.7)	防犯対策 (65.0)	保険・健康(休日診療を含む) (55.0)	児童福祉(子育て支援・保育等) (54.3)	ごみ減量・リサイクルの推進 (52.9)

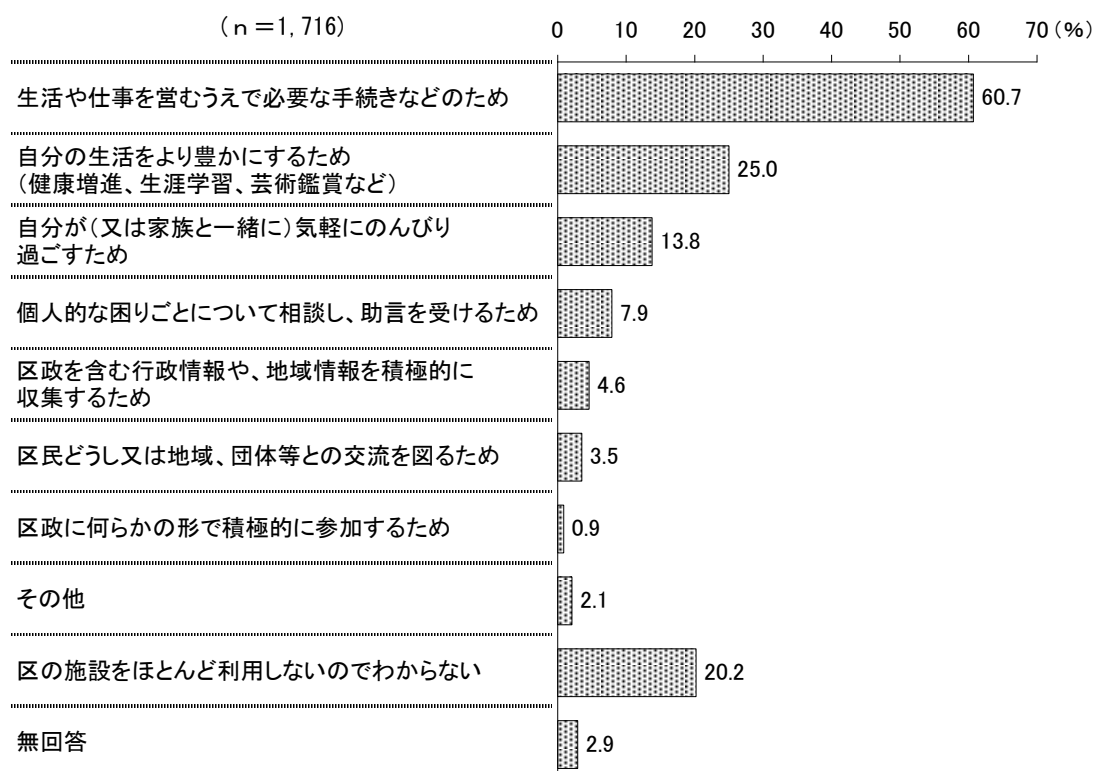
上位 5 項目を地域別でみると、糀谷・羽田地域を除く全ての地域で「防犯対策」が 1 位、「防災対策」が 2 位となっている。また、糀谷・羽田地域では「防災対策」が 1 位、「防犯対策」が 2 位となっている。(表 7-2-2)

(3) 区内施設の利用目的

◇「生活や仕事を営むうえで必要な手続きなどのため」が約6割

問23 あなたは、どんな目的で大田区の施設を利用することが多いですか。(○は3つまで)

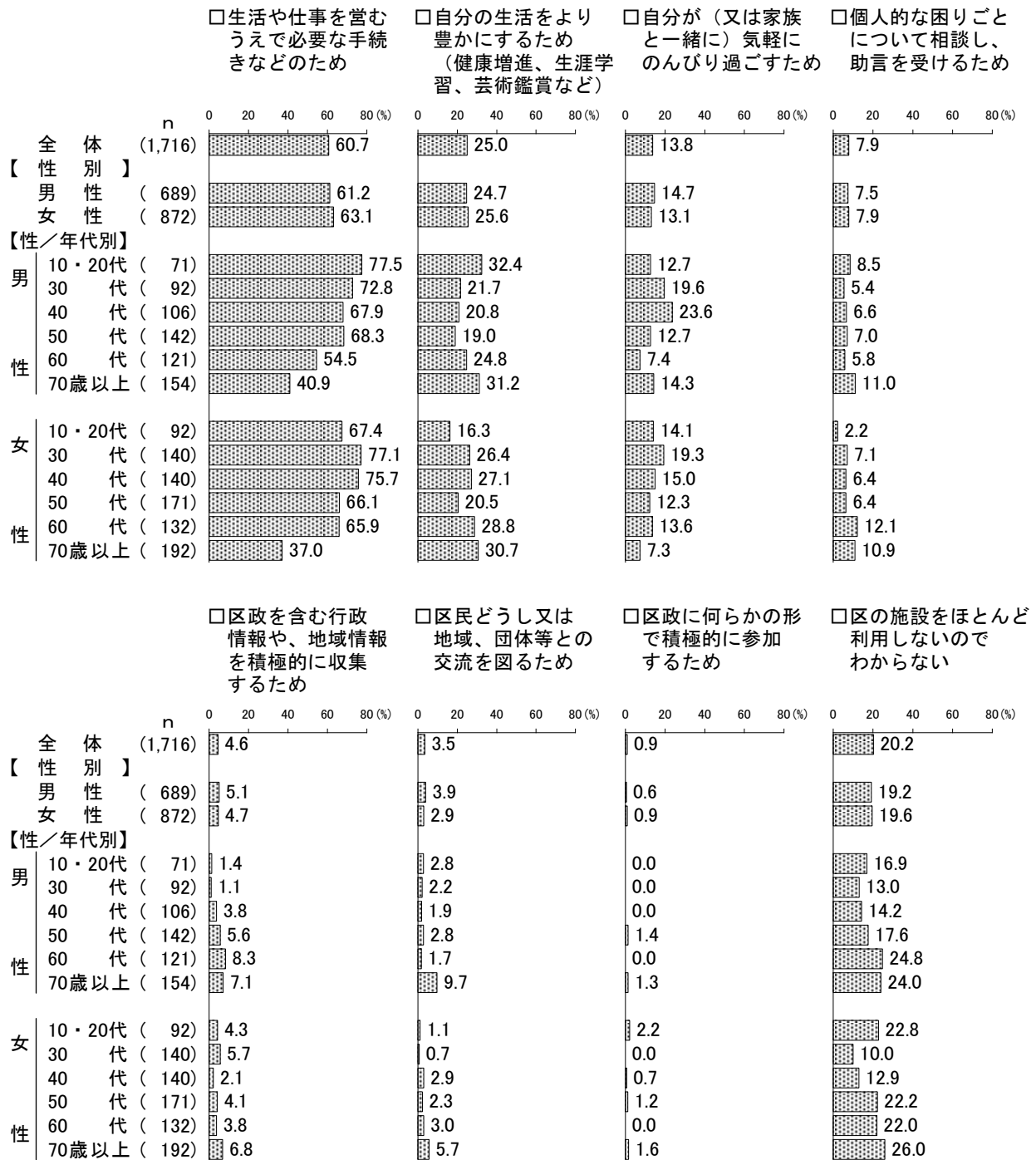
図 7-3-1



どんな目的で大田区の施設を利用することが多いか聞いたところ、「生活や仕事を営むうえで必要な手続きなどのため」(60.7%)が約6割で最も高く、次いで「自分の生活をより豊かにするため(健康増進、生涯学習、芸術鑑賞など)」(25.0%)、「自分が(又は家族と一緒に)気軽にのんびり過ごすため」(13.8%)などの順になっている。一方、「区の施設をほとんど利用しないのでわからない」(20.2%)は2割となっている。

「その他」への回答として、「図書館」、「子どもの習い事」、「スポーツをするため」などがあげられている。(図 7-3-1)

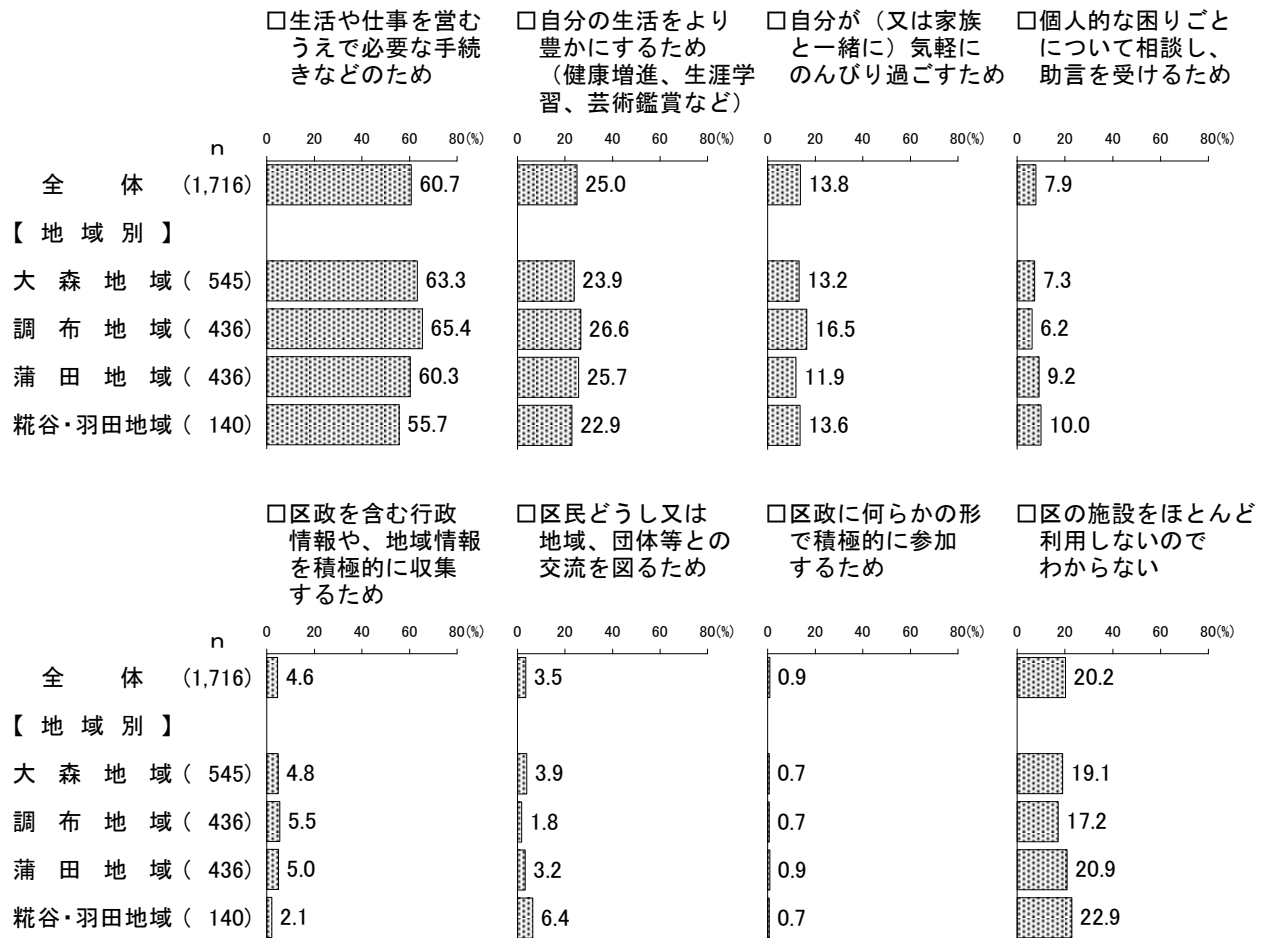
図 7-3-2 区内施設の利用目的一性／年代別



性別でみると、大きな違いはみられない。

性／年代別でみると、「生活や仕事を営むうえで必要な手続きなどのため」は男性10・20代 (77.5%) と女性30代 (77.1%) で8割近くと高くなっている。「自分の生活をより豊かにするため (健康増進、生涯学習、芸術鑑賞など)」は男性10・20代 (32.4%) と男性70歳以上 (31.2%) で3割を超えて高くなっている。「自分が (又は家族と一緒に) 気軽にのんびり過ごすため」は男性40代 (23.6%) で2割を超えて高くなっている。(図 7-3-2)

図 7-3-3 区内施設の利用目的—地域別



地域別でみると、「生活や仕事を営むうえで必要な手続きなどのため」は調布地域（65.4％）で6割半ばと高くなっている。「自分の生活をより豊かにするため（健康増進、生涯学習、芸術鑑賞など）」は調布地域（26.6％）で3割近くと高くなっている。（図 7-3-3）

(4) 区の媒体の利用頻度

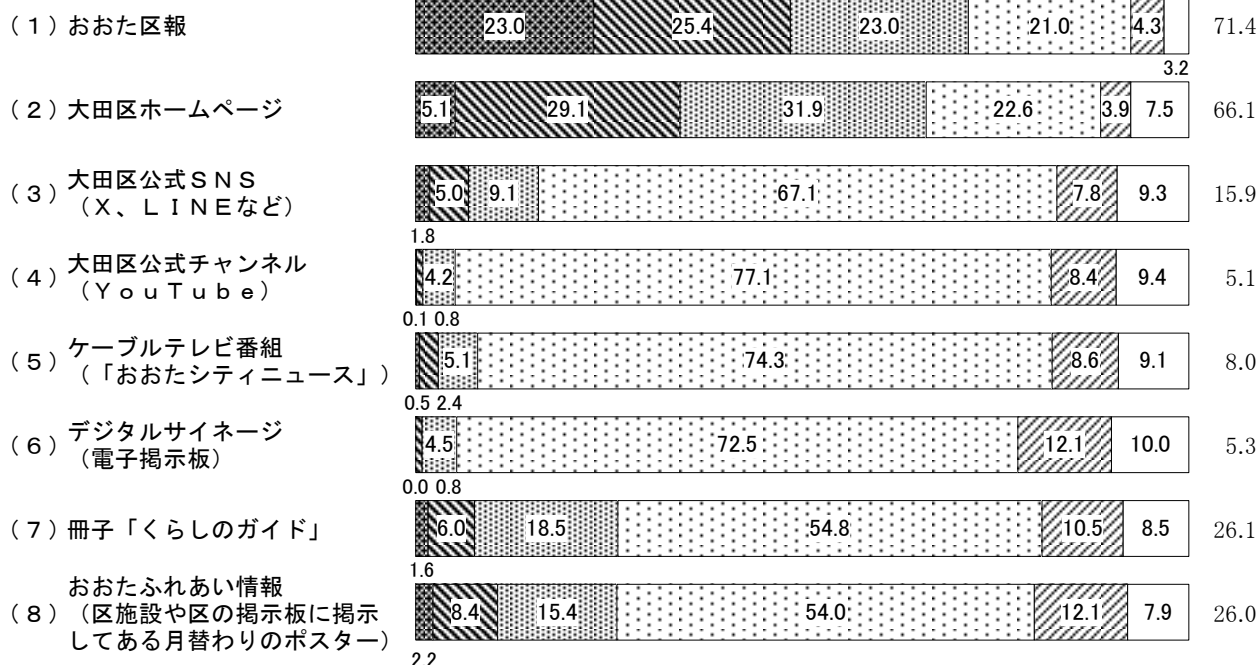
◇「よく利用している」、「たまに利用している」、「利用したことがある」を合わせた『利用している（計）』は“おおた区報”で7割を超える

問24 あなたは区政に関する情報を知りたいとき、それぞれの媒体をどの程度利用して（見て）いますか。（〇はそれぞれ1つ）

図 7-4-1

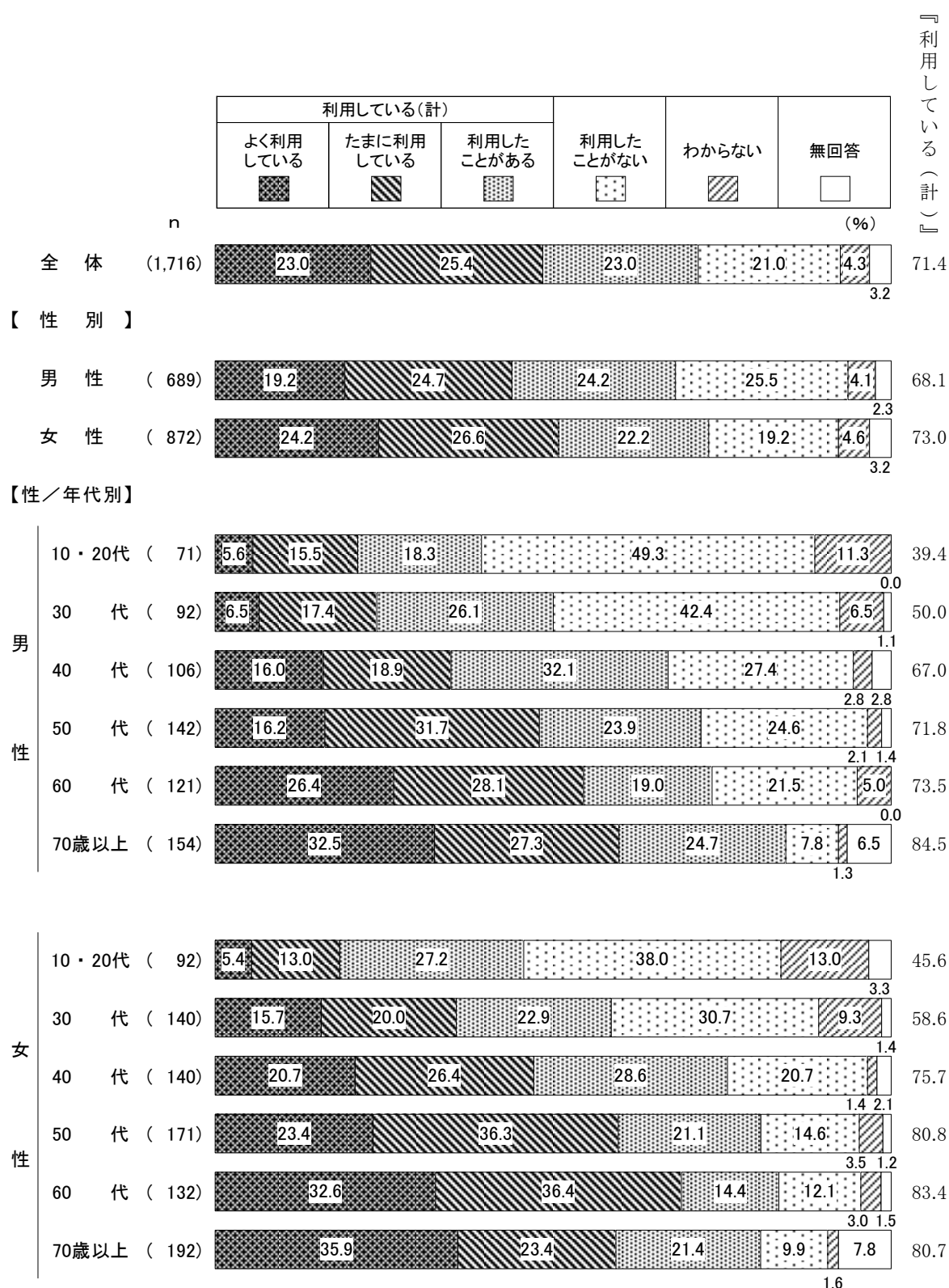
『利用している（計）』

(n=1,716)



区政に関する情報を知りたいとき、それぞれの媒体をどの程度利用しているか聞いたところ、「よく利用している」、「たまに利用している」、「利用したことがある」を合わせた『利用している（計）』は“おおた区報”（71.4%）で7割を超え、“大田区ホームページ”（66.1%）で6割半ばと高くなっている。（図 7-4-1）

図 7-4-2 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(1) おおた区報】

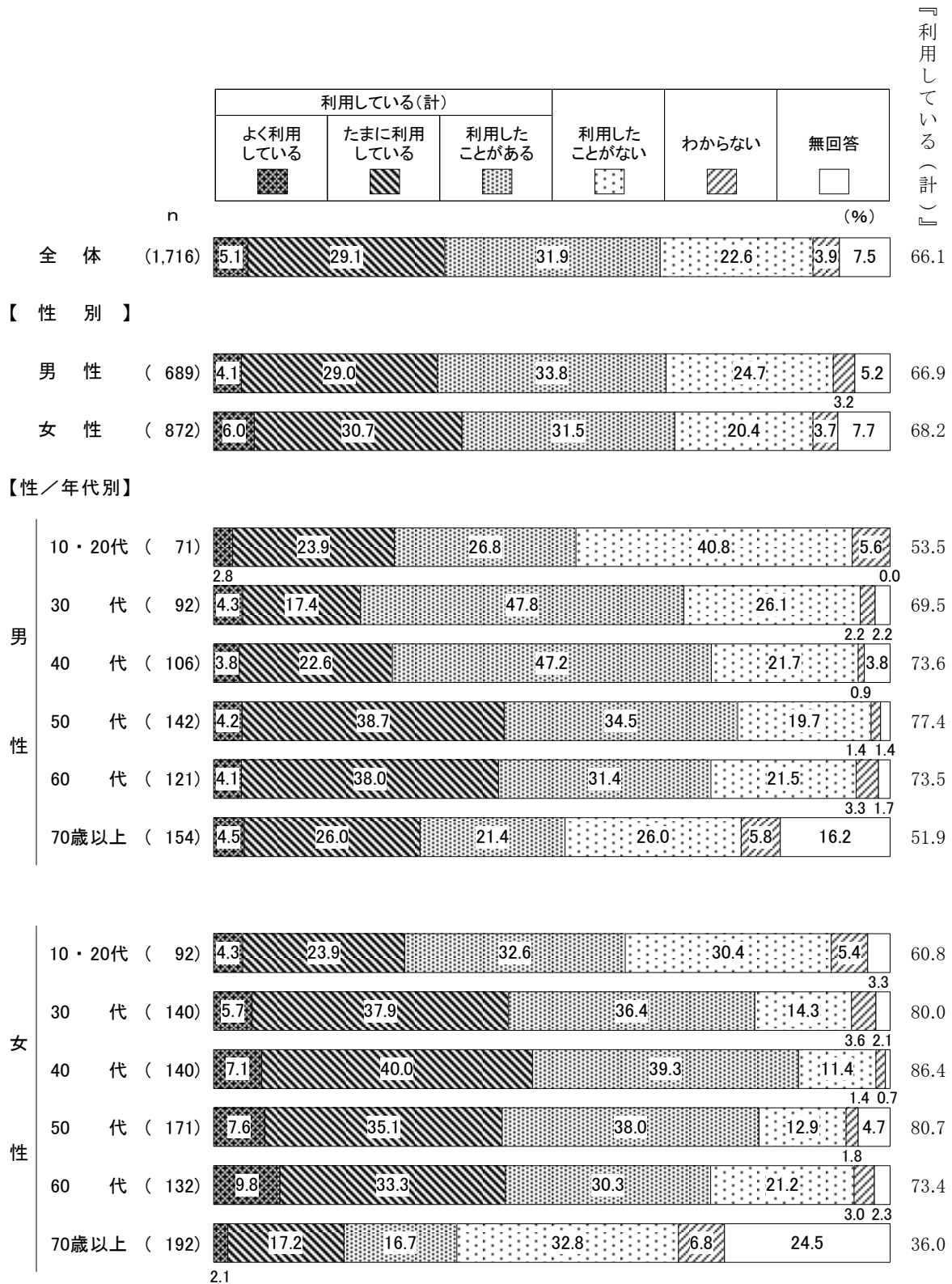


“おおた区報”を性別でみると、『利用している（計）』は女性（73.0%）が男性（68.1%）より4.9ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『利用している（計）』は男性70歳以上（84.5%）で8割半ばと高くなっている。一方、「利用したことがない」は男性10・20代（49.3%）で約5割と高くなっている。

（図 7-4-2）

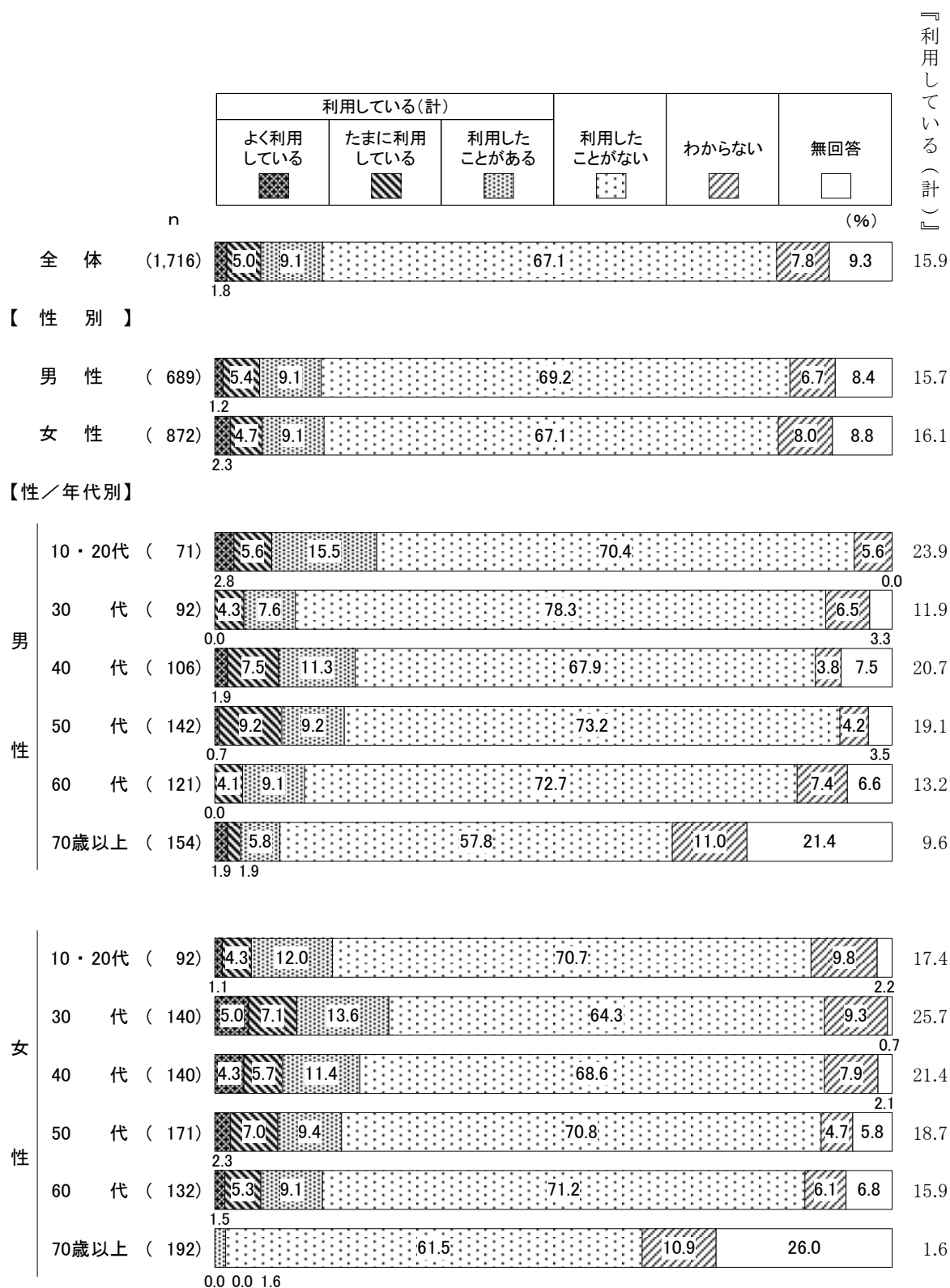
図 7-4-3 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(2) 大田区ホームページ】



“大田区ホームページ”を性別でみると、「利用したことがない」は男性(24.7%)が女性(20.4%)より4.3ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『利用している(計)』は女性40代(86.4%)で8割半ばと高くなっている。一方、「利用したことがない」は男性10・20代(40.8%)で約4割と高くなっている。(図7-4-3)

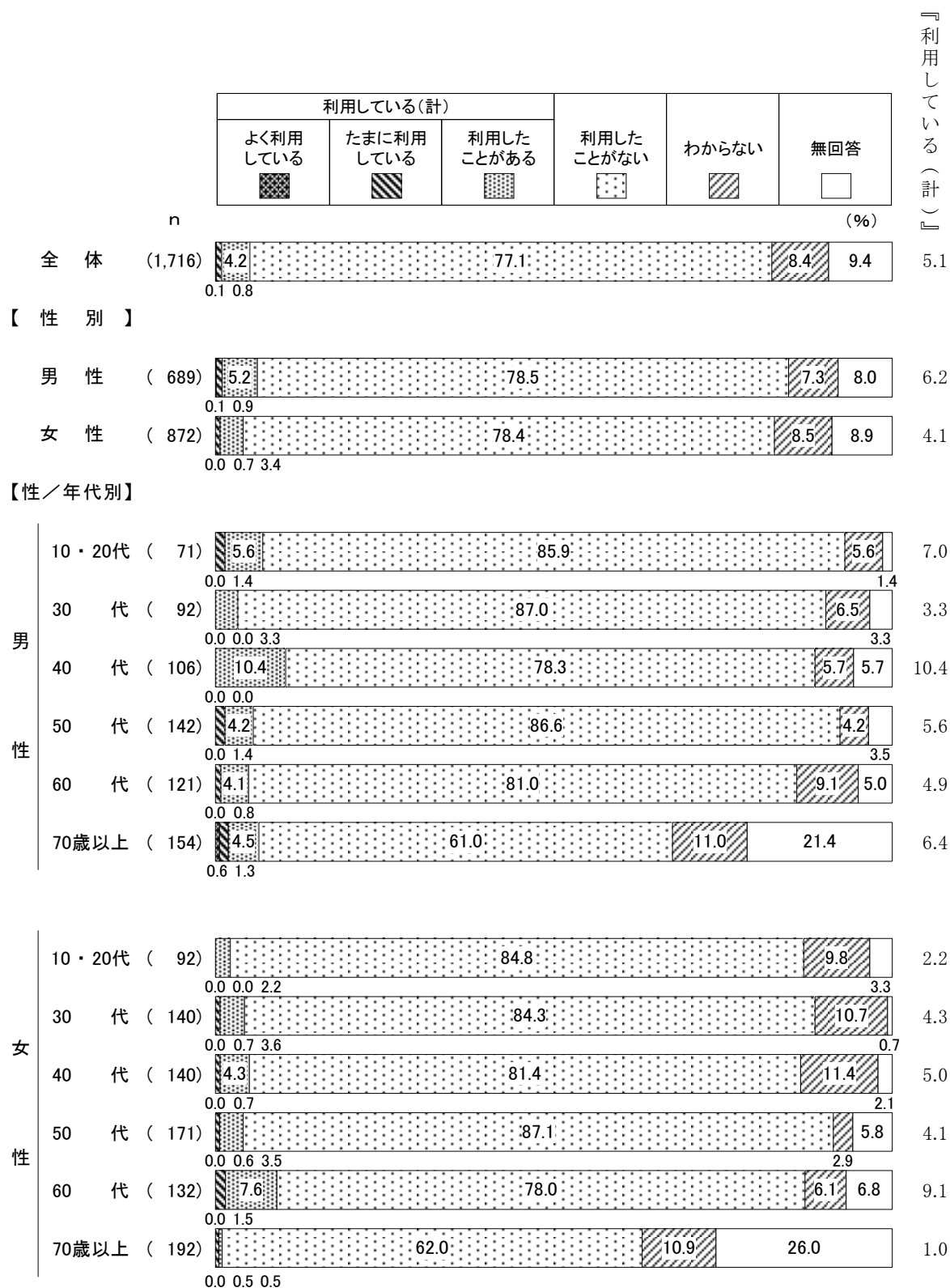
図 7-4-4 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(3) 大田区公式SNS (X、LINEなど)】



“大田区公式SNS (X、LINEなど)” を性別でみると、大きな違いはみられない。

性／年代別でみると、『利用している(計)』は女性30代(25.7%)で2割半ばと高くなっている。一方、「利用したことがない」は男性30代(78.3%)で8割近くと高くなっている。(図7-4-4)

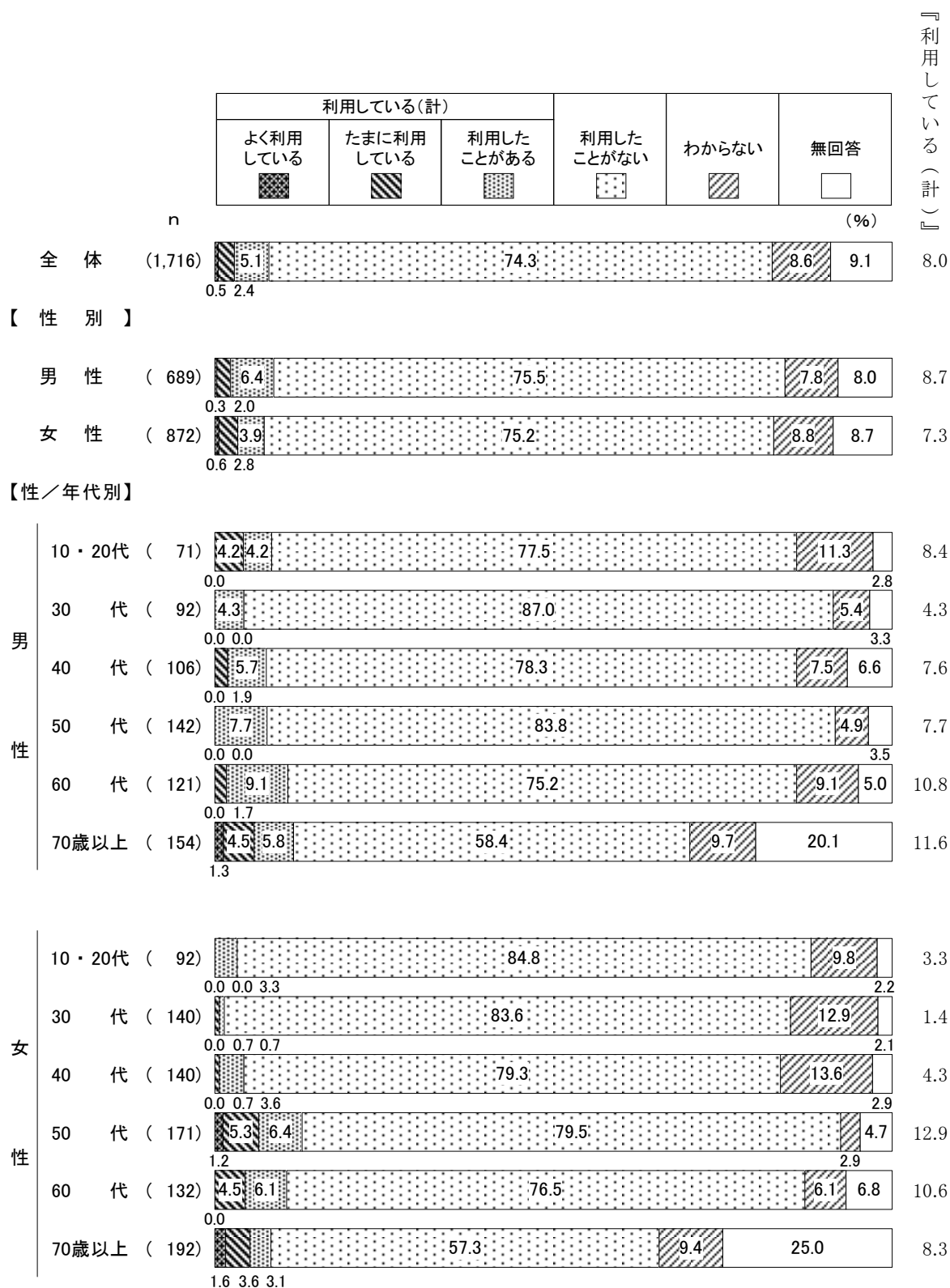
図 7-4-5 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(4) 大田区公式チャンネル (YouTube)】



“大田区公式チャンネル (YouTube)” を性別でみると、大きな違いはみられない。

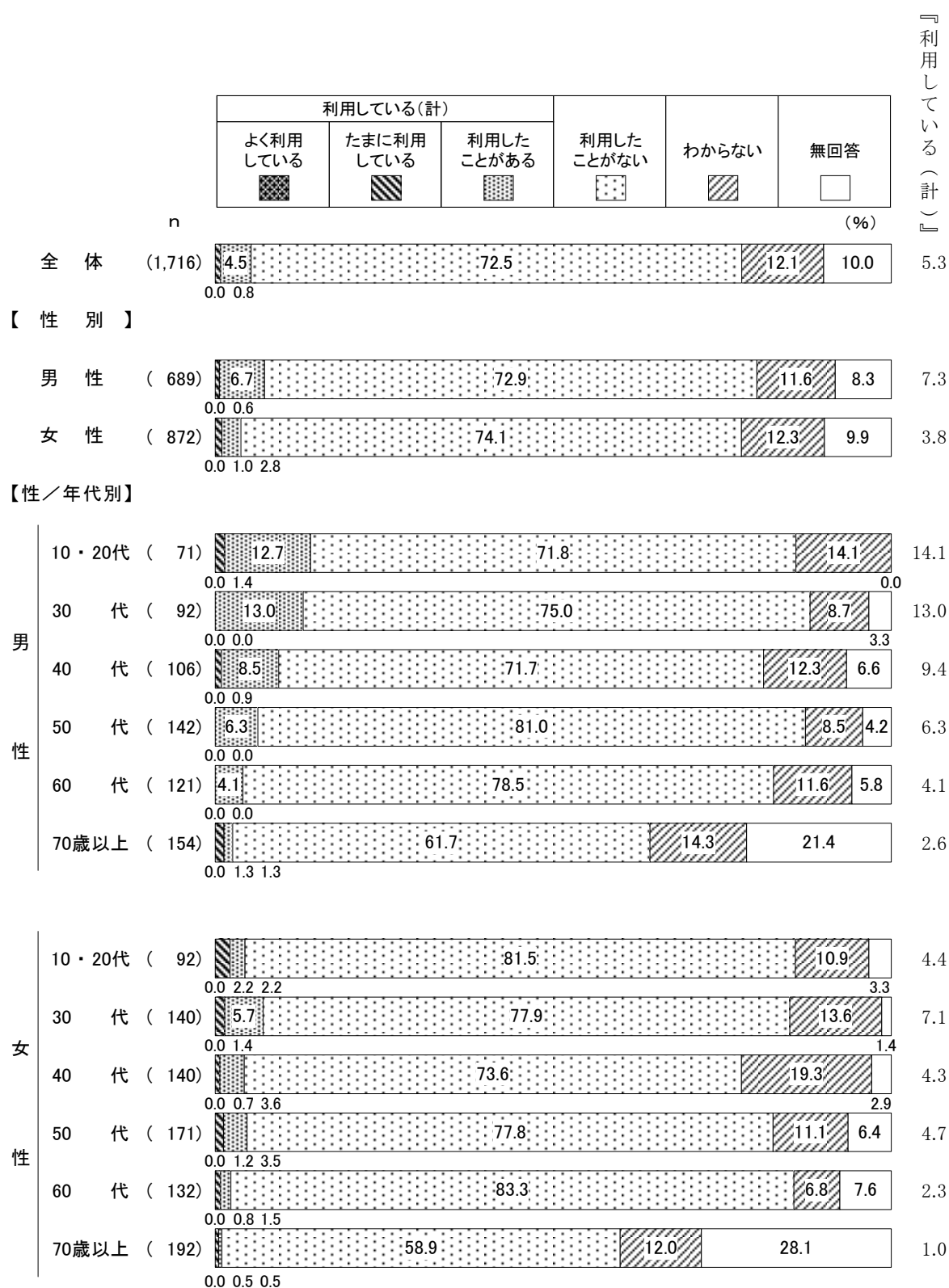
性／年代別でみると、『利用している(計)』は男性40代(10.4%)と女性60代(9.1%)で約1割となっている。一方、「利用したことがない」は女性50代(87.1%)、男性30代(87.0%)、男性50代(86.6%)で9割近くと高くなっている。(図7-4-5)

図 7-4-6 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(5) ケーブルテレビ番組(「おおたシティニュース」)】



“ケーブルテレビ番組(「おおたシティニュース」)”を性別でみると、大きな違いはみられない。性／年代別でみると、『利用している(計)』は女性50代(12.9%)と男性70歳以上(11.6%)で1割を超えている。一方、「利用したことがない」は男性30代(87.0%)で9割近くと高くなっている。(図7-4-6)

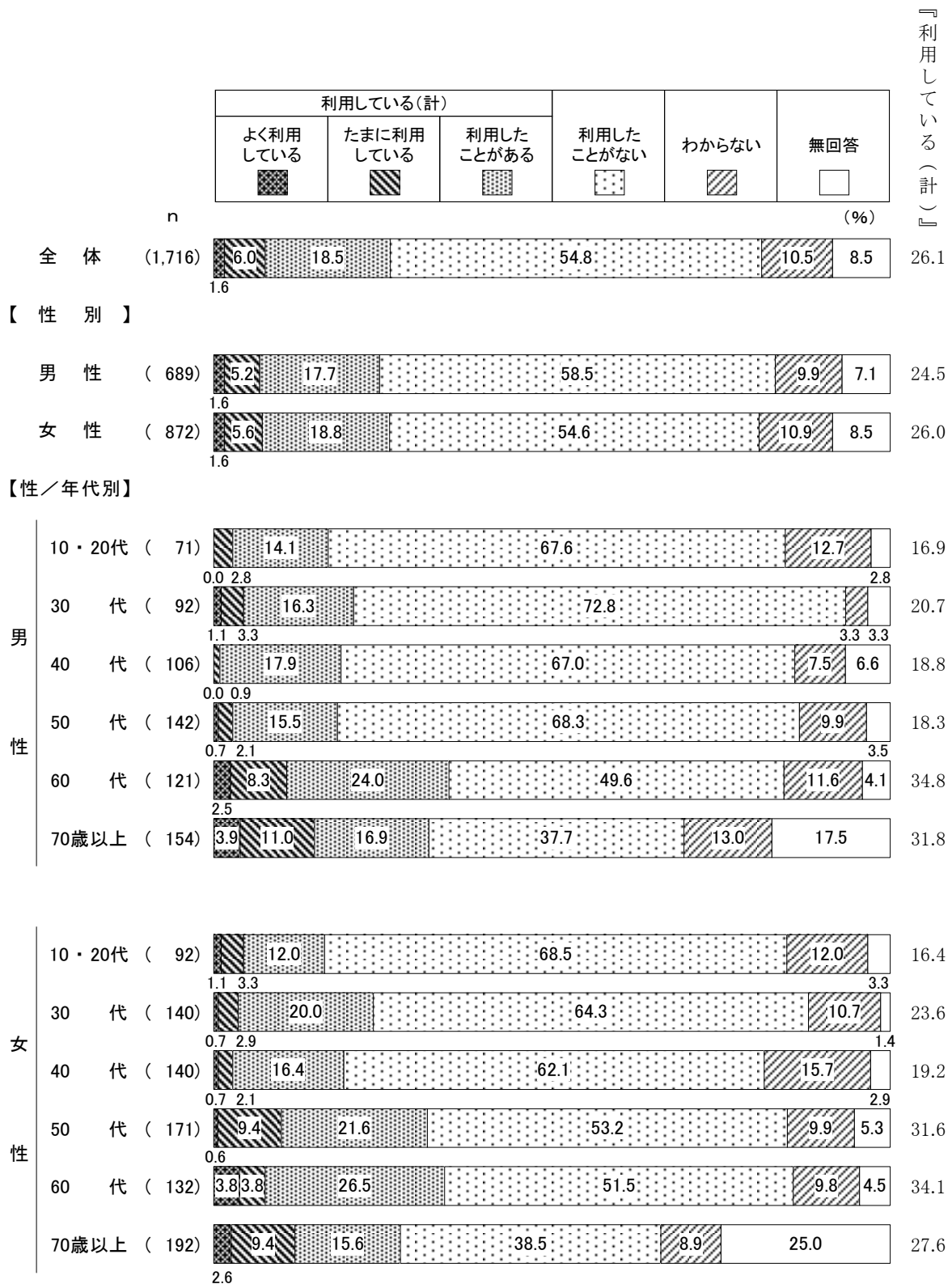
図7-4-7 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(6) デジタルサイネージ（電子掲示板）】



“デジタルサイネージ（電子掲示板）”を性別でみると、『利用している（計）』は男性（7.3%）が女性（3.8%）より3.5ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『利用している（計）』は男性10・20代（14.1%）で1割半ばとなっている。一方、「利用したことがない」は女性10・20代（81.5%）、女性60代（83.3%）、男性50代（81.0%）で8割を超えて高くなっている。（図7-4-7）

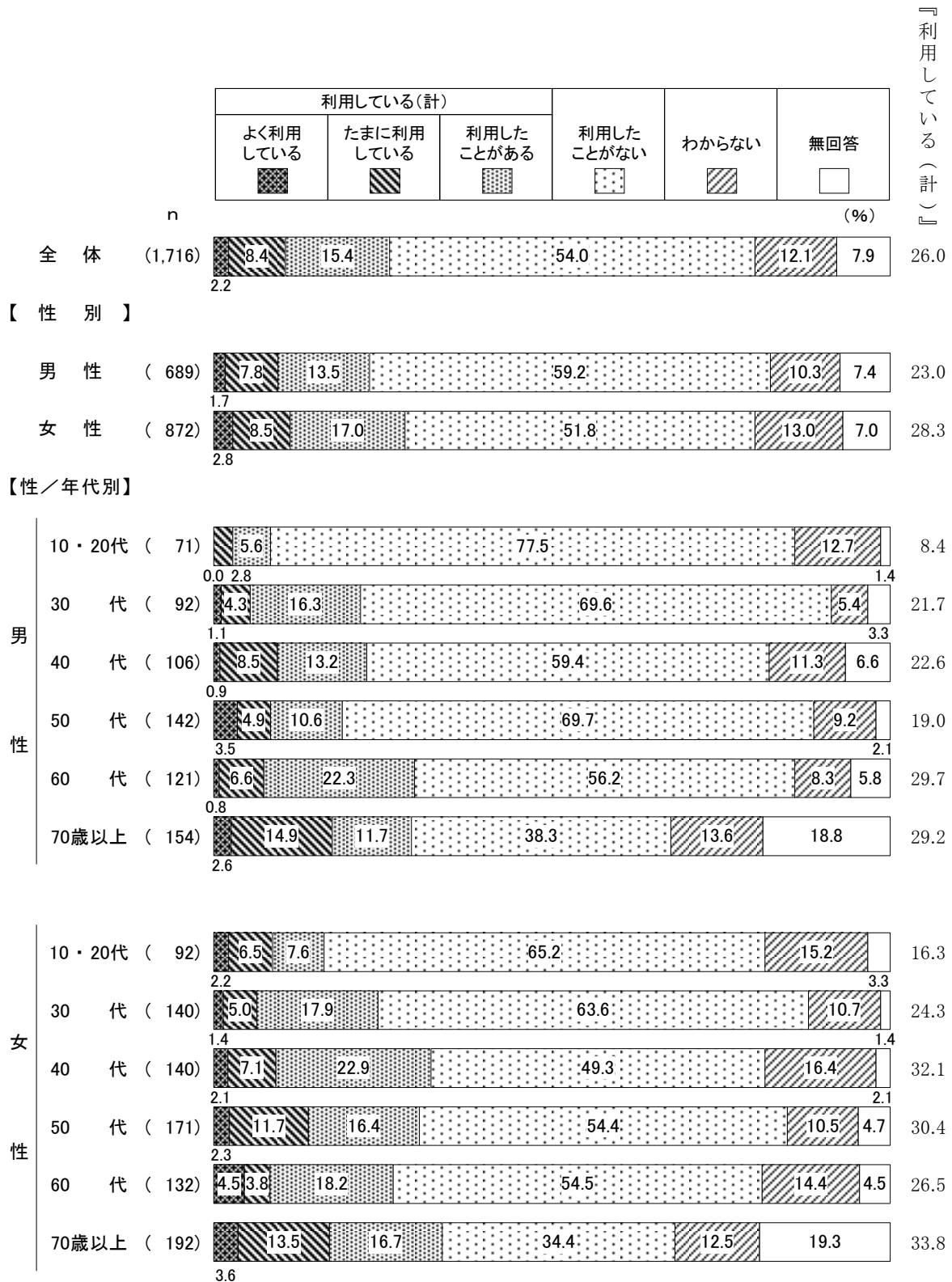
図 7-4-8 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(7) 冊子「くらしのガイド」】



“冊子「くらしのガイド」”を性別でみると、「利用したことがない」は男性（58.5%）が女性（54.6%）より3.9ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『利用している（計）』は男性60代（34.8%）と女性60代（34.1%）で3割半ばと高くなっている。一方、「利用したことがない」は男性30代（72.8%）で7割を超えて高くなっている。（図 7-4-8）

図7-4-9 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(8) おたふれあい情報】



“おたふれあい情報”を性別でみると、『利用している(計)』は女性(28.3%)が男性(23.0%)より5.3ポイント高くなっている。

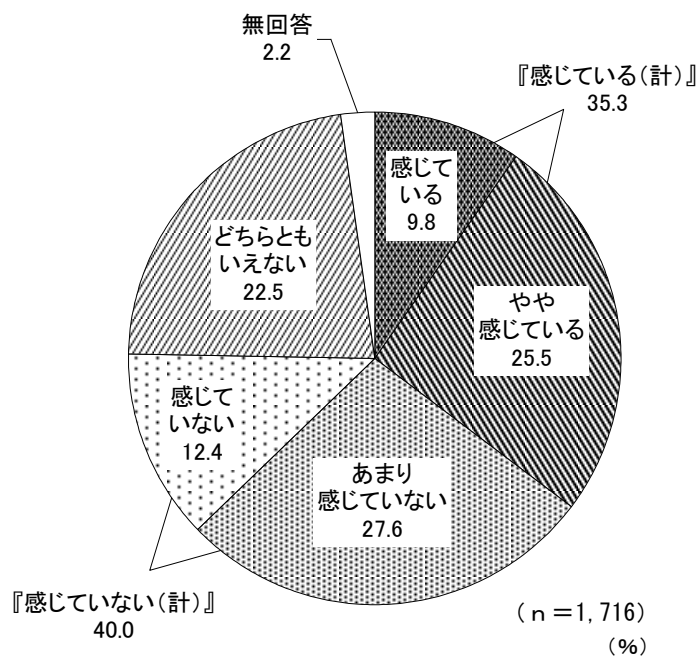
性／年代別でみると、『利用している(計)』は女性40代(32.1%)と女性70歳以上(33.8%)で3割を超えて高くなっている。一方、「利用したことがない」は男性10・20代(77.5%)で8割近くと高くなっている。(図7-4-9)

(5) 必要な区政情報がわかりやすく届いていると感じているか

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は3割半ば

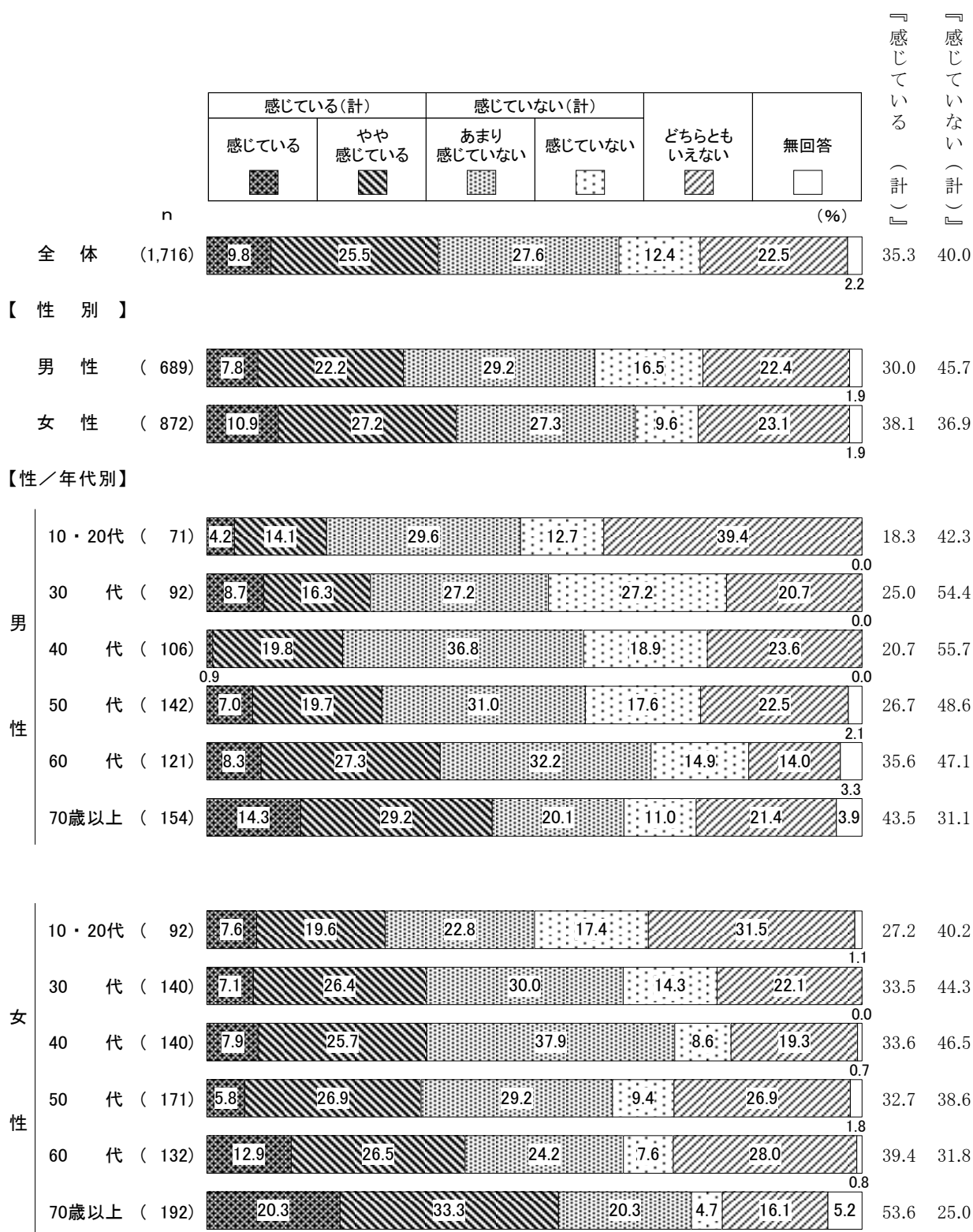
問25 あなたは、必要な区政情報が区報や区のホームページなどを通じてわかりやすく届いていると感じていますか。(○は1つだけ)

図 7-5-1



必要な区政情報が区報や区のホームページなどを通じてわかりやすく届いていると感じているか聞いたところ、「感じている」(9.8%)と「やや感じている」(25.5%)を合わせた『感じている(計)』(35.3%)は3割半ばとなっている。一方、「あまり感じていない」(27.6%)と「感じていない」(12.4%)を合わせた『感じていない(計)』(40.0%)は4割となっている。(図 7-5-1)

図 7-5-2 必要な区政情報がわかりやすく届いていると感じているかー性／年代別



性別でみると、『感じている（計）』は女性（38.1%）が男性（30.0%）より8.1ポイント高くなっている。

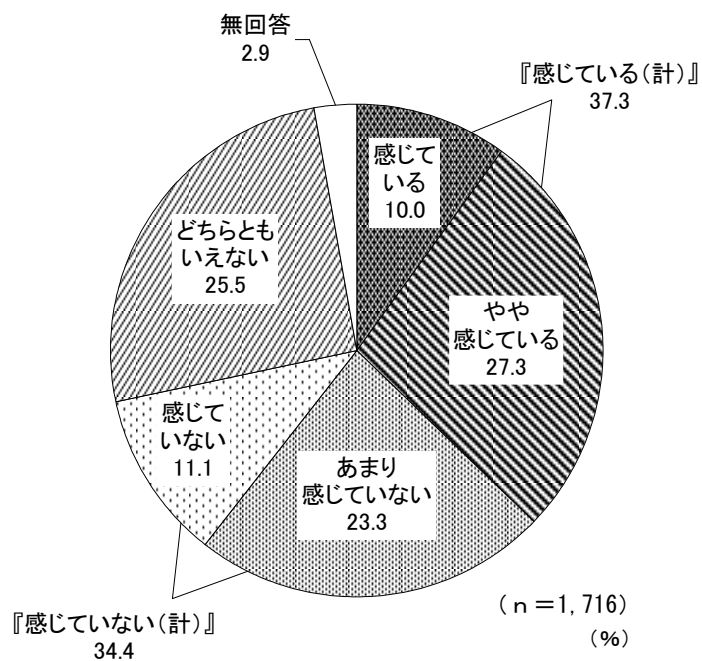
性／年代別でみると、『感じている（計）』は女性70歳以上（53.6%）で5割を超えて高くなっている。一方、『感じていない（計）』は男性30代（54.4%）と男性40代（55.7%）で5割半ばと高くなっている。（図 7-5-2）

(6) オンライン化により行政手続は便利になったと感じているか

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は4割近く

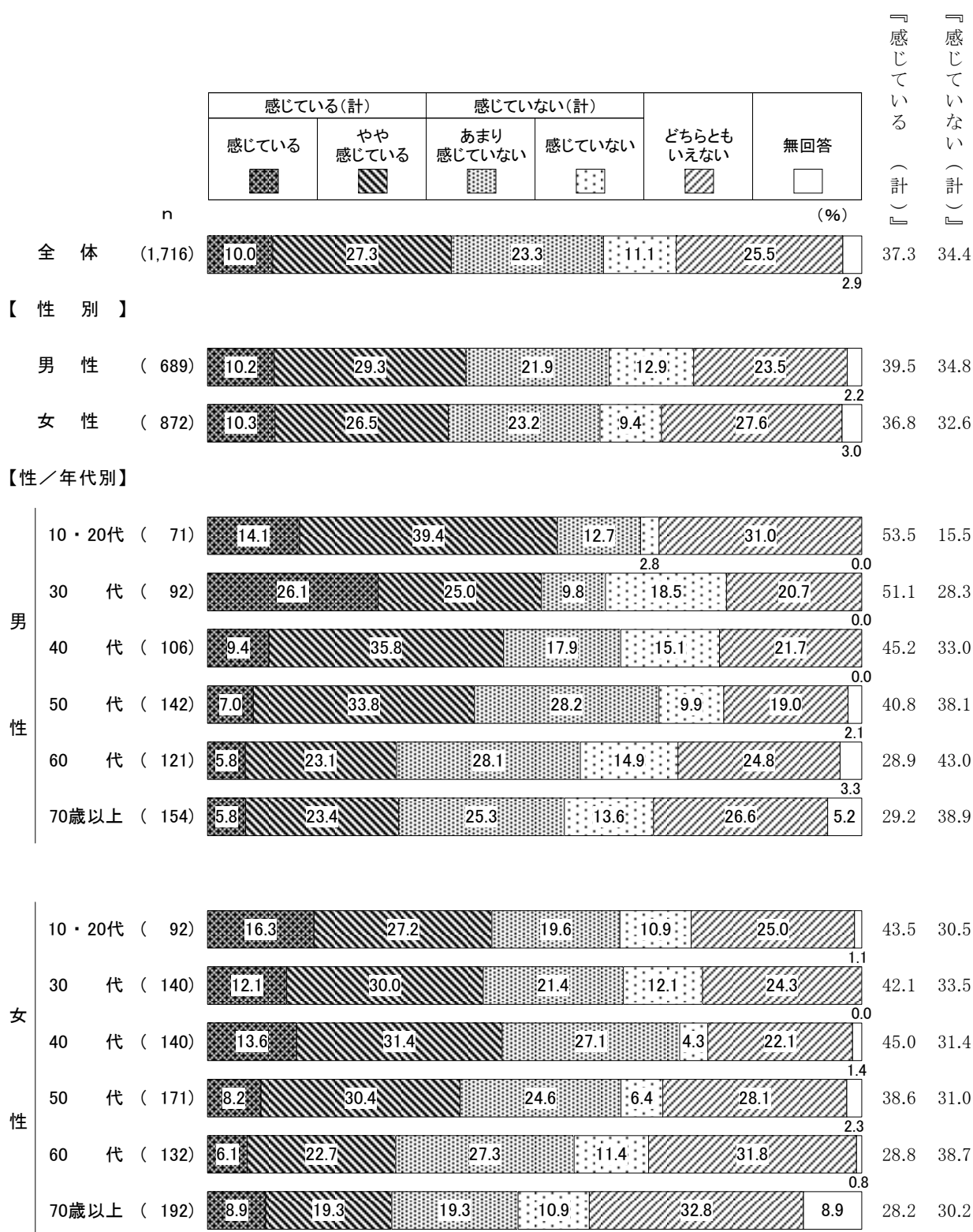
問26 行政手続のオンライン化により、大田区の行政手続は以前に比べて便利になったと感じていますか。(○は1つだけ)

図7-6-1



オンライン化により行政手続は便利になったと感じているか聞いたところ、「感じている」(10.0%)と「やや感じている」(27.3%)を合わせた『感じている(計)』(37.3%)は4割近くとなっている。一方、「あまり感じていない」(23.3%)と「感じていない」(11.1%)を合わせた『感じていない(計)』(34.4%)は3割半ばとなっている。(図7-6-1)

図 7-6-2 オンライン化により行政手続は便利になったと感じているかー性／年代別



性別でみると、「どちらともいえない」は女性（27.6%）が男性（23.5%）より4.1ポイント高くなっている。

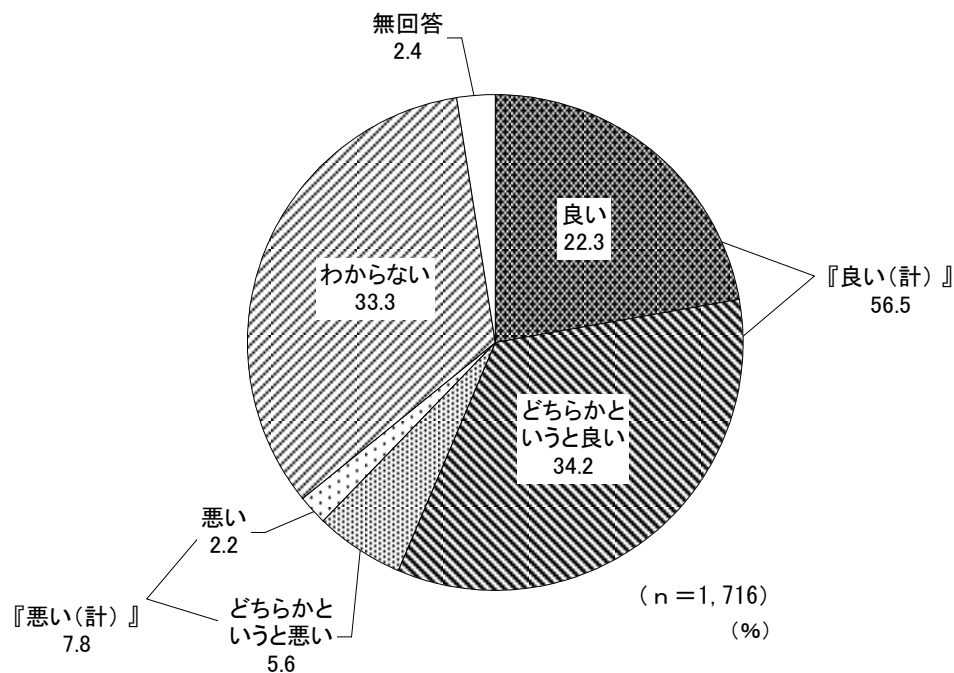
性／年代別でみると、『感じている（計）』は男性10・20代（53.5%）と男性30代（51.1%）で5割を超えて高くなっている。一方、『感じていない（計）』は男性60代（43.0%）で4割を超えて高くなっている。（図 7-6-2）

(7) 区の職員の窓口や電話対応への印象

◇「良い」と「どちらかというといい」を合わせた『良い(計)』は6割近く

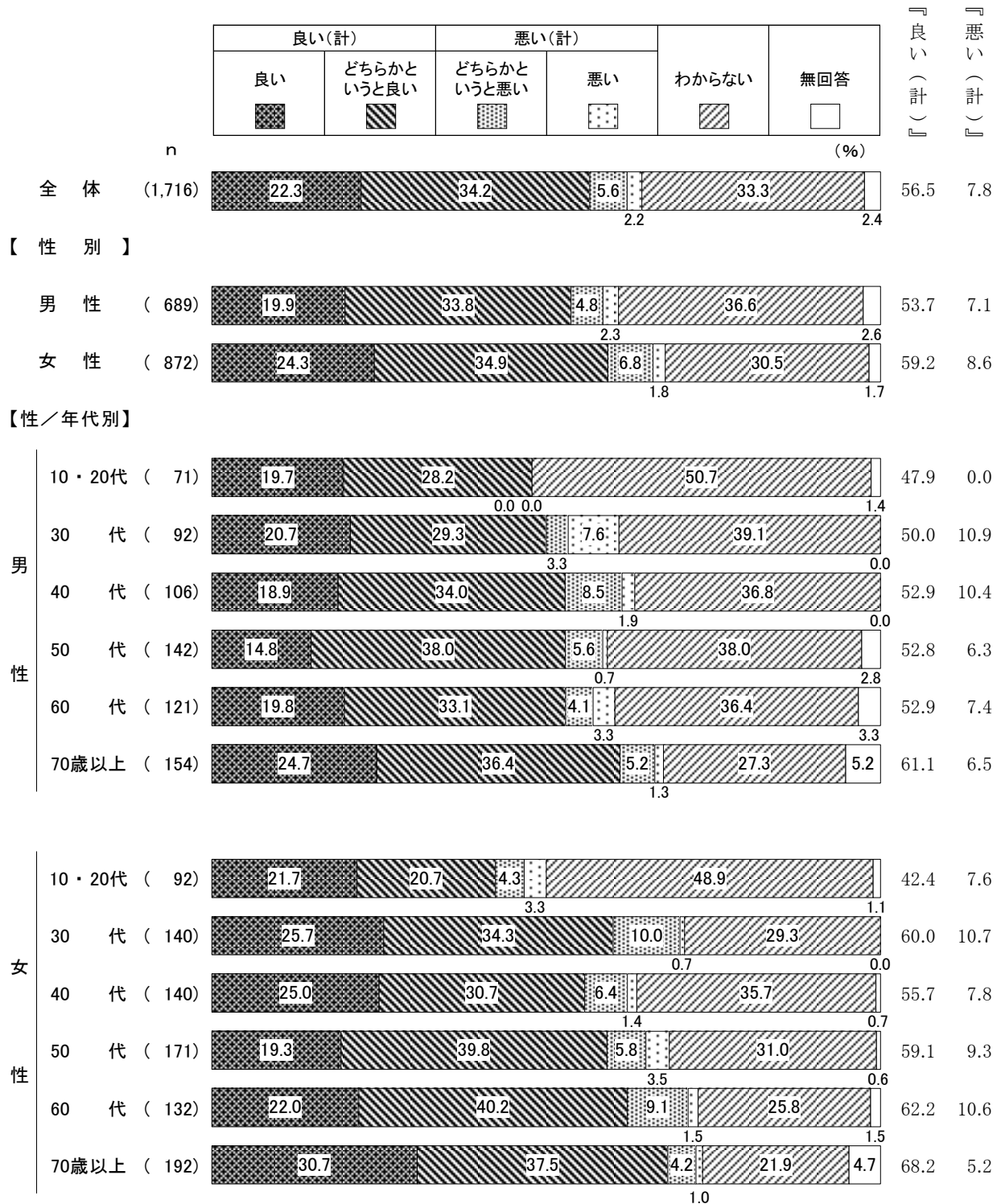
問27 あなたは、大田区の職員の窓口や電話での対応についてどのように感じていますか。
(○は1つだけ)

図 7-7-1



区の職員の窓口や電話での対応について聞いたところ、「どちらかというといい」(34.2%)が3割半ばで最も高く、これに「良い」(22.3%)を合わせた『良い(計)』(56.5%)は6割近くとなっている。一方、「どちらかというが悪い」(5.6%)と「悪い」(2.2%)を合わせた『悪い(計)』(7.8%)は1割未満となっている。(図 7-7-1)

図7-7-2 区の職員の窓口や電話対応への印象－性／年代別



性別でみると、『良い（計）』は女性（59.2％）が男性（53.7％）より5.5ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『良い（計）』は女性70歳以上（68.2％）で7割近くと高くなっている。

（図7-7-2）

(8) 区政への参加意向

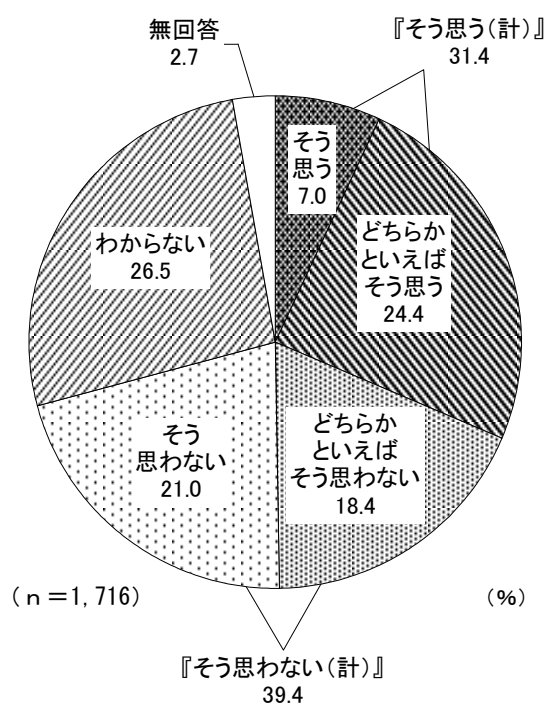
◇「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う(計)』は3割を超える

問28 あなたは、何らかの機会や手段を通じて大田区政に参加したいと思いますか。

(○は1つだけ)

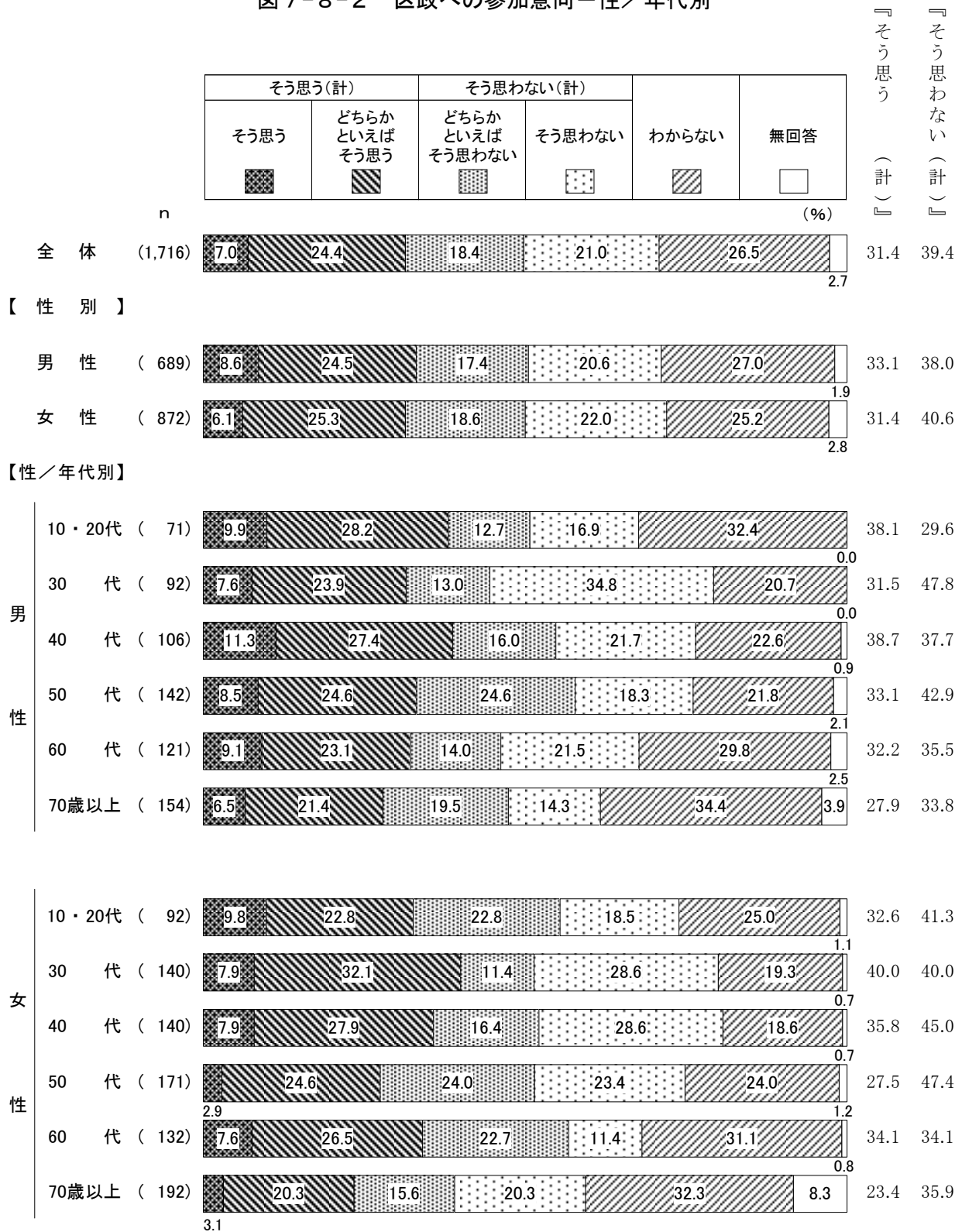
※ここでいう「区政への参加」とは、大田区が実施する区民向けのワークショップや委員会、審議会などの公募委員、区民意見公募手続き（パブリックコメント）への参加のほか、窓口・電話・メールなどを通じた区への意見・要望、住民説明会・意見交換会・シンポジウム・フォーラムへの参加、アンケートへの回答など、区が関係する幅広い機会・手段を指すものとします。

図 7-8-1



何らかの機会や手段を通じて大田区政に参加したいと思うか聞いたところ、「そう思う」(7.0%)と「どちらかといえばそう思う」(24.4%)を合わせた『そう思う(計)』(31.4%)は3割を超えている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(18.4%)と「そう思わない」(21.0%)を合わせた『そう思わない(計)』(39.4%)は約4割となっている。(図7-8-1)

図 7-8-2 区政への参加意向一性／年代別



性別でみると、大きな違いはみられない。

性／年代別でみると、『そう思う（計）』は女性30代（40.0％）で4割と高くなっている。一方、『そう思わない（計）』は男性30代（47.8％）と女性50代（47.4％）で5割近くと高くなっている。

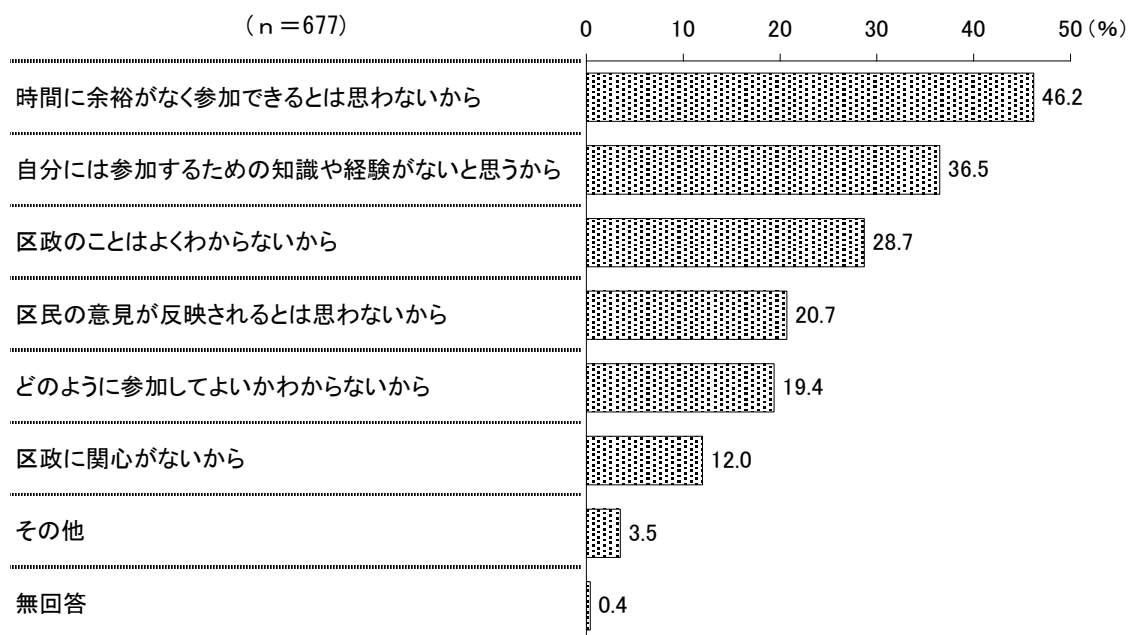
（図 7-8-2）

（９）区政に参加したいと思わない理由

◇「時間に余裕がなく参加できると思わないから」が４割半ば

（問28で、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答した方に）
問28-１ そのように思った理由は何ですか。（○はいくつでも）

図 7-9-1

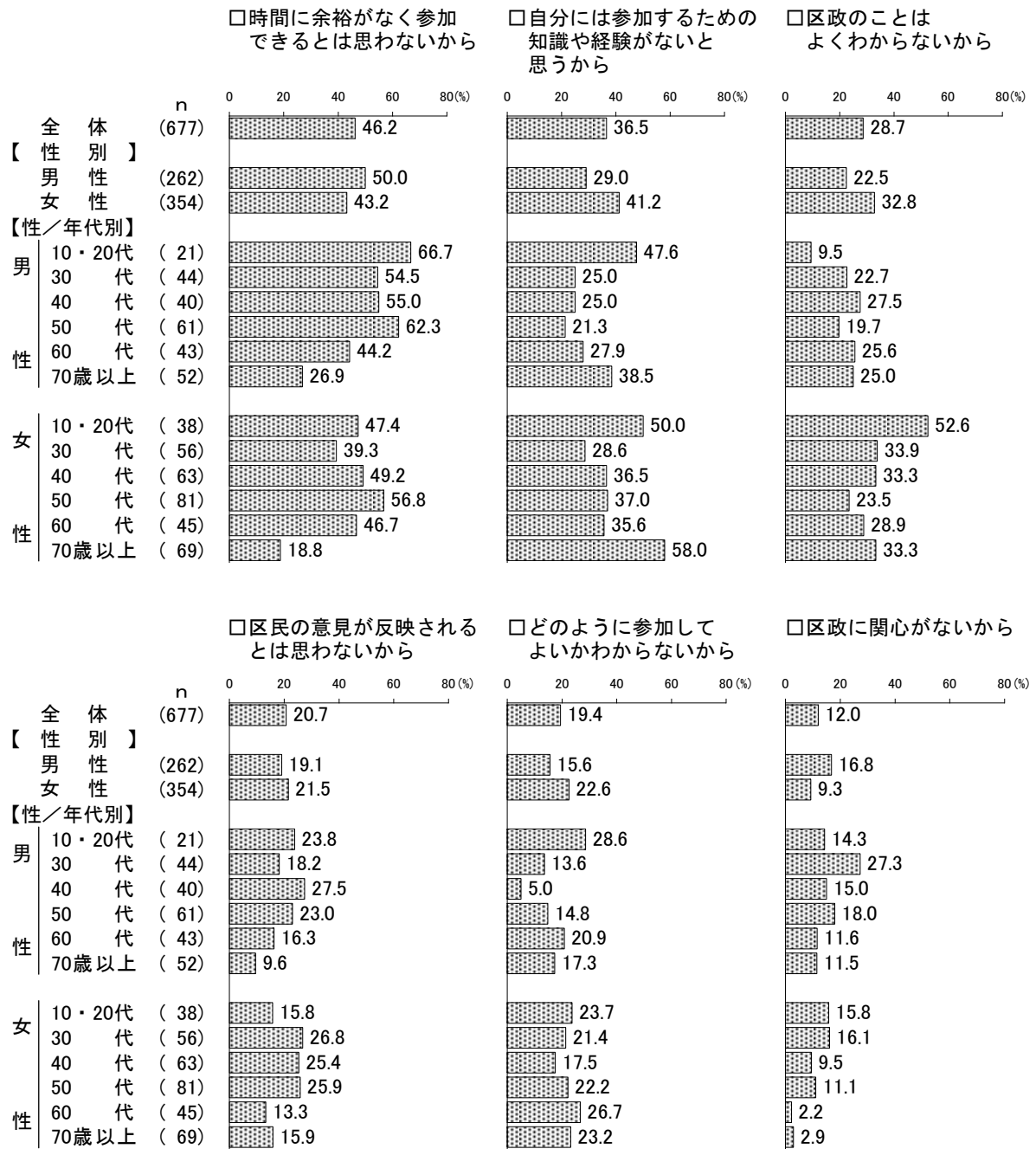


区政に参加したいと思わないと答えた人（677人）に、その理由を聞いたところ、「時間に余裕がなく参加できると思わないから」（46.2%）が４割半ばで最も高く、次いで「自分には参加するための知識や経験がないと思うから」（36.5%）、「区政のことはよくわからないから」（28.7%）、「区民の意見が反映されるとは思わないから」（20.7%）などの順になっている。

「その他」への回答として、「高齢のため」、「健康面での不安」などがあげられている。

（図 7-9-1）

図7-9-2 区政に参加したいと思わない理由－性／年代別



性別でみると、「自分には参加するための知識や経験がないと思うから」は女性（41.2％）が男性（29.0％）より12.2ポイント、「区政のことはよくわからないから」は女性（32.8％）が男性（22.5％）より10.3ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「時間に余裕がなく参加できるとは思わないから」は男性（50.0％）が女性（43.2％）より6.8ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「時間に余裕がなく参加できるとは思わないから」は男性50代（62.3％）で6割を超えて高くなっている。「自分には参加するための知識や経験がないと思うから」は女性70歳以上（58.0％）で6割近くと高くなっている。「区政のことはよくわからないから」は女性10・20代（52.6％）で5割を超えて高くなっている。（図7-9-2）

8. 自由意見

大田区政についてのご意見・ご要望を自由記述形式で聞いたところ545人の方から803件のご意見・ご要望をいただいた。基本目標別に分類し、内容を抜粋したものは以下のとおりである。

なお、掲載している自由意見の中には、大田区以外の団体等が担当しているものもあるが、そのまま掲載している。

<基本目標 1 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち>

1. 子育て支援

- ・ 子どもに関する支援はとても良いと感じています。23区で一番良いと思われるくらいにより強くしていただきたい。「ここでなら子育てできる！」と思えるような区を楽しみにしています。
- ・ 小さい頃から大田区に住んでいました。結婚を機に川崎市へ転出しましたが、やはり東京都大田区が好きで戻ってきました。保育料などが格段に違います。「東京都」だけでなく「大田区」ならではの子育て支援や補助があるとより助かります。
- ・ 子育て対策をより充実させてほしい。目指せ「子育てしやすいまち日本一」を！
- ・ 小学生の息子が不登校気味で、家では癇癪を起こし、手を出してくるので、私も兄弟も困ることがあります。どこに相談していいのかも分かりません。(ホームページで調べたりはしています)。そういう状況の人を助ける救済措置や相談窓口などをもっと強化していただきたいです。
- ・ 子育てについて助成金や物資など充実してほしい。不妊治療を気軽に受けられるよう金銭的なサポート制度を充実してほしい。
- ・ 品川区のように、子育ての為に金銭的な援助をしてあげて下さい(制服無料他)。
- ・ 子どもが多い世帯は学費を支払うのが大変なので、補助金を出して頂けるととても助かります。それも、「3人以上なら」などという制限は付けずに、子育てしている世帯には助成金をお願いしたいです。
- ・ 子どものために税金を使って下さい。最近、子育て世帯は皆、品川区・目黒区に引っ越しています。それくらい大田区に失望しています。早く区長変わって下さい。
- ・ 子どもを産みやすく子育てがしやすい等、子どもの事に関してのことを充実させてほしい。
- ・ 子育てにお金がかからないようにしてください。私たちの世代は、多子世帯がいましたが恩恵はありませんでした。今は子を産むこと事態が大変な決断です。少しずつでも親の世代が気楽に産み育てる環境を作ってください。
- ・ 子育て支援は必要なことですが、一律ではなく、本当に困ってる世帯のみにしていただきたいです。
- ・ 5歳児健診導入は素晴らしいと思います。子育て世帯が他区へ流れないような魅力的な政策をお願いしたいです。
- ・ 子育てをするのに、隣の品川区のほうが色々進んでいる(特に働く人にとって)ので、大田区もたくさん真似して子育てしやすい区を作してほしいです。
- ・ 子育て支援について、大田区独自の何かしらの手当があると嬉しい。授業料無償化等。
- ・ 子育てしやすい大田区にしてほしい。
- ・ 子育て支援についてより力を入れて欲しい。
- ・ 品川区に勤務しているが、子育て・共働き支援の差が大田区とあまりにも大きいので、ぜひ参考にしながらできることから取り組んで欲しい。土日も天候に関わらず遊べる施設が増えて欲しい。
- ・ 子育て支援を充実してほしい。

- ・母子家庭及び父子家庭自立支援給付金の高等職業訓練促進給付金等事業について、就学を途中で諦めることのない支援をしていただきたいです。児童扶養手当について、期間を決めての支給や収入に合わせた支給など要件を設けるなど実際に即した支給の検討は考えておられないのでしょうか。
- ・「キッズな初めての子育て教室」について、「両親（パートナー）揃ってご参加ください」と記載がありますが、ひとり親の場合は他に参加できるものがあるのでしょうか。それともひとり親の参加は想定していないのでしょうか。揃って参加する意味はなんなのでしょうか。
- ・行政機関が主体となり、要件を問わず無料で子どもの一次的な預かりができる環境を整えて欲しい。
- ・昼間赤ちゃん連れのお母さんや高齢者が一人でもふらりと寄れるところを作りたい。
- ・子育てに関する学費、生活費の補助を出すことと、その受け取り先を世帯主だけでなく世帯内の妻などでも受け取りやすいシステムを作って欲しいです。子育てしやすい大田区であってほしいです。
- ・子どもがいるため、子どもにとって安心して生活できる場所。子育てしやすい場所、教育に力を入れるなど、高齢者福祉よりも未来を担う世代にお金をかけて欲しい。
- ・子育て支援に力を入れて欲しいと思っています。「きっずな大森」や保健所など、職員の皆様暖かく大変お世話になりました。特に宿泊型産後ケア事業、助産師さんに訪問して貰える産後ケアはとても良い取り組みだったので後輩ママ達のためぜひ継続して欲しいです。
- ・インフレによる物価高騰などにより、子育て世代の生活が困窮しています。最低限の生活を送るため、補助金、助成金、地域振興券の配布をして欲しいです。また、「子育てしたい街づくり」の検討をお願いします。
- ・女性が子どもを産み育てたいと思える街になってほしいです。
- ・子育て世帯が経済的不安を抱えずに安心して子育てできるような経済対策を充実させてほしい。
- ・給食無償化の次は何しますか？全国的な潮流となり、大田区独自施策では無くなった印象です。
- ・小さい子どもがいますが、近年の猛暑のため、6月から9月中旬頃まで公園に行けません。保育園でも外出を制限しています。公園の整備だけでなく、室内で遊べる施設にも力を入れていただきたいです。
- ・子どもを産み、育てやすい環境を作ってください。
- ・今までの経験の中で、子育て支援が充実している地域が生活環境や治安、施設等の充実度が高いと思います。なので、大田区も子育て支援に力を入れることによって子育て層の人たちを集めることができるような気がします。
- ・品川区からの転入です。品川区では子育ておむつ見守りがあったり、小学生の防犯ブザー支援や制服無償化などありましたが、大田区もしてくれたら嬉しいです。
- ・今は子育て期間中なので児童館はよく利用させていただいています。近くに色々と児童館があるのでとても便利ですし、ありがたく感じております。その状況は大変感謝しております。
- ・学童保育の時間が品川区より短い。こういう点が品川区なみになれば、子育て世帯も増えるのでは？
- ・児童館が日曜日に空いているといいなと思います。川崎の児童館は空いているので度々遠征しています。また、児童館の遊び道具が小学生用と幼児用で厳密に分けられていますが、年中、年長辺りであれば小学生用のボードゲームも遊ばせて欲しいです。
- ・乳児、幼児を連れて行けるところがとても少ないので、充実してくださると嬉しいです。病院などに連れて行けないところがほとんどなので、連れて行けるところを増やしてくださるか、その間に無料で見てもらえるサービス等を拡充してほしいです。
- ・日曜日でも開館する児童館があってほしいし、学童も充実させてほしい。

- ・他の地方公共団体のように、日祝も子ども達が遊べる場所として児童館を開放していただけると嬉しいです。また、日祝などの預かり保育の拡充や夜間・宿泊を伴う預かり保育の拡充等、若者の共働きの子持ち夫婦が息抜きできるような支援の場の充実を図っていただけると幸いです。
- ・休日に利用できる児童館が少ない。土日にワンオペの家庭も多いので、近くで遊べる児童館が休日にも利用できるとうれしい。
- ・子育て層への支援が、隣の品川区に比べて弱いと感じる。産後ドゥーラの補助が出る利用時間が少ない。子どもが小さいうちのヘルパー利用の条件が限定的で使いづらい。まだ子どもが小さいので現状で感じている部分だが、大きくなっていくにつれ、品川区との差を感じていく気がする。

2. 保育サービス

- ・結婚して大田区に引越し、2人子どもを出産しました。認可保育園、保育ママに大変お世話になりました。近くに公園もたくさんあり大変満足しています。仕事の都合でもうすぐ転居しますが、非常に残念です。もっと長く住みたかったです。
- ・申請関連のフォーマットは統一して欲しい。保育園申請など毎年やり方が決まっているものはぜひオンラインで申請できるようにして欲しい。マイナンバーカードを家族全員取得しているが、取得したメリットが感じられないほど区役所に出向く手続きが多くて大変でした。
- ・保育園の申込み書類に記載する項目を簡略化していただきたいと感じております。働いている会社にコピーを提出することを考えると、夫の職場（会社名）や両親（父母方）の住まいや生年月日まで記載することは、個人情報すぎると思ったからです。
- ・保育者を続けています。保育の質、保育園運営の悪化、保護者のパワハラ…などひどい状況があります。区が気づいていないことがたくさんあります。長時間労働の保育者、資格も簡単に取得できるようになったために、ひどい保育者がたくさんいます。
- ・公立保育の施設の老朽化が進んでいます。民間園との格差を感じます。質の高い保育をして行く上で、子どもの安全のためにも、早急に建て替えを含めた検討をお願いしたいです。

3. こどもの権利

- ・子どもの虐待とは何か、子どもの権利とは何かについてもっと周知するように、両親学級などで学習する機会を増やして欲しいと思います。
- ・子どもたちのための施策をさらに充実させ、推進していただければと思います。
- ・子ども食堂の補助廃止。
- ・児童福祉の拡大を希望します。
- ・子どもを大切にしてください。
- ・高齢者を敬う気持ちも理解はできますが、少子高齢化がここまで進んだ現状、優先されるべきは圧倒的に子どもたちだと思います。例えば区立小学校に通う長女の給食の量を増やすなど、できることから対応いただけますと幸いです。
- ・隣の品川区と比べ、子ども政策が充実していない。
- ・子どもたちのために頑張っていただければと思います。
- ・子どもが健やかに過ごせる街であってほしいと思います。

4. 少子化対策

- ・ 具体的に少子化を無くすような政策をしてもらいたい。また、これからの大田区を支えていく若い人達が立派に育っていく環境を良くしてもらいたい。
- ・ 少子化対策に特に力を入れて取り組んでもらいたいです！
- ・ 少子化対策で出産・育児支援、保育、必要な者には生活支援（低所得・物価高対応）、自然環境回復にからめた生き生きと暮らせる社会を区でできることはやってほしい。
- ・ 子どもや妊婦さんのサポートだけではなく、若い方が子どもを産みたい、産んでも大丈夫かなと思えるような政策をお願いします。
- ・ 子どもへの支援などは他の区に比べると大田区は少なく感じます。少子化という事に対しての対策をもっと考えて頂けると嬉しいです。

5. 母子保健

- ・ 区の乳幼児の集団健診は、集合時間や場所の便にもう少し配慮してあげてください。
- ・ 妊娠・出産に関わる支援をもっと区民へ知らせても良いと思いました。対象者でないと知らない人が多いように思います。
- ・ 妊娠・出産および不妊治療への区独自の支援があるとより良いと思います。
- ・ 不妊治療の補助金増額。

6. 学校教育

- ・ 小学校給食について、今の制度はとても良いと思うので続けてほしい。
- ・ 小学校でもっと学力別授業を取り入れてほしい。
- ・ 孫（小2）が品川区から大田区に転校して、個人に持たせていた防犯用のスマホから防犯ブザーに変わった。また、授業用のタブレットがパソコンに変わった。この2つにがっかり。
- ・ 小中学生のタブレット貸与について非常に有意義と思うが、子ども達の使い方にはかなり問題があると思う。また、給食費についても非常にありがたいが、無償であるがゆえにロスが増えているのではないかと。税金を無駄なく、必要なところに使っていただきたいと思います。
- ・ 区立小中学校の設備をもうすこし豊かにできないものなのでしょうか？今後の為にも子どもの長時間過ごす場所の環境をもう少し整えてほしい。子どもは宝です。また、給食が少ないと感じます。大田区も給食のオーガニック化に取り組んでほしい。
- ・ 教育が心配。“できなくてもいいよ”“できないことはやらなくていいよ”ではなく、“できなくてもがんばろう！（大変でも）”が大事。ストレス無くして仕事はできない。大人になって仕事が続かないのは子どもの頃の教育がゆるくなってきたのも要因だと感じている。
- ・ 小学校の支援学級と通常学級の交流を増やして欲しいです。
- ・ 蒲田学区の中学では志茂田に色々集中しているのも気になります。モデル校が魅力的なのは仕方ないですが他の中学校でも差異なく質を上げてほしい。
- ・ 大田区の環境は二極化したところがあると感じます。同じ区民として、大田区は住みやすく、教育が適切になされている区との認識を広めていってきたいものです。
- ・ 小学校・中学校・高校のグラウンドを人工芝にしてほしい。子どものケガが減り、職員が線を引かなくてよくなる。近所の家に砂が飛ばないといいところがたくさんあるので是非検討して下さい。
- ・ 教育に力を入れる時にデジタル化をすれば良いという考え方だけではなく、大田区独自に教員を増やすことはできないのか（勿論質の向上含め）。

- ・ 学校での手続きがすべてオンライン化されてしまった。出欠席等もメールでやりとりするといった事は、やめて欲しい。先生と話ができない。メールでは、伝えきれない事もあると思うので、すべてがメール対応は、いかがなものかと思う。学校の事を相談できる場がよく分からない。
- ・ 児童の幼児化が進んでおり、小学校の教育現場が疲弊している。また、不登校児・保健室登校児が多く、対応できる職員がいなため、対応に欠陥がある。いずれも十分な人員の配置を希む。現場疲弊からの教員の退職も不安である。
- ・ 小学校教員の負担を減らし、勤務時間の短縮をお願いしたいです。
- ・ 日本の伝統芸能を公立の小学校や中学校の授業で取り上げてくれる取り組みはぜひ続けてほしいです。
- ・ 学校の建て替えや補修のためにプールが使用できず、学校外のプールへ移動する際に比較的大きなバスを利用していると子どもから聞きました。授業のための移動に関することなので安全面にご配慮いただいているのは伝わってきますが、税金でもあるので少し工夫が欲しいところです。
- ・ 学校の建て替えに伴い校庭が使えなくなる期間がある場合、入学に伴う指定校を解除して家庭による選択可能にしてほしい（住む時期、地域により校庭が使えないのは不公平に感じる）。
- ・ 幼年期から青年までの教育の充実。
- ・ 給食がとても気になります。無償化したようですが、品質や量は足りているのでしょうか？ 充分なものであるといいなと思います。また、区のHPにあった小学校中学年からの科学教室に参加したいと思っているのでぜひ継続して下さい。
- ・ 子どもの自主性を育む、時代に即した学校教育のアップデート（特に中学校）。
- ・ 学校で購入している用品は、決まった業者から購入するので割高。税金のため100均などで購入することは、手続き上出来ないのかもしれませんが、ムダが多いのではないのでしょうか。どこからでも購入できるようにすれば、多少経費削減になると考えます。
- ・ 教育や健康増進にお金を投入すべき。道路も建物も結局はヒトが作る。ならばヒトづくり（教育）にも投資すべき。大学や英語が云々だけではなく、どこでも生きていける総合的な人間力をつける機会を与えることにも、区として取り組んでほしい。

＜基本目標 2 文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち＞

1. 高齢者福祉

- ・ 介護保険の点数が少ない。
- ・ 高齢者向けのサポート、具体的には、家電の修理・粗大ごみの処理をしたいのだが、高額でもあり、屋外まで運び出さなければならず、それも出来ない。LEDへの付け替えなどの高所作業等が出来ない。
- ・ 私は68歳の高齢者です。高齢者が無料で楽しめるセンター、ゆうゆうクラブなどがどんどん減っていくような気がします。これからも、この大田区に住み続けます。ぜひぜひ最後の介護施設、特老他も増やしていただきたいと思います。
- ・ 平日の電車、バスは足元のおぼつかない高齢者ばかりで心配になる。大学病院へ通院のため乗車している方などは特に、どうにかしてあげられないのか？と思う。通院で転んでケガをするのでは？というレベルである。
- ・ 80歳の高齢者です。今は元気に暮らしておりますが介護が必要になった時の施設の充実をお願いしたいと思います。
- ・ 高齢化対策で介護・生活支援、空き家対策など、区でできることはやってほしい。
- ・ 高齢者にやさしい区政をお願い致します。
- ・ 大田区は、高齢者の方も多いので皆さんが安心して楽しくらせる町になってほしい。

- ・ 学校給食を無償化するなら、老人ホーム（施設入居者の）の給食費や低所得高齢者の昼食も無償にしてはどうかと思います。
- ・ 職業柄、高齢者福祉に関して関わってきました。どこの自治体もその取り組みをしていないからこそ、先駆けて大田区を福祉のまちとして発展させていただける仕組みがあるといいなと心から思います。今後もよりよい生活を送れるよう、様々な方面からご検討いただければと思います。
- ・ 高齢者（70歳以上）でも、元気で働きたいと思っている人に働く場、機会を提供する施策を検討してもらいたいです。
- ・ 今後さらなる高齢者が増加するのが必至で、自ら健康を維持できるような施設、啓発活動が更に必要だと思います。

2. 男女共同参画

- ・ 昔の習慣なのか、まだまだ男女の賃金差がある。（女性でも同じかそれ以上に男性以上の仕事をしても、賃金格差がある。）子どもがいても仕事をしやすい環境を！
- ・ 大田区が優れていることの発信が少ない（大田区は職員の男女の賃金格差が少ないなど）。

3. 障がい者福祉

- ・ 未就園の発達障がい児を育てています。今は療育に通っていますが、その前は漠然とした不安にいつも悩んでいました。療育に行ったら良かったと思っているので、療育に行き渋っているママがいるともっと軽い気持ちで相談できる場所があるといいのかもと思います。
- ・ 大田区に重度対象のグループホームをどんどん増やして欲しい。新しくグループホームに入所した場合は、例外としてヘルパーさん同伴でも『就労支援B型』に通所できるというようなケースも認めて欲しい。
- ・ 障がい者の息子がいます。私共がいなくなった時、1人になってしまいます。心配です。1人の人に目がいく区政をよろしくお願いします。
- ・ 福祉に関してどういうサービスがあるのか、わかりづらいところがあると思います。そのため、知らずにサービスを利用できていない人もいるのではないかと感じます。また、利用したいと思っても結局利用できないケースが多いように感じています。
- ・ 介護、障害年金等の手続き、審査がもっと早く通るようにして欲しい。必要な時に必要な支援が受けられるようにして欲しい。手続きに時間ばかりかかるので安心できない。
- ・ 精神疾患を抱える方が増えてきて、病気ではない私たちがもっと不安を抱えてしまいます。

4. 生活保護・支援

- ・ 令和6年9月～令和7年5月まで物価高が止まらない。年金の低い人は泣いている。83歳では1日1日が厳しい。
- ・ 生活保護者の基準をもっと厳密にし、監視強化を願いたい。
- ・ 物価高により、低所得者としては辛い毎日を送っています。他の区では独断で給付金をだしたりしているそうです。大田区でも低所得者向けの給付金をだしていただけませんか。お願いいたします。
- ・ 生活保護や支援等、日本人を先に優先してほしい。差別でも何でもなし。言っても無駄と思わせないでほしい。LGBT等一切不要！！日本人を大切にしてほしい。

- ・ 子どもや高齢者のことは色々と考えているようですが、中所得者で毎日なんとか生活できている住民のことももう少し考えて欲しい。あと生活保護受給者について適切に対応する。国民年金だけで何とか生活している方々がとてもお気の毒！実態をみて下さい。
- ・ 低所得者は皆そうだと考えますが、物価が高すぎて暮らしが思うようにはいかない。とにかく食料品だけはどこの店でも生活ができるような単価で買えるよう、区政でどうにかしてほしいのですがどうですか、どうでしょうか…？お願い致します。
- ・ 物価対策として大田区デジタル商品券の年二回程度行うこと。
- ・ 他の区に比べ補助金などのサポートが低いと感じることがある。
- ・ 近年、低所得者対象の給付事業が目にとります。その原資を納税している区民は、社会保険料や物価高による過重な負担に耐えながら生活していることを忘れないでいただきたい。
- ・ 私の家族は母・年金、私・障害年金、長女・会社員、次女・障害年金の家庭ですが、長女が会社員のため低所得者の控除の恩恵を受けられない。
- ・ 大田区に住んでから3年ほどですが、住みやすいとは感じています。しかし、最近は米を始めとする物価やインフラの値上がり傾向が続いています。大田区に住んでいる年数や世帯ごとの所得などをもとに、区民へ資金援助もしくは住民税を減税するなどに対応してもらえるとありがたいです。
- ・ お金の面で明らかに困っている人が多いので、条件なしの助成金をもっと増やして欲しいです。

5. 地域活動

- ・ 新しいマンションの住民が古い住民に融け込むように行政の働きかけを希望。
- ・ 今は、高齢でお世話になっています。若い時は、町会等でお手伝いしていました。
- ・ 財政的な事や法整備により、地域住民によるあらゆる人々の地域共生社会を目指すように、移行してきているが、最小単位の町会活動等は、縮小・減少しつつあると思う。個々の生活が重要（余裕ない方も多く）他にかかわりたくない方も含まれている。こうした方たちの取り込みは重要かと。
- ・ 地域の人口が増えて行き届かぬことが多くなり、バラバラ感が強くなっている気がします。元々住んでいる高齢者世帯と子育て世代や単身者の方たちとの価値観の差が大きく付き合いが難しく感じます。共通の情報や理解がスムーズに伝わるように工夫して下さい。
- ・ 地域コミュニティが、理解できる人とできない人の差が広がってしまっていると思います。人の種類や人数が多くなり過ぎなのでこれ以上は何も望みません。
- ・ 町会の高齢化が気になります。町会のあり方について行政の関わり方を考察願います。
- ・ 自治会費等、すべての住宅において家賃に含めて欲しい。また、もっと若い家庭を取り込めるよう、対策を講じて欲しい。現在、半数以上が高齢化しており、自治会運営に支障がでている。
- ・ 町会は旧態依然。本当に必要と思われる様に改善すべき。また、システム改善が必要。
- ・ 私は81歳になります。48歳の時に大田区大森に戻ってまいりました。近頃の社会性なのか、隣近所とは挨拶程度で、なにか有ったら？と思う事がしばしばです。隣近所の連携はほとんどありません。あまり昔のように密なのも困りますが。
- ・ 神社のお祭りをハブとする地域コミュニティ。
- ・ 自治会はもはや不要。子育て支援政策は時代に合ったものに変換すべき。民間の専門相談施設を充実させるべき。
- ・ 2023年度に大田区のみねまち民生委員による婚活イベントに参加し良い経験ができました。自治体主催のこういったイベントが広がると嬉しいです。
- ・ 温泉が好きなので、大田区にある黒湯を活用して、銭湯が交流の場となるような仕組みを作って欲しい。
- ・ 幅広い年代で、「社会参加」できる多彩な講座やイベント、集まりの場などがあればいいと思う。

6. 多文化共生、国際交流

- ・ 夫が外国人なので、外国人も住みやすいアナウンス、説明会や交流会などで防災や地震、交通の案内などが充実すれば、街も活性化するのではないのでしょうか。
- ・ 区政についてはないですが、外国人が多い区というイメージがある割には、外国人が多いだけで、国際色豊かな安全な町というイメージがないので、そこが残念です。それがあれば、富裕層がもっと増えるんじゃないかなと思いました。
- ・ 日本を代表する羽田空港がある大田区は、日本の玄関口として、多くの文化や思想といった背景を持つ人々が共生できるような街づくりが必要であると考えます。ユニバーサルデザインなど、多くの人がより快適に過ごせる環境が整備されるとよりよい街となっていくと思います。
- ・ 老若男女、国籍問わず、皆で安心して会話のできる町、地域でありたいと思います。
- ・ 私は英語を話すことはできますが、税金に関する通知や区役所からの連絡、公的なアンケートなどの重要な情報が日本語のみで届くことが多くあります。大田区が国際化を目指すのであれば、このような情報は、納税義務のある外国人住民に対しても英語で提供されるべきだと考えます。
- ・ 生活マナーや不法行為を行うケースが発生しないよう細かな指導をすることを期待してる。
- ・ マナーが悪い人が増えてる。
- ・ 羽田が近くにあるので国際化とよく聞かすが、外国人の増加により、外国人ばかり優遇しているイメージ（国全体が）。治安やごみ出しマナー等気になる事が多い。「郷に行ったら郷に従え」で徹底的に周知、指導してほしい。
- ・ 外国人が日本のマナーに合わせるように指導してほしい。区営住宅に日本人がもっと住めるようにしてほしい。
- ・ 外国人観光客向けのサービスや、利便性向上ばかりに注力せず、居住している区民の為になる事をしてもらいたい。
- ・ 外国人にごみの出し方や日本でのマナーを守って住んでいく為のあらゆるノウハウなど、区としても積極的に教えてほしいと思う。
- ・ 「多文化共生の推進」は絶対にやめてください。進めていかないでいいです。
- ・ 外国人に対しての受け入れを日本人が不利にならないようにして欲しい。羽田空港を抱え、危険な環境になることを危惧します。共存共栄する為には日本のマナー、道徳を守るということを前提にすすめて行って欲しいものです。
- ・ 「不法」移民は厳しく取りしまってください。合法は大歓迎です。
- ・ 大田区民が増えてますね。近頃、特に外国人をたくさん見かけます。街の中で異国語が飛びかっています。きちんと把握していますか？国勢調査等していますか？
- ・ 外国人の増加を感じています。仲良くやっていくためにも文化の違いだから仕方ないといって目をつむるのではなく、文化・ルールの徹底・啓発をお願いしたいです。ごみの捨て方や日常生活での騒音・モラルなど、今のままでは上手くやっていくことは到底不可能です。
- ・ 『多文化共生』という言葉で移民推進をしないで下さい。近所に住む外国人は毎回ごみ出しの日を守らず迷惑しています。日本社会のルールを守れない外国人が増えることも心配です。
- ・ 多様性や共生について否定するものではないが、外国人による犯罪増による治安悪化については当区も未然に防いでいく必要がある。地域の評価が下がると、全てが悪化してしまう。
- ・ 日本語を読めない、話せない、日本文化に理解を示そうとする気がない方の移住、労働が近年増え、大田区で暮らす人も働く人も、疲弊された挙句、日本人同士のときだけ日々の鬱憤を晴らすような陰悪ムードでやりとりするのは、誰のための、何のための政治や制度なのか分からない。
- ・ 治安やごみの捨て方など問題が多い。街が汚されるのが悲しい。
- ・ 外国人居住者のマナーが悪く感じている。ごみ出しの日に関係なく、ごみ捨て場に捨てているのを見かける。外国人の子どもが捨てているのを見たときは悲しくなった。夜も路上で騒ぐ、窓を開け放してスマートフォンで通話するなどの迷惑行為も見受けられる。なんとか対策できないか。
- ・ 現状そうはなっていませんが、住人としての過度な外国人や受け入れには反対です。

- ・ 大田区政ではないかもしれないが、日本のモラルを知らない外国人は観光客であっても全て排除してほしい。改札前で集団で立ち止まっていたり、電車内の複数の座席を1人で独占していたりと迷惑。
- ・ 外国人ではなく日本人国籍の日本人在住者が豊かで健康安全に暮らせる街を作ってください。物価高低所得な毎日を生きるのに精一杯な今、国際交流や多文化共生などは無意味です。日本人が安心して暮らせる街づくりを期待しています。
- ・ 安易な「多様性」「異文化交流」などという言葉の使用は慎むべきで、誤解する人間が多すぎる。ややもすれば不法滞在の温床、不良外国人の増加に至る。耳障りの良い言葉で優等生を気取るのは日本の国家レベルでの醜態。

7. 保健・健康

- ・ 健康診査の案内などは利用させてもらっている。健康づくりには役立っている。ありがたい。無料でできるので、身体の状態など気軽に知る事ができる。
- ・ 小児科が少ないと思います。
- ・ 精神的不調により休職などしている者たちの対応や処遇も考えてほしいです。話をただ聞くだけではなく、そのあとどのようにすればいいかのアドバイスも行っていてほしいです。
- ・ 夜間・休日の診療を充実。急患で来院の際、時間外で多額の診療代がかかる。急患指定病院でも紹介状がないと7000円～8000円がプラスされる。
- ・ コロナワクチンの時は他の地域に比べて大田区は遅くて本当に心配した。意識が低いのを感じたが、その後は大田区が様々な取り組みを始めるのは早くなったと感じている。コロナの時に改善されたかんじがある。
- ・ 医療費が区政を圧迫しない為に、未病高齢者を増すような体操教室やリハビリ教室を増して欲しい。
- ・ 私の住まいは区の外れ（区境）にあり、公共的な施設は他の区を利用した方が手軽です。ただし、医療だけは他の区の医院を利用できない（ワクチンや検査等）ことが多くあります。区政とは異なるかも知れませんが、医療の区割りを見直してもらとうとありがたいです。
- ・ 農業をしている地域との連携強化。区民の健康増進のため、食事の無添加・無農薬推進などの消費者が多いエリアだからこその施策を実行してほしい。
- ・ 教育関連については概ね満足だが、産婦人科が少ないことは少し不満（特に妊婦健診などは区外に出ている）。
- ・ 東邦大学病院を核とした医療と地域の振興。
- ・ 高齢者、女性と子どもに優しいまちづくりをしていただいていると思っています。ですが、婦人科がとても少なく困っています。これから高齢化になり、女性ならではの病院も必要だと思います。

8. スポーツ

- ・ プールや体育館について、矢口区民プールは口うるさすぎる！泳ぐメニューを紙に書いてもっていったら、「その紙がプールの中に落ちたら、インクが流れて水質が悪くなるのでやめて下さい」と言われた。子どもが水中で逆立ちしたら、しかられた…。
- ・ テニスコートを使ってみたいが、支払いが難しい。予約がとりづらく、使いづらい。支払いをクレジットカードでできるとうれしい。
- ・ 池上に住んでいる友人が廃校になった学校の校庭でシニアのグランドゴルフをやっています。私の住まいの大森中にはそうした機会がないので残念です。
- ・ スポーツ施設の増設。テニスコート不足は顕著。

- ・ ヨガと太極拳ができる、運動を継続してできる場所があるといいと思う。費用が安価であること。
- ・ 大岡山近辺では、スポーツ施設がなく不満である。接する他区の施設利用ができるなどの連携があるとよいと思う。
- ・ 大田体育館をもっと区民に解放してもらいたい。品川区や中央区などは、区民会館にゴルフの練習ができる施設があったり、車の充電施設が無料で利用できる所があったりするので、大田区にもあったらいいと思う。
- ・ 区民プールが馬込地域付近にない。体育館は馬込区民センターがあるが、サークル活動をする人専用の施設という感じで気軽に入りづらい。馬込地域にも気軽に体を動かせる場所を整備するか、同じ東京 23 区なので隣接区の施設も相互利用できるようにしてほしい。
- ・ 引き続きスポーツ文化への助力をお願いします。
- ・ スポーツをする施設を蒲田地区だけでなく、身近に使えるところが欲しいです。
- ・ 大田スタジアムを以前のように日曜日の日中の抽選枠を一般に向けて残して欲しいです。

9. 文化事業

- ・ 未来思考の政治を期待します。これまでの常識や前例を、勇気をもって取っ払い、新しい挑戦を試みては？例えば小学校・中学校の夜間開放。外国では、夜間は教室を地域住民のダンスクラスや、学習に利用しています。
- ・ アプリコ等での催事の充実を望みます。
- ・ 歴史的経緯や文化的経緯を大切にされた政策を感じるものが無い。ただ効率論で物事を考えすぎた。政治家や役人に、知識・知性を感じる事が全く無い。多文化共生とかSDGsとか、バカらしい。
- ・ 博物館などが多くあると、心の豊かさや芸術に触れ、良い町だと感じるが増えると思う。
- ・ 文化・歴史の学習強化。
- ・ 文化・芸術を尊重する環境にしてください。

10. 生涯学習

- ・ 図書館に学習室が設置され、充実していると思います。
- ・ パソコン・スマホ等の入門から基本まで、特にスマホは、我々高齢者には今後必要の高いものなので、通年で教えてもらえるとありがたいと思います（有料でも良いと思います）。
- ・ 図書館がたくさんあってありがたい。
- ・ 社会人向け（夜遅くまで行っている）生涯学習講座を開いてほしい。
- ・ 池上の図書館が新しくなり、駅の上という利便性もあって使いごちも良く、区民のいこいの場になっていると思う。こういった真に意味があることに税金を使ってほしいです。
- ・ 徒歩で行ける生涯学習の場がない。
- ・ 馬込図書館等を利用します。建物自体がとても古いです。新しくして魅力的な区の施設にして欲しいです。
- ・ 雪ヶ谷地区（雪谷大塚周辺）に図書館、または貸し出し・返却できる場所がほしい。
- ・ 図書館は年齢を問わず利用できるのも、サービス（飲食も）蔵書数も増やして欲しい。
- ・ 教育の充実。子ども達だけでなく、再就職を考える大人も望めば学べる環境や機会が欲しい。
- ・ 現在大田区外で仕事をしているので、いろんなことに参加などできていませんが、生涯学習に参加してみたいです。
- ・ 生涯学習や公共施設の場が大森、蒲田地区に偏っていて通うことができない。
- ・ シニアを対象としたデジタルの知識を習得する場所を設けてほしいです。

- ・生活に役立つ講座を設けてほしい。出前講座など。ごみの分別、出し方、新たに加わったプラスチック回収方法（分け方、出し方、注意点）などを知るため。転入者にとっては地域によってごみの出し方が違うので学ぶ機会となるため。
- ・図書館で本を借りることがありますが、蒲田駅、大森駅の主要駅に図書返却ポストを設置してもらえれば便利だと思います。
- ・図書館について、隣の品川区は20冊まで借りられるが大田区は12冊までで不便。

＜基本目標 3 豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち＞

1. 地球温暖化対策、環境保全

- ・呑川を綺麗にしてほしい。景観や水質改善、悪臭対策など。夏季の池上から京急蒲田までの呑川は特に汚い。
- ・現在、環七付近に住んでおり、排気ガスによる空気汚染が大変気になっております。生まれ育った町なので大好きで住んでおりますが健康被害がないか心配です。
- ・呑川の異臭対策。
- ・焦げ臭い匂い、鉾物の匂いが月に何回か、1回について夕方から一晩中3～5日続くこともある。清掃工場の煙突からではないかと思われる。
- ・洗足池の緑が伐採されすぎて野鳥が居つきにくくなっている。造園業者はどこかの庭園風にしたいのだろうが、自然環境は毎年悪化しています。
- ・害虫対策などできたら嬉しいです。
- ・環八沿いの排気ガス対策をしてほしい。
- ・蒲蒲線に反対します。ここに大田区民の税金を使うのであれば先に産業道路や第一京浜回りの空気汚染の対策にもっと取り組んでください。現在の街路樹だけでは限界があるように思うので浄化力が高く、背丈や密度のある樹木を専門家と共に調達、植樹するなどでご対応頂けたらと思います。
- ・暖かくなると呑川のにおいがきつくなることがあります。定期的に掃除をしてくれておりますが、やはりにおいが強くなることがあります。また、暖かくなると呑川沿いで虫が大量発生するタイミングがあり、歩きにくくなることがあります。対策をご検討いただけると幸いです。
- ・自然の景観や生き物を大切にしたい。
- ・環境課題の解決を日本で率先して行う街になってほしいです。
- ・呑川の水質問題。

2. ごみ・リサイクル

- ・4月よりごみの分別化がはじまっています。良いこととは思いますが、集積所には全て表示（いつ回収する等）を表示して欲しい。
- ・ごみの対応について、ごみ捨て場がない所はごみが歩道に並べてあるが、道幅もせまい中通勤の妨げになっている（入新井小学校近く）。
- ・入新井小学校前に、いつも回収されていないごみが放置されていて気になっている。
- ・古着回収ボックスを公共の場所に常設して下さい。1月に1回では忘れてしまいますのでよろしくをお願いします。
- ・ごみの分別がさらにややこしく面倒。
- ・プラスチック分別回収が良くわからず迷います。説明をしてほしい。
- ・ごみの分別で新たに『プラスチック』が増えたがそれによってどう良くなっていくのかを動画などで知らせて欲しい。

- ・粗大ごみを粗大ごみと認識していない人が多いと思いますので、より身近にごみのルール等を分かりやすく浸透するようお願いします。
- ・ごみ出しの日には道路にごみが落ちており、汚いです。
- ・ごみの分別（とくにプラスチック分別）の徹底。広報が足りていない。
- ・引越してきて、ごみ捨て場がきちんとしたものではなく網だけであることに驚きました。カラスにも荒らされているので各所にきちんとしたごみ捨て場があればいいと思います。
- ・ごみ出しルールを分かっているのか守っていない人がいる。
- ・ごみ分別について、「プラスチック」が分別化されたがよく分からない。週5回ごみ出しが増えた。また、知らぬ間に大型家電やマット等が植木の中に投げられていくような不法投棄がある。
- ・ごみ出しの場が汚いのでコンポストを普及してほしい。
- ・カラスについて。カラスがごみを漁っていることが多いので、ネット以外の対策があるとよい。
- ・居酒屋の近くのごみ集積所がカラスに荒らされていたり、ルールに沿っておらず回収されないままになっているごみが道にあるのが気になります。
- ・ごみをよくカラスが漁っているので出し方がどうなっているのか共有してほしいです。
- ・ごみ出し場所への監視カメラの設置を強く希望！ごみ出し日ではない日に捨てて行く人や、不法な投棄をする人が多いと感じる。監視カメラを付けている事をアピールして、自治体としても更なるSDGsに取り組む必要性があるのでは？
- ・プラスチックごみの分別が始まったが、以前のほうが快適だったので戻せないか。住居が狭いため、ごみ箱を分別用に複数に用意するのが大変。
- ・近所のワンルームマンションのごみ出しで迷惑を被っています。ある程度の規模のマンションは、ごみ収集日には管理する人間を立ち会わせる、あるいは、風で飛ばないように囲いを設けさせる等、区として、ペナルティを科すことも含めたルール作りはできないでしょうか。
- ・道にごみがある。不法投棄もなんとかしてほしい。
- ・隣人のごみに悩んでいます。夜のごみ捨て、路上へのポイ捨てなど、自治会で注意を促しも聞き入れられない。条例などで罰則を設けないと、たぶん厳しいです。
- ・「防鳥ネットの貸出しは、1枚迄！」と頑として拒否された。経年劣化でネットが破損したため取替えのための大ネットを2枚希望したが、応対した事務所員から「貸出し不可」と頑として拒否された。実に不快な思いをし、もう少し実態に則した、柔軟な対応が出来ないものか。

3. 産業

- ・福祉や補助などよりも産業振興、開発、子どもの育成に力を入れてみて下さい。今の行政ではほぼ不可能なのはわかっていますが、実験都市として高齢化社会において、新しい産業都市のひな型を目指してほしいですね。
- ・自分は音楽好きなので豊島区ユーベを利用し、ファンです。「コンサートを楽しんだ後は、どうぞ豊島区で外食し、お買物して帰宅して下さい！」と言われます。区が、地域経済活性化に協力し、あわせて文化応援もし、というコラボ、波及効果を喚起する政策はナイスだと思います。
- ・中央8丁目に在住しております。昔はスーパーや個人店も数軒ありました。昨年、近くにあったスーパーも閉店し、買物が大変不便になりました。行政の力で何とか誘致して頂きたいと願っています。
- ・池上線沿線において、スーパーの充実、医療の充実、スタバとかタリーズとかゆっくりお茶出来る店が出来たら良いと思います。何か昔のまま…良い所もあるが、魅力的ではない。
- ・現在石川台に住んでいますが、買い物にとっても不便な町で、高齢者やファミリーが多いのに不便ということに疑問を持っています。私の幼少期から変わらない環境で素晴らしいですが、生活がしやすい環境になってほしいです。体調が悪い時は特に困っています。

- ・ 大田区に子どもも大人も楽しめる映画館を作ってほしい。今は川崎や二子玉川に行っているの近くにあるといいと思います。
- ・ 大田区は産業で有名になり人口も増えたはず。産業と住環境の両立を目指すべきでは？
- ・ 中小企業個人事業主への補助の強化。
- ・ 以前、大田区以外の区で勤務していた際、大田区のイメージが大変悪く大田区からのお客様は歓迎されませんでした。大田区（田園調布と山王以外）のイメージを良くする事を考えて企業の誘致等をして、街を変えてほしい。
- ・ 昭和 48 年より夫婦二人で町工場を営んでいますが、この頃はまったく仕事がなく、仲間も皆同じような状態で工場やめようかと考えている人がたくさんいます。人工衛生の部品、カメラ部品、その他色々、大田の工匠、優工場も頂きました。元気なのもう少し働いて行きたいと思っている。
- ・ 馬込地区は、買い物をするにも急な坂があり、とても不便です。高級スーパーではなく一般的なスーパーや、ほか弁など、家族の休日や働くお母さんが助かるお店を増やしてもらえるとありがたいです。
- ・ 商店街が段々寂れて買物も不便になっているので、地域が活性化してほしい。
- ・ 田園調布 4 丁目にスーパーがない！ネットスーパーを利用しているが、近くに作って誘致して欲しい。
- ・ 商業施設などが増えると嬉しい、と感じております。
- ・ 中馬込に 50 年住んでますが、人口とマンションが増えるばかりで、未だに大型スーパーができないのがとても不便です。馬込は坂が多く、高齢者が遠くまで買い物に行くのは負担が大きいという声もよく聞きます。どうか前向きなご検討のほど、よろしく願いいたします。
- ・ J R 蒲田の近くに大型のショッピングモール及び娯楽施設があればうれしいです。
- ・ 多摩川沿いにスターバックスなどのカフェを誘致して欲しい。
- ・ 平和島駅周辺の利便性の改善を希望。例えば、駅前の横断歩道の改善、100 均、ファーストフード店、弁当屋、カフェなどの充実。平和島から大森町方面にかけて 15 号線沿いの北側にコンビニ、飲食店などの充実。
- ・ 街にあるお店（飲食店、スーパーなど）や量に地域格差を感じているのでこの差の改善があると良い。
- ・ 企業誘致を頑張って欲しいです。海外への玄関口ですが、大田区に滞在してもらえよう、横浜市等のように立地や補助金活用等、訴求に力を入れて欲しいです。
- ・ 羽田空港の地元としての産業振興。
- ・ 田園調布五丁目におけるコンビニやスーパーの不足について、現在この地域には選択肢が非常に限られており、最寄りの店舗まで徒歩で 20～30 分かかることもあります。これは、特に交通手段を持たない家庭や個人にとって、日常生活を困難にしています。

4. 観光

- ・ 何十年も大田区に住んでいるので治安が悪くならないようにしてほしい。大田区は民泊規制してください。ホテルのない住宅街なのに毎週のように旅行者がウロウロしている。
- ・ 民泊は止めて欲しい。
- ・ 増加し続けている民泊の事業に関する各方面（ごみ、交通など）についての管理やチェックの強化をお願いしたいと思います。
- ・ 観光振興にもっと力を入れて、はねびよんを広めてほしい。はねびよんのグッズをもっとつくってほしい。街中にはねびよんのイラストを増やしてほしい。

- ・旅行でテンションの高い人が深夜大声で出入りする。日常生活が脅かされている。旅行者は非日常を楽しんでいるが、平日の深夜に起こされるのはストレス。民泊ではなくちゃんと宿泊施設を作ってほしい。
- ・ホーム料金とビジター料金の設定し、インバウンドからの増収分を街の美化に当てて更なる観光客の拡充。
- ・観光客が多すぎてうんざりしています。ここ数年観光ビジネスに力を入れている様ですがそれが良い大田区の環境を作り出しているとは到底思えませんし数年やって効果が出ているとも思えません。今すぐやめてください。
- ・近所に民泊ができました。道で大声を出したり、だらしない服装で歩いている人がいます。不安に思います。
- ・民泊の特区になっていますが、民泊はできればやめてほしいです。ごみの収集場は、私や近所の人で掃除をしています。ルールを守らずにごみを置いていく旅行者の人がいることもあり、治安の面からも、住宅地での民泊には反対です。

＜基本目標 4 安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち＞

1. 防災

- ・多摩川沿いに居住しており、2019年の台風では肝を冷やしましたが、その後堤防の整備があり安心しています。
- ・災害時に減災行動がとれるよう、具体的な啓発や訓練を実施してほしい。
- ・災害が非常に心配です。特に呑川対策は大丈夫でしょうか。
- ・区内のJR大森駅とJR蒲田駅、共にかなり古くて地震や災害の際に耐えられるのか、とても心配です。区指導で建て替えまたは完全耐震工事などを行って欲しいです。
- ・災害時、徒歩1時間かけて平和島に行くのはまず無理です。都内で面積が大きい区なのに残念なことがいっぱい。これから老後に向けて心配なことだらけです。
- ・災害時の避難場所が不明！多摩川辺りの小学校が避難場所なんていうのはありえないと思います。
- ・近所の電柱の電線に木の枝がからんでいる場所が多々あり、地震や台風の時、事故がありそうに思います。
- ・大きな災害があった場合に、区政がどう対応して頂く事ができるのか？今のところ非常に不安である。どう取り組んでいるのか等のアナウンスが少ないように思う。
- ・雨の多くなる時期です。目黒区や中央区の様に、地下トンネルで貯水をして下さい。多摩川の防災も必須です。地下鉄道ではなく、水に対する施行をお願いします。
- ・自然災害に関して、公道に面した崖地の整備は助成金をもらっても個人で賄える額ではありません。全額公費にてお願いしたい。また、多摩川の浸水想定地区を減らす対策をお願いしたい。
- ・最近周辺にマンションが増え、災害時の避難場所が足りないのではないかと不安。
- ・たまに外からアナウンスがきこえてくるが、反響して何を話しているか分からない。
- ・地震、台風（水害）などの災害時、一人住まいの高齢者の救済対応。川沿いの為、避難方法や場所が分かりづらい。
- ・住んでいる地区の高齢化が進み、若い世代がいないので、災害時等の避難などに支障が出ることを心配している。
- ・古い家やブロック塀が災害時に歩行者に危険が及ばないよう修繕を義務化して欲しい。
- ・玄関ドアをリフォームしようとしたら耐火ドアでなきゃならないとありました。災害が発生した場合に住宅密集地で耐火ドアにして意味あるとは思えません。それならば安いドアを推奨し、その分浮いた費用をプールして災害が起きた時に他の地域に早く移るための費用にあてたほうが現実的。

- ・ 城南島、京浜島など島方面の防災対策が足りないと思う。防災放送なども聞こえづらい。大震災の時は島で働く人は橋が大混雑し、中心部に戻ることができなかった。防災グッズの保管庫などを島にも設けて、島だけの防災訓練なども行ってほしい。
- ・ 屋外拡声器で時々行政や防災情報が流れるが、聞き取りにくいので他の伝達手段があればいいと思う。
- ・ 地域の防災放送は自分の家では聞きとりづらいので、放送内容を、区のホームページやSNSでもすぐに確認できないでしょうか。もしかしたらどこかに載せているのかもしれませんが、ちょっと見つけれません。とても重要な内容で聞きもらしたくない事があるかなと心配になります。

2. 防犯

- ・ 「区政」に1番に求めている事は「治安の良さ改善・維持」です。事故や事件が少ない区として有名になってもらいたい。
- ・ 治安に気をつけて欲しいです（ごみの出し方も）。
- ・ 大田区上池台に居住しています。治安があまり良くないと感じます。
- ・ 現在、多摩川駅前にある“せせらぎ館”が、夜10時まで開いているのですが、広い公園と中でつながってる事もあり用心が悪いです。夜は7時までに館もレストランも閉めて頂きたいと思います。数年前より多摩川駅近辺の住人の願いです。
- ・ キャバクラ等のキャッチ・呼び込みを禁止してほしい。
- ・ 大田区蒲田～京急蒲田の治安が悪すぎる。
- ・ 防犯対策は、より力を入れて行ってほしい。
- ・ 飲み屋・塾の多い蒲田駅なので夜間見回りの方がいてとても心強いです。ただ欲を言えばもう少し人数が増えたり時間も（22時位まで）延ばして頂きたいです。
- ・ 学校の通学路の安全や不審者の情報もよく聞くので子どもの安全について、一番力を入れて欲しいと願います。
- ・ 夜間の照明を増してほしい。
- ・ 以前に比べて治安が悪くなったので、安全に安心して暮らせる地域づくりをお願いします。
- ・ 高齢者向けの詐欺や凶悪犯罪が増えています。防犯対策に力をいれて欲しいです。
- ・ 防犯カメラを充実させてほしい。特に大森、蒲田界限。
- ・ 街灯を増やしてほしい。夜道が怖い。
- ・ 施設に人が集まるのではなく、人が人を呼ぶのです。ネット＝便利ではない。空き巣等の盗難被害にあっても警察は何もしてくれない。
- ・ 駅にホテルがたくさん出来たせいか、夜中に騒がしい声が増えたし、駅の水商売の呼び込みをどうにかしてほしい。歩道の花壇に座って、タバコを吸って酒を飲んでいる人がいる。治安が悪くなっているのどうにかしてほしい。
- ・ 大田区の地域によっては治安がとても悪いので、改善してほしい。
- ・ 治安改善。夜の暴走族バイクの騒音改善（最近かなり増えているため）。
- ・ 空港を持つ国際都市として、移住だけでなく海外観光客も多く、レンタカーや電動キックボード等を利用されているので、子を守るために治安の強化をお願いします。
- ・ 最近やや治安が悪くなっていると感じる。
- ・ エリアによって治安状況に差を感じているのでこのエリア差の改善があると良い。
- ・ 細めの路地について、夜仕事から帰る際やジム帰りの時に恐怖を覚えるくらい暗い！明るい電灯に付け替えるとか設置場所を増やすなどしてもらわないと、治安や環境の悪化が増加するだけだと感じている。

- ・ サンロード蒲田商店街の駅側の入口と、中程のスナック前でたむろしているキャッチが非常に迷惑なので対策してほしい。特に、キャッチが喫煙しているのが非常に不快で、夜の時間帯は商店街内を避けて通っている。
- ・ 治安維持や防犯対策に力を入れてほしいです。
- ・ とにかく治安を良くしてほしい。特に蒲田駅周辺や商店街周辺が悪すぎる。
- ・ 治安の変化対策。
- ・ 早朝や夜中に騒音を立ててバイクを走らせている人や、夜中に騒いでいる人がいることなど、もう少し騒音問題について真剣に考えてほしいです。未来を創り出すためには街が変化することも必要だとは思いますが、治安を改善する取り組みについても、もう少し力を入れていただけたら幸いです。

3. 都市再開発

- ・ 蒲蒲線などの区民に直接利便性を与えない事業に時間と資金をかけるより、蒲田駅前をより近代的な大規模再開発を進める等もっと生活環境を具体的に良くする事に力を入れて欲しい。まちづくり等プランばかり良く見るが現実的な実行性がなく、きわめて遅い！
- ・ 全体的に再開発をしてもらい、暮らしやすさUPを望みます。
- ・ 京急蒲田から鉄道を作るより、JR蒲田迄の道のりを楽しんでもらえる様な、美しい街づくりをしてほしい。
- ・ 蒲田がもうちょっとオシャレで、女性・ファミリーも楽しめる街になったらいいなと思います。
- ・ JR蒲田駅前近辺とか、その他無料自転車置き場を増やしてもらいたい。希望です！
- ・ 今後も住みやすい場であるよう、すてきな街づくりに期待しています。引き続きよろしくお願いします。
- ・ 緑が多くて海が近くて、若い世代向きの区だなと思います。もっとオシャレな町にしてほしいです。
- ・ 羽田に高いビルを建てないでほしい。
- ・ 大田区で育ち、十数年振りに帰ってきました。これからも住み続けたいと思える街作りをお願いします。
- ・ 蒲田周辺のイメージがあまり良く無いことが気になります。池袋の街が緑の町に印象が変わったように、蒲田周辺もデザイン性の高いまちづくりを進めていただき蒲田の古き良きところを残しつつも、良い印象の町になって行って欲しいです。
- ・ 下丸子駅周辺をもっと発展させて欲しい（駅前商店街の充実など）。
- ・ 高架下未使用土地の有効活用。
- ・ 平和島の街づくりについてはスピード感をもってテコ入れしてほしい。急行停車駅で、あれだけの乗降客がいるのに、街に愛着をもてない人が多い。また、大田区には大学生の一人暮らしの方が多くそうだが、その子たちが就職して、家族を持っても住む土地に選ばれる区になってほしい。
- ・ 蒲蒲線を作ることに必要性を感じていません。もっと他の区のように電柱を地中に埋めて緑を増やしたり街を整備して統一感を持たせるなど、洗練された街を作ってください。
- ・ 蒲田駅のホームが狭いのと柵がないので、朝の混雑時が非常に危険です。対策をお願いします。駅構内の通路も狭いです。京急蒲田駅から蒲田駅へのルートが、道路の舗装等、羽田空港から初めて日本に来る外国人の日本に対する印象を考慮いただきたいです。
- ・ おしゃれな公園や施設を増やし、各居住の密集をなるべく減らすこと。おしゃれで、緑豊かな余白のある街並みをつくる。
- ・ 大田区は駅ビルや商業施設の整備、新線の誘致を中心とした積極的な再開発が不可欠です。駅周辺の再開発を契機に、災害に強いまちづくりや歩行者空間の創出、商店街の持続的発展など、都市全体の価値向上を図るべきです。

- ・ 中野くらい魅力的な街にしてください。
- ・ 荏原町が開発していることは耳にしたことがあり、街も少し栄え、遊歩道は綺麗だと思いますし、駅も綺麗になって嬉しいです。住みやすくなって混雑するのはいいですが、ある程度分散してくれるなと思います。
- ・ 雑色駅前のロータリー化推進（バス乗り入れ）。
- ・ 子どもを含め、多人数家族で生活するための家を建てる建蔽率について、現在の風致地区に指定されている周囲を見渡しても、60%200容積の地域と隣り合せても何の変わりもない。指定地域に疑問を感じざるを得ない現行制度の見直しをし、最底建蔽率を 60%200 とする様希望します。

4. 交通網

- ・ 東急から羽田までの電車は必要ないと思います。大田区にとってお金をだすだけで利用者は素通り。大田区にメリットはありません。
- ・ 蒲々線はよいが、多摩川線の地下化は、毎日の乗りかえが不便になるので反対です。具体的な案を示してから計画を進めるべきで、それができていない。
- ・ バスをもう少し便利にしてほしい。乗換えなしの五反田行きのバスがなくて困っています。
- ・ 蒲々線は、区内産業に重要と思う！
- ・ 羽田空港へのアクセスを加速化して欲しい。池上線・蒲田駅との利便性向上。
- ・ 蒲蒲線は、いまさらいらぬ。より教育に注力して下さい。
- ・ 蒲蒲線の進捗状況など、情報がほしい。
- ・ 蒲蒲線に反対です。（他同意見有）
- ・ 蒲蒲線はいらぬ。あの距離では歩ける人は健康のため歩く。歩けない人のためにはシャトルバス無料を 10 分毎ぐらいに出す。新線建設にかかる費用に比べて格段に安いのでは。また、羽田空港へ行くのは蒲田東口のシャトルバスぐらい便利なものは思いつかない。
- ・ 中央 8 丁目近辺にコミュニティバスが通ると聞いたのですが、どのようになっているのでしょうか？
- ・ 上池台に住んでいますが馬込・長原・旗の台まで徒歩 16～20 分かかります。地域バスを運行して欲しいです。例えば、洗足池～荏原病院ルートのような。
- ・ 西馬込駅付近から蒲田駅方面に行くのが不便なので便利にしてほしい。
- ・ コミュニティバスは、一部の地域だけなので、もう少し、範囲を広げてほしいと思います。料金は、多少高くても、賛成の人は多いと思います。
- ・ 公共交通機関が地域によっては民間のバス会社 1 社のみしかない。人材不足不況のためバスの本数が減っている傾向を感じる。しかし外国人等で需要はある地域もある（羽田方面など）。多文化共生を掲げるならみんな住みやすい環境整備をされた方が良くと思う。
- ・ 最寄り駅（西馬込）までバス停がなく、徒歩 15 分程ですが、坂もあります。「ちいバス」の様なものがあるけれど、本数が少なく経路も遠回りが多くて実用がありません。今後、高齢になり、病院・買い物に不安を感じます。ご検討をよろしくお願いします。
- ・ 蒲蒲線は近い人（羽田）には、かえって不便になる事が多い。
- ・ 蒲蒲線にお金を使わないで欲しい。羽田まで繋がらないので意味がないし、J R 新線が出来るのに利用があると思えないし、地下の乗り換えは大変だし…。
- ・ 羽田線はいらぬと思う。
- ・ 蒲々線が進められていることに疑問を感じています。前回の選挙では反対派 2 名の票数を足し上げたら反対派が賛成派（現区長）を上回っていました。政治の世界も世代交代が必要だと、国政・都政・区政のどれも痛切に感じています。
- ・ 地下の蒲蒲線は時代に反していると思う。

- ・ 区内のループバス、ミニバスなどがあると便利。
- ・ 空港へのアクセスの面では西馬込（浅草線）を延ばしてほしかったです。
- ・ 人口が減っていくのだから、無駄な開発はやめてほしい。蒲蒲線は必要ですか？学校の建て替えが進められていますが、必要性和とされているそちらの方向でやっていただきたいです。
- ・ 蒲蒲線は、実現化の可能性や市民へのメリット、デメリットが分かりにくい。
- ・ 蒲蒲線は本当に必要なのか？
- ・ 蒲蒲線を早く開通してほしい。
- ・ 京急バスと東急バスの利用がはっきり分かれてしまっていることで、大森駅や蒲田駅など、主要な駅からしかバスの乗り換えができない。結局、徒歩移動や自転車移動が多くなり、公共交通機関が利用できない。本当に使いたい人のニーズに合わせた車両を用意して欲しい。
- ・ 蒲蒲線は、どうなっているのか？
- ・ 病院からの循環バス希望。駅から以外に南北に走る路線（港区のちいばすのようなもの希望）を充実してほしい。
- ・ 大田市場～大森～平和島を、L R Tなどの交通網を引いてほしい。シドニーでは州で交通を運営している。環七を1車線減らしても、車だけでなく誰でも路面で乗り降りできる交通手段を作してほしい。目蒲線延長もL R Tがいい、京急バスの運転手減少の問題もL R Tを引いてほしい。
- ・ 馬込エリアの大田区内への交通アクセスがやや不便なので、バス停の増強などがあると嬉しい。
- ・ 特別な政党を支持している訳ではありませんが、蒲蒲線の建設には反対です。理由は、羽田空港に繋がる路線がいつになるか未定であること、区にとってどのようなメリットがあるのかよくわからないからです。
- ・ 多摩川線の車両を増やしてほしい。
- ・ できれば蒲田直通的公共交通機関を増やしてほしい。同じ区内なのに一度区外まで出なければならぬので不便。同じ所要時間ならと新宿や秋葉原など区外に出てしまう。蒲蒲線より西馬込～池上間を結んでくれたほうがありがたい。
- ・ 凄く頑張っていると思います。ただ蒲蒲線は不要かな？それより都営浅草線との接続を考えて下さい！お願いします。
- ・ 蒲蒲線を早く作って欲しい。
- ・ 蒲蒲線の実現に向けた具体的な計画を積極的に開示して頂きたい。
- ・ 交通インフラは、バスが減便になったため、代替策を講じてほしいです。ただ、不満ばかりではなく、評価している施策もあります。
- ・ 蒲蒲線の計画については、概ね賛成です。ただし、羽田空港を頻繁に利用することが無いので区民としては羽田空港とは逆方向の渋谷、新宿方面への利便性が向上することを期待しております。臨海部を頻繁に走るコミュニティバスを走らせてもらえれば助かります。
- ・ 馬込方面から蒲田への交通の便をよくしてほしい。
- ・ 区だけの決定ではないにしても、特に蒲蒲線は反対の意見しか区民からは聞こえてこない。
- ・ 羽田空港からの観光客が一気に増えているため、蒲蒲線の推進よりも、羽田空港と都心部のアクセスを良くする羽田空港アクセス線の推進の方が優先度が高いと思いますので、どちらを優先すべきなのか、もう一度きちんと議論していただけると幸いです。

5. 道路

- ・ 電柱をなくしてほしい。
- ・ 国の仕事か区の仕事かわかりませんが、第一京浜（国道15号）東邦大通りの道路工事ずっーと滞っているのでは、はやく再開してほしい。

- ・ 年（79 歳）をとると、足が弱くなり、目も同じ。出来る限り、道路等の段差を無くしてほしい。未舗装の脇道の整備。そういう場所は照明も少ないので、よくつまずいて転んでしまう。
- ・ 電柱の撤去、一方通行路を増やしてほしい。
- ・ 車道よりも歩道を整備してほしい。
- ・ 歩道が狭いです。第一京浜も、第二京浜も。国道なので整備しづらいかとは思いますが、どうかしていただきたい。
- ・ 国道 1 号線の西馬込駅付近や池上梅園から貴船坂上方面に行く道の歩道が狭すぎて危ない。
- ・ 大岡山～石川台エリアに住んでいます。歩道が狭い、ガードレールがない、電柱があつてベビーカーが通れない、段差や穴があつて歩きづらい、自転車の走行がしづらい（車道）など、交通に関わる懸念を多く感じています。
- ・ 歩道の整備が不十分な所が目立つ。場所によっては、高さが急にあって傾いている感じで、車イスや高齢の方が不安そう。ベビーカーも…。しかも転んだら痛そうな、ガタガタしたアスファルトむきだしの所が多い。
- ・ 第 2 京浜の車道は、道の端がガタガタしているので自転車で走りにくいので専用レーンを作してほしい！
- ・ 環八（蒲田郵便局から雑色方面）の道路整備をしてほしい（電柱の撤去など）。狭いし人が多いのに交通量が多い。
- ・ 大きな区なので格差はあると思いますが、電柱・電線を整備（地中化等）し、きれいな街灯に置き換えていただきたいと思います。
- ・ 道路の自転車のマークは、危ない（川崎は広いが大田区は狭い）。車の一方通行ならともかく、もっと考えて下さい。
- ・ 私道の整備について、情報があると嬉しい。
- ・ 六郷土手に限ったことなのですが、歩道が狭すぎて、子どもたちが安全に駅に行く事が難しい状況になっています。ぜひ一度現場に足を運んでみていただき、大田区の抱える問題の 1 つとしてご対応していただければと思います。
- ・ 歩道が狭い中での道路環境はどうにかして欲しい。自動運転や自転車の法規制もある中で、道幅を広げるや専用レーン作るなど整備して、安全な環境を作してほしい。
- ・ 道路の整備、自転車用の道路幅増。
- ・ 蒲田駅東口駅前の人の流れをもっとよく整理してほしい。特に区役所に行く道が狭く非常に不快である。
- ・ キネマ通りの道幅が狭くて危ないので整備してほしいです！
- ・ 道路について。道路のでこぼこが多く、雨の日の水たまりが多いので整備されるとなおよい。
- ・ 例ですが、東邦医大通りの拡張工事に 30 年以上掛かっているのはどういうスピード感なのか疑問です。一般的な建築工事において一度決めた工程は何がなんでも守るのが通常で、出来なければ違約金が発生します。一度決めたことは初志貫徹頂きたい。
- ・ 道路が狭い。自転車に乗る人が危ないから道路整備だけどうにかしてほしい。
- ・ 横断歩道など信号待ちする所に、日除けになるものを設置してほしい。
- ・ 自転車レーンよりも歩道の整備をして、子どもや高齢者が安心して歩けるようにしてほしいです。
- ・ 自転車移動が必須なので、その前提で安全確保出来る道路、特に狭い道の電信柱地中化を早く進めて欲しい。
- ・ 自転車が歩道を通れなくなる前に自転車道の整備をしてほしい。
- ・ コンクリートが壊れかけてる道路をよく見掛けるし、子どもがつまづくことが多いので、直してほしいです。
- ・ ガタガタの道路の整備。
- ・ 自宅すぐそばの四ッ角で事故が多い。住宅街で一方通行と両側通行の交差点、両方の道にもっと運転手が気づきやすい標識を置いていただきたい。

- ・ 電動自転車の無謀な運転が目立ちます。特に見通しのきかない道路で、一時停止することなく飛び出す自転車が、はっとさせられることが多くあります。見通しのきかない道路にミラー等を設けたり、一通の道路を逆走する自転車に、注意喚起する指標を設けていただきたいと思います。
- ・ 自転車の道路がある事で車が危ない。自転車や車が安全に通れる道を作ってほしい。
- ・ ガードレールの内側に自転車道を作ってもらわないと恐くて走行できない。
- ・ 自転車の通行の安全確保と専用道路等の整備をお願いします。
- ・ 歩道を走る自転車が怖い。歩道は歩行者優先なのに、なんで歩行者の方が自転車に注意しながら歩かなければいけないのかと思う。三軒通りの歩道の電信柱が邪魔で歩きにくい。特に雨の日は危険に感じる。
- ・ 自転車が歩道を走れなくなる中、車道で走ることがお互い怖いと思う。道路整備をしてほしい。
- ・ 自転車が歩道を走っていて危ない目に何度もあっています。後から音もなくフッと現れるので恐いです。自転車が安全に通れるような自転車道を作って欲しいです。
- ・ 自転車などのマナーが悪いので歩道を整備してほしい。
- ・ 自転車で車道を通る時に、駐停車している車があると危ないので、自転車でも車道を安全に通れるようにしてほしい。
- ・ 馬込駅前の環七について、歩道を昼夜問わず自転車が走っている。自転車用の道がほぼない（トラックがいると危険で走れない）ので、歩道を走っていると思うが、歩行者からするとかなり危険に思える。自転車への取り締まりも厳しくなるのだから、もう少し道を整備してほしい。
- ・ 歩道が狭く、歩いていても自転車に乗っていても、車に乗っていても怖いと思うことがある。
- ・ 自転車用の道路整備を推進してほしい。幹線道路で駐車中の車を避けたり、道路の凹凸部分を走行するのはとても怖いし危険。
- ・ バス通りでも歩道がない道もあり、危ないと感じる事がよくある。
- ・ 自転車のルール無視が多いと感じます。川崎も酷いですが、大森西の方が危ないと感じます（道が狭いのが一因かと）。自転車道の整備及びルール遵守が必須だと思います。

6. 交通安全

- ・ 自転車の運転について。一旦停止を守らなかったりスピードを出す人が多くて、歩いて怖いです。なんとか対策して下さい。信号無視や、歩道や横断歩道が歩行者優先であることを理解してない人が多すぎます。
- ・ 自転車の安全確保。車道を走行するのは超危険であり、車にとっても邪魔ではないだろうか。SDGsの乗り物の安全を考え、実行してほしい。
- ・ 自動車の交通ルール無視が気になる。マナーもない。例えば停止線で停止する車がほとんどない！！田園調布警察に相談したが、取りあってもらえなかった。以上。
- ・ 歩道を走る自転車を規制しなければならないし、マンション等の植木が歩道へ大きくはみ出して交通のさまたげになっている事等をチェックして注意すべきだと感じる。
- ・ 交通マナーの向上を求める。そもそも論として、交通マナーというか、「嘘をつかない人間」を育成することが大変に肝要なことだと考える。あとはそんなに不満はない区です。
- ・ 自転車の運転がひどすぎます。歩道に高齢者がいようが、体の不自由な人がいようがお構いなし。歩行者は何も武器を持っていません。
- ・ 交通の便が良いのに、車を運転する年配が多く怖い。
- ・ 歩道を自転車が勢いよく走っていて怖いと感じることが多くあります。また、自転車を押して歩くように注意書きがある道路でも乗りながら走っているのが怖いと感じます。
- ・ 自転車の問題。歩道を走る、逆走する、無灯火、一時停止しない。等々、なんとかして欲しい。

- ・ 幹線道路から一步入ると、細い道など交通ルールを守らず危ない運転手をよくみかけます。もっと交通面安全面のパトロールを、取締りをしてほしいです。
- ・ 自転車のマナー対策。
- ・ 自転車が多く、歩行者も気にせずに走行しているのが危ないので対応して頂きたいです。
- ・ 自転車のマナーがとても悪いので、改善策を講じていただきたいです。「商店街の中は押し歩き」が根付いている中、雑色商店街では未だに、自転車が物凄い数と勢いで走っています。信号無視や歩道を走っている人も多くとても危険だと思います。
- ・ 自転車のマナーが悪い人が多いのでなんとかしてほしい。
- ・ 自転車のマナー教育！車より酷い。
- ・ 広い歩道と車道と車道脇の自転車マークについて、自転車は歩道を走ってはいけないとするより、自転車は歩道を走る時には速度に注意し、歩行者は自転車に注意するなど、自転車購入者へ注意喚起するなどの対策はいかがでしょうか？
- ・ 自転車の一時不停止や自転車の飛び出しなどが、私の生まれ育った地域に比べ、大田区はかなり悪く感じております。警察の取締強化を大田区からも求めるべきだと思います。役所の車で巡回を含め、早めの対応をお願いします。
- ・ 大鳥居に引っ越してきて、自転車のマナーがとても悪く、歩道や横断歩道を安全に歩けない街だと感じています。そういった方を対象に交通安全、自転車マナー啓発活動をしていただきたいです。
- ・ 産業道路等の大きい通りの歩道上に違法駐輪が多い。歩道上を徐行せずに走る自転車が多い中で、違法駐輪の自転車を避けて歩くと、走行中の自転車と接触しそうになり非常に危険な思いを何回もしている。早急に違法駐輪の取り締まり、撤去と自転車レーンを車道への整備をお願いします。
- ・ 自転車交通ルール遵守の徹底推進（危険運転が多い）。
- ・ 自転車の通行量が多く、歩行者との接触事故が心配。運転マナーも悪いため、歩行者の安全性を高めるための対策をしてほしい。
- ・ 私は車で移動することが多いため自転車の走行マナーにより危険を感じる事が度々あります。他の街に比べて自転車利用が多いように感じるのも交通網の整備と関係あるのでしょうか。
- ・ 自転車について、不法駐輪している自転車があまりにも多すぎる。紙での忠告では全く意味はない。強制撤去又は、駐輪させない仕組みを作してほしい。
- ・ 自転車を住民は無料で停めさせてほしい。保管所にお金を払う必要がない。区役所前の保管所がまだ空きがあるのに満車扱いに表示されている。システムを見直すべきだと思う。
- ・ 南馬込に住んでいますがとても住みやすいですが、大森や蒲田の自転車置き場を改善していただきたいです。
- ・ 家の周り（JR大森駅周辺）の放置自転車がひどい。
- ・ 交通網の不便さから、自転車利用が特に多いと思うのだが、使いたい場所に駐輪場が増えない。駐車場よりも使いやすい駐輪場を増やしてほしい。できれば大森駅北口側のように、子乗せ自転車に配慮したフラットな駐輪場があると、子どもも大人も高齢者も使いやすい。

7. 住宅

- ・ 空き家を活用する。空き家を区が積極的に借り上げ、高齢者や障がい者など一般では住宅を借りにくい条件の人々に貸し出す。多少手を入れる必要はあるかもしれないが、管理しやすいメリットもあると思う（目黒区など、他地域でやっていることも参考になるのでは）。
- ・ 空き家が今後増加するかもしれないので、その対策を強化してほしい。
- ・ 大田区は家賃が高いです。もう少し安い物件があると良いです。都営住宅や都民住宅を増やしてほしいです。

- ・ 空き家をさらに有効活用する。空き家等地域貢献活用事業があるようですが、子どもを増やす為、子育て世代にも安く貸すのはどうでしょうか。条件を設けて、例えば、〇歳以下の子どもが3人以上いるなら1万円で貸す等。
- ・ 公営団地の建て直し。
- ・ 老朽化マンションの建て替え支援をしてほしい。
- ・ 大田区に長く住みたい。どうか住宅購入をしやすくする策を考えてほしいです。
- ・ 都営住宅等の公営住宅の整備をもっと進めて欲しい。電灯（廊下等）をすべてLED対応に。
- ・ 私は今フルタイムで働いています。年金ももらっていますので何とか生活はできていますが、年金生活になりますと家賃を払い生活するのが厳しいです。そんな方々が多いかと思しますので高齢者、家族のいない1人身に向けて住宅を作っていただきたいと思います。
- ・ 家賃問題が一番大きい。子どもは複数人欲しいですが、不動産価格が高過ぎて、家購入や家賃の負担が多いが故に子どもは少なくてもいいかなと思います。大田区はとても好きな街なので、もう少し不動産価格が下がってから大田区で定住できる住まいを購入したいです。
- ・ 子どもが小学生になるタイミングでもう少し広い住まいを探すことになった時に、マンションが高額になりすぎていたり、一軒家に住み替えるにも、川の向うの川崎などに移住してしまうのがもったいない。若い世代が住み替えできる街を区でマンションを建てることのできないのか。
- ・ 賃貸生活なので、高齢になったときに受け皿となる住居があるか不安。大田区内のUR賃貸住宅の数が少ないので、URに限らず、大田区として高齢者向け住居の対策をとってもらいたい。
- ・ 賃貸マンションを新築する際に25平米以上で作るルールは、家賃がものすごく高くなるだけなので、再度検討いただきたいです。
- ・ 住宅に対する補助を手厚くして頂きたい（都営？区営？住宅の充実）。
- ・ 借家戸建てに対する耐震・防災支援・補助。築年数40年以上で不安ですが、持ち家でないため何も出来ず。家主への働きかけ・支援を望みます。
- ・ 低所得者の単身者が低料金で住める住宅を増やして欲しい。
- ・ 地価上昇などで家賃も上昇し、新規にアパートやマンションを作るのは限りがあると思いますので、大田区のアパート・マンションのオーナーさんにもう少し設備を整えるための補助金交付があってもいいのではないかと思います。
- ・ 空き家なのか人がいるのか不明だがごみ屋敷のような放置されている家屋がある。
- ・ 年金で低収入になった人への（安い）住居の確保。普通の家賃が高いので困る。安心して年をとれない。高齢でも安心して部屋を借りたり、仕事があって働いたり、相談できる場所があれば良いと思います。

8. 生活環境対策

- ・ 一時期近所のごみが毎週カラスに荒らされて大変なことになっていましたが、数ヶ月でカラスがばったりなくなりました。どのように対策をしてくださったのでしょうか。迅速でありがたかったです。
- ・ 道によく鳥のフンがついていてあまりきれいではないと感じます。
- ・ 野良猫対策はまだ個人の努力によるところが大きい。
- ・ タバコ・歩きスマホが多い。保育園前でもよく吸っている人がいます（駅近だから）。子どももよく通るので、注視・対応をお願いします。
- ・ カラスが増えてごみを散らかしていて気分がわるいので何とかしてほしい。
- ・ 禁煙を徹底させてほしい（路上の喫煙取締まり等）。
- ・ ネズミが多い。飲み屋が多い為、吐しゃ物等が目立つ。

- ・ 環八の蒲田陸橋の下を日常的に通行していますが、路面が鳥の糞でとても汚れています。通行時に衣服に糞が落ちないとか、乾いた糞が舞っても大丈夫かなどと気になります。鳥が陸橋の下側にとまれないよう、道路管理者と共に対策をお願いします。
- ・ 公共場所における草木の剪定及びごみ入れ設置に力を入れ、環境を美化し衛生面を強化して欲しい。
- ・ 蒲田周辺のネズミの多さどうかしてください。
- ・ 街が汚い。ツバを吐く人が多すぎる。歩きタバコも多い。
- ・ 歩きタバコ（電子含む）を取り締まる活動を強化してほしい（条例第5条の強化）。
- ・ カラス対策。
- ・ 歩道や車道にごみが落ちていて自転車のタイヤがよくパンクするのが困る。とにかくいろんな所にごみが落ちていて景観が悪い。
- ・ カラスの対策などもお願いします。
- ・ 緑を増やすのはいいけど、虫をどうかして！
- ・ 蒲田駅西口のカラス対策をしてほしい。ごみの日に10羽以上のごみをつついていて怖い。飲食店へごみ出しに配慮を呼びかけるなど対策をしてほしい。
- ・ 蒲田駅周辺の飲食店が多いエリアは便利ですが、汚いのでキレイにする取り組みをして欲しい。
- ・ 道路のあちこちに吐瀉物が多く、においもひどい。どうかしてほしい。
- ・ 街の景観を整備して下さい。看板の無秩序さがひどいです。商店街で流している音楽と花（ビニール製）のかざりも場末の町のように、物悲しくなります。音楽は1日中うるさいし、花かざりは一度落下していたので実害もあります。
- ・ 街の清掃を力入れてほしいです。朝方の駅前等…。
- ・ とにかく街がきれいではない。道にごみが良く落ちていたり、呑川は汚かったりといまは配偶者と二人なので良いが、子どもができたなら別の場所で育てたいと感じてしまう。それ以外はとても住みやすい街。
- ・ 蒲田地域ですが道での歩きタバコが多い。またタバコ販売店が灰皿を設置しているケースが多く、道も狭いので受動喫煙になり非常に迷惑です。非喫煙者、特に子どものためにも健康のため歩きタバコや灰皿設置の取締りを強化してほしいです。
- ・ 京急線について、レールのつなぎ目を削減し、ロングレール化による列車の騒音対策。
- ・ 環七沿いのうるさをどうかしてほしい。
- ・ 蒲田西口の工学院通りに向かう道の清掃を強く希望します。朝からカラスやネズミを見ない日がなく、ごみが散乱していて非常に不快に感じています。飲食店の清掃やごみ出しについて厳しい制裁も必要だと感じる。
- ・ 路上喫煙が非常に多い。個人的には西蒲田公園近辺で路駐している連中の喫煙に迷惑しているが、そういった場所が点在していると思うので、スポット的に区民から情報を吸い上げて、大田区内の路上喫煙対策を講じてもらいたい。また、路上にタンが多く見られるので対策できないか。
- ・ ここ数年、アプリコや下丸子の区民プラザなど、区の施設で喫煙所が閉鎖されている。元に戻して欲しい。タバコは悪だという風潮は理解しているが、喫煙者もいる。多様性を謳うのであれば閉鎖はむしろ時代に逆光している。
- ・ 私の家の周りには空き地が多く、建設予定なのかフェンスで囲まれてますがフェンスの周りが、雑草がはえたりして見た目が悪かったり虫が多かったりです。空き地の管理をして頂けると助かります。
- ・ 野良猫の糞尿に困っています。毎朝始末をしなければならない状態で、何かいい方法はないでしょうか。
- ・ 商店街のねずみ対策をしてほしい。
- ・ 路上喫煙、タバコのポイ捨ての取り締まりを厳格に行ってほしい。

- ・ 歩きたばこをしている人が多く、煙が流れてくるたびに不快な思いをするので、取り締まりを強化してほしいです。
- ・ 路上喫煙禁止の徹底推進（歩きながら喫煙、ポイ捨て）。
- ・ カラス対策。下丸子のケヤキ並木玉堤道路の落ち葉対策。近隣は落ち葉の処理に困ってます。せめて落ち葉の時期だけごみ袋を無料で配布してほしい。
- ・ 駅前の駐禁エリアの駐車駐輪や点字ブロックや通行を塞ぐ行為や呼び込み行為等が多すぎる。
- ・ 喫煙場所以外での喫煙がひどい。喫煙所のごみもひどい。
- ・ カラス対策。
- ・ ながらタバコ（異常に多い）。
- ・ 歩きたばこや、たばこのポイ捨てが多いと感じています。歩きタバコを見掛ける時はおじさんが多いと感じています。もっと取り締まるかきちっと対策してほしいです。
- ・ ガチャガチャした看板を無くすための規制を強化する。

9. 公園・緑化

- ・ 自分が子どもの頃は公園でよく遊んでいたが、最近の小学生の子どもはあまり公園や外で遊びに行きません。近所の公園は遊具も少なく楽しくないとよく言います。もう少し魅力的な公園にしてもらえると外で遊ぶ様になるかな、と思います。また、花火が出来る所を考えてほしいです。
- ・ 公園が品川区に比べて充実していない。
- ・ 子どもたちが、日常的に公園等でボール遊びができるようにして欲しい。ヨーロッパでは当たり前。地方の公園でも当たり前。東京の感覚は異常。
- ・ 西蒲田です。緑が少ない。
- ・ 公園の遊具をもっと充実させてほしい。
- ・ 大森地域に長年住んでいますが、緑のある公園が少なく、子育て時期には遊び場がなく苦労しました。すぐ隣の品川区は画期的発信も早く羨ましかった…。
- ・ もっと緑を増して欲しい。
- ・ 野球が出来る公園が無さすぎる為、ネットのある球技可能な公園の増設をお願いします。
- ・ 緑を増やした公園の整備。
- ・ 公園の掃除（呑川緑地）が頻繁すぎる。
- ・ 物納の跡地公園が意味無い。造園は不要。子ども、母子が走り回れる様に芝にすべき。大きな庭石を置いてスペースをつぶしている。石より緑を多くした方が良い。非常用の井戸は普段から使用すべき。されないといざという時使用出来ない！
- ・ 仕事から公園を利用することが多いが、ごみが落ちていたりトイレが汚いため、キレイにしてほしい。また、子どもたちが遊んでいると「うるさい」と怒る近隣住民もいるため安心して遊べる場や環境をつくってほしい。
- ・ せせらぎ公園のほぼ使われていない広場にドッグランを作ってもらえると嬉しいです。囲われているだけで有難いです。駐車場はほぼ区外の車が利用しているので、そちらの拡充に広場をつぶしたりせず、大田区民の生活が豊かになるようご検討をお願いします。
- ・ 子ども達の遊び場、特にボール禁止の場所が多く、気軽に広場で遊べない。
- ・ 大田区の公園はほぼボールが使えない。公園でゲーム機を持ってきて数人でやっている姿を見ると残念な気持ちになる。もう少し整備され遊びたくなるよう公園が欲しい。
- ・ 犬と一緒に入れる施設が増えてほしい。公園に季節にあった花を植えてほしい。
- ・ 公園に思う存分、ボール遊び（スポーツ）が出来るスペースが増えて欲しいです。スケートボードが出来る施設や公園などが、今の時代もっと増えてもいいと思います。
- ・ 小・中学生がボール等で遊べる場所が足りない（禁止場所で親子で使用を見かけます）。

- ・ 公園も他の区の良い所を取り入れて見て下さい（遊具など）。
- ・ 大きい公園がほしい。
- ・ 緑化については、樹木のメンテナンスが個人頼みとなっている（豪雨や風雨後の落葉片付け、伐採頻度が少ないなど）。
- ・ 公園の境に自宅があります。昼間は園児達が楽しそうに遊んで帰って行きます。ところが夜になると、中・高生がサッカーボールを蹴るなどをして 22 時過ぎまで遊んでいて、声も興奮して高いので、寝る時間を逃してしまいます。注意を書いた用紙などをわかるように貼って下さい。
- ・ 小学生の子どもがいるが、住んでいる学区にはボール遊びが禁止されている所ばかり。隣の学区は大きい公園があったり広場がある。子どもたちはそれでもボール遊びをする為、ご近所さんから注意をうけることがある。少しかわいそうです。
- ・ 平和島公園みたいな場所が増えてほしいです。
- ・ 隣の品川区と比べて、公園の遊具や施設、児童向け施設などが明らかに残念です（古い、面白くない、そもそもない、など）。早急に改善してほしいです。
- ・ 防災、地球温暖化に対する危機感が少ないのではと感じる。駅前の商業地開発などの経済発展よりも地域の緑化や再エネをもっと促進してほしい。
- ・ ふるさと浜辺公園にある健康器具のような設備をもっと近場の公園にもつくってほしい。近所の小さい公園にそれぞれ何種類ずつかおいて、いろんな公園を歩きながら回遊しつつ、器具をスタンプラリーのように回って健康増進に役立ててほしい。
- ・ 公園の自由度が低いと感じます。ボール遊び禁止など制限が多いです。理想は川崎市の夢パークのような子どもが自由に遊べる場所があると嬉しいです。
- ・ 子どもが声を出して遊んでいると公園で怒られます。公園は静かに植物を見たり楽しむ高齢者のではないはずです。一部の人間だけのものになっていることに疑問を感じます。
- ・ 公園や緑があまりない。
- ・ 緑化の推進。
- ・ ボール遊びの出来る公園が少なく、子どもの遊びに制限がかかっているように感じる。
- ・ もう少し散歩しがいのある公園や緑道が増えてくれるとうれしい。池上梅園や洗足池、桜並木が微妙に遠い。
- ・ 大田区は公園が多く、子どもが遊べる場所があつて良いのですが、ボール遊びが出来る場所がとても少ないのが残念です。
- ・ ボールで遊べる公園を増やす。
- ・ 緑はほんともっと増えて欲しいです。水が流れる音を聞けて手軽に緑の平和を感じられる、外でぼーっとリラックス出来る場所があると嬉しいです。
- ・ 大きい公園は整備されているが、所々ある小さい公園は、大人が昼休憩などで利用しているからかごみも多く、雑草も多く、不法投棄や砂場が汚れているなど利用をためらう部分も多い。
- ・ ガス橋 4 号面野球場に、ガス橋 1 号面みたいな防護ネットを建てて欲しい。あの辺りを散歩しやすくなると思う。
- ・ 近所の公園や緑地が、ここ数年、草がぼうぼうだったり枯れ葉が落ち放題、枝が飛び出しているなど感じています。何年か前までは週 1 くらいで何人かで掃除や片付けや景観をきれいにして下さる方がいました。今は見るに堪えないです。子どもにも年配の方も足元が危ないのもあります。

<基本目標以外>

1. 区民施設

- ・ 月に1～2回は山梨県北杜市白州町の耕作放棄地にて家族で野菜作りに行っている。心身の健康のためにもずっと続けたいと思っているが、少し安く泊まれる大田区の施設などがあると大変助かる。
- ・ 働いている人は週末しか行けないので、行政窓口を週末も充実させて欲しい。
- ・ 区民が共同で使える場所、図書館、体育施設（スポーツ）、校庭等を充実させて欲しい。
- ・ 区政については、漠然としていて難しかったです。大森地域庁舎について、明るいイメージを好みます。
- ・ 大田区役所は土曜日もやってほしい。逆に日曜日、月曜日を休みにしても良いのでは！
- ・ 新しく体育設備、レクリエーション会場等が出来るのはいいのですが、料金が高くなってサークル活動で使用出来なくなってしまう。何らかの特例として割引で使用できるとありがたいのですが…。
- ・ 住居付近に公共施設がもう少しあると、区の活動などもより参加しやすいのかな、と感じます。
- ・ 区民が利用出来る多人数が収容可能な施設が、P i o と大田区体育館ぐらいしかありません。区の大きさや人口からすると、もう少しあってもいいような気がします。
- ・ 子どもが生まれ、大森地域庁舎や蒲田に行く機会が増えました。しかしながら、現在住んでいる西馬込からのアクセスが悪く、夏場などは子どもを連れながら行くのは難しいです。もう少し近場で対応できるようになるとうれしいです。
- ・ 区の施設や文化センターやプール、公園も含めて、高齢者向けの施設となっており、本来の子どもや子育て世代が追い出されている感がある。
- ・ 仕事終わりに間に合うように、区役所の窓口の受付時間をもう少し延長して欲しいです。
- ・ 公衆トイレをもっと増やしてほしい。
- ・ 出張所を休日に開いてほしい。
- ・ 様々な施設の充実。
- ・ 古い設備が多いので住民だけでなく職員さんも使いやすくまた行こうと思える場所になれば良いなと思いました。

2. 広報

- ・ デジタル化が進んでいるが、紙で届く区報は区の近況を一覧で把握できる媒体として最も重宝している。
- ・ いつもお疲れさまです。県外から越してきて4年程です。仕事にかまけて行政の事をおろそかにしてました、すみません。何か人のお役に立てるのであれば参加してみたいです。今後も情報発信をお願いいたします。
- ・ あまりイベントや施設を利用せず、ご近所にも知り合いがいる訳でもなく、積極的に周辺情報取り入れる訳でもない、おた区報はありがたいなと思ってます。
- ・ 大田区の公式LINEが存在する事を、この世論調査で初めて知りました。登録させていただきます。
- ・ SNSやLINEの取り組みなど、積極的にやってらっしゃるようなのでびっくりしました。LINEのQRコードを掲示板に貼付するなど、もっと周知できそうな気がしました。また、おた区報についてですが、最新版をトップページに埋め込みしたほうが目にしやすそうかと思いました。
- ・ HPが簡素すぎて分かりにくいこと、知りたいことがとてもあっさりで困惑する。“電話して詳細確認をしてください”みたいな記載があるが、個人的に電話が苦手なので電話をしなくても済むようにしてほしい。
- ・ 蒲田のイメージアップ！

- ・ 「区議会だより」が読みにくくなった。一般質問など意味不明なものもある。
- ・ 公立の学校や学童等でも教育に関わる情報をいつでも得られるように発信して欲しい。学校見学が出来るタイミングがあると思うが、LINEで教えて欲しい。保育園までの福祉の情報発信は手厚いと感じているが、学校に切り替わると、その情報発信はほぼないように感じている。
- ・ 大田区政に出来る事は参加したいが、高齢でもあり情報を知る事が出来ない。今は情報を知るのはネットやホームページなどでそういう事が出来ないのでむずかしい。
- ・ 区で受けられるサービス、支援等の手続の案内等をわかりやすく案内した方がいいと思う。メリット、デメリットを含めて。
- ・ マイナンバー更新窓口の臨時休業の際は、大田区ホームページや公式Xなど、何らかの形で知らせしてほしいです。ある土曜日に大森駅のマイナンバーセンターに行ったところ、サーバメンテナンスで窓口が急遽お休みになったと言われ、無駄足になったことがあります。
- ・ 蒲田のイメージアップが必要だと思います。
- ・ 大田区は変な人のいる街や汚い街、犯罪のある街といったテレビでの取り上げ方が多いです。住んでいる者からすれば宇宙ロケットや航空部品をつくる工場や国際線もある空港、海苔を育てていた文化も感じられる街であるのに残念です。
- ・ より若い人たちに選んでもらえるよう、行政サービスのみでなくブランディングに力を入れて欲しいなと思います。ものづくりの街については、技術をもっとダイナミックに訴えて欲しいと思いますし、立地や生活利便性、環境等、アピールポイントは技術だけではないはずだと思っています。
- ・ 治安が悪いイメージがまだ根強い。港区や中央区などのようにブランディングを良い方向に持っていき一人一人の意識を高めないとい今の大田区ブランディングだと「飲んでふざけて迷惑かけて」が大田区の潜在意識として許される街となってしまう。
- ・ 区政の情報は区報などで知りますが、都政のほうが身近に感じます。区議の方はどのような仕事をしているのかわかりません。
- ・ 大田区政のアクションをもっと積極的にアピールして欲しいです。
- ・ 水道管の更新や防災に関する取り組みの進捗が分からないので、可視化されているものがあれば発信を強化して欲しい。
- ・ おおた区広報はぜひ拝見したいと思いました。今まで届いたことがないので、全戸配布してもらえると嬉しいです。

3. 広聴

- ・ アンケートさせて頂きありがとうございます。大田区に在住して35年余り、生活環境に満足しています。区民の為に職員の方々の仕事を微力ながら応援させて頂きます。この地に暮せる事に幸せを感じております。
- ・ 両親が自宅で町工場を営んでいたため、産まれてからずっと大田区に住んでいます。少子化の対応、更なるオンライン化等、区民のための区政を推進願います。区政のイベントに協力することは難しいですが、今回の様な世論調査などには出来るだけ協力したいと思っています。
- ・ 長いアンケートを電子申請で回答するのは厳しい。
- ・ 多様な意見が反映される区政をすすめてください。区民の声を聞く場や、情報開示の場をもっと増やしてください。
- ・ 一区民の希望する事を誰にどのようにして、伝えるか方法がわからない。
- ・ 世論調査の結果の公表。
- ・ 区政にどの様に参加してよいか、全くわからない。
- ・ 大田区政が区民に何をしてくれているのか、見えない。問18は1～6まで見づらくてうんざりし、今は全く見ていない。もう少し簡素化すべきだと思う。広報車なんて聞いた事もない。

- ・ このアンケートに関して年齢別を記入するといいと思いました。住んでいる年数も大切ですが私は年なので（73 歳）、若い人達がこれからどういう事を望んでいるか？大切だと思います。
- ・ 今回の「世論調査」の催促のハガキなどは、経費の無駄かなあ…と感じます。
- ・ 何もしくせにこんなことに金を使うな。無意味な「お礼」の葉書までよこした。税金のムダ使いには目に余る。
- ・ このようなアンケート用紙は単価の安いものを使ってはどうか。お金をかけるところとかけないところをよく考えてほしい。
- ・ このアンケートの目的や効果がわからないまま記入した。
- ・ 会社員でも区の行政に意見できる委員会などへの参加の機会を増やしてほしいと思います。その際はリモートや休日参加のみでも可能としていただきたいと思います。
- ・ 目安箱のような、区民からの要望を随時受け取れるような仕組みがあればいいと思う。
- ・ 本電子申請の I D とパスワードの生成について、数字のゼロとアルファベットのオーや大文字小文字、特殊文字の区分について不慣れな人は混乱すると考えるので、もっと分かりやすくした方が良いでしょう。
- ・ アンケートに回答することで、知らない事が多いことがわかりました。
- ・ 双方向コミュニケーションの具体化。
- ・ あまり関心がないような回答になっていますが、基本的に満足しています。
- ・ 問 22 基本目標 1 に誤字があってそこで萎えました。大多数を対象に行う調査ですので、民間企業では許されない事でしょう。
- ・ こちらの世論調査で、いろいろ大田区やってるんだなとちょっと思いました。
- ・ こういう調査内容は、高齢者にとって非常に苦痛です。もう少し若い時ならば！と何度も思いました。

4. 職員

- ・ 18 年位前に大田区へ越して来た当時、大田区への諸々の転入手続きがスムーズにできませんでした。担当の方には随分ご迷惑をおかけしたと思います。それなのに一度たりとも嫌な思いをする事はありませんでした。皆さんとても親切に対応して下さい、今でも本当に感謝しています。
- ・ 趣味の関係で地域力推進課の窓口をよく利用させて頂きます。親切に対応して頂き、感謝しています。また、年度末間際は、税金や社会保険料についての相談もします。こちらでも丁寧な対応をして頂いています。職員の方達の仕事ぶりは良いと思います。
- ・ 皆様は「影の力持ち」。どんどんアピールして、大田区住民に伝えて下さい。がんばって下さい。感謝です。
- ・ 私は 86 歳の高齢者です。生きて行くのに精一杯で、考えることもなく今になってしまいました。区政の皆様には大変お世話になりました。助けて頂いたこともありましたが大変お世話になりました。ありがとうございました。
- ・ いつもお世話になっております。感謝しています。毎日々のお客様大勢の人がいらっしゃるのにびっくりしています。係の人達も大変でしょうけど身体に気をつけてお働き下さい。
- ・ お疲れ様です。日々区民のために働きかけありがとうございます。これからも引き続きよろしくお願いします。
- ・ 窓口やお電話で丁寧に対応していただき、大変助かっております。いつもありがとうございます。
- ・ 現状はよくやっていたらとおもいます。
- ・ 区民のために頑張ってください。

- ・ 区役所に行く機会があまりなく（選挙・住民票・戸籍 e t c を除いて）、また区政についても関心がありません。ただ孫の保育園入園申込みの際は、保育園入園手続について区役所の職員の方が親切に対応して下さったことに感謝しています。
- ・ 区役所にお勤めの方（特に高齢男性）の対応が高圧的かつ、いつもダルそうです。区議会は何をしているのですか？
- ・ カスハラを拡大解釈して（都合の良い様に）住民サービスをおざなりにしている。職員の質が悪い。清掃事務所がひどい！
- ・ 区政を良くするのに最も大事な事は、優秀な公務員がたくさんいる事。公務員の給料を上げて、優秀な公務員がたくさん区役所にいる。
- ・ 大田区在住の方を職員として採用して下さい。自分（職員）のまちを区民と一緒に作っていくためにも、職員のボランティア活動をお勧めします。そして、区民の声・まちの声を聞きとる力、区民とのコミュニケーション能力を養っていただきたいと思います。
- ・ 道路二課の対応（いままでの）不信感。区役所窓口の対応、戸籍が訂正だらけの汚いものになった。
- ・ マイナンバーカードを5年後に更新する事を知らず1番最初に作りました。先日2回目の更新をしましたが、出来あがってカードを取りに行く時、区の職員の方の説明がとても感じが悪く、5年ごとの切り替えは高齢者にはとても大変だと感じました。
- ・ 求人情報などをみていると、区役所内での仕事の時給が1,200円など、まわりの商業施設などと比べてとても低い。これでは質の低下は防げないのではないかな。
- ・ 大田区区役所などの人員の配置に時に余剰人員ではないかと思わせる場所がありました。場所を案内するだけの人員は必要ないかと思っています。
- ・ 蒲田地区にばかり施設があり他にない。意識が低すぎる役所の存在。何もせずに座って税金から給料もらって恥ずかしくないのかと思える職員が多すぎる。
- ・ 電話対応について、どこの課に電話をしてもぼそぼそと喋られ聞き直すことが多いです。非常にストレスです。また、窓口対応について、最初に対応した方が次の担当に繋いでくださるときに最初に対応した方と同じ話を最初からすることがありますがきちんと情報共有をできていますか。
- ・ 担当部署の対応は悪くないと思う。ただ1階の総合窓口の対応で何度か大丈夫かなと思うことがあった。せっかく各部署で頑張っても取り組んでも役所の顔となる総合案内でけちをつけては、元も子もないと思う。

5. 税金

- ・ とても住みやすいと感じています。高齢者福祉より子どもや若い世代にもっと税金を使うべきだと思います。教育は何よりも未来への投資です。公教育が崩壊しないように保育士や教員をもっと優遇することが未来につながると思います。持続可能で未来につながる施策をお願いします。
- ・ 大田区への税収減の記事を見てふるさと納税をやめました。地方から納税される努力をして欲しいです。
- ・ 税金が高すぎます。そんななか大田区や東京都はより住民のために新たな施策を行っていると思います。ぜひ大田区や東京都が国を動かし、国民にとってよりよい国になるよう頑張ってください。
- ・ 福祉は大切だと思うのですが、限りある税金の配分としては、一考する余地があるかと思っています。シニアや生活の保護に手厚く…よりは、未来がワクワクするような、アピールできるような方がよりよいかなと。
- ・ 小池都知事になってだいぶ変わったと思う。衆議院議員、参議院議員数を減らしてお給料を減らして下さい。私達の税金を減らして下さい。

- ・ 大田区政、あなた方は税金のむだ遣いです！この様なアンケートをやっても意味が無いと思います！働いても働いても税金に取られてしまい、政治にまったく期待が持てないです！
- ・ 住民税の減税、水道料金値下げ、区議会議員報酬・退職金の50%削減。また、予算の組み方を公共事業主体から社会保障の建て直しに組み換える。
- ・ 物価高騰が続き、暮らしが大変です。せめて消費税5%減税にしたいと思います。
- ・ ふるさと納税で買える商品を大田区にも作ってほしい。少量あるのかもしれませんが、魅力的な商品（返礼品）がないため、区民の税が流出してしまい、結果、税金が減ってしまっていると思うからです。
- ・ ふるさと納税による他自治体への資金流出対策として、大田区ももっと魅力的な返礼品をそろえて流出を止めるべきだと思います。羽田空港内の商業施設等で使えるクーポン（金券）等などは色々な人に利用価値があると思うが…。また、空港隣接・直結ホテルの無料宿泊クーポンなど。
- ・ 独身は自分にお金を使えて同じ税率、私は子育てをして納税している。これではみな結婚せず、子どもも産まなくなります。独身（単身）世帯との税率をもっと変えるべき。もしくは子育て世代に手当を増やして頂きたい。
- ・ 森林環境税をとられているが、活動がみられない。よく分からない税金だ。大田区も長く住もうと思えない。
- ・ インバウンドによる大田区の税収入はどの位増加しているのか？（観光は不確実だと思うので）。
- ・ 住民税が他区より高い。
- ・ 税金の無駄遣いを止めて下さい。乳幼児を育てていますが、税金控除が一番助かります。多額の税金を徴収され、外国人や低所得層ばかりに配られるのでは働き損だと思います。大田区にも是非税金の使い方を見直して頂きたいです。
- ・ 区民税が、何に使われているのかを明確にしてもらいたい。
- ・ 大田区の税収増加への貢献度合いを区政のアウトプットに反映してほしい。税金を払っても、対価を感じられない。
- ・ 先の見通せないものに、膨大な予算を使うのはいかがなものかと思います。その予算を零細企業を活力あるものにするために使うとか、老朽化が著しい図書館や文化施設、児童館などに使って欲しいと思っています。

6. 議会

- ・ 議員に相談したら親身になって話を聞いてくれて、迅速に対応していただき、とても助かった事があった。このような議員がよりよい大田区政をつくっていくのだと実感した。
- ・ 党派を超えて議員の方々が力を合わせ、大田区政を良きものにして欲しい。揚げ足取りは国政だけで充分。大田区区議の方々に期待します。
- ・ 区議会議員が多すぎると思います。
- ・ 議員定数を削減すべきだ。
- ・ 区議会時における質疑応答の際、区議がマイク壇上に向かうのは時間の無駄ではありませんか？区議席にマイクを設置し質疑応答することは可能ですか。
- ・ 令和元年11月まちづくり環境委員会の「西馬込駅西口前の歩道拡幅に関する陳情」の記事・議事録抜粋を見て、本筋の陳情ではなく、揚げ足を取るように、話をすり替えるレベルの人たちがいるのを見て大田区はレベルが低いと感じた。正直残念な区・委員会です。
- ・ 区議会議員定数減などによる行政コストの削減。

7. 選挙

- ・ 誤字表記の公約をかかげて選挙活動している方を見てガッカリした。
- ・ 選挙カーの走行可能な時間を短縮してほしいです。窓を開けておくとテレビの音がよく聞こえなくなります。
- ・ 選挙では、広報誌だけでは情報が少なく、候補者が多い中選びにくいと思っています。
- ・ 政治家ってなぜ選挙の時だけ、正論を言って、当選したら普通に意見を変えるのか。まるで詐欺師みたい。国民、都民、区民のためではなく、自分の生活の確保（当選するため）のためだけに必死になっている姿がみっともない。
- ・ 選挙のとき、区議として立候補される方は蒲田や羽田空港あたりの話しか取り上げない。馬込地域には恩恵が薄い話が多いので、もう少し馬込地域にも目を向けてほしい。
- ・ 選挙前になると選挙期間外の過度な音量で長時間行われるグレーな街頭演説が多すぎる。

8. デジタル化

- ・ オンライン化することは必要な事だと思います。
- ・ D XやA I活用と再開発の加速による価値創造をして欲しいです。オンライン行政・A I活用・都市再開発の三本柱を徹底的に推進し、D X時代の都市モデルとして23区を牽引する存在となることを強く期待します。
- ・ 電子申請等や動画サイトの情報展開の充実でより便利になることを期待します。
- ・ オンライン化は、本当に全区民が歓迎していますか？やはり対面、最後は電話という声をよく聞きます。元某デジ庁のトップが言っている様な事にただ従うだけでなく区民の本当の声を聞いて下さい。デジタル赤字ばかり増やしてどうするのですか？
- ・ マイナンバーの電子証明書更新をオンラインでできるようにしてほしい。
- ・ 各種手続きなどオンラインになるのはとても便利だが、申請のわからないことや内容が理解できないことをオンラインですすめるのはやめてほしい。実際に人間の口で説明を聞いた方がわかることもある。
- ・ 何でも「オンライン」「電子化」等の申請だと、自宅にW i - F i の環境が無い家庭では行う事ができない（特に、高齢家庭では無理かと）。説明文書は、若い人にも理解できない時がある。文字が小さく長文な事が多く、読むのが面倒な時もある。もっと絵を使い、分かりやすくして欲しい。
- ・ 100歳となり外出機会が少なく、情報を得る機会がない。キャッシュレスや電子申請ばかりになると高齢者は使いこなせない。
- ・ 何でもデジタル化されて、ついていけません。
- ・ 健康保険証の代わりとなる「資格確認書」の一律交付をお願いします。使いこなせる人だけが有利となる様なデジタル化には反対します。
- ・ 保育園申請などの電子申請を進めてほしい。また、個人情報の利用についての同意をした人など、該当する区民から一定の許可を得た場合は、提出資料を区役所内の各課とも連携・共有・情報反映できるようにし、役所での対面手続きを最小限にしてほしい。
- ・ デジタル化して便利ではあるものの、個人情報の保護に関して徹底してほしい。
- ・ 大田区のオープンデータを拡充させて欲しい。もし出せそうなデータがあったらどんなデータであってもオープンにして欲しい。
- ・ 区役所でマイナンバーカードの窓口のところにマイナンバーカードの束があるのは個人情報流出の危険があるのでやめた方がいいと思います。
- ・ 電子掲示板の充実。
- ・ 住民票などのスマホ決済の端末の読み取りが悪い（バーコードが端末機の枠に入りづらい）。

9. その他

- ・ 他の区に住んだことがないので比較は出来ませんが、愛着のある場所になりました。きっとこのアンケートのような取り組みをいただいているからだと思います。お疲れ様です。より良い区になるようにできるだけ協力出来ればと思います。これからもよろしくお願いします。
- ・ 私は、日本の税金が20年前よりも低くなっていることに感謝しています。食べ物はより安く、より手頃になりました。私は5人の家族と暮らす外国人として日本が大好きです。ここに永遠に住めるということに心から感謝します。大田区さん、本当にありがとうございます。
- ・ マスコットのはねぴょんはかわいくて好きです。
- ・ 子ども・高齢者にはもちろんですが、全ての人や野良犬猫野鳥などにも優しい温かい区政であって欲しいです。いつもありがとうございます。
- ・ この町が好きです。人々がリラックスできる落ちついた場所になればいいなと思います。
- ・ 全体的に良い町だと思います。
- ・ 区民ファーストの推進に、より力を入れていただけると良いと思います。
- ・ 川崎市から引越ししてきました。川崎市と比べて大田区は全てにおいて良く感じております。感謝しております。これからも末永く宜しく御願い致します。
- ・ 大田区の昔からの良さを大切にして、子育て世代が暮らしやすく、安全安心な街のままであり続けられるようにと思います。
- ・ 大田区は暮らしやすい区だと思います。
- ・ 暮らしやすい社会・災害に強い町・災害が起きた時に復旧対応・高齢者が働ける社会・人にやさしい社会・平和な社会。
- ・ 永く住み続けられる街になって欲しいと思います。
- ・ 大田区は住みやすく、良い所であると思います。このまま治安維持や子どもたちを第一とした住みやすい環境整備をお願いいたします。
- ・ 皆が安心安全かつ楽しく生活できる街になって行くことに期待します。
- ・ いつもありがとうございます。文化やお祭りなどが充実し、緑もあって住みやすい町で気に入っています。さらによい街を目指してください。
- ・ 一人暮らしで大田区に引越ししてきたが、自分の住んでいる仲池上はとても住みやすい環境だった。転職の関係で別の区に引っ越すことが決まってしまったが、いずれ機会があれば戻ってきたいと思う。
- ・ いつもありがとうございます。
- ・ 日常生活のなかで、個人情報保護観点は良いが個人攻撃が目的の人を見かけました。区や警察や相談所ではラチがあかず、弁護士相談をすることになりました。場合により、弁護士からの警告をするそうですが費用は自分持ちです。積極的に大田区からの支援がされると良いなと考えます。
- ・ 近隣区である品川区との比較をどうしてもしてしまうが、財政面での違いは理解するものの、財政投入の仕方が見劣りする。時間軸に対してすばやい対応をしないと区民の区政に対する離反は増々強まると懸念する。
- ・ 経済的に子どもを産まない選択をしている夫婦です。そんな方はたくさんいると思います。何か対策を考えて頂けるとありがたいし今後の日本の未来につながるんだと思います。
- ・ 弱い立場の人の手助けになる制度作りを優先して行って頂きたいです。
- ・ 何故しかるべき場所、やらなければならない問題に対して区は区のお金を使用しないのでしょうか。私は数年前に成人を迎え、今はすでに社会人ですが、成人式はコロナ禍でした。節目を迎える人にふさわしい区からの贈り物を今一度考え直してほしいです。
- ・ 保護猫、保護犬活動など動物愛護に力を入れてほしいです。
- ・ 家と隣が近すぎです。隣の屋根が低いとガラスが割れています。隣はいつも知らん顔です。
- ・ 弱者にやさしい行政でください。

- ・ コロナの時、大田区は何の補助もなく残念でした。緊急時の個別対応を他の区並に考えていただきたいです。
- ・ 日本国民の意識はやはり家庭と小・中学校だと思う。区民が「無償の愛」を持ってほしい。
- ・ 大田区の政策が23区で一番古い体質であることを自覚していますか？有能な人に区長になってほしい。
- ・ 区からの郵便物（コロナワクチン申告書等）が他区と比べて遅いと思う。
- ・ 小学校の近くに住んでいるので私有地に子どもが入ってきたり、飛び出し等があり困っています。大田区が誰にとっても住みやすく元気なまちであることを願っています。
- ・ 現状は満足しています。
- ・ 大田区で15年以上地域猫活動をしてますが、縦割り社会で、ルールをお互いに言ってるので活動しづらいです。各部署の担当者に言っても、バックアップしてもらえないので、現場がいちばん困っています。大田区の対応は弱いので残念です。
- ・ 毎日17:00に街中に爆音でかかる「夕やけ小やけ」をなんとかして下さい。曲も古いしダサイし聞かないといけないのでしょうか？私の生活の質がおびやかされています。
- ・ 大田区に住み初めて3ヶ月ほどなので良く分かっていない。というのが現状です。
- ・ 他区にある制度が大田区に無いことがとても多い（例えば防災士資格の取得費用の助成）。
- ・ バースデーアンケートがあるのは嬉しいが、商品券が送られてくるのがあまりにも遅いと感じる。
- ・ 区の問題ではないのですが、生活費がもう少しかからなくなると良いと思います。
- ・ 感謝、思いやり、謙虚を実感できる区政を期待してます。特に若者が、感謝の気持ちを常に忘れない事を実感できるきっかけやイベントなどあるといいと思います。
- ・ 高齢者への政策よりも、まずは現在働いている世代への政策をお願いします。働く世代に寄り添った政策をしているとなれば、ロコミ等でその内容が広がり、移住者も増えると思います。
- ・ 困っている人の身になって何事も取り組んでほしいです。
- ・ とにかくホームレスが多いのを何とかしてください！毎朝空き缶でパンパンになった袋を担いで自転車を漕いでる方、通勤通学で危ないです。可燃ごみまで漁りに来るので8時ギリギリまで粘って出すようにしています。
- ・ 大田区は多くのエリアで坂道が多く、高齢者や障がい者が大変な思いをしているので、その部分のサポートを検討いただきたい。
- ・ 住み始めて、まだ日が浅いのですが、これからも住んでいくので色々を見ていきたいと思います。
- ・ 現役世代を苦しめている高額の種類保険料の徴収で、国民は疲弊しています。物価高騰など、日々の暮らしもままならない状況です。少しでも暮らしやすくなるように、希望がもてるように、区政で助けてほしいです。
- ・ 大田区ならではの何かを感じられる施策があるべきではないか。隣の区と、隣の県とどう違うのか？ひとつでもより良いものはあるのか？皆同じことを言って、当たり障りのない「誰でもできる」施策に落ち着いていないか。
- ・ これからの未来を担う子どもたち、高齢者、就職氷河期世代に寄り添う街であってほしいと思います。
- ・ 大田区は23区内3番目の人口であり、23区唯一の空港があり、物流など生活の重要なパイプラインとなっている拠点だと思っています。大田区はポイント還元については、あまり積極的に行っていない印象があります。もう少し積極的に行ってもらえないかご検討いただけないでしょうか。
- ・ 多摩川の近くの六郷土手に住んでいるのですがホームレスが多い。
- ・ 先端技術の特区とか、健康（未病・予防に力点をおく）特区とか、どんな人達が集まる区にしたいか…かなど。羽田空港があって国際ポータル！を売りにするのであれば、区がうるおうように導くべき。コラボや波及効果をねらう等。
- ・ 世田谷区と並んで大きな区なのに、何をどう区民に対して考えているのか見えない。

- ・ 馬込駅について。こちらは都営電鉄の問題かもしれないが、駅の階段が多く、雨で滑りやすい。通勤する人も増えてる今、もう少し使いやすい駅になっても良いのではないかと思います。羽田や成田へ行く人も多いので、スーツケースなど持ってる人にとってはつらいし、周りの人にとっても危険。
- ・ 日本は人口減少や高齢化で衰退しています。社会保障も担い手と受け手のバランスを保つことはもはや不可能な段階にきています。SDGsの観点からも大きい政府を目指すのではなく、スマートシティ、コンパクトシティを目指す必要があります。納税者の視点にたった運営を強く望みます。
- ・ 大田区をコーヒーの街にしたいと考えています。
- ・ 産業の発展と住みやすいまちづくりが両立されると嬉しい。
- ・ 羽田空港がありますので、全国の皆さん、世界の皆さんの玄関口です。うるわしい心の交流を深めるためにも安心安全な町になってほしいです。
- ・ 数年前から飛行機の航路が変わり、特に夏になると騒音がひどいです。羽田空港の発展には理解できるが、窓を開けて居られないので、冷暖房の使用頻度が多くなります。二重窓の改修も費用の問題で手を付けられません。大田区の居住範囲を決めて、改修費用の助成をして頂きたい。
- ・ 私は京急線沿線に住んでいますが、速いスピードの電車が増えてしまったことで、近隣住民が騒音で悩んでいるのではないのでしょうか。私は高架化前は電車が通る振動で悩まされていましたが、この数年は朝から夜遅くまで電車がうるさくて、以前よりも騒音にストレスを感じています。
- ・ 紙媒体のDMが多い。とても無駄に感じる。
- ・ 積極的に情報を取りに行かない自分が悪いのですが、ポスト投函でのチラシやオンラインで知れることがわかると嬉しいです。自動的に情報が入ってきて欲しい。ポスト投函で「こういった情報があります。QRコード読みとってみて」などあればよい。
- ・ パソコンにウィルスが入り画面がフリーズした時、蒲田東口交番に電話したら、夜分にもかかわらずパソコンに通じたおまわりさんが来宅してくれて、問題を解決してくれました。日曜日の夜だったので、どこに相談して良いかわからなかったのが、交番に電話して良かったと感謝しました。
- ・ 毎日、兵庫県知事のニュースを見て腹が立つ。大田区ではぜったいあの様な事が起こらないようお願いしたい。
- ・ 区政について、同じような顔ぶれで区政を進めていっても、情勢の変化が激しい現在や未来に向けて、柔軟に対応していけるのかに不安があります。もう少し新しい考えを持った方々の積極的な登用を考えていただけたら幸いです。
- ・ 現在、高校に通学している方に聞きましたが、結局100万円位はかかると言っていた。それでは、無償化とは言えない。これでは、親の収入格差が子にいき、子どもが行きたい学校へは行けず、それ以降の学校や就職等、将来が決まってしまう。
- ・ 高齢者の方のためのバリアフリー促進。
- ・ 地域行事やPTAの多くがボランティアでやられており、それを多くの女性が担っていることに不満がある。仕事を休んで、会社の仕事の代わりに地域の仕事をやらされている。地域行事を減らしてほしい。
- ・ 本当に困っている人を助ける大田区であってほしい。
- ・ 不要になった学用品を中学校に寄贈したが、とにかく手続きが煩雑であった。フードドライブのように、必要としている家庭の子どもたちに分配できる制度があれば良いと思う。また、馬込出張所開催のフードドライブ（寄贈する方）を常設、少なくとも月1開催にしてほしい。
- ・ 年に一度のイベントを設けてはいかがでしょうか。例えば、パン祭り・ラーメン祭り・のりとおにぎりの祭り等々、大田区としての特徴あるもので試験的にやってみるのもよいのでは？大田区のイメージづくりの一つとして、定着出来たらなおよろしいのですが…。
- ・ 蒲田は交通の便もよく人情味のある街で好印象だが、この10年くらいで環境が悪化してきたように感じる。行政はそれぞれの地区に対して環境整備に対する奨励金を出すなどの工夫もアリなのは？出来る事はあると思うので区民税を上手く活用して欲しいと思います。期待しています！

- ・ 今後、多様性による柔軟性や相互理解への教育や環境の強化。それに伴う防犯の強化。一度世界に出て日本の良さを実感した人を増やし、コミュニケーション能力を高め地域を改善して欲しいです。
- ・ 多文化共生、LGBTQなどまったく望んでいない。外国人の対策をしっかりとやってほしい。
- ・ バスで体調が悪くて座っているだけで席を譲れと言われたり、挙げればきりがなくらい住民の質と治安が悪い。特に高齢者（男性）は自分が世界の中心だと思いながら暮らしている人が多いと感じる。若者や女性が住みにくい町だと思っている。本当に何とかしていただきたい。
- ・ 品川区では防犯ブザー無償配付、渋谷区・世田谷区では保険証の資格確認書送付など、他区での良い取り組みをぜひ大田区でも行ってほしい。
- ・ 大田区に限った問題ではないですが、道徳感が失われつつあると感じます。道徳心を育めるような取り組みが必要だと思います。
- ・ 駅前に居酒屋が多いのはいいが、朝になるとごみの散乱が見受けられ、治安が悪いなといつも感じます。それがなければとてもいいところに住めたなと思ってます。
- ・ 夜中に大声で話している人が多いです。
- ・ 雑色駅前での座り飲みを止めさせてほしい（景観がそこなわれるため）。区民のマナーが悪い。
- ・ 全体的にはとてもよい町（街）で治安の良さも気に入っている。
- ・ 違法駐車を取り締まりの強化を希望します。駅周辺や国道だけではなく住宅地も違法駐車車で困っている人が多いです。よろしくお願いします。
- ・ 空の見える環境を維持して欲しい！高層ビルの建設どこにおいても大反対！緑を守（護）って欲しい！
- ・ 蒲田駅と京急蒲田駅を結び、羽田空港へのアクセスが向上されるので、蒲田を便利な街だけではなく綺麗な街に、そして治安も良く安全な街にしてほしいです。もう一つあります。名称を変えてみてはいかがでしょうか。蒲田、呑川、名前をもっときれいにすればいいのに、と思います。
- ・ 蒲田駅ビル東駐車場の建物がボロボロなので駅の見栄えが悪い。
- ・ JR大森駅とJR蒲田駅の駅内が常に混雑していて、駅を出入りする人達＋東西を行ききする人達がぶつかりそうになっているのが問題です。また、バリアフリーなども満足ではないので誰もが楽に快適に利用しやすい駅作りをお願いします。
- ・ 鵜の木・久が原駅周辺の活性が望ましい。久が原駅では、シャッター通りとなっている。もう少し工夫をして活気ある街作りを希望します。
- ・ 大森駅にエレベーターを設置して欲しいです。
- ・ マンションなどができて人はたくさん増えているけど、店などの施設の大きさや数が足りていないと感じています。人や自転車があふれていて窮屈です。
- ・ 我が町は京急線の小さな街なので、銀行・ファミレス・チェーン店やカフェ等もなく、隣駅までいかないと、十分な用が足りない事が多い。人手の問題や予算面もあると思うが、大田区といっても全体に差があり過ぎる感じがする。
- ・ 在住2ヶ月で回答いたしましたが、よく区の取り組み等を理解していないところです。住みやすい町を目指して頑張ってください。
- ・ 大森町の駅ホームに転落防止ドアを付けてほしい。快特通過時等、大人も子どもも危ないと思う。緑多い街になると良いです。
- ・ 京急沿線で暮らしています。20年前に比べて大きなスーツケースを持った乗客で混み合っており、何本か見送らないと乗れません。羽田空港行きの電車の混雑緩和および大きなスーツケースを持った乗客の方は専用のエクスプレスに乗車してもらうなどの対策があると嬉しいです。
- ・ 駅周辺にある工学院の広大な施設は、地元の発展を妨げています。あの土地にスーパーマーケットやテナントが入れば、女塚商店街に活気が戻ると思います。是非とも、工学院の移転を実施してください。

- ・ 日々大きな不満はなく生活していますが、福祉、医療、生活環境などもっと早く対応対処できることがあるのではないかと思います。住民が暮らしやすい環境づくりのためにもっと素早い行動ができないのでしょうか？改善、進歩があまりないように感じます。
- ・ 六郷土手駅にエスカレーターの設置を検討いただきたいです。
- ・ 区民がすべて幸せに生活できるように、よろしくお願い致します。
- ・ 海外で行われていることを真似ることから始めてもよいと思います。先進的なことをどんどん試して先行する都市になるとよいですね。
- ・ 緑が多く、東京湾や川も多いため、散歩が捗る住みやすい街です。
- ・ 端に住んでいるので区を中心蒲田との温度差があり、区政を感じない。駅周辺に施設ができて坂が多くて不便で、商店もなく暮らしにくい。
- ・ 大田区のあちこちに大きな賃貸マンションが建設され、落ち着いた環境や景観が壊されていく現状を大変残念に感じています。子どもたちや高齢者が利用できる公園や施設を増やしたり、今ある緑や文化財の環境を守っていくよう、住民が暮らしやすい優しい町作りをお願いしたいと思います。
- ・ スーパーが増えたこと、効果的に保育所を作っている点は、大田区住民全体からするとよくなったと思います。一方で、昔からあった個人経営のお店がチェーン化されていたり、病院に行ってもピーク時は数時間待たされてしまうことは、基本目標に反しているのではないのでしょうか。
- ・ 掲示板1ヶ所（中央7丁目）道路側から見ようになっているがいいのか。また交差点に近いため、車の死角になり、事故を誘発しそうである。
- ・ みはらし橋のバイクの取りしまりをして欲しい。
- ・ 警官の方が車から見えない様にながら待ち伏せして取り締まりを行っている所を見ると嫌な気持ちになる方が多い様です。堂々と見える所に行き注意すべき！大田区の警察の方にはそうでいてほしいですね。
- ・ 臼田坂通りに超大型ダンプが通る、車線をはみだしたり歩道にはみだしたり。通る際には振動がすごく大きく、アスファルトにもくぼみができ、家が振動する。裏側が大谷石の壁のため、がけ崩れが起こるのがとても心配。大きな事故が起きて哀しむ人が出来る前に区政で未然に防いでほしい。
- ・ 馬込在住です。坂が多いので、ループの使用も多く感じますが、本当に危ない運転が多いです。はやく廃止して欲しいです。子ども、高齢者の命にかかわります。あれを便利と思っている日本人は少ないですよ。
- ・ 最近よくみかけるL U U P、スピード出して危険運転（ノーヘルで）が多くて怖いので設置の許可を出さないでほしい。
- ・ 自転車がひどいです。駅の中まで入ってきても京急の駅員は注意もしません。自転車は禁止して下さい。タバコもどんどん吸えなくなったのだから自転車が禁止されても人々はなんとかするでしょう。
- ・ 狭い道を爆走して走る車や、改造して音がうるさいバイクを取り締まってほしい。
- ・ 自転車やL U U Pでの交通違反の取締りなど。特に自転車での危険性の認知、ルール化を徹底してほしい。
- ・ 最近は違法なモペットやフル電動自転車が多く、歩道や商店街などを走行しているのをよく見かける。他区ではこのような違法車両の取締りを何度も見たが、子どもや高齢者にとっては、特に危険で事故も増えているとニュースでも報道があった。是非、取締りを強化してほしい。
- ・ 歩きスマホが非常に多く、なんとか対策できないか。
- ・ 信号の整備がおかしい箇所がいくつかある。また、環七に自転車専用道路を整備してほしい。狭い歩道を逆走する自転車が結構多くて怖い。自分も自転車ユーザーなので、大型トラックの走る環七を自転車で走るのが怖い気持ちはわかる。
- ・ 自転車がとても怖いです。

- ・ L U U P といった電動キックボードを利用している方を度々目撃します。交通ルールもわかっていない様な人が道路を猛スピードで走っているのは非常に危険ですし、一度信号無視をした L U U P 運転者に轢かれかけました。規制してください。
- ・ 我が家の前に 1 ヶ月位前から鍵の付いた自転車が乗り捨てられている。警察署に相談したが私道の為、勝手に撤去できないと言われた。行政にも相談したが同じ答えが返ってきた。区民の困り事に対処できないのであれば、何の為に高額な区民税を払っているのか理解できません。
- ・ 良くやってくれていると思うし、不満はありません。これからもより良い大田区をめざして頑張っていたきたい。
- ・ 区役所の待ち時間が長い。
- ・ 窓口（大田区役所）での待たされる時間が長すぎる。職員が多い割に仕事がスピーディーでない、と感じています。
- ・ 公務員の人数も昔より減らされ、景気が良い時は良い人材も入って来ないので区政はたいへんだと思います。人に代わるシステムを導入していただいて職員に負担がかからないよう、予算の配分などを検討して下さい。宜しくお願いします。

IV 調査結果の概観

Ⅳ 調査結果の概観

1. 生活環境の満足度

ここでは、生活環境の満足度（問5）と定住意向（問2）をクロス集計し、定住意向・転出意向を持つ区民の満足・不満足的项目を明らかにしていく。

問2の選択肢を下記に置き換えて集計する。

「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」：定住意向のある人

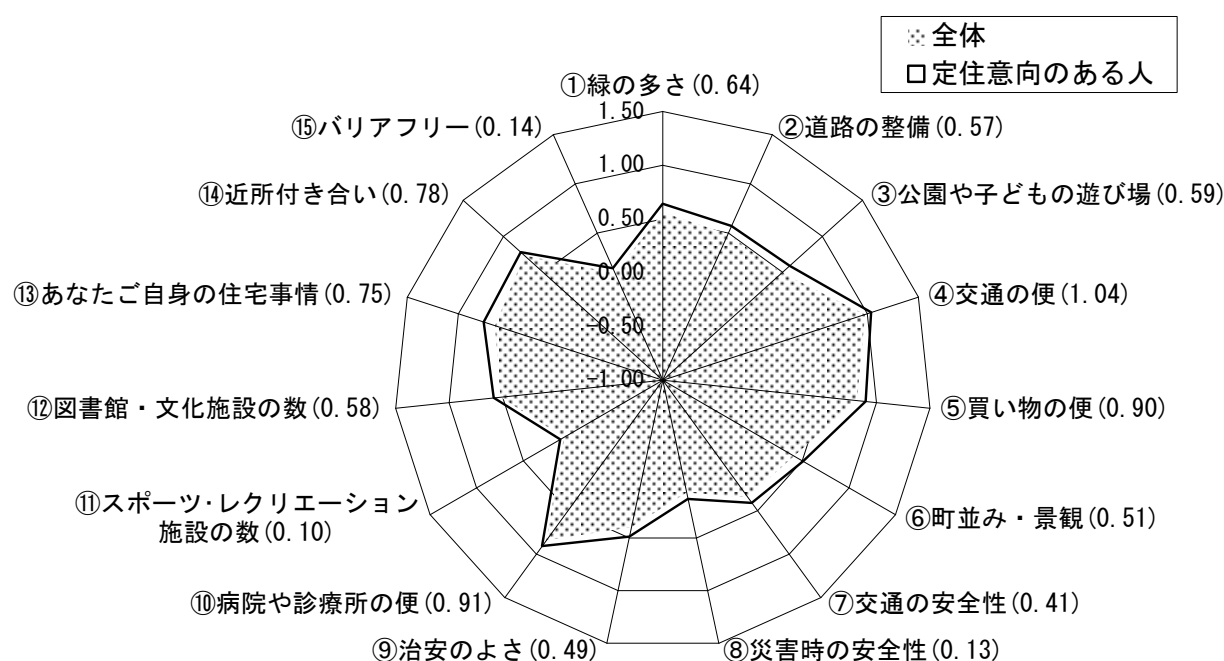
「できれば大田区外へ移りたい」と「大田区外へ移りたい」：転出意向のある人

また、54ページで求めたのと同様に、15項目にわたる生活環境の満足度の比較をしやすいするため、それぞれの回答を点数化し、下記の計算式で各項目の評価点を求めた。

$$\text{評価点} = \frac{(\text{再掲}) \quad \text{「満足している」} \times 2 + \text{「ほぼ満足している」} \times 1 + \text{「少し不満である」} \times (-1) + \text{「不満である」} \times (-2)}{\text{回答者数}}$$

（1）定住意向のある人

問2：「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」と回答した人（n=1,477）

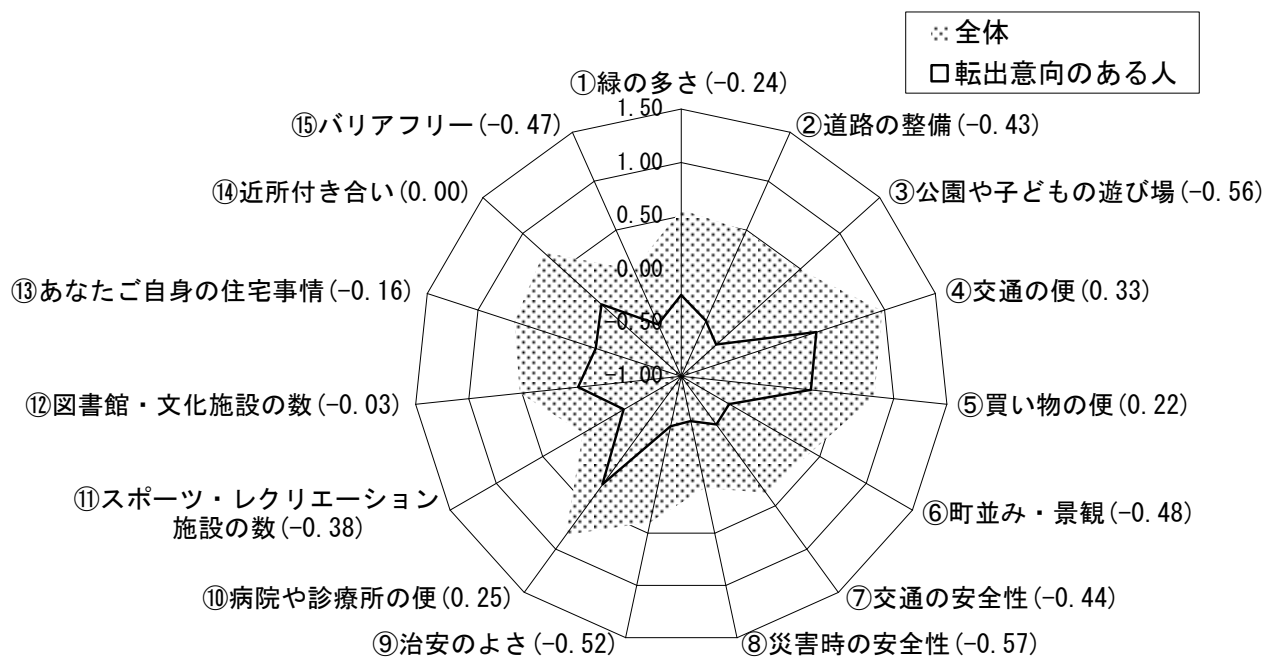


15項目の生活環境の満足度の評価点を全体と比較すると、「定住意向のある人」では、全ての項目で全体を上回っている。特に「あなたご自身の住宅事情」(0.75)が0.11ポイント、「公園や子どもの遊び場」(0.59)と「町並み・景観」(0.51)がともに0.10ポイント上回って、評価が高くなっている。

一方、全体より評価は高いものの、「定住意向のある人」の中で評価の低い項目は、「スポーツ・レクリエーション施設の数」(0.10)、「災害時の安全性」(0.13)、「バリアフリー」(0.14)の順となっている。

(2) 転出意向のある人

問2：「できれば大田区外へ移りたい」、「大田区外へ移りたい」と回答した人（n=107）



15項目の生活環境の満足度の評価点を全体と比較すると、「転出意向のある人」では、全ての項目で全体を下回っている。特に「公園や子どもの遊び場」(-0.56)が1.05ポイント、「道路の整備」(-0.43)と「治安のよさ」(-0.52)がともに0.92ポイント下回って、評価が低くなっている。

一方、全体より評価は低いものの、「転出意向のある人」の中で評価の高い項目は、「交通の便」(0.33)、「病院や診療所の便」(0.25)、「買い物の便」(0.22)の順となっている。

(3) 評価点一覧

問5 生活環境の満足度	全 体 評価点	定住意向のある人 評価点	転出意向のある人 評価点
①緑の多さ	0.56	0.64	-0.24
②道路の整備	0.49	0.57	-0.43
③公園や子どもの遊び場	0.49	0.59	-0.56
④交通の便	0.98	1.04	0.33
⑤買い物の便	0.82	0.90	0.22
⑥町並み・景観	0.41	0.51	-0.48
⑦交通の安全性	0.35	0.41	-0.44
⑧災害時の安全性	0.07	0.13	-0.57
⑨治安のよさ	0.40	0.49	-0.52
⑩病院や診療所の便	0.84	0.91	0.25
⑪スポーツ・レクリエーション 施設の数	0.06	0.10	-0.38
⑫図書館・文化施設の数	0.52	0.58	-0.03
⑬あなたご自身の住宅事情	0.64	0.75	-0.16
⑭近所付き合い	0.73	0.78	0.00
⑮バリアフリー	0.09	0.14	-0.47

「交通の便」、「買い物の便」、「病院や診療所の便」は定住意向の有無にかかわらずプラスの評価となっており、今後もこの水準を維持していきたい点と考えられる。

大田区政に関する世論調査

令和7年11月発行

発行 大田区 企画経営部 広聴広報課
〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号
電話：03-5744-1135
FAX：03-5744-1504

実施機関 株式会社エスピー研
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋三丁目11番20号
電話：03-3239-0071（代表）
FAX：03-3239-0072
